

(1) 【通常版】 こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン素案に関するパブリックコメントのご意見と本市の考え方

対応	修正	ご意見を元に計画原案を修正するもの
	賛同	計画の内容と同じ又は計画の内容に含まれるご意見
	参考	計画を進めるときに参考とするご意見
	その他	計画の内容以外のご意見やご質問

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
1	計画全般	子どもたちのことを第一に検討くださり、ありがたいです。一方でタイトルの「わくわく」にはほど遠い現状と実施有効性を強く感じました。p2横浜市の少子化 日本では東京以外、この問題に直面しています。1.16という数字は単純に将来、結婚できない・子どもが産まれない・本人の介護はどうなるか、問題がつかみません。どこにも書かれていませんが、ヨコハマの魅力を他部署・各区役所と幅広くPRしてほしいです。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、横浜での子育ての魅力・強みを発信する取組について盛り込んでまいります。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
2	計画全般	第2章 2 こども・家庭の状況 ・未就学児のいる世代では・・・について 「就業形態、働く場所や時間の多様化など」は、文脈から、就労意向がある未就労の母親のための対応とも読めます。家庭の育児は父母・家族の共同で行うものという観点から「父母ともに就業形態、働く場所や時間の多様化など」と主語をいれてください。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「父母共に」という文言を追加します。
3	計画全般	計画の対象について ・「心身の発達過程にある者とその家庭を対象とします」の根拠を明示するために、「こども基本法第二条に基づき、本計画での対象は・・・」という前文を入れてはいかがでしょうか。 ・対象に関して、こども基本法でも上記に基づき、様々な養育環境等の要因がある中で必ずしも年齢で区切ることが適切ではないという認識ができてきているところである。「青年期まで切れ目のない施策」が求められる中で、「おおむね20歳までのこども」と年齢で明示するのは避けるべきではないか。また、若者の自立支援に限って39歳までと対象とするという点に関しても同様である。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、計画の対象の文章を「こども基本法を踏まえて、心身の発達過程にある者とその家庭を対象とします。」と修正します。
4	計画全般	素案P19 「(1) 地域とのつながり」について 5つ目の○に、こどもや子育て家庭を支える地域の居場所でコミュニティサロンやこども食堂が挙げられているが、プレイパークも多世代交流の拠点となっており、地域のつながりづくりに貢献しているので、プレイパークもここに記載していただきたい。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、記載内容を修正します。
5	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	「社会でこどもを育む」という視点が基本施策の2にもある一方で、「基本的な視点」5の「家庭の子育て力を高める」という言い方には矛盾を感じます。経済的、人的、時間的にも家庭に押しつけている状況が子育てしづらい、こどもを生みづらい社会状況になっていると思いますので 「家庭の子育てを支援する」という在り方がいいのではないのでしょうか。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「計画推進のための基本的な視点5」の記載内容を修正します。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
6	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	第3章に記載のある「家庭の子育て力を高める」の意味が不明確です。子育て力とはなんなのでしょう？子育ては家庭という枠の中で密室化しやすく、家庭に子育ての責任を押し付けることは虐待の引き金にもなります。「家庭の子育て力」がなんなのか、何を持って高い・低い、そもそも高い・低いと評価されることが各家庭にとって有益なのか？それらの議論がし尽くされているとは思えないため、削除を求めます。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「計画推進のための基本的な視点5」の記載内容を修正します。
7	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	計画推進のための基本的な視点・「5 家庭の子育て力を高めるための支援」という表記があるが、「家庭の子育て力」という言葉は子どもの成長や子育てで起きうる問題を家庭の問題と集約してしまう危険性があるのではないかと。文章で意図していることは、「子育て家庭を支えるための支援」あるいは「子育て世帯の孤立を防ぐ支援」であり、表現方法を修正する必要があるのではないかと。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「計画推進のための基本的な視点5」の記載内容を修正します。
8	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	P29「5 家庭の子育て力を高めるための支援」前半の文章は「地域で子育てを支えよう」という話だと読みとれるが、結果として「家庭の子育て力を高めるための支援」では、結局子育てを各家庭に閉じ込める方向に向かわせるような視点のように感じた。そもそも「子育て力」という言葉に具体性がなくどのような力が曖昧なものなので、他の6つと見比べて見ても、曖昧な言葉を視点のタイトルとして置くのは違和感がある。「保護者がこどもの成長の喜びや生きがいを感じられる支援」の方が住民にとってもわかりやすいのではないかと。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「計画推進のための基本的な視点5」の記載内容を修正します。
9	重点テーマ1	<p>素案P43 「各事業とライフステージ等の関係」の表について</p> <p>①「イベント時のみ」という項目があるが、「イベント」をどういう意味合いで捉えて項目立てているのかが不明。プレイパークもそこに○がついているが、プレイパークは子どもたちの日常の遊び場であってイベントではない。常設のプレイパークでは毎日そこで過ごす子もおり、生活の場とも言える場となっている。定期開催のプレイパークでも、子どもたちが主体的に過ごす場なので、イベントとは意味合いが違ふと考える。まずは、何を示すための項目なのか、その基準を含めて明確に伝わるように修正すべきである。</p> <p>②「種類」の各項目には◎と○と無印があるが、その違いについての説明がなく意味がつかめない。それを指摘した上で「プレイパーク支援事業」の各項目について再考していただきたい。</p> <p>まず、「居場所」の項目でプレイパークは○になっているが、実態として、プレイパークは単に子どもたちがアクティブに遊ぶだけでなく、プレイリーダーと話すなど、のんびり過ごす子も多く、居場所としての機能も大きい。居場所の項目は◎が適当と考える。</p> <p>また、「体験活動」の項目も同様で、プレイパークでは火を起こしたり、木工作に取り組んだり、スリリングな遊びに挑戦したり、秘密基地を作ったり、気持ちの赴くままに様々な体験ができることから、◎が適当と考える。</p> <p>③「主な対象年齢」の項目について、プレイパーク支援事業の中学生の欄に○がないが、実際には中学生や高校生の利用者もあり、日頃の居場所や遊び場として機能している。プレイパークは乳幼児から中高生、青年まで切れ目なく利用してもらうことができる場所であり、プレイパークの運営者たちが大切にしている価値観の一つである。小学生までしか○がついていないことは、これを否定することになってしまう。○をつけていただきたい。</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「各事業とライフステージ等の関係」の表に追記修正を行います。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
10	重点テーマ1	重点テーマ1 すべてのこどものウェルビーイングを支える 1. こども基本法に加え、乳幼児期の育ちのビジョン「はじめの100か月の育ちビジョン」も踏まえて、科学的根拠に基づく乳幼児期の育ちの重要性や社会全体でこどものウェルビーイングを支える地域づくりに言及をお願いします。 2. こども家庭センター機能に加えて、地域子育て相談機関の必要性にも言及ください。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、重点テーマ1「全てのこどものウェルビーイングを支える」の方向性（1）に地域子育て相談機関の記載を追加します。
11	重点テーマ2	（概要版P6について） 指標が「子育て家庭がゆとりを実感している割合」となっていますが、そもそも「ゆとり」とは、極めて抽象的な言葉であり、その時々々の社会情勢やその人の置かれている環境・状況などによって、感じ方は大きく変わってくるものと思います。横浜市の事業指標として適切なものが疑問に思えます。むしろ、「7つの方向性」に掲げられている項目の方が、各事業と紐づけられており、指標として適切ではないでしょうか。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「7つの方向性」に掲げている項目を指標として設定します。
12	重点テーマ2	「7つの方向性」の各項目が重複している印象を受ける。3から4つくらいに集約した方が、わかりやすいのでは？（3頁目）	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「7つの方向性」を「時間的負担感の軽減」、「精神的負担感の軽減」、「経済的負担感の軽減」の3つに集約します。 なお、「7つの方向性」は指標として設定します。
13	基本施策2	ハマハグ協賛店を増やすことによって子育てする人たちに優しい街であることが見えたり、地域全体で「子育てを温かく見守り、応援するまち」となることは大いに賛成です。が、お店の協賛内容がわかりにくかったり、探しづらかったりすることもあってか認知度が低いと感じます。利用されているのかどうか検証されているのでしょうか。せっかくの通り組みですのでもっと力を入れてはいかがでしょう。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、基本施策2に加えて、基本施策9の主な事業・取組として、子育て家庭応援事業（愛称「ハマハグ」）を再掲するとともに、取組を進めてまいります。
14	基本施策2	要望2 基本施策2 地域における子育て支援の充実 ここにあってはまるのかわかりませんが、地域の安全対策に力をいれてほしいです。誘拐・子供への性被害・強盗などを予防するための施策を考えてください。例えば、小学校で親や子供への教育を実施したり、放課後一人で自宅に残さないように児童クラブを増やしたり、通学路に防犯カメラを増やしたりして、登校、下校時に誘拐されないように予防線を張るなどです。今どのような制度になっているかわかりませんが、登校時は登校班があると思いますが、下校時は特にないと思います。そのため下校時は徒歩で付添できる親がいれば積極的に子供を迎えに来よう呼びかけるべきです。一人で帰宅している子供も周りの大人の目があることで少しは安心できると思います。最近リモートワークで中抜けできる人もいます。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、重点テーマ1及び基本施策3、4、5、6、8の「主な事業・取組」として、こどもの性被害の防止に関する記載を追加します。
15	基本施策2	基本施策2 現状と課題（1） 64 ページ 8 行目（2 つ目の○）に『乳幼児期からこどものウェルビーイングを高めていくうえで、（中略）「遊びと体験」を通して外の世界へ挑戦していくことが欠かせない要素です。』とありますが、素案 38 ページ 11 行目に「安心と挑戦の循環」との記述があるように、乳幼児には挑戦と安心はセットです。「外の世界へ挑戦」とだけの記述では唐突且つ説明不足に感じます。「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」に準じた丁寧な記載に修正してください。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「安心と挑戦の循環」について盛り込みます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
16	基本施策2	<p>施策の目標・方向性（2）</p> <p>68 ページ（2）『幼児期の豊かな「遊びと体験」の提供』というタイトルになっていますが、本計画の「【重点テーマ1】すべてのこどものウェルビーイングを支える <背景>」に記載されているように「こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていく」ことをめざすものであるならば、単に「提供」ではなく、「遊び・体験の環境づくりと機会の提供」とするのがふさわしいと考えます。</p> <p>また、12 行目（4 つ目の○）は親支援の視点での記述になっていますが、今計画の「目指すべき姿」や「基本的な視点」に照らすならば、こども主体の記述に修正すべきと考えます。そうすることで、この新規事業の意義を「こどもの遊ぶ権利の保障」という視点から深く捉えて取り組むことができるのではないのでしょうか。</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「環境と機会の提供」について盛り込みます。
17	基本施策2	<p>地域子育て相談機関の設置</p> <p>71 ページ 利用者支援事業設置個所と、地域子育て相談機関の設置個所が同数になっていますが、拠点以外に区内に 28 か所設置なのでしょう。拠点の中に人が配置され相談対応に当たるのか。その場合利用者支援事業とは異なる業務内容になるのか（国の要綱では拠点で実施しているような内容が記載されている）場合によっては想定事業量の表記方法が「実施か所数」ではなく人数の方がいいのではないかと思います。</p>	修正	現時点では、地域子育て支援拠点の利用者支援事業を想定して、市内28か所としておりますので、記載を追加します。頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
18	基本施策2	<p>素案P68 「基本施策2 施策の目標・方向性（2）」について</p> <p>①『幼児期の豊かな「遊びと体験」の提供』というタイトルになっているが、それではイベント的なものに親子で参加するイメージしか湧いてこない。ここは『幼児期の豊かな「遊びと体験」の環境と機会の提供』とした方が、本計画の目指すところを表現できると考える。また、15 行目（5 つ目の○）の記載についても同様。</p> <p>②12行目（4 つ目の○）の記述は親支援の視点からの記載になっており、今計画の「目指すべき姿」や「基本的な視点」に照らすならば、こども主体の記述にするべきではないか。特に「遊ばせる」の表現がふさわしくないと思う。</p> <p>③本計画の「【重点テーマ1】すべてのこどものウェルビーイングを支える <背景>」に記載されているように「こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていく」ことが重要であるならば、それに最もよく実現するのは外遊びである。方向性の中で「外遊びの推進」をしっかりと打ち出していきたい。</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、「環境と機会の提供」について盛り込みます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
19	基本施策4	<p>素案P99 「プレイパーク支援事業」について</p> <p>プレイパークは、子どもたちが野外で主体的に自由に遊ぶ中で、内在する力を発揮し様々な体験をすることができる場で、赤ちゃんから大人まで地域の多世代の人たちとの交流もある、いろいろな機能を併せ持つ取り組みである。子どもが主役であることが常に意識されており、ワクワクがいっぱいある、まさに今回のプランで謳っている「すべての子どもたちのウェルビーイング」の実現に大いに寄与する活動と言える。しかし、ここでのプレイパークの記載は、その一面のみを表しているのもっと詳しく書いていただきたい。例えば、以下のような文ではどうか。</p> <p>「プレイパークは公園等の一部を活用した遊び場で、子どもたちがやりたいことにチャレンジして自由に遊び、様々な体験を重ねているだけでなく、自分らしく過ごせる居場所にもなっています。乳幼児から青少年まで多世代の子どもたちが日常的に関わりながら遊んでおり、地域の大人とのふれあいもあるプレイパークの活動を支援します。」</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、記載内容を修正します。
20	基本施策7	基本施策7 最近では男性もDVやモラハラにあう場合もある。女性だけ手厚くするのではなく男性にも手厚くし、相談しやすい環境作りも必要と思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、基本施策7におけるDV被害者支援に関する表現を修正します。
21	基本施策7	基本施策7で「DV被害者や困難な問題を抱える女性への支援」とありますが、女性と限定する必要は無いと感じます。男性でも、同じ問題を抱えている人はいると思います。暴力の被害だけでなく、経済的や精神的被害もあると聞きました。男性であるがために支援が受けられず、結果子供の生活状況が悪化しては、意味がないと思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、基本施策7におけるDV被害者支援に関する表現を修正します。
22	基本施策7	<p>基本施策7</p> <p>・DV被害者支援</p> <p>DV被害対策に関しての支援が女性に偏っている感じがします。男性も気軽に相談のできる相談先や支援も必要と考えます。</p>	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、基本施策7におけるDV被害者支援に関する表現を修正します。
23	基本施策8	<p>基本政策8</p> <p>・図表4-37の左軸の単位は（人）ではなく（件）？</p> <p>・アーリーヘルプで支援の効果が得られる一方で、丁寧に対応することで支援対象ケースが増え、その結果、アーリーヘルプでは対応しきれない、施設入所を必要とするケースも増えると考えます。里親最優先の方針のもと措置がおこなわれているが、現状として、一時保護所は定員を超える収容を余儀なくされている。里親では対応の難しい（適していない）ケースを受け入れる側の施設も家庭的養護の推進の結果、子どもの生活スペースの小規模化が進み、これまで以上に自由度をもって子どもを受け入れることが難しく、また、小規模化した施設のケアを十分に行える職員数が確保できていない。アーリーヘルプの仕組みづくりや里親推進と同様、施設がセイフティネットとして十分にその役割を果たせるような体制強化が必要と考えます。</p>	修正	<p>頂いたご意見につきましては、児童養護施設等の多機能化・高機能化を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、グラフの単位については、ご指摘のとおり「件」が正しいため、図表2-20、図表4-37は計画作成時に修正します。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
24	基本施策9	2ページに子どもの人数が大きく減っていると書いてあります。子どもを持つ持たないは一人ひとりの希望によるものですが、社会基盤・インフラが維持されて人の豊かな暮らしも成り立つことを考えると、これ以上子どもの数が減らないことも必要と思うので、結婚したいとか子どもを生みたいという希望を持てる時代になることが大切だと思います。たとえば学生など自分の進路をこれから考えるタイミングの人たちに、結婚して子どもを持つことや働きながら子育てをすることのイメージを持てるような機会を作って、押し付けではなくて将来考えるときの選択肢を持てるようにしてほしいです。私の大学でもそういったセミナーがありますが周囲が気になり参加しにくいと感じるので、学校以外の場所やオンラインやYouTubeなどで気軽にそういった情報が得られるといいと思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえて、基本施策9の主な事業・取組「結婚を希望する人や子の結婚を希望する保護者向けの啓発・情報提供」において、若い世代向けのライフデザイン支援を検討していくことを盛り込みます。
25	計画全般	いつも素晴らしい計画やガイドラインを作成していただき、ありがとうございます。計画だけで終わらないよう、現場で働く方々が計画を実行できるような予算、人員の配置等についてもご検討いただき、計画の振り返りもお願いいたします。横浜市はこんなに素晴らしい計画を立てていることを外部にアピールするためだけのプランにならないことを切に願っております。働く大人の都合ばかりを優先するのではなく、子ども達にとって最善の利益を最優先する横浜市になることを願っています。	賛同	ご意見の趣旨については第6章「3計画の点検・評価等」「4こども・子育て支援に関わる人材の確保・育成の推進」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
26	計画全般	経済状況や社会状況で共働きをする親が増えていますが、子どもが小さいうちはしっかりと子どもに向き合いたいと考えてあえて仕事をしていない方もいらっしゃると思います。仕事をしていない約3割の方の中には、そのような人も多いかと思えます。そのような方々も対象にして「全ての子ども」と書いてあるとは思いますが、全体的に母親が就労していることが全面に出ていて、そうではない方々が疎外感を感じてしまうのではということが気になりました。	賛同	両親の就労の有無に関わらず、こどもや子育て家庭への支援を総合的に進めるための計画として作成しています。いただいたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
27	計画全般	子育て予算はIT・システムやアプリ開発に多くが当てられている。DXも大切だが、こども・子育て支援に関わる「人」や育成にもっとお金をかけてほしいと思う。いくら箱や枠組みを作っても、それを運営する人の知識が技術が不十分であれば、無駄になるのではないか。	賛同	頂いたご意見につきましては、第6章「4こども・子育て支援に関わる人材の確保・育成の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
28	計画全般	仰りたい事は大体わかりました。横浜市は市民の方にも目を向けており、大変住みやすい街だと思っています。そこで1つ期待をしたいところがあります。それは、国の意向の言いなりにならないで欲しいということです。コロナ騒動でそれは如実に現れました。これまでも、国の意向には逆らわない姿勢がありました。それは非常に残念です。出生率が下がっているのも、市だけの問題ではなく、国としての経済的な問題です。多くの家庭が共働きに変化したのに、反比例して豊かさは薄れ、子どもも減る。市として、市民の意見を汲んで市長よりその上の人達に意見を届けて下さい。波風立てずに任期を全うするのがあなたの仕事ではありません。誰から、何のために報酬をもらっていますか。市長の活躍が見たいです。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
29	計画全般	指標が数値で語られており評価します。 竹春市長になってから、目に見えて子どもまわりの政策がスピーディーに進んでいます。 子どもも生きやすくなるようお願いします。	賛同	計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
30	計画全般	<p>計画の策定、ありがとうございます。読ませていただきましたが、量が多く、内容が難しくよく理解できなかったので、お願いだけ伝えさせていただきます。私は40代、3人の子の母親です。夫、義両親、実両親の協力が得られず、子育ては本当に大変でした。いくつか子育て事業も利用してみましたが、手続き等が煩雑で、急な子どもの容体の変化には対応してもらえず、結局自分ひとりで抱え込んでしまいました。子どもたちが親となる時に、私のような思いをさせたくない。10年後、20年後、「いっぱい子どもが欲しい！産み育てることができる！」と思える横浜市となるよう、計画で終わるのではなく、効果の検証や計画の見直しを継続していただきますよう、よろしく願いいたします。</p>	賛同	<p>毎年度の点検・評価を行うほか、変化する社会情勢や、ニーズ等を踏まえ、必要な見直しを行ってまいります。</p>
31	計画全般	<p>「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」のキャッチフレーズはとても親しみやすい。「こどもまんなか」を軸にそれに関わる事業計画が網羅されていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策分野1の「すべてのこども・子育て家庭への切れ目のない支援」は必要不可欠である。そのために必要な支援施策も詳細に書かれていて、目標が少しずつでも達成されていくことで、こどもたちの安全安心が担保されることは想像できる。 ・医療費の自己負担分・出産育児一時金等の助成金は不安を軽減し安心を与えると思う。地域子育て支援拠点、人材育成の拡充、支援員の増員等を実現させるための予算は十分にとってほしい。 ・「こどもの人権」という言葉が随所に見られるのは嬉しい。「こどもの権利条約」12条の正しい知識の普及・啓発の推進を願う。できることは協力したい。 ・意見表明の機会・場を拡げても気持ちを伝えられないこどもたちへの対応は、今後も続く課題であると思う。 	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
32	計画全般	<p>子育て支援を進めていくにあたり、支援をする側となる保育や教育に従事する施設や働く人々たちへの支援を両輪で進めていただくことを強く要望します。それなくして本当の子育て支援ひいては少子化対策にはなり得ないと日々感じています。一時的に家庭がメリットを感じるだけの施策ではなく、永続的に子どもをみんなで育ていける社会となるような施策を期待します。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、乳幼児期の保育・教育の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
33	計画全般	<p>『こども、みんなが主役！』の表すことばの意味が施策1から9までの取組の中にある。施策の一つ一つがわかりやすく、今、まさに求められているニーズに値し、必要な事柄がすべて網羅されていると感じた。現状と課題からくる目標と方向性は、人権と多様性を絡めながら理解できるものとなっていると感じた。</p>	賛同	<p>計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。</p>
34	計画全般	<p>現状からみられる課題に対しての対策、取り組みを知り、実践やアドバイスにつなげていきたいと思う。</p>	賛同	<p>計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
35	計画全般	やさしい版を読みました。こどもたちのための計画として丁寧につくられていると感じました。市の政策にこどもの意見を聞いていくということがたくさん書かれていて、とても大切なことだと思いました。計画に書いてあるように、しっかり実行して行ってほしいです。特に弱い立場のこどもの意見を聞いて、支えていけるといいなと思います。聞き方や気持ちをおもひかかるとも必要だし、難しいことだと思います。すぐに全部・パーフェクトにやることは難しいと思いますが、計画ができた後も改善を続けて、少しずつよいものにして行ってほしいです。地域でこどもたちと関わる活動をしているので、自分でもできることを考えていきたいです。横浜市の皆さんもこどもたちのために頑張ってください。	賛同	頂いたご意見につきましては、こどもの意見を聴く取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
36	計画全般	重点テーマや基本施策で記載されている、主な事業・取組について 沢山事業や取組が記載されていますが、その一つ一つの事業や取組の具体的な実績を教えてください。事業を増やすことよりも、一つ一つの支援事業を見直し、困難を抱えているこども・若者・保護者の助けに確実にする支援内容に改めていく必要性を感じます。現状に相応しいものなのか見直して頂きたいです。そして、当事者の声を反映して頂くこと、このことも計画に入れて頂きたいとお願い致します。	賛同	主な事業・取組の実績についても、計画冊子に記載してまいります。頂いたご意見につきましては、毎年度の点検・評価等を行っていく上で、今後の参考にさせていただきます。
37	計画全般	この素案が本計画となって始動していく過程を、市民として親として生活者として、こどもに関わる実践者としてこれからも見守りつつ、より多くの子育て家庭、当事者にこの計画の存在を伝えながら、関心と実現への参画意識を持ってもらえるよう共に活動していきたいと思っています。	賛同	計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。
38	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	子育て中なので、地域の人達と積極的にコミュニケーションをとっていけるような市になってほしいです。基本的な視点に関しては、子供が安心して暮らせるようにしてほしいです。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
39	計画全般（量の見込み・確保方策）	病児保育の数が30で一定だが増やさないのか？ 周囲の小児科は常に混んでいて受診の順番待ちは一瞬でなくなり、病児保育も混んでいる印象があります。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
40	重点テーマ1	こども食堂のような、直接こどもが受けることができ、貧困層の親も助かる事業に関して援助を増やしてほしい	賛同	頂いたご意見につきましては、こども食堂等支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
41	重点テーマ1	未来ある子供たちが住みやすい環境にすることを願います。	賛同	頂いたご意見につきましては、重点テーマ1「全てのこどものウェルビーイングを支える」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
42	重点テーマ1	夏場、猛暑日が続く中、子どもが体を動かせる場所がない。よく利用するプレイパークも一時的に閉園していた。この夏は特に暑く、家でゲームをするばかりで、体力が随分と落ちたように感じた。屋外公園にシェードや水場を作る、また室内で遊べる場を充実させる、学校の体育館に空調を入れて開放するなど、子どもの夏場の居場所づくりについて検討してほしい。	賛同	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
43	重点テーマ1	子どもが参加できたり気軽に行ける場所を増やしていただきたい。親以外の地域の大人とも関わり合い見守られる事で子ども達も自分はこのにいていいんだという安心感を得られ心身ともに健やかに過ごせると思う。	賛同	頂いたご意見につきましては、重点テーマ1「(2)こどもが安心して過ごせる居場所や遊び場、体験活動の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
44	重点テーマ2	全体としての方針には賛成です。特に親への啓蒙活動(利用できる制度、育児の理想など)と精神的なゆとりを作る手伝いが必要と思います。私は特に後者に重点を置いたボランティア活動を行っていますが、結局のところ社会的な孤立がゆとりを奪う大きな原因だと考えています。少なくとも私の暮らす地域では、隣近所の方の顔もよくわからないような希薄な関係です。コロナを経て地域の祭りもなくなり集まりも減り顔を合わせる機会がありません。自治会の体力的にできないというなら行政が主導してそういう機会をたくさん作っていただけたらと思います。(親だけ親子だけなどと属性を限らず、同じ地域に住む仲間として仲を深められる機会)	賛同	基本施策2の「現状と課題(1)地域での子育て支援の場と機会の必要性」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
45	重点テーマ2	子どもがいても、就労したい家庭は年々増えているように感じている。保育園を希望しているが、実情希望通り入れる方は少ないように思う。妊娠期から、園の見学を数十箇所も行くなど。いわゆる園活をされる方も多く。0歳で入れないと入れない=仕事が出来なくなるということの不安の声を聞くことも多い。希望する方が不安なく入れるようなシステムは構築できないのだろうか。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性(4)保育・幼児教育の場の確保」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
46	重点テーマ2	子育ては日々めまぐるしい中での充実や実感として得るものかと思いますが、得るにはゆとりがないと得られるものではないと個人的には思うからです。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
47	重点テーマ2	小学生が下校したあと、両親が帰るまでの間の居場所を増やして欲しい(学童等)。「小1の壁」という言葉をよく聞きます。保育園では仕事の終業時間まで預かってもらえるのが、小学生になると15:00ごろに帰って来てしまうことを言うそうです。共働きのため子供一人で留守番させるのは心配です。鍵を持たせるのも防犯上避けたい為、下校後直接行ける居場所があればいいなと思いました。できれば宿題ができたり友達と安心して遊べる場所。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策4の「目標・方向性(1)小学生のより豊かな放課後等の居場所づくりに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
48	重点テーマ2	ゆとりを保つために、経済的負担の軽減や預け先を増やす等も重要ですが、親が家庭に使うことのできる時間を増やすことも重要とおもいます。親が長時間労働が基本となっており、子どもと過ごす時間が少ない家庭も多いです。親世代に対して、(あくまで希望する人について)人間的なリスク(今後の出世が絶たれるなどのリスク)なしで長時間労働を会社にさせないようにすることが大事になるのではないのでしょうか。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策9の「施策の目標・方向性(1)多様で柔軟な働き方と共育の推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
49	重点テーマ2	働きながらの子育てでは、現状の保育システムだと子どもの体の丈夫さが大きく左右されます。認可保育園では解熱してから24時間登園禁止のところが多いかと思いますが、それだと一度熱を出した時点で2日間の休みが確定されてしまい、仕事になりません。病児保育が併設されているところがもっと増えると良いと思います。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性(6)多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
50	重点テーマ2	オンラインでの小児科相談を復活させてほしい。2022年に第一子を出産した際は港北区の助成でオンライン相談を利用でき、受診を迷う際に自宅で相談できて本当に助かったため。このサービスは圧倒的に子育て世帯を助けるものだと思う。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策1の「主な事業・取組」の「妊産婦・こどもの健康相談事業」として記載しており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
51	重点テーマ2	色々と取り組んでいただいております。本当にありがとうございます。子育て世代として、お願いしたいのが、妊婦、子育ての支援金のさらなる充実です。金銭的な問題で、仕事や、そもそも子供を考えることが難しくなってしまうのは、非常に悲しいことだと思います。実際妊娠し、金銭的負担が思っていたよりもあることに、少し驚いています。今後の世代のためにも、どうぞ、ご検討の程よろしくお願いします。	賛同	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
52	重点テーマ2	「子供の居場所」「親の居場所」を求める声が多いとのことで、とても共感しました。子供を遊ばせるために室内の有料施設などに行きますが、その背景には外で安心して遊ばせられる場所や自治体が運営する施設が少ないからではないかと感じています。最近では朝からご年配の方が公園のグラウンドを使って子供が走れないなどのことも多く（許可をとって借りているのだと信じていますが）肩身が狭いです。また、子供の声やボール遊びにも厳しい声が多いとのことで、子供たちだけで遊ばせるということは難しくなっているような気がします。	賛同	ご意見の趣旨については「重点テーマ1＜方向性と取組内容＞（3）こどもが安心して過ごせる居場所や遊び場・体験活動の充実」や、「基本施策2 地域における子育て支援の充実」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
53	重点テーマ2	自治会や地域との繋がりを強化して、地域で子供を育てられる環境を作っていききたい。	賛同	頂いたご意見につきましては、「基本施策2 地域における子育て支援の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
54	重点テーマ2	保育園は0才から預けることを考えると6年間通う場所になります。子供が最初にかかわる環境として充実した環境であることを望むと同時に、親のゆとりを生む場所であって欲しいと思っています。幼稚園と同様の教育環境や、すでに実施されているところもありますが、毎週の家庭での準備物は極力なくしていただけるとありがたいと思っています。特にオムツやスタイなど毎日必要なものは保育園での提供型を希望します。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「主な事業・取組」の「にもつ軽がる保育園事業」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
55	重点テーマ2	経済的なゆとりを待とうとすると、必然的に仕事時間が増え、子供と関わる時間が極端に減っていきます。家事をどれだけ効率化しても、仕事に追われると休日も身体を休めて終わってしまい、夫婦共に子供と関わる時間が減っていくので、こどもに関わる時間ができる時間を生み出すことがゆとりの実感に繋がると思います。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
56	重点テーマ2	病児保育を充実させてほしい。一般的な保育園と同じで、7時半から6時半まで預かってもらえると、負担が減る。現状だと、病院が開く時間まで待って、診察を受けて、運良く空きがあれば預けられるが、4時に迎えに行かないと行けないので、仕事の予定を調整せざるを得ない。	賛同	病児保育の充実については基本施策3の「目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
57	重点テーマ2	<p>金銭、政財的ゆとりは心のゆとりにも繋がると考え、就労を目指しています。しかし、求職中の私は保育園募集要項によるとランクがとても低く、保育園に一向に受からず働けない状況です。国からは働けという指針が出る割には、働き出す環境が整わない矛盾に頭を抱えます。私の場合は離職したくして離職したわけではないので、働けないこと自体がストレスになりますし、子供を育てていく上でも経済的不安、教育の質向上(習い事や受験など)が目指しにくい、子供と常にベッタリのストレスが発生し、本当に早く働きたいと思っています。是非ともこの矛盾を打破いただきたい。東京23区では就労していなくても保育園に空きがあれば預けられます。保育士の給料アップ、保育士の増加、保育園数の増加、保護者のランク付け見直しを願います。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、人材確保については、基本施策3の「目標・方向性(5)保育・幼児教育を担う人材の確保」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
58	重点テーマ2	<p>現在15歳中学3年女児、12歳小学6年男児を育てる母です。いつも市政に助けていただき感謝しております。上が2歳、下が0歳の時に夫のうつ病発症があり、入退院を繰り返す中で離婚の申し出があった為、専業主婦から突然シングルマザーワーカーとなった経緯があります。保育園・ひとり親家庭支援・小学校・中学校学費・給食費補填等々ご支援いただき現在に至ります。仕事をしながら子育てをする難しさはありますが、行き詰まった時に横浜市政に助けていただきまして、本当に感謝しております。おかげ様で現在は上の子が高校受験の時期となり手が離れつつありますので、これからは社会へ助けられる側になれば良いなと小さな夢を持ちながら日々仕事と向き合っています。今回のテーマですが、私はたまたま「ゆとり」があまりない子育てをして来ましたが、これからの子育て世帯にはぜひ「ゆとり」ある生活を歩んでいって欲しいと思います。具体的な案がなく申し訳ありませんが、応援しております。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
59	重点テーマ2	<p>キッズで夏休みに昼食を提供していただき、ありがとうございました。冬休み、春休みもお願いしたいです。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
60	重点テーマ2	<p>●●町在住です。夏休みのキッズクラブのお弁当、本当に有り難かったです。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
61	重点テーマ2	<p>子育て現役世代&共働き経験者として、意見させて下さい。</p> <p>*子育て(&家事)と仕事を両立している女性への理解の無さ→職場で同僚や上司の理解が無いと感じている女性が多い。職場でも家でも常にフル稼働。子供が何かあった時、休めば冷たい顔をされ、申し訳なさもあり精神的にも削られる。もっと理解がある方が増えれば、自ずともう1人産んでもいいかもと思えるはず。</p> <p>*柔軟な働き方の促進→在宅勤務やスーパーフレックス、条件なし時短勤務など柔軟な働き方ができる企業が増えれば、共働き世代のゆとりも生まれる。これは子育て世帯のみではなく、介護している方にも応用できる。</p> <p>どちらも国が推進すべき内容だが、横浜市がもっと踏み込んで推進して欲しい。ぜひ子育て世帯の気持ちのゆとりを作ってほしい、と切に願います。</p>	賛同	<p>ご意見の趣旨については基本施策9「現状と課題(1)仕事と家庭生活の両立を取り巻く状況」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
62	重点テーマ2	小学生1人、未就学児2名おります。病児病後児保育の拡充を願います。コロナ禍を経て、病気の際は仕事を休みやすくなりましたが、病後の症状継続時、体力の回復が芳しくないなどの際に利用したい施設が少ないです。産前産後に関わらず、育児期間を通してヘルパーの利用が可能になるなど、生活支援をして欲しいです。地域こども保健センターでのイベント、門戸の開放は共感できますが、それを探し、赴くまでにゆとりが必要です。年の差きょうだいの場合、金銭的な支援が少ないです。余裕を持てたから複数子どもを授かったけれど、保育費用の減額にも当てはまらず、残念です。以前住んでいた自治体では3人お子さんのいる家庭が多かった印象ですが、それも影響している気がします。教育費用がかかるため、ある金額を確保しよう、生活の充実を図ろうと思うと仕事が必要です。祖父母などの支援がない中で、子どもを1人で留守番させなくて良い小学校の長期休暇の取り組みが欲しい。結局は1人で留守番させなければ塾にいかせる等、安くない金銭負担が生じる。乳幼児健診が大人数で流れ作業になり、助産師や保健師の専門性が発揮されておらず勿体ない。	賛同	ご意見の趣旨については、重点テーマIIの方向性に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
63	重点テーマ2	子育て家庭が実感できるゆとりは、一人で悩みや不安を抱えずに、気軽に相談でき頼れる存在が身近にあることで生まれると思います。誰でも無料や低価格で子どもを預けたり、見守りのもとで遊ばせられる場所があればいいと思います。父親も母親も、子どもからはなれて自分の時間を過ごせるだけでも心のゆとりを取り戻すことができます。子育てに追われている感覚を、子育てを楽しんでいる感覚にしていると、ゆとりが実感できるようになると思います。	賛同	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業など、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、また、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
64	重点テーマ2	今年導入された横浜市キッズクラブでの長期休暇中の昼弁当注文制度は、食事を作る時間が負担になっていた中、とてもありがたかったです。時間にゆとりができると心にゆとりができ、家族で向き合う時間が増えました。	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策4の主な事業・取組の放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
65	重点テーマ2	世界情勢の影響もあり、企業も経費を切り詰める方向になりますよね。人員ギリギリなので、子育て世代の親のゆとりが減ったと実感しています。役割が増えるし、子供のことで休むのに気を使われて、私は胸が痛くなりました。夫婦で働けば何とか生活できるといったらならず、そのうち精神や身体を悪くして仕事に行けなくなりました。日本経済からしても悪循環に陥っていると思いました。せめて、『ゆとりの実感』をこのまま、かかげて欲しいと思います。それすらも無かったら、とりつくしまもありませんから。	賛同	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 計画に対するご期待と捉え、計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
66	重点テーマ2	<p>乳幼児期における子育ての場として、私は普段から地区センターを利用しています。親子での身近な遊び場、楽しく過ごすため、そちらでの環境整備・改善を望みます。私は、南センターをよく利用しています。子育てにゆとりをもって向き合うことができるように、開館時間が長く利用しやすい点、雨の日でも子どもが室内で体を思い切り動かせる点はとても助かっています。しかし、改善点として、プレイルームの遊具やおもちゃの充実を希望します。置いてあるおもちゃは、かなり古いものが多く、部品がなくなり壊れていたり、動きの悪い乗り物があります。おもちゃの管理は難しいことは理解していますが、もう少し乳幼児期の成長段階に適したおもちゃを定期的に見直し破棄や交換、購入をしてはどうでしょうか。南センターの体育館ではぐはぐの樹が管理している『お出かけ広場』用の玩具は充実しているのに、プレイルームはそうでないので大きな差を感じます。最後に、家で子どもと一対一で一日育児をする中で、地域の子育て交流スペースに足を運び、育児をしている保護者とお話しできる場としても、地区センターはとても有効的です。もう少し環境整備をお願いいたします。</p>	賛同	<p>頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、また、市民利用施設を運営する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
67	重点テーマ2	<p>「ゆとり」背景の文章の「時間的・精神的・経済的にゆとりをもって」とあるが本当だと思う。何がきっかけでゆとりが持たなくなったのか。その原因が「子供」であってはならないと思う。方向性(3):「小1の壁」を打破し「義務教育の間」もゆとりあるように続けられるように。方向性(5):相談に行くといつもマニュアル通り。失礼の無いようにと対策をしてそのような対応になってしまっているのは分かるが、冷たく感じる。言い方なのか、手続き多いのか、この窓口じゃないと言われ回されるとか、役所側は悪く無いが難しい部分だと思う。相談者側が落ち着いて聞いてくれたらいいけど、来るって事は焦ってる時だから。聞き方練習するなど、会話術が大事。主な取り組み内容「パマトコ」:何回も区役所に行かなく申請できるのは良かった。申請できる内容を増やして欲しい。</p>	賛同	<p>横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」の機能の拡充や改修に取り組むなど、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるようしっかりと取り組んでいきます。</p>
68	重点テーマ2	<p>p46の下部にある、意見交換会で出されたゆとりに関する意見のなかに、保護者の方が「大人と話したい」「ちょっと話せる」を求めているとあります。経済的支援や、こどもを預ける場ということだけではなく、地域子育て支援拠点やひろば、あるいは地域の多世代、多文化な居場所（子ども食堂なども含まれるかもしれません）など、地域にあって過ごせる場所、交流する場所もとてもとても大事だと思います。そこで、ホッとできる。ちょっとした悩みを吐き出せる、そこからサポートにつながったり、あるいはその人がサポーターになることもあると思います。そしてほとんどの居場所は、ボランティアベースなのが現実です。居場所の継続には家賃や場所代がかかります。経済的支援ということだけではなく、地域や企業への理解啓発などもしていただき、それぞれ社会全体でサポーターを支えてほしいです。それがつながっていくことへの後方支援をお願いしたいです。</p>	賛同	<p>頂いたご意見は、居場所の充実や、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
69	重点テーマ2	子育て=大変というイメージが強くて、子育てに希望や前向きさを持つ人が少ない気がする。常に心配事、大変なことにスポットが当たりすぎて、仕事してる方が気が楽、リフレッシュみたいになって、育児って世の中で一番大切な仕事だと思うのに、そこに誇りや喜び、楽しさを見出せていない事自体が残念だし、問題だと思う。失敗しても、うまくいかなくても、いいじゃないかと言合える関係や周りの目が必要だし、子供が1番！子供たちがどう思ってる？どうしたい？どんな大人たちの中で過ごしたい？それをもっと大人が感じるべき。子育ては簡単じゃない。楽することばかり考える風潮が気持ち良くない。子育てってすごいことだよ、って讚えあえるみんなの気持ちがほしい。学校も社会も窮屈。それでは伸び伸びした子どもは育たないし大人のために合わせた子供が育ってる感じがする。大人たちが手を取り合って心にゆとりを持って楽しく子育てしたい。	賛同	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組や、子育てを温かく見守る地域づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
70	重点テーマ2	計画の中で特にこの重点テーマ2が重要だと感じます。子を産むときだけお金を出されても困ります。親も安心して働けるよう、絶えることなくこの計画を進めて行って欲しいと思います。よろしくお願いします。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
71	重点テーマ2	概ね希望通りの保育園に入れることができれば良いと思う。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性（4）保育・幼児教育の場の確保」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
72	重点テーマ2	経済的なゆとり、仕事と家事の両立ができると、親も精神的に穏やかな気持ちで子どもに関わることができるようになります。	賛同	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
73	基本施策1	妊娠、出産に対する助成金を手厚くしてほしい。	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
74	基本施策1	妊娠から対応されると記載がありましたが、妊活をしている人も対象にしてほしいなと思いました。なかなか表面化しませんが、妊活でしんどい思いをしている人は多いです。（私も妊活をしています。）子供の数を増やすことを目的の1つとするならば、子どもを産みたいと思っている人も支援をする対象にすべきではないかと思いました。	賛同	頂いたご意見につきましては、不妊・不育相談等支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、令和6年7月から無料で専門家に相談できる「ヨコハマ妊活 SNS 相談」も実施しています。
75	基本施策1	基本施策1「一貫した支援の充実」は良いと思う。今までも色々良い政策があるが会社の理解が無く利用出来ない人もいます。会社の理解、一緒に働く部署の理解が無いと利用出来ない。働くのが男性側、女性側、関係なく、絶対に理解が必要です。	賛同	妊娠期からの切れ目のない支援の充実とともに、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
76	基本施策1	まず、2024年度10月より開始された出産費用助成金について、今年子供が産まれた我が家にとっては、非常にありがたいサポートでした。大変感謝しております。継続いただけることを願います。第2章の『子ども・青少年や子育てを取り巻く状況』について、コメントします。第5章の支援事業の見込みでは、軒並み支援の対象見込み量が増加しております。しかし、横浜市内における出生数は令和4年に1.16となっており、平成27年を最後に下降し続けています。本事業計画にある計画数は出生数が増えることが不可欠ですが、それらの課題に対する取組が手薄いように感じました。このままでは予定数を達成できないのではないのでしょうか。まずは「生み育てるためのサポートの手厚さ」に重きを置くべきと考えます。冒頭でも申したように、出産費用助成金のような直接サポートが最も早く効果のある施策かと思えます。横浜市に限らず、出生数の増加は、正直言って数万円の補助では何も変わらない段階に入っています。どうすれば現役世代が子どもを生みたくなるのか、横浜市が先陣を切ってご検討をいただくことを期待しております。	賛同	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
77	基本施策1	(関心がある分野：学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進) 産まれた頃から幼児迄の支援はほぼ整った様に感じる。	賛同	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
78	基本施策1	(提案) P7 基本施策1 生まれる前から乳幼児期まで一貫した支援の充実 のぞまない妊娠を防ぐ・プレコンセプションケアの充実・性について相談できる場の設置	賛同	ご意見の趣旨については基本施策1の主な事業・取組「思春期保健指導事業」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
79	基本施策1	基本施策1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実 1. 妊娠・出産相談支援事業 中高生や結婚出産前の若者も対象に含まれるべきです。親になるための支援は妊娠してから始まるものではなく、中高生くらいから親になる・子を育むということを体感で知り、親になるイメージを持たせる。就労後は就労しながらでも子育てをしていける自信と安心感を持たせるための取組が必要です。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策1の主な事業・取組「思春期保健指導事業」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
80	基本施策2	地区センターのプレイルームのリニューアルで親子が集う身近な場の創出 嬉しいことです。ぜひ古くなっている建物を順にリニューアルいただくと子育て世代は集うと思います。雨、風、暑さ、寒さを避けて集える場を皆さん探しています。プレイルームだけでなく、他にも部屋を気軽に使えるようにしていただくとさらに集ってくることと思います。	賛同	基本施策2の「施策の目標・方向性(2) 幼児期の豊かな『遊びと体験』の提供」や、ご指摘の基本施策2の「主な事業・取組」の「地区センターにおける親子が集う身近な場の創出」等、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
81	基本施策2	子育て世帯の意見を聴いて、活かして安心して子育てできる環境を整えて欲しい	賛同	ご意見の趣旨については第6章「1 様々な主体による計画の推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
82	基本施策2	幼児向け室内遊び場の質と量の向上を期待します。(シリウスの遊び場のような)	賛同	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
83	基本施策2	基本施策2に関して 鶴見区内で引っ越しをした際、第二子が0歳だったので赤ちゃん教室を利用したかったのですが、第一子が0歳で無いと参加出来ないといわれました。引っ越して来た親子が周りに知人が居ない中、孤独を感じる事のないような支援があるといいと思います。	賛同	頂いたご意見につきましては、両親教室事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
84	基本施策2	『子育てしている地域社会から見守られている、支えられていると感じる（後省略します）』についてです。32・4%で低く感じ驚いて印象に残りました。私は近所のバスに子供と乗ると席を譲ってくれたり声をかけてくれたり、ありがたかったです。私は以前、席を譲る勇気がありませんでした。しかしこの経験で自然と席を譲ることができるようになりました。コロナ禍で地域社会からの見守りや支えを実現できずにいましたが、今はできるようになりました。数年後の調査結果も見たいです。数値があがっていますように。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策9の「目標・方向性（2）こどもを大切に作る社会的な気運の醸成と安全・安心な地域づくり」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
85	基本施策2	基本政策2今はネットでしかコミュニケーション取れない方が多い中、「目標・方向性5」の環境づくりは良い事と思う。	賛同	頂いたご意見につきましては、地域ぐるみでこども・子育てをあたたく見守る環境づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
86	基本施策2	地域の子育て支援は、保育園や地域の公共施設が地域の中で親子が孤立化しないよう見守ったり、相談を受けたり、重要な役割を担っていると思う。そういう人材を育てることも、課題なのではないかと思う。	賛同	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育の質の確保・向上や、地域子育て支援スタッフの育成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
87	基本施策2	子育て広場や子育て支援拠点、保育園の園庭開放など、自宅保育をしても遊びに行ける場所が色々あるのはすごく助かっています。	賛同	引き続き計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。
88	基本施策2	未就学児の遊び場、OKの居場所、イベントは結構増えてきていると感じます。パマトコアプリア、横浜市のLINE、委託の子育て支援拠点のLINEなど、プッシュ型の通知でお知らせが来ると嬉しいなと思います。ハマハグはあまり使えていないなと思うので、どうしたらうまく活用できるかなと思います。	賛同	横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充にしっかりと取り組んでいきます。
89	基本施策3	施策分野1「すべてのこども・子育て家庭への切れ目のない支援」について。出生～乳幼児期と学齢期以降について、はっきりとではないが支援が切れてしまう印象がある。子どもについての保育園や幼稚園から学齢期への円滑な接続についてはある程度努力されていると感じるが、保護者が取り残されている感覚が強い。保護者に対しても円滑な接続と継続的な支援が必要だと考える。（例えば、小学校の細かな情報や様子・宿題についてなど家庭での必要な対応などインフォーマルな部分についての情報がぱったりと入ってこなくなる。地域での子育て支援の対象が未就学児までのためその後気軽に相談できる場所が実質近所にまったくない等）	賛同	ご意見の趣旨については基本施策4の「目標・方向性（2）いわゆる『小1の壁』の打破」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
90	基本施策3	病児保育を利用しやすくしてほしい。病児保育施設の増設、スタッフの確保をしてほしい。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
91	基本施策3	保育園では現在サブスクを取り入れているところと取り入れていないところがありますが、統一してオムツや紙エプロンのサブスクがあると嬉しいです。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「主な事業・取組」の「にもつ軽がる保育園事業」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
92	基本施策3	病児保育はほぼ予約が取れない状況であり利用できなかったことがないので、病児保育施設を増やしてほしい。	賛同	ご意見の趣旨については基本施策3の「目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
93	基本施策3	保育に関わる立場からです。保育士確保、質向上にご尽力いただきありがとうございます。保育士のなり手不足の現在、中高生のキャリア支援の観点を含め、教育委員会も含めた取り組みが必要と感じています。	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策3の主な事業・取組「将来の担い手の確保と潜在保育士の復職支援」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
94	基本施策3	小学生の母です。10年前に比べると妊娠から乳幼児期の横浜市の施策はここ数年で改善されているように思えます。当時、保育園に入れない、空きがあっても家から遠く現実的ではない、に直面していました。子供は授かり物なので、いつどのような状況で妊娠しても安心して産める、育てられる環境を行政が出来るだけ作っていただきたいです。	賛同	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
95	基本施策3	基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続 病児保育事業につきまして 数年前に港南区に大規模病児保育施設があり、「予約当日OK、朝7時開室、小児科・調剤薬局併設、親は診察に同席しなくてOK、服薬は施設で行う、親は働いていなくても預けは可能、夜10時まで営業」という夢のような施設でした。当時、次女が1～2歳で再就職したばかりで、この病児保育施設を何度も利用させていただきました。しかし、この病児保育施設は市が認めたものではなく、結局市からの補助が出ずに閉室となってしまいました。現在の横浜市が認める病児保育施設は受入人数が少なく、すぐに予約が埋まります。「ここは急病の子供を預かりますので、インフルエンザ等の場合は、3日目以降は仕事の都合をつけてお家でお過ごしください」と言われたこともあります。また、小児科で診察を受けて書類を書いてもらわないといけず、9時に小児科に駆け込んでも、診察が終わり薬が処方されたら11時。そこから病児保育に預けて、「必ず17時半にはお迎えに来てください」となると、いったい何時間働けるのでしょうか。病児保育施設の拡充を強く希望いたします。	賛同	病児保育の充実については基本施策3の「目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
96	基本施策3	基本施策3 「乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続」の中の主な事業、取り組みのところに保育士の賃金向上、待遇改善も加えていただきたいです。この施策3にあげられている目標、方向性を達成するには十分な人員と知識、技術の他に高い志が必要であり、現在日々の激務をこなす保育士たちにとっては更に負荷がかかることは容易に想像がつきます。現状の保育士の待遇のままでは到底成し得ない机上の空論と言わざるを得ません。	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策3の「目標・方向性（5）保育・幼児教育を担う人材の確保」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
97	基本施策3	一時保育がもっと使いやすくなるといい。保育園に入れる前に通院などでどうしても預けたいときに気軽に預けられる感じではなかった。	賛同	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
98	基本施策3	保育所での不適切な保育、事件について頻繁に報道されています。横浜市として、どのように対応していくのか記載してください。	賛同	【基本施策3の「目標・方向性（1）保育・幼児教育の質の確保・向上」などに盛り込まれており、虐待や不適切保育の事案を把握した際は、迅速な事実確認と指導を行い、外部専門家による改善サポートを実施する等、児童の安全や保育・幼児教育の質の確保・向上を図ります。
99	基本施策4	中学生の給食開始を早く実装できるよう、頑張ってください。	賛同	頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。
100	基本施策4	月に一度、自治会館を借りて放課後のこどもの居場所を運営しています。私自身が子供時代の駄菓子屋でたむろした思い出をイメージした居場所です。今はそういった場所がないと感じたから始めました。安全に楽しめるこどもの娯楽が必要だと思います。大人の意見は賛否あると思いますが子ども達はたくさん来ています。ぜひ、子ども主体のプランを実現させてください。	賛同	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
101	基本施策4	小学生の朝の居場所作りという点では取り組みが早ければ早いほど、親にとっては安心して仕事することに繋がります。保育士をしています、子が小1になったことにより、朝の勤務時間が遅くなりました。保育園に子を入れている時より時間の使い方に困っています。なので、今回の施策はとても魅力的だと感じました。	賛同	頂いたご意見につきましては、小学生の朝の居場所づくり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
102	基本施策4	0歳から●●プレイパークに通っていますが、地域の方々のボランティアには大きく支えられています。さらに、小学生との交流もとても大きく、年齢を超えた遊びが互いにできる環境は、素晴らしいです。	賛同	計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。
103	基本施策4	子どもがのびのびと過ごせる場所(屋外も屋内も)がたくさんあると良いなと思います。現代の子どもは習い事や塾が過多となっていて、のびのびできず、そういう子ども時代は本当に豊かな人生といえるのか、考えさせられます。	賛同	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
104	基本施策5	いつもありがとうございます。市内で児童精神科クリニック、また障害児通所支援事業所を営んでいます。基本施策5についてです。目標（1）「地域療育センターを中心とした」に含まれる方針だと思いますが、療育センターの待機問題の解消、またそれを補う地域のサービスの拡充を是非引き続きご検討いただきたいと思います。またあずかり的な機関ではなく、きちんと療育を行なっているような機関に通わせたくても共働きで通わせることが困難なご家庭も多くあります。そうしたご家庭に対してもぜひ療育を受ける権利の保障という観点からもサポートいただけるような形があるとありがたいと感じております。指標：療育センターの巡回の目標値3500回とのことですが、その根拠も知りたく思います。療育センターを利用され、併せて保育所等を利用しているお子さんの総数なども併せてご提示いただくと必要数などが判断しやすいかなと思いました。よろしく願い致します。	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策5の「目標・方向性（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。なお、指標としている地域療育センターが実施する保育所等への巡回訪問回数は、市内の保育所、幼稚園、小学校等、地域の関係機関で巡回訪問を希望する施設等に対し複数回の訪問を想定しています。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
105	基本施策5	基本施策5 障害児・医療的ケア児等への支援の充実について。診断がついて支援が必要と言われた子供でも、障害が軽度であるほど地域療育センターでの療育を受けられません。障害の程度に関わらず必要な支援を受けられるよう、地域療育センターの拡充を望みます。特総センター（就学相談）との連携も強化していただきたいです。	賛同	地域療育センターの支援の拡充については、基本施策5の「目標・方向性（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実」に、特別支援教育相談センターとの連携については、「（2）将来の自立等に向けた療育と教育の連携等による切れ目のない支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
106	基本施策5	非定型発達児やその親をフォローするための場をもうけてほしい。親同士の共助で個人に対する支援と市の支援の中間を埋めるものを作り出してほしい	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策5の「目標・方向性（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
107	基本施策5	基本施策5 ・地域療育センター運営事業 障がいのある子どもや医療的ケアが必要な子どもの受入にも積極的に取り組んでいる園が増え、特に療育センターの巡回訪問事業はとても有意義ですが、一回の訪問ではなかなか子どもの特徴をつかみきれないことがあります。是非一人に対する訪問回数を増やすことを希望します。	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策5の「目標・方向性（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
108	基本施策5	基本施策5 地域療育センター運営事業 ・障害のある児の割合が12%、10人に1人という中、療育センターが新設されない方針だとすると、通園に入る前の広場的事業の大切さはもとより、通えない人のフォローとして保育園や他を探す手立て、巡回訪問の数を増やすなどの工夫を期待したい。 ・訪問と両輪でやはり初回面談の場としての療育センターの特に通園の機能は大事だと思われる。相談体制の簡略化も図られているようだが、補完する意味でもっと地域と連携し、新しい形や方向性を模索していく姿勢が示されたい。 伴走者の役割、児童発達支援事業者や放課後等デイサービス事業者の人材育成機能とも連携して行って欲しい。 ・きょうだい児を抱える支援については親の会に未登録であると親である当事者同士でやり抜いている現状。家族支援のあり方も必要な着眼点ではないか	賛同	ご意見の趣旨については、基本施策5の「目標・方向性（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
109	基本施策8	基本施策8・・・ 子ども家庭センターを至急全区に開設してください。	賛同	頂いたご意見につきましては子ども家庭センターの全区設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
110	基本施策8	（「児童虐待防止対策と社会的養護の充実」について） 行政でできる整備はかなり進んでいると感じます。あとは、一市民が何ができるのか、ということだと思いますが、何ができるだろうと、まだまだわかりません。まずは挨拶から、でしょうか。	賛同	頂いたご意見につきましては、児童虐待対策の総合的な推進の上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
111	基本施策9	基本施策9 指標のなかに、男性の育児休業取得の目標値を入れてください。	賛同	基本施策9において「市内事業所における男性の育児休業取得率」の指標を設定しています。 頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
112	その他	共働き世帯が増加している中、子育てしやすい地域が今後人気が出るし、生き残れる街になると思います。自分も30年以上横浜市に住んでいますが、より住みやすく、みんなが憧れる街にしたいと思っています。がんばっていきましょう！	賛同	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
113	その他	私は現在3歳児、0歳児の母です。泉区●●に住んでおります。山中市長になり子育て支援を拡充して頂いてるなと実感しております。具体的には出産、子育てへの一時金の増額。デジタル申請が可能になった事で時間の短縮。	賛同	計画の推進に向けて着実に取組を進めてまいります。
114	計画全般	子育て世代に敬老パスのようなものがあつたらとても助かります！経済的にもですが、子どもを連れて外へ出ることは母親のリフレッシュ、虐待防止にもつながるのでは無いでしょうか？無料とは言わないですが、月低価格で希望者にどうでしょうか？	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
115	計画全般	どうして保育園や高校無償化などは対象の子供の数で支援が決まるのでしょうか。第二子、第三子にも関わらず、歳が離れたことで第一子とカウントされる仕組みを是非変えてください。国の方針だからという回答は不要です。年子や多胎児などが大変なのはわかります。計画的に子供を迎えたり、不妊治療を経て子供が生まれたら歳が離れるということはあると思いますが、歳が離れば離れるほど保育料の多子減免などは受けられなくなります。負担が大きく子供を諦めなければいけない家庭も多いでしょう。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
116	計画全般	子供乗せ自転車が駅前駐輪場に止めにくい状況があります。そもそも駐輪場自体がいつも満車であることと、子供乗せ自転車の幅が大きいためラックには入れにくい事が問題です。駐輪場の拡大やラックの幅を広げるなどの措置を取って欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
117	計画全般	生活において、1番固定費がかかっているのは、住宅に関するお金です。子育て世代の家賃補助あるいは住宅ローンのプランなどがあると、東京ではなく横浜市に住もうと思えると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
118	計画全般	全体的に東京都や千葉県の流山市などに比べて施策が遅れている印象があるので、よりスピード感がある施策実施をお願いしたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
119	計画全般	高齢者や障害者だけでなく妊婦も市営バス利用割引など優遇措置を講じてほしい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
120	計画全般	朝6時には子どもを起こし、保育園に預け8時勤務開始。保育園から子どもを迎え、自宅に帰るのが20時過ぎ。小さな身体で13時間以上保育園で社会生活営み、疲労で寝られず22時過ぎに寝付くような生活リズムを過ごしてる。世間では子持ち様と揶揄され、外出中も周囲に迷惑をかけないよう意識して生活してる。(threadsやXで、子持ち様と検索してみてください。) 基本施策9 指標 高齢者を肩車しながら、激動の時代を乗り越えなければならない子どもに対する投資が、あらゆる面で足りていない。財源をもっと未来の子どもに向けるべきだが、現状整ってないのが、【子育て環境が整っている事を理由に、横浜市住みたい割合が15%】【子育てが地域社会から見守られ支えられていると感じる保護者割合3割未満】にも反映されてるのではないのでしょうか？	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
121	計画全般	東京都や他の都市に比べて、独自の子育て政策がないので、東京都でやっている施策は取り入れていくべき。横浜市のメリットが何もない。特に高額納税者は不満しかないと思う。通学路に関しては、事故がないように、フェンスを設置するなど安全性にも力をいれてほしい。また私立の学費の援助なども独自で導入してほしい。自分達にメリットがなく、やたら住民税が高い横浜市は子育て世代は住民税免除など思いきった政策しないと少子化が止まらないのと、他の都市へ流出が増えていく。横浜市の子育て政策が検討ばかりで何も進んでいないし、東京都みたいにスピード感もない。何の仕事をしているのでしょうか？アプリの開発よりやることはあると思う。きちんと子育て世代の声を聞いて、役に立つ政策をしてください。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
122	計画全般	愛国心を持たせる教育をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
123	計画全般	インフルエンザの予防接種を受けやすくしてほしいです。子供のインフルエンザ予防接種をそもそも実施しているところが少なく、土日に集中するため予約が大変です。予約方法も病院により、電話のみで全然繋がらない、来院のみなど。結果、土日にやってくるWEB予約可の病院に集中します。子供がいる家庭が受けやすい体勢づくりを希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
124	計画全般	特に後遺症にまだ大きな脅威があるコロナなど、感染症への対策をお願いいたします。特に換気効率が減る夏・冬は空気清浄機などの設置などご検討願います。	参考	頂いたご意見につきましては、計画を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
125	計画全般	パブリックコメントを求めたいのであれば、資料の見せ方にも少し時間をかけた方が良いと感じました！情報を詰め込んだ資料よりも、読み手がイメージしやすく、自分にどういうメリットがあるのか、何が変わるのかを端的に要点を伝えられるとより良い資料になると思います！是非皆がより関心を持って参加できるように改善をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、第6章「5こども・子育て支援に関する情報発信や情報提供の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
126	計画全般	教師側、生徒側、そして生徒のテリトリーがきちんと整備されていないと感じます。お互いが遠慮していても良い環境が作れません。もっとフレキシブルに生徒側が入り込んだり、学校側がもっと積極的に生徒について生徒側に意見をしてもらえると良いと思います。あゆみだけで最後に言われても困る時があります。信頼関係を築いていけると良いと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
127	計画全般	出生率を上げるために、まずは婚姻率を上げる取り組みをして頂きたいです。横浜市中で、出会いや、結婚をサポートする仕組みがあったらいいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、結婚・妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」のための環境づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
128	計画全般	発達障害の者です。資料を読みましたが内容がよくわかりませんでした。わかりやすい資料もほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、第6章「5こども・子育て支援に関する情報発信や情報提供の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
129	計画全般	子供手当について 夫は家を出ているが住所変更せず別居5年、県外で愛人との子供を養育している。区役所窓口にて、実質育てているのは妻で、妻側に支給すべきであり、居住実態も無い横浜市から給付され他県で愛人との養育にこちら側の子供手当やコロナ給付金が使われている事はおかしいと伝えたところ、通らなかった。又、埼玉や東京など別の都市部では上記の例では支給口座は妻側に認めて貰える。横浜家裁の調停員も何故だと首をかしげていた。結局、調停員さんが支給されるべきは妻側が正当だと思うと夫に伝え相手も了承したが、支給日を過ぎても妻側に振り込まれていない現状。誰のための制度で、誰が貰うべき給付なのか、壮大な計画なんてどうでもいいから横浜市は目の前の子供さえ守れていない現状を今一度よく考えて正しい対応を願いたい。税金を払っても助けて貰えず、何がわくわくプランなんだ。	参考	頂いたご意見につきましては、児童手当支給事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、児童手当は、児童手当法等に基づき全国一律で定められている制度です。例えば離婚協議中で配偶者と別居している場合は、その事実を確認できる書類（離婚協議申し入れにかかる内容証明郵便の謄本、調停期日呼出状の写し、家庭裁判所における事件係属証明書、調停不成立証明書など）を市区町村へ提出し、児童手当の認定請求を行うことで、児童と住所が同じ方が児童手当を受給することができます。
130	計画全般	子育ての中で支援窓口を探した実感として、ワンストップ窓口の必要性を強く感じています。子育て当事者は「支援施策の一見さん」です。自身、子供の困りごとに照らして、どこに問い合わせたらいいのかを考える、調べる時点で支援を受けるハードルが非常に高いです。横浜市のように大きな自治体で支援組織が多岐にわたるのであればワンストップ窓口の充実がとにかく重要だと思います。どのような悩みであれ、ここに連絡すれば適切な支援につながってもらえるという窓口の設置と周知・広報とにかく力を入れていただきたいです。子育て当事者、あるいは子供自身が、どこかに相談しようと思うのは、限界をとうくに超えてもうどうにもならなくて、場合によっては死も考えるような状況の中で薬にもすがりような思いで探しはじめます。検索して、多数の結果から吟味するなど無理です。その1つのハードルが、鬱、虐待、自死に続いています。「横浜市 子育て」くらいの検索ワードでワンストップ窓口が検索の一番上に来るくらいの対応をお願いいたします。支援もできれば、幼少期から青年期までワンストップでしていただきたいですが、せめて窓口だけでもワンストップで。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
131	計画全般	スマホだととても見づらいです。読めませんでした。見せる相手のことを想定して、寄り添った結果こうなったのでしょうか？ きっと変わり者しかまともに見ないと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、第6章「5こども・子育て支援に関する情報発信や情報提供の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
132	計画全般	産んで終わりだと思ってますか？どのような調査を元にこの計画を立てましたか？乳幼児期、小、中、高、大学までの子どもを持つ様々な所得レンジの世帯を調査しましたか。子育て世帯が抱える問題の把握・理解ができていると思えません。小1の壁あたりまで、あとは各家庭で宜しく、という計画にしか見えません。扶養控除すらないのに、子どもを複数持とうなんて到底できません。少し頭の良い人なら子ども1人でやめておくでしょう。この物価高、学費の値上がり、考えてみてください。せめて東京都と同じく、公立高校無償化くらいやってみせてから計画をだしてください。そのくらいやって初めて子育て支援です。うちは奨学金を借りられません。よって子どもは進学先を絞られます。なにが「みんなが主演」ですか？どこが「わくわく」ですか？親の所得で子どもを差別しないでください。将来の選択肢を狭めないでください。怒っています。横浜市に失望しています。乳幼児・就学までが子育てだと思わないでください。問題は高学年以降です。その点、必ず見直してください。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
133	計画全般	具体的な内容、予算などの明記がなく、その予算をどこから持ってくるのか、どのように実現していくかが全くわからない。色々課題があるが、重点項目を一つに絞り、優先順位を決め、集中的に取り組み、成果を一つずつ確実に出すのが正と考える。満足度の高い都市を参考に、良いところを抽出して検討して頂きたい。課題としては、ニュースになるような乳児から児童等の問題(いじめ、交通事故、乳幼児の事故)がないような対策も、必要と感じる。	参考	頂いたご意見につきましては、計画を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
134	計画全般	読むのが面倒なほどの資料なので全部は読みませんでした。何をどう言っても変わらないいんじょ、という気持ちです。まだ未成年の子がいるので子育て中ですが、同じく子育て中の方々の意見はいつどの様に汲み取ってもらえるのか。聞いていったらきりが無いところもありますけど、まず聞いてみる、から始まっているのか疑問です。日々大変で、こういう事に割く時間もままならない方が多いと思います。それでもその方々の声の一つずつ聞いていくのも大事かと考えます。	参考	計画策定にあたっては、令和5年度に市内全区で子育て中の方等による「グループトーク」を開催し、課題に感じていることやこんな支援があったらいいなといったお話を聞きました。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
135	計画全般	どうしても東京都と比べてしまうのですが、子育てがしにくい街だと実感しています。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
136	計画全般	根本的に施策の前提がズレているように感じました。出生率が下がる根本理由は、賃金があがらないのに物価等はとにかく上昇、十分に育てられる資産がないと判断してしまう・育児支援の手段が保育園など時間制限があるものに限られていて、子どもがいる方が多忙すぎる状態。まだ子どものいない特に横浜市で高齢な方が増え出生が上がらないのでは・東京と比較し育児支援がとにかく不十分を感じるではないかと考えています。横浜市はきょうだい児も年齢が離れるときょうだい児として計算されず、保育料なども軽減されません。出生間隔はふたり目が不妊などもあるためここでの足切りは不適切であると感じます。シッターについては横浜市の市民からの意見への回答をみて理解されてないことに驚きました。保育園やこども園があっても、夜まで働いている家庭はカバーができません。両親とも夜も遅くまで勤務する家庭は多く、シッターサポートはほぼ必須の状態の家庭が多く見受けられます。フルで働くことができ、3人産んでも大丈夫だと思えるためには、相談窓口より何より、経済面のサポートこそ優先、窓口系は完全オンライン化が肝かと思えます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
137	計画全般	市立中学の通学時の荷物（教科書）がとても重いのです。教科書に資料集に、ノートが6時限分となると、とても重いのです。せっかくタブレットがあるのですから教科書や資料集を全て持ち歩かなくても良いようにできないでしょうか？	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
138	計画全般	そもそも子どもに対する施策の割にたった5年。微妙な期間です。また全体的通して、ほわっとした施策ばかり。意味がない。具体的には何をサポートしてくれるかわかりにくい。また、サポートのあり方としては市の教育委員会の考え方から変わるべきではないか？共働きが増えているのに、小学校では、授業参観や運動会の代休、音楽会、引取り訓練、短縮授業、登校同行週間や旗振り、個人面談、PTA活動。全て休んだり早退しないといけません。地域では、自治会、子供会で日曜日や夕方に強制的な集まりもです。地域の老人や学校の先生たち、自治体、横浜市民、その取り巻く環境の人達そのものの考え方からまず変わってくれるような施策を率先して行ってください。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
139	計画全般	学童支援の先生等給料の支給	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
140	計画全般	とても長い文章で読みきれません。仕事や子育てに1番忙しい世代には回答が難しいと思いました。今現在とこのプラン後がどう変わるのか、どう改善されるのか分かりやすくして頂かないとわかりません。本当に子育て世代の家庭の事を考えてくださるのなら、もう少しやり方を考えてください。	参考	計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。
141	計画全般	この計画は、本当に子どもや女性、働く保護者の目線に立って作成されているのでしょうか？詳細な内容ではありませんが、活字優位の構成で文字数が多く、なかなか時間がある人しか目を通せないものだと思います。本当に支援が必要な人がこうした情報を目にできるように、簡潔にわかりやすくグラフィック等を用いて公開するとよいと思います。また、この計画で書かれている子どもや共働き世帯を取り巻く状況は横浜市に限ったことではなく、日本全体の社会課題にも通じています。少子化や未婚化などの背景には、若年層への経済政策の不足や、家事・育児は女性がするものだという価値観が未だに根強く残っていることも一因です。先日、国連の女性差別撤廃委員会が8年ぶりに日本のジェンダー平等への取り組みについて審査し、日本政府に対する勧告を含む「最終見解」を公表しました。国連の担当委員は「根強い課題の一つは、日本文化に深く根付いた、家父長制的な観念にあると感じます。行政や法的手続きなど、あらゆる面に反映されています」と語っています。横浜市は国に先立って、こうした国際社会からの提言に耳を貸し、行動することで先例を作っていくのではないのでしょうか？	参考	計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。また、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
142	計画全般	<p>小学校で遠足や学校内で怪我をしたら保護者に必ず保健室から連絡下さい。担任が学校行事のけがに保健室を利用させてないし、医療機関の紹介もなく学校内のけがに担任から保護者に子供の怪我に謝罪もなく困りし、怪我に消毒とぶつけたら冷やす、首から上の怪我や学校で蚊の対策も出来ず皮膚が腫れたり膿んだりもしたから対応できる小学校に連携医がいないから港北区の学校にも首から上の怪我を見してくれる開業医と怪我をみる皮膚科や形成や外科医や整形で学校の怪我也見る連携医を横浜市で数名決めて、保護者が学童、学校に安心して預けられるようにして下さい。感染症は、コロナに似ているから合併症が出る。喉や頭痛がでる親も四回はなりやすい溶連菌、マイコプラズマ肺炎、咳が2ヶ月弱は、親と子供の数をカウントして、隠さずに学校で出して下さい。小児科、内科や耳鼻科で検査、親子で。市販の検査キットも溶連菌とマイコプラズマと胃腸炎とアデノの検査キット製造がぜひ必要です。基礎疾患がある親に子供達の感染症がうつらないように検査キットも今年は、横浜市も用意して欲しい！抗生剤にアレルギーがある方も除菌が大変だから先発品有料反対します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
143	計画全般	<p>事業計画名 こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランは何を指しているか難解。おそらく意味は、社会のみんなが支援の主役になるという意味だろう。だが実際そんなことはない。子育て主体はあくまで親、他人や社会が果たす役割は非常に小さい。また、よこはまわくわくプランという表現をひらがな書きや擬態語を用い柔らかな印象を与えようとするが、まやかしは不要。別ネーミングを考えるべき。例えば、横浜、幸せ子育て計画。本計画案の指針の立て方はおかしい。本来子育ての原則は親が責任を持って行うもの。その前提ならば主に親を支援すべき。また未就学児世帯の共働き世帯の割合が69%に達する現状に対し、さらに母親の就労を勧める前提で議論が進められるが間違っている。子が乳離れする歳まで母親とずっと家で過ごせるよう金銭的援助するならば意味がある。また子育て家庭のゆとりについても、親が子供を保育施設に預けずに家で直接育てるケースに補助金を出すなら有効だろう。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
144	計画全般	<p>アプリとかいらんから東京都と同じ事やれば良い</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
145	計画全般	<p>第二章 こども・青少年や子育てを取り巻く状況 2 こども・家庭の状況 に挙がっている項目に対して有効な施策が見えない。取り組んでいるのであれば分かりやすく直接的に記載してほしい。多くのものが今の延長線上と捉えられ、変わらないという印象を受ける。取り組んでいる活動を、辞めるもの・続けるもの・始めるものと3つに分けて、それぞれ関連と評価と費用の割合とを併記したリストが多くの人に届けられると嬉しい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
146	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> ・計画だけにしないで欲しい。 ・目標にありがちな、表やグラフは数字のマジックでどうにでもなるし、パンフレットを見ればなかなか現状に満足しているように見えるが、私はとてもそう思えない。全く実感できる数字ではない。あえてでいいので、悪い所を切り取る資料を作成して、上司が満足する資料ではなく、みんなが何が問題か話し合える資料を作って欲しい。本当に困っている人はアンケートすら答えられないほど絶望している。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、第6章「3計画の点検・評価等」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
147	計画全般	・無理やりひねり出した数値目標が多すぎる。教育と経営は異なるので、目標に立ち返って、現実的に進めるべき。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
148	計画全般	こどもの視点に立った支援 という視点ですが、このプランの内容自体がすでに子どもには難しい内容です。こども達みんなが分かるような絵や分かりやすい図、言葉で伝えるようにしてもらいたいです。	参考	計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。
149	計画全般	(ユースプラザに関するご意見) 年齢制限の幅をもっと上下ともに広げてほしいと思う。もっと若い人や年齢が上の方も広く利用できると良いのではないかと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、地域ユースプラザ事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
150	計画全般	ニーズ調査について。無作為抽出からの、回答率50%で、「年間収入は1,000万円以上の家庭が約3割である一方、300万円未満の家庭は約4%」との結果だが、これは横浜市の実相を表しているのでしょうか。アンケートに答える余裕のある家庭の「ニーズ」に偏り、本当に困難を抱える子育て世代からの声が十分に反映できないのではないかと危惧します。無作為抽出ではなく、ある程度横浜市の人口構成の割合（父母の年齢や収入など）に沿った形での調査を行い、ニーズを掘り起こすべきではないかと思えます。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て世代・世帯のニーズを的確に把握していく上で、今後の参考にさせていただきます。
151	計画全般	計画全般を拝見すると、基本施策の1～3が未就学児までの対策になっています。子ども大綱を踏まえた「こどもまんなか」と言いつつ、計画では子どもを預けて働く「親の対策」に偏っているように感じます。子どもを中心に考えたとき、ケアを厚くするべきなのは小学校高学年から高校生までの年代だと考えます。居場所の確保、ネット環境とのかかわり方など、犯罪に巻き込まれないような対策や未来の地域の担い手としての活動の豊富化などを充実させるべきと考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
152	計画全般	『こども・子育て支援に関わる人材の確保・育成の推進』地域の担い手の確保・育成に取り組み、支援の充実を進めていきます。 について 現在、社協のボランティアで子育て支援（未就園児親子の遊び場）のスタッフとして関わっています。スタッフの中には、発足当時の30年ほど前から長く続ける方が多い反面、新しいスタッフがなかなか入ってきません。このような地域有志の活動に関しても、広報していただいたり、子育て支援に関する研修を受けさせてもらえるとありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、地域子育て支援スタッフの育成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
153	計画全般	そもそもこの意見の場を知る方法は区役所に行って資料を見ないと知ることが出来ない。本来子育て家庭皆に確認すべきだと思う。少数の意見を聞いてやった気にならないで欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、第6章「5こども・子育て支援に関する情報発信や情報提供の推進」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
154	計画全般	<p>推進体制を読んでも具体的に身近な組織がなくこれで横浜の隅々まで計画が行き渡るのかと疑問に感じます。現在、公共図書館の絵本の読み聞かせボランティアと地域でおはなし会をしていますが、家庭の経済格差が絵本や子どもの読書への関心に反映し絵本から遠い環境にある子どもたちほど置き去りにされているのが現実です。そういった現実をどう打開するのか、子ども子育て支援会議のようなものをもっと地域密着で組織する必要があります。これは町内会のようなところに丸投げしては上手くいかず、思考し、動ける組織でなくてはなりません。子どもの意見表明を重視していることは大いに評価できると考えます。また子どもたち向けの説明書とパブコメを実施されていることも画期的なことと捉えています。一方、このことは対象とする全ての小中高生が知るところでしょうか。これこそ学校教育の中で取り上げ、パブコメを寄せるサポートをするべきだと考えます。中学生たちと話す、学校、教師に対する不信感でいっばいで、差別的、自分たちの意見は何も聞こうとしない、選挙なんて行っても何も変わらないと諦めています。意見を寄せれば変わる体験をさせたいと願います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
155	計画全般	<p>それぞれの施策のアウトカムと指標について、特に件数の部分が何を根拠にその絶対値を置いているかがわかりにくかった。どこかに記載されているかもしれないが、パッと紐づけることができなかった。また例えばキッズクラブの利用満足度についてすでに約9割がすでに満足している中でなぜ95%を目指すのか。すでに高い数値を高めることだけでなく、新たなアウトカムを生み出すような新たな取り組みを期待したい。他の社会施設同様にクラブを利用することによって社会生活・学校生活の何かの側面で役立っているかを測るようなものでもよいのではないだろうか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
156	計画全般	<p>わくわくプランについて拝見いたしました。私なりに感じたことを伝えさせていただきます。「横浜市こども・子育て基本条例」の施行に合わせた計画となっているとのこと。まず、その周知だとは思いますが、こちらに「こどもの権利」という言葉が無いことが気になります。「こども基本法を踏まえて」とはありますが、批准されている「こどもの権利条約」のことが書かれていないので、市が何を目的にしてこの計画を実行しようとしているのか分かりづらいです。「こどもの権利」や児童の権利という言葉が無いなかで「こどもまんなか社会」は生まれないのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
157	計画全般	<p>実際、この計画の中には、子育て支援のために「放課後の居場所づくり」や「朝の居場所づくり」「2歳児受け入れ」「延長保育」などの事業や取り組みが計画されていますが、長時間、施設に預けられる子どもは、果たして自分が社会の真ん中にいると実感できるでしょうか。</p> <p>それよりも、多様な働き方を認める会社を増やすこと（これは基本施策9には触れられていますが）、働くことを急がなくても生きられる社会をつくるのが計画になっているほうが望ましいです。どうして、いま横浜が、社会がこういう状況になっているのか、根本的な解決なしの事業計画には、納得いくものがありません。現在、子どもが真ん中の社会では無いので、子どもを持つお父さん、お母さんは、地域からあたたかく見守られている実感がないのです。「こどもの意見を尊重するための取り組み」をしてあげるという上からの目線も感じます。子どもには意見を表明する権利があるのです。行動する権利、自由な時間を持つ権利、人として大切にされる権利…子どもにはひとりひとりに人格があり、権利を持っているのです。そのことを念頭に、横浜市条例を改良し、計画を立てていただきたいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
158	計画全般	<p>子どもを真ん中にして、どんな街づくりをしたいか、という点で町田市の条例がとても参考になる気がします。ぜひご覧ください。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で参考にさせていただきます。</p>
159	計画全般	<p>素案への意見</p> <p>◎こども基本法は、こどもの権利に関する条約（こども権利条約など）の精神にのったものなので、より子どもたちにも分かりやすく、「子どもの権利」についての条例を盛り込んでいただくか、このわくわくプランをもとに、新たな「権利に関する条例」を制定していただくことを望みます。</p> <p>「安心・安全に生きる権利」「暴力・虐待・差別などから守られる権利」「自分らしく自由に行動し育つ権利」「意見を表明し、社会に参加する権利」など</p> <p>こうしたことを元に作られたプランかもしれませんが、今回の「やさしい概要版」でも、子どもたちに分かりやすく伝えているとは思えません。</p> <p>より分かりやすく、根本的な内容の条例を望みます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。また、計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。</p>
160	計画全般	<p>生活圏の中で横浜市がこれまでも乳幼児から学童期の社会資源を増やしてきた中で、その成果としてどの場所においても年々、微増かもしれませんが利用者の多様性が見られてきています。このことを大きな成果とするならば、外国につながる家庭への目標値や障害児の特性に応じた居場所や利用できるサービスの多様性にはその表記が少ないと感じました。今後きめ細やかな対応をしていけるべく、施策における事業を担う立場としては、事業間の役割分担や地域資源として時間や曜日などをフル活用してでもそうした多様なニーズに対応できる方策なども市（行政）と共に当事者の声を丁寧に拾いながら考えていきたいと感じた計画でもありました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
161	計画全般	<p>概要版P2「こども・家庭の状況」および素案P38について</p> <p>「ニーズ調査」のこども本人への質問では、1位に「建物の中で思い切り遊べる場所」、4位に「建物の外で思い切り遊べる場所」が来ている。概要版では、3位までしか紹介されていないため、屋外で遊べる場所のニーズが十分に存在していることが無視されるような記述になってしまっている。3位の「運動が思い切りできる場所」にも、屋外での運動をイメージした意見が含まれているであろうことを考えると、屋外の遊び場のニーズは十分多いと考えられる。概要版に4位の「建物の外で思い切り遊べる場所」を記載しないことによって、屋外の遊び場のニーズがないような印象を与え、バランスを欠く結果になっているので、記載していただきたい。</p>	参考	<p>ご意見を踏まえ、計画策定時に作成する概要版に記載する場合には、4位の「建物の外で思い切り遊べる場所」までを記載するなど、よりわかりやすい表現とするよう工夫してまいります。</p>
162	計画全般	<p>素案上多用されている切れ目ない支援、包括的支援は、当事者家庭にとって、こどもにとって関係機関や制度、サービスで実現するものでなく、それぞれにとっての選択肢が充分示されていることがあるべき姿であり、包括としてひとくりにされてしまうことの息苦しさや自由性の担保が懸念される恐れも指摘されました。素案で示されているめざすべき環境の表現1つ1つが、どんな理念をもって体现されていくか、などの本質的な議論が当事者のニーズを交えて地域の中でもっともっと議論される機会の創出の必要性を感じました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
163	計画全般	<p>計画の位置付け前文</p> <p>・こども基本法・こども大綱では「こども・若者を権利主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る」とこども・若者の権利が随所に明記・明文化されています。</p> <p>令和7年4月に施行される「横浜市こども・子育て基本条例」では、こどもの権利というキーワード、理念の記載がないので、素案の中にも表記できず、守られる立場、大切にされる立場、人権を保障される立場のこども・若者と受動表記にとどまっています。</p> <p>せめて、こども基本法・こども大綱・こどもまんなか社会の説明にある、こども・若者を権利の主体として謳っている旨を正しく記述していただきたい。以下に追記いただけませんか。</p> <p>「こども大綱では、すべてのこどもが権利の主体であり、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会＝「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。」</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
164	計画全般	<p>(日本での子育てで困っていること)</p> <p>ビザの問題。夫婦ともに正社員ですが、子どもたちは親のビザでは永久に日本に滞在することができません。</p> <p>(子育てで心配なこと)</p> <p>夫婦ともに正社員として働いているため、子供の面倒を見ることができるのは両親だけであり、両親のビザが却下されれば、どちらかが辞職しなければならない。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
165	計画全般	<p>(よくなってほしいこと)</p> <p>横浜市は頑張っていると思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
166	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	横浜市が「目指す姿」なら、理解できるが、「目指すべき姿」は、横浜市が誰かに「すべき」と言われている形で、主体性の無さを感じる。子どもの視点に立つ意味で「こども」を主語にしたと思われるが、こどもが発揮したり、切り拓いたり、作り出したりで、文章中に、こどもがやる事がたくさん書かれている割に、社会全体は、「支えて育む」。こどもの方が大変そう。こどもたちのために、横浜市が、社会が、大人が、責任を取ることを約束するような文が望ましいのでは？ここでも、主体性の無さを感じる。	参考	第6章「1様々な主体による計画の推進」に記載しており、あらゆる担い手がこども・子育て支援を社会全体の課題としてとらえ取組を進めていただけるよう、市民、関係者の皆様と連携・協働し、計画を推進してまいります。いただいたご意見は、計画を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
167	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	基本的な視点4についてですが、教育機関においても、子供の内在する力を引き出すような評価をするようにした方がよいと思います。（学校等での評価については、学習指導要領等で国がその指針を示していると思いますが、実際には不公平が出ないように、言われたことができているかどうか重点が置かれているのが現状です。市として、こどもの内在する力を引き出すような支援に取り組むということであれば、教育機関においても同様の視点で一貫性をもって取り組めるようになると、より子供の内在する力を引き出せるようになると思います。）	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
168	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	社会資源や地域との連携はとても素晴らしいことですが、そもそもまず窓口である役所、こども家庭支援課の保健師さんの数を増やして下さい。パートではなく正職員で専門知識のある人を増やして、相談しやすい環境を作って下さい。数年前から各部署メールフォームでのお問い合わせができるようになったのは有難いのですが、こども家庭支援課もいつもとても急がしそうで、相談がしづらいつ感じています。特に発達に不安のある子の相談としてはまず保健師さんだと思っていますが、激務でフォローが行き届いていないことも感じます。保健師さんを増やして下さい。	参考	頂いたご意見につきましては、全てのこども・子育て家庭への切れ目のない支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
169	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	人権保育を理解してほしいし、取り入れてほしい。横浜市が行う人権保育は大阪府のように子ども（お友達）の人権を大切に育てるものではないと感じた。インクルーシブ保育のなかで、発達の凸凹を抱える子どもたちから学ぶことはとても大きい。保護者の理解がないのは保育から自分と違う友だちから学ぶこと、「共に育つ」がないからだと思う。大阪のように生きづらさを抱える子どもたちを中心に私たちや子どもたちが成長し学びあながら社会を作っていけたらなおもう。また子育て支援施設に関してもただいつも同じおもちゃを置いてるだけ、「子が育つ」視点がないと感じる。「子育てではなく子育て」のもとに、子育て支援の環境を親の支援だけでなく子どもの発達に応じた環境を考え作ってあげてほしい。（子どものためではない支援ばかり）	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの人権を守り、こどもの主体性や思いを尊重した保育・教育の推進を進める上で、また、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
170	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	14歳、10歳、4歳の3人の子供を持っています。我が家は楽しく仲良く過ごしていますが、横浜市の子育て環境がより良くなり、多くの人の子供を持つ選択をするようになることを願うばかりです。3人の子育てを経験している身として、本計画をはいけんさせていただきました。根本から疑問をいただきました。結論から、方向性を間違えていると感じます。子ども目線の環境を整える意味ではとても良く、子どもたちの一層の成長に繋がる希望を持てる計画だと感じました。一方で、改善したい問題の本質は、少子化であり親となる世代が「子育てをしたい」「子どもを育てる自信が持てる」「子どもを持って良かった」と思える環境を作り、多くの子供が生まれ、その上で自助・共助の社会が支える環境が望まれるのだと思います。まず初めにクリアすべき課題は、子どもを持つことが人生においてプラスになると思える社会環境作りです。それは、子育て世帯の税金の軽減や、共働きでも大丈夫なシッター制度や、学校や保育園・幼稚園からの家庭への負担をなくすこと（PTAなど）だと思います。いかに親の負担を減らすかが子どもの幸せにも繋がると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
171	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	子供の人数の多い横浜市、子供とは赤ちゃんから小学生・中学生ではなく、社会に出て一人立ちするまでがこどもだと、母親の私は思います。保育所を充実させても、中学の給食を無償にしても、将来安心できる訳でもなく、子供が大人になれる訳でもなく、学び続けられる環境を義務教育後も用意し、所得や景気に左右されない仕組みをこども達に与えたいです。高校・大学などで自分の将来を考え、未来を担える大人になる準備をし、そして初めて、それまでお世話になった周りの人たちや社会に恩返ししたいと思えると思います。義務教育の時期だけではなく、その先の少しおおきなこども達を支え守れる横浜市の未来になってほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
172	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	39才までの支援が少子化対策に効果的とは思えないので支援の対象年齢を引き下げて、引き下げた年齢に対象を絞った施策にすべき。	参考	計画の対象は、こども基本法を踏まえて「心身の発達過程にある者とその家庭」としたうえで、「主に、生まれる前から乳幼児期を経て青少年期に至るまでの、おおむね20歳までのこどもとその家庭」としています。頂いたご意見につきましては、計画を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
173	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	幼児期から就学までの生活の流れで、こどもが困らない生活リズムの提案や工夫が必要ではないかと思えます。就学してすぐ、起床時間が早くなり、字の読み書きの練習など、遊び中心に過ごしてきた子どもにとってハードルが高く、働く家庭が多い中、学校生活を見据えた生活を整えるのは難しいと思っています。就学を案内するパンフレットだけではなく、具体的な横浜市の教育方針や生活リズムの見直しなど動画などで促す紹介があってもよいのではないかと思います。大人向け、こども向けを作成し、就学前検診や懇談会や日々の保育などで流せると良いのではないかと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指す上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
174	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	多子家庭に対する優遇が、その未来予測データと連動していない。出産をあえて選択しないと言う反日的な選択をする人がいるから、我が家の子供たちの将来の負担が大変になってしまうのに、財源となる子供をそれだけの教育で大変さをわかってないし、感謝の気持ちが足りなすぎる。考え直して、多子家庭を経済的にも精神的にももっともっと優遇すべき。このままこのようなプラン内容で走らせれば、いまの子供たちは、いま出産していない大人が高齢者になったときに絶対恨みを持って冷遇する。考え直したほうがいい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
175	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	簡単にシンプルな事ですが、政令都市のなかでも最も市長の給与が高い横浜市が、同時に子育て支援も充実していると有名になれないのはどうしてでしょうか 横浜に住むなら、川崎市の方がマシ。可能なら東京都に住んだ方が良い。というのは有名な話です。市長もお子さんがおありとのことで期待していましたが、特に目立って「横浜市に住んでいて良かった！」「横浜で子育てして良かった！」と思えた事はありません。人口を増やしたいのであれば、是非前明石市長の泉さんの政策を参考にしてみたいかがでしょうか。横浜市は市長さんがたくさんお給料をもらっているけど、その分市民が住みやすいように頑張ってくれている！と自慢できる場所にして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
176	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	児童生徒間のいじめ、教職員による体罰、性犯罪は、刑事罰にあたる犯罪であること。横浜市（地域）が果たす役割の一つとして、支え合う共生の環境が必要だと考えます。加害者の児童生徒や教職員を組織で庇うのではなく、罰することは罰する。そして、被害者こそ助けられる社会を基本視点としていただきたいと提案いたします。	参考	頂いたご意見につきましては、地域等と連携したいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
177	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	P3「こどもに内在する力を引き出す支援」について 一人一人の多様性に触れていますが、学校の現場でそれらが十分発揮される事も盛り込んでほしいです。多くの子ども達が公立の学校に所属し、多くの時間をそこで過ごしています。その大本が目指す支援ができていないかを盛り込むとより良いと思います。今の学校の現場を見ていると、言葉では多様性を発しながら、実際に行っていることは皆一緒、皆と同じように、なんでも揃える事に重きをおいています。本当の意味で多様性を認める学校であったなら、不登校も減るのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
178	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	昨今の闇バイトに加わる若者に対してこの4月に自立した長男と話しました。漠然とした意見でしたがここが本当に重要なのかと思いました。普通に働いても、生活ができない今の社会を感じている。それがこの手の犯罪に手を下す人の考えだと言うていました。うちは母子家庭です。子供のやりたい事を叶えるため、これまでの仕事では経済が回らなく、いい歳をしてこの4月に転職をしました。次男と過ごす時間も減りました。成長過程において必要である子の愛着を満たし、これから起きうる可能性のある悪事の誘惑に子供が乗らないように次に進めていく正しい道を示しているつもりです。実際、非課税状態で一生懸命働いても子供にかけられるお金で精一杯。自分に使えるお金はありません。この先、次男も巣立ったら、死ぬまで働かないといけないんだろうなあと感じています。恐ろしい若者の犯罪のニュースが後をたたず、明日は我が身と恐ろしい気持ちでいつもみえています。未来ある子供達が、夢と希望に溢れて生活していける自治体であってください。子供の夢が社会基盤に乗れる横浜にして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
179	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	市内の出生率アップの狙いがあるようですが、子供を持たない選択をしている人、子供を産む予定のない人々に向けての政策でしょうか？ 子供はいるけど1人(ないし2人)で充分(それ以上は経済的に無理等)という人々に向けての政策でしょうか？ 現在2人の子育て中ですが、前者に向けての政策なのかな、と思えるほど多子に向けての改善がないように感じました。1、(2人)産んでいる人がもう1人産んでもいいかなと思える環境でないと出生率アップは程遠いのでは、と感じました。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
180	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	子育ての世代がゆとりと限定していますが、高齢出産の方も含めるとこの書き方は偏った書き方だと思いますので、修正いただきたい。母親の母体が、健康であれば30代後半でも出産が可能ですし、チャレンジできる環境を作ることが大事かと思えます。	参考	子育ての世代を年齢で限定する意図はありませんが、計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。
181	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	【該当箇所】 P.29 2 計画推進のための基本的な視点 7 様々な担い手による社会全体での支援～自助きょうじょこうじょ～ 【意見】 横浜市では、予算の少なさを理由に、自助に頼る傾向が強いため、公助に力を入れてほしい。公助を高めることで、市民の自助・共助に対する意識も高まるので、相乗効果を狙う意味も込め、まずは公助で。自助：共助：公助＝1：3：6くらいのイメージで。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
182	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	目指すべき姿は子ども達へ強制してはならない部分があると思います。子どもが意見を表明する機会などは、授業で何度もやるなら学校へ行きたくなる事もあると思います。子どもに内在する力を引き出すなどは、口下手な子どもは時間がかかる事であり、現状では口が達者な人の方が優遇されている事もあると思います。多様な人格についてもまだまだ理解が進んでいないと感じます。すべてのこどもへの支援なんかの段階で？ 幼稚園の頃の先生の接し方ひとつで今後が決まると言っても過言ではないのに先生が一人ひとりの状況に応じた対応が出来ていなかった。理想や希望ならこのような視点で話し合うのは自由ですが、学校教育の現場には求めないで欲しいです。コミュニケーションが中心となり勉強時間が減り、授業が塾ありきの指導になります。子どもは周りからのサポートは必要だと思いますが、サポートする側(社会全体)がキチンとした大人であって欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
183	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	横浜市の目指すべき姿として、一番に「すべてのこどものウェルビーイング」と書いてありますが、横浜市ではこどものウェルビーイングを考えているとは思えないことが多いです。すでに昨年4月に「こども基本法」が施行されているにも関わらず、こどもの人権を全く考えていないようなことが、横浜市立中学校では行われています。そのうちの一つを例として挙げます。横浜市立中学校では、神奈川県立公立高校入試の際、不合格となった3年生を、中学校に登校させ、担任に不合格の報告をさせています。中学校には1、2年生がいて、向かう道中では高校へ手続きに行く合格した生徒に会う確率も高いのに、です。しかも、今年だけではなく何年も、また、他校でも同じことをしていると知り愕然としました。このようなことを何年も複数の中学校で行うとは、横浜市の公立中学校には人権感覚の備わった先生はいないとしか思えません。こどもたちもそれをしっかり見えています。我が子は教師を目指すのをやめました。横浜市は、そろそろ学校や教育委員会の問題と真剣に向き合い、対策をしてください。このままでは、先生を目指す横浜のこどもはどんどん減り、いずれいなくなると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
184	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	第3章 2 計画推進のための基本的な視点 5 家庭の子育てりよくを高めるための支援 6 子育て世代の「ゆとり」を創り出すための支援 7 様々な担い手による社会全体での支援 について 5から7までには、子育ては家庭が担うものという前提が読み取れます。地域の人間関係が薄くなり孤立した状況に置かれている多くの子育て世帯にとって、子育てを家庭の責任に課す社会の重圧が大きいと感じています。「子育て家庭を支えながら子どもを社会全体で育てる」視点を明確にさせていただきたいです。したがって順序は765となると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、施策分野3「社会全体での子ども・子育て支援」をはじめ、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
185	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	横浜市子ども基本条例に「子どもの権利」が明記されていないことが、横浜市の基本視点として不足している。そのため、せめて子ども計画の中には「子どもの権利」を明記してください。子どもを守る対象としてだけでなく、権利主体として、自分の生き方を切り拓けるようにすべきです。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
186	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	横浜市の子供達の抱える課題は多岐にわたり、縦割りでは対応しきれない事案が多いと感じます。子供が抱える課題は、保護者が抱える課題が原因のこともあり、包括的な支援が必要です。たらい回しにされることなく、担当が寄り添い、よりよい暮らしができる環境作りができるような仕組み作りを望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、全ての子ども・子育て家庭への切れ目のない支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
187	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	子どもが成長し、社会で活躍するころには、今のようなジェンダーの不平等が解消されるよう、家庭だけでなく、保育園から大学まで切れ目なくジェンダー教育がされるようにしてほしいです。企業に対しても、従業員や、従業員家族への啓発を推奨しても良いと思います。 また、将来の夢や人生設計を具体的に考え、将来に明るい展望が持てるように、育児や家計などを扱う家庭科をもっと重要視してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援や、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
188	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	「子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市子ども計画）素案（概要版）を拝見しました。私は困難な状況を抱えている、その当事者の視点から素案について思うことを意見させていただきます。私は、被虐児、元夫からのDV、離婚、ひとり親、様々な困難な状況を経験してきました。このような状況になった要因には、幼少期に機能不全家族で育ち、健全な心が育まれなかったことが一つあります。現在、信頼している支援者のもと、支援を受けながら自身の問題と向き合い、自分自身で出来る限りの努力をして、問題を改善しています。そして、横浜市の「目指すべき姿」として記載されている、「自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓（ひら）く力」を身に付けています。ですので、適切な支援を受けること、また、適切な支援をして下さる支援者がいて下さることが、これから未来を創る子ども一人ひとりが「自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓（ひら）く力」を育む、．．．横浜市が「目指すべき姿」を実現していくために、私はなくてはならなくて、大切だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、多様な境遇にある子ども・子育て家庭への支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
189	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	素案p3第3章 本市の目指すべき姿と基本的な視点 1目指すべき姿 未来を創ることも一人ひとりが、自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくり出していく力、その力を育むには、大人がどのように関われば育めるのでしょうか。現状、大人自身、支援者も含めて、が成育歴などから問題を抱えている人たちが多くいると思います。目指すべき姿を実現するために、こどもだけではなく、大人たち、支援者も含めて、改めて心を育んでいくこと。その取り組みが大切だと思います。計画に入れて頂きたくお願い致します。	参考	「目指すべき姿」の実現に向けた視点として、子育て家庭への支援や社会全体での支援なども盛り込んだ「計画推進のための基本的な視点」を掲げています。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
190	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	自分の良さや可能性を發揮するためには、それが自分にあることを感じる必要があると思います。そのためには、そのような心を育む親の関わり方が重要だと思います。過指示・過保護・過干渉で、子どもから考える力を奪い、子どもを出来ないものとして扱うような子育てに陥ると子どもにそのような心を育むことが難しい場合もあるだろうと思います。そのような親の在り方、子育てを学ぶ機会があるといいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
191	計画全般（本市の目指すべき姿と基本的な視点）	日本全体が少子高齢化となるなかで、子どもを増やしたり人口を維持するだけでなく、どのように賢く、例えば5000万人の国に移行していけるのかを考え始めて欲しい。大量生産大量消費の考え方ではなく、一人ひとりの生産性を高めるために未来世代にどのような投資をすべきか、もちろん恵まれない環境下にあるこども・すべての子どもへの支援はあるべきだが、それ以外の領域において現状維持ではなく戦略的に子どもたちの能力や技術を高めるような具体的な施策があるとよい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
192	計画全般（量の見込み・確保方策）	学童保育とキッズクラブが並列する地域に住んでいるが、サービスが学童の方が良いため(主に預かってくれる時間の長さ、日数)学童は人数超過で新規入所拒否が毎年議題になっています。また部屋が非常に狭く子供たちの健康に懸念を感じるほどです。指導員の方の給与も非常に低いのも気になります。横浜市としてもっときめ細かい小学生以降の居場所事業を検討してほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
193	計画全般（量の見込み・確保方策）	保育園に入りたくても入れない状態を正しく把握し、対策をお願いしたいです。一時保育ですら預ける事が出来ず、妻は働けないどころか学校行事への参加やリフレッシュすることもできません。見せかけの待機児童数で議論せず、実態把握をお願いしたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
194	計画全般（量の見込み・確保方策）	子育て短期支援事業 トワイライトステイ、ショートステイの量の見込みと確保数値は、何の数字を根拠に記載されているのでしょうか？ 横浜市の子育て短期支援事業は、要保護児童に限定されており、保護者の出張や冠婚葬祭等の一般の方が利用する想定はされていません。現行の要保護児童の利用ニーズについても、ある資料では、トワイライトステイ4,819 ショートステイ1,485と現状からかけ離れた数字が児童相談所や各区こども家庭支援課から出されています。このニーズを踏まえた数字をきちんと掲載し、それに見合う体制や施設整備、予算確保を令和7（2025）年度～令和11（2029）年度の計画に盛り込んでください。また、保護者の出張や冠婚葬祭等の一般利用を想定するのであれば、子育て短期支援事業の実施施設の確保、拡充も想定し、令和7（2025）年度～令和11（2029）年度の計画に盛り込んでください。	参考	量の見込みと確保数値は推計対象児童数（人）×利用率（対象児童が事業を利用している割合）により算出しています。本市における児童家庭支援センター等での子育て短期支援事業は区、児童相談所が実施施設に養育家庭等支援事業を依頼した世帯を対象としています。頂いたご意見につきましては、子育て短期支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
195	計画全般（量の見込み・確保方策）	工場跡地に大規模マンションが建設され、児童が急増し、保育所不足や学校施設の狭隘化が問題になっている地域があります。NHKでは市内の学童保育がすし詰め状態になっているという報道がありました。一方で郊外部では保育所の定員が埋まらない地域もあると聞いています。量の見込み、確保方策ということですが、こういった地域差について全く触れていません。地域格差にどのように取り組んでいくのか計画でしっかり示していただきたい。	参考	放課後児童育成事業では子どもたちがより安全・安心な環境で過ごせるよう、学校等との連携を一層促進し、学校施設の更なる活用に取り組んでいきます。 頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
196	重点テーマ1	娘は、現在小学校内の普通クラスに通いづらい子達が集まって活動している場所に通っています。誰でも利用できる訳ではなく、不登校と認められてはじめて利用できます。すごく良くして頂いていますが、時間も短いのが現状です。（先生の配置をするのが難しいそうです。）また、その居場所にたどり着くまでに、どの親子も疲弊し、子ども達の心が元気になるまでに時間がかかっていると思います。横浜市内で「第3の子どもの居場所」が広まったり、フリースクールやオルタナティブスクールなど多様な居場所や学び方が認められ広まれば、それぞれのニーズに合わせて親子が小学校に通う以外の選択肢を持ちやすいと思います。子ども時代は短いですが一生を左右すると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、「不登校の子ども等困難を抱えやすい子どもの居場所づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
197	重点テーマ1	私たちはもっと多くのサポートと経済的な支援が必要です。物価が上昇している一方で、給与が増えていないため、子どものために十分な費用をかけることができません。どうか、もっと多くの子どもに対する補助金と手当を支給してください。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
198	重点テーマ1	子どもの視点に立って取り組むとあるが、大人が与える支援ばかりでなく、子どもたち自身が選べる支援を考えていかないといけないと思う。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
199	重点テーマ1	不登校の子への支援を厚くしてください。現在は既存の先生方がなんとか対応している、あるいは少し特別支援の方が入る程度です。ところがそれも少し通える子だけへのもの。学校そのものにいけない子は存在すら忘れられ、所属すらなきものにされる現状です。今一度制度の根本的な見直し、いえ新たな作成を求めます。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校の子ども等困難を抱えやすい子どもの居場所づくりや不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
200	重点テーマ1	学校支援は最優先事項だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
201	重点テーマ1	学ぶことはとても大切だと感じています。興味のある分野を学ぶことは将来の土台になります。男女関係なく、学び、働くことは暮らすためにも大切です。そして自分を守るためにも大切です。性差なく、豊かな貧しい関係なく学ぶことが出来たら良いと思います。皆が教養を持れば、多様な考えの中にも土台ができるのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
202	重点テーマ1	息子は不登校です。不登校の息子を通して感じたことを述べさせてください。学校長の裁量により、不登校の子供へのケアに差があり戸惑いを感じています。学校長個人の裁量に任せるのではなく、市として不登校の子どもへのケアを保証して欲しいです。息子が通う市立小学校では、不登校の子どものための部屋がありません。不登校の子どもが登校しても、教室以外に居場所がありません。不登校の子供のために接する教員もいません。実質、不登校の子供へのケアは放置されています。学校の教員は「一番いいのは学校に戻ってこれること」と言い、学校復帰に向けてのハートフルプログラムへの入所を勧めますが、当の息子は入所を嫌がっております。多様な選択肢のあるサードプレイスの居場所の確保が必要だと感じています。別の学区の小学校では不登校の子どもに寛容で柔軟な体制をとっていると聞きます。通う学校によって受けるケアに差が生じないようにして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
203	重点テーマ1	外国人サポートをしておりますNPO法人です。インターナショナルスクール卒業後の進路が狭い（卒業資格、日本語の不自由さによる）、公立小学校のこどもの国語のハードルが高い、就職までの進路の狭さ、保護者サポート、日本語が不得意な外国人のこどもで、特別な支援を要するこどもへの対応と、対応可能なインターナショナルスクールへの補助がたりない。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
204	重点テーマ1	義務教育だけでは社会性向上のための教育が足りていないと感じています。時代の変化に合わせた多角的視点、戦争教育、性教育等、忖度ばかりで本質を子供が理解できていません。楽しく学ぶことも大切だと思いますが、多少踏み込んだ事でも人生設計に必要であろう項目は正しく教育され、自己で思考し、思慮のある社会貢献ができる人間になっていくような社会教育を求めます。家庭教育だけでは賄えない学びを、選択して学び取れる機会があると嬉しく思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
205	重点テーマ1	小学3年生のアスペルガーの娘がいます。彼女は保育園の時に皆とのお昼寝を拒否するのでと布団セットの持ち帰りを保育士から強要されました。連絡をくれればすぐに迎えに行くので、と朝預ける際に保育園の保育士に手紙付きで伝えたにも関わらず、風の音を怖がり動けなくなり教室の片隅で給食も食べれず一日中放置され続ける保育をされたりして、大人や教師への信頼が育たずに登校拒否となってしまっています。当時の保育士は「私達の仕事はとても忙しいので連絡するのも無理でした。」と簡単に言い訳をしてきました。ある時はクラスの全員の個人制作のファイルから娘のものだけが存在が無いものになっていたり。集団生活に母子ともに深く傷ついた記憶があります。アスペルガーである事も途中わかり、こども医療センターの診断書を見せても信じられない様子で、自分が絶対に正しいを物凄く押し付けられた感じでした。保育士は子どもたちの特性への理解と「自分なりの表現」を育む保育をするのが重要だと強く感じました。途中から民間療育も利用しだして、少しずつ娘の顔つきが穏やかになりましたが、不登校時のフリースクールのような存在が必要不可欠と感じています。	参考	頂いたご意見につきましては、障害への理解促進に向けた取組や、こどもの人権を守り、こどもの主体性や思いを尊重した保育・教育の推進を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
206	重点テーマ1	小学校まで自由だった、友人関係が、中学生になると、先輩、後輩の立場のやんわりとした強制がはじまるようです。特に部活ではこどもたちの中の暗黙のルールがあり、先輩といわないといけない、靴の色や種類の制限などがあるときいています。そういった大人が見てみないふりをしてきたルールをどうしますか？行きすぎると宝塚やスポーツ強豪校のようないじめがうまれると思いますが、小さなことでもこどもは中学生になることに負担感をかかれています。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
207	重点テーマ1	親の預けやすい、大人の管理しやすいではなく、子どもの身体と心の成長に最適な空間のために大人の働き方を合わせて欲しい。子どもには自由な時間と空間が必要。横浜市内にあるプレイパークのように、無料で出入り自由、子どもが自分の意思で通うことが出来る場所が必要。また見守る大人は子どもの遊びや育ちに寄り添う専門職を。十分な賃金と身分の保証が必要。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
208	重点テーマ1	子供たち全員に安全な水と空気をあげたいです。最近、横浜の水道水から消毒臭さを感じます。合成洗剤の使用による水質汚染が心配です。小金井市の取り組みを横浜市でも行なってほしいです。美味しい空気。市の保育園児や小学校がくさいです。柔軟剤や洗剤で子供たちから異様なにおいがしています。嗅覚が正常な子は学校へ通えない、と訴える子が増えているようです。合成洗剤には嗅覚麻痺を起こす効果があるようで、ほとんどの方が麻痺しておられるようです。厚生労働省のエコチル調査の結果もかなりで出ているのでは？ うわべだけのエスディーズにならないよう、みなさんに考えていただきたいです。	参考	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご意見として参考にさせていただきます。
209	重点テーマ1	子どもの徒歩圏内の習い事が知りたい。個人宅で教室を開いている方は地域の見守り活動、子供の居場所提供にもなっていると思う。ネットに掲載していない教室も多くあると思うが、行政がそういう教室を取り纏めてリストを提供してくれると探しやすいと助かるし安心して通わすことができそう。また、地区センターで開催している教室で子供が興味を持っているが時間帯が学校の授業中や夜だったりするので通わせられないものがある。地区センター側もただ開催者を受け入れるだけではなく、需要を聞いて提供するような仕組みを作って欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、また、市民利用施設を運営する上で、今後の参考にさせていただきます。
210	重点テーマ1	医療費控除の見直しなどまた行なってもらいたい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
211	重点テーマ1	机上の空論のような構想だと感じます。4年半前の重大事案相当の学校問題案件でさえ、西部教育委員会は機能不全だからです。学校を是正することもできず、今もなお子供の心を蝕み続けています。問題が起きた時に解決できるチームを確保する方が、新たな窓口を設けるよりも先に取り組まれるべきだと思います。横浜市がどのほど現場の対応実態を把握しているのか常々疑問にも感じます。SC・SSWや相談窓口の存在意義が大きく崩壊している現状で、新しい構想や条例を設けても運営しきれないと強く感じます。少しでも現在進行形で苦しんでいる児童に寄り添うことができない自治体であることを実感していただきたいです。まずは条例に対する罰則なども明記した内容で公示し、問題を自分事のように真摯に受け止めることができる人員の育成を重点事項にして欲しいです。現代のいじめはSNSや端末を駆使した不透明性の中で行われます。小学生といえども集団悪知恵で児童の心を殺すことが簡単にできる時代です。時代に添った人員研修が先に行われ、基盤を整える必要があると感じます。まずは、古参管理職が時代に追いつけず問題解決感が低いことを認知すべきです。	参考	頂いたご意見につきましては、地域等と連携したいじめ等の防止や、困難を抱えやすいこども・若者への支援施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
212	重点テーマ1	子ども家庭庁による子どもデータ連携素案が5月に提示されパブリックコメント募集がございました。こちらは、子どもに関するSOSの前に自動的にAIが感知し予め予防サポートするという仕組みだそうです。一見、非常に親切な制度のようにも捉えられますが、実施のためには、精度を上げるために子どものありとあらゆるデータ(健康、障害、家庭構成、経済状況、学校学業状況、児童相談所歴有無他)が収集されることが容易に察せられます。昨今、学校連絡や成績もシステム運用になる傾向があり、着実に個人データを集約しやすい状況が整っております。これらは自治体で一元管理される予定です。ネガティブな情報が重なれば(例えば、生活保護、片親世帯、障害有、児相歴有、不登校歴など)問題が起こり得るとAIが判断して不必要な干渉も行うことが可能です。またマイナンバーのサーバ管理もアメリカ某社が行っており、管理先サーバも海外に委託することは容易です。子ども優劣のレッテル貼りに繋がり「すべての子どものウェルビーイングを支える」とは言えません。プライバシーからも情報漏洩からも危険極まりない構想を広く知っていただきたく存じます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
213	重点テーマ1	海外につながるこどもたちの支援を充実してほしい。特に療育の現場の専門家は海外出身者の状況を知らない。言語の問題と障がいの問題など、移民のこどもに関する文献は欧米に多数あるはずなので、それを参考にしてほしい。また中学校の教員はこどものビザも念頭において進路支援をしてほしい。高等特別支援学校はこどもたちの人権を第一に考えて指導してほしいし、卒業生に高校卒業資格を与えて欲しい。B2の子は障がい者年金をもらえないのに障がい者雇用されても手取り12万程度で非正規雇用がほとんど、しかも中卒、という現実はずでにその子の人生は破綻しているのではないか? ボーダーの子は、定員割れ高校に進学した方が夢を持てるのでは?(でも中学校の個別級教員は未だ特別支援学校だけが進路だと信じている現実もある)	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策や、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
214	重点テーマ1	子どもたちが自由に運動をできる場所が減っています。小学生のうち学区から出ることも禁止されており、地区センターが学区内になかったり、小さな公園しかない場合は、鯨詰めのような公園の状況で体を動かして遊ぶことはできません。結果、ゲームを持ち込む子が増えているように感じます。少年野球の練習場所を、チームごとに奪い合うような状況で、移動などで保護者の負担にもなっています。この暑い夏は練習をするだけで、子供も大人も命の危険と隣り合わせでした。もう少し体系立てて、運動施設の利用について平等というより公正にできる方法を考えていただけたらと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
215	重点テーマ1	障害児に力をもっと入れて欲しい	参考	頂いたご意見につきましては、障害児・医療的ケア児等への支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
216	重点テーマ1	すべての子供、家庭がこわれても大丈夫。とにかく頑張っね。	参考	頂いたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
217	重点テーマ1	山内図書館の児童向け図書の蔵書数が少ない。外国語(英語)の多読用ガイドドリーダーズや児童書は殆どないに等しい。充実させてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
218	重点テーマ1	ウェルビーイングが何かわからない	参考	ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあるという包括的な幸福として、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む言葉です。
219	重点テーマ1	いつも学校で悩み相談などの電話番号の紙をもらってきますが、ほとんどの低学年の子どもはスマホなんて持ってないと思うので、別な方法がいいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもたち自身が相談・支援につながるができる環境づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
220	重点テーマ1	教育環境の充実。教員の増員、施設の老朽化への対応、学校にいる時間を短くする。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
221	重点テーマ1	子育て期間中の保護者の労働時間を政府主導で短くする、自治体はその補助をする。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
222	重点テーマ1	子ども食堂、朝食支援などを含め、児童福祉を手厚くする。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども食堂等支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
223	重点テーマ1	子育て現役世代として改善を望みたい事項を記載します。雨や酷暑時に室内で思い切り体を動かせる遊び場が少ない。(特に泉区) 港北区や平塚市は子育て支援拠点が充実しているイメージ。(遊び場が豊富で有料だとしても格安。) ぜひ参考にして頂き、そのような場を沢山作ってほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
224	重点テーマ1	子育て現役世代として改善を望みたい事項を記載します。待機児童が少ない数値になっているが、本当に現状と合っているのか? 泉区で希望の保育所へ入所できず待機している家庭を多数知っている。母が就労していない家庭でもスムーズに入所できる事を切に願う。	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
225	重点テーマ1	子育て現役世代として改善を望みたい事項を記載します。子が入院した際、親が付き添って入院できる病院が少ない。子の年齢が低いほど重要なはず。ぜひ各区に2、3ヶ所くらいは増やしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
226	重点テーマ1	小学校の授業参観にて、意欲的に主体的に授業に取り組んでいない児童が多く見受けられる。授業内容を理解できない児童は支給されたタブレットで動画視聴やゲームに興じている。学力の差がある公立小学校は、教員1人に対して児童30、40人は授業が成立しない。少人数制でなければ、意欲的な児童も、逆に理解が追い付いていない児童も退屈な時間を過ごすことになる。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
227	重点テーマ1	近隣の公園で思う存分に遊ばず、子どもたちは遊び場に苦慮している。ボール蹴り禁止、盛り上がる(騒ぐ)のは禁止、水鉄砲やシャボン玉も注意を受けるとのこと。特に雨の日は児童館等がないため、子どもだけでゲームセンターへ行くこともありトラブルに巻き込まれる子どももいるとのこと。存分に遊べる場所を作してほしい	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
228	重点テーマ1	指定区域外への通学について、承認制ではなく届出制への変更を希望します。現在の制度は、小学校では通学距離や条件に合った放課後学童クラブへの通所等が、中学校では更に厳しく部活動等が条件となっています。小学校低学年の際は、通学路の不安もあります。中学進学の際は、小学校で築かれた子どもの交友関係を学区で分断されることになり、子どものウェルビーイングへの配慮が足りない制度となっています。他の自治体では選択制としている例もあり、改善策としてハードルは高くないのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
229	重点テーマ1	実体験ですが、0歳から卒園までの6年間保育園に通いました。都内に通勤しているので、時短が終わる4歳からは8:00から19:00まで、年末年始以外は暦通り園に通いました。先生たちは横浜市は自由な発想を推進しているから、と伸び伸びと自由な毎日を楽しんで通園していました。一年生になったら、人と違うことを言ったり行動すると怒られる、授業中は30人以上でゆっくり全員で進むという環境になり、みんな同じにしなきゃならない雰囲気になり、急に窮屈になったようで表情も暗くなりました。先生からは個別支援級を勧められ、理由は授業中先生やみんなの邪魔をするという事でした。本人はうまくいかない自分を何とかしたかったのですが、クラスを別にする→排除されることを勧められ、親は戸惑いました。うまくいかない事があっても何とか集団でうまくいけるように訓練の場と思っている部分もあったのですが、迷惑をかける子どもはダメ、という感じでした。先生が大変なんだろうな、と察してはいましたし、実際そうだと思いますが多様性を重んじている世の中についていくには、クラスに担任1人は無理があると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、また、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指す上で、今後の参考にさせていただきます。
230	重点テーマ1	ディスレクシアかどうかを小学校入学時にチェックしてほしい。茨城県ではやっている。とても困っている。本人は自分がバカであると思い、自己肯定感が育ちにくい。漢字が読めなかったり覚えられなかったり、英語が全くわからないなど、他の子がやすやすとできることができないためです。自分自身の特性が分かれば本人も生きやすくなります。先生の指導の仕方も変わります。努力すれば覚えられる、読める、のではなく、努力してもできない。もしくはとても疲れてしまうのです。私たちがアラビア語やタイ語を読むようなものです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策やこども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
231	重点テーマ1	広島県では中学校で内申書に自分で自己アピールを書いたり、学校に登校した日数を記載しなかったり、様々な改革が行われています。そのような素晴らしい改革を横浜市も見習ってほしい。もともと横浜市の民間校長をされていた平川りえさんが広島県の教育長になって改革されたそうです。平川さんのような素晴らしい教育長や教育に携わる方に活躍して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
232	重点テーマ1	中学校や高校の部活が常に大会を目指す。いわゆるガチ部しかなく、ゆるく体を動かすような部活がありません。例えば卓球部に入った場合、テニスをちょっとやってみたくてもできない。区のスポーツセンターでは中学生が参加できる教室はありません。1つ也没有。部活を引退した中学3年生は運動する場がありません。学校の放課後にゆる運動部みたいなものがあると、誰が参加してもいい、そんな部活があったら、子供達の健康にとっても役立つと思う。今日はテニス、来週はバスケットボールみたいに少しずつ種目を変化させたりして、参加したい人だけやるみたいな部活が必要です。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
233	重点テーマ1	Qubenaをご存知ですか？学習eポータル+AI型教材です。こういったものを学校に取り入れている地域もあります。先生方もとても助かる機能が満載だそうです。YouTubeでも使い方を丁寧に教えてくれます。時代が移り変わっていますので、今までと同じような学習方法から少しずつ変化させてほしいです。個別最適化された学びが必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
234	重点テーマ1	子どもがもっと主体になれるようになってほしい。自分自身の意見が通りやすいではなく、発言しやすい場も必要だと思う。日本に来たばかりで、言葉も伝わりにくいから、うまく伝わるように通訳も必要。	参考	頂いたご意見につきましては、年齢や発達程度に応じて子どもが意見を表明でき、その意見が尊重され、「こどもまんなか社会」に生かされる仕組みや、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
235	重点テーマ1	こどもの居場所として挙げられると思いますが、小学校中学校体育館に空調設備を完備して欲しいです。暑すぎて夏の体育の授業が心配です。その上で、猛暑の夏に安心して体を動かして遊べる場所として体育館やプールを解放してもらえたら嬉しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
236	重点テーマ1	私は小学校6年生です。日頃から、天気は左右されず友達と遊べたり勉強ができたりする場所が近くにないことに困っています。放課後、友達と一緒に勉強する時は飲食店に入って勉強をしていますが、お金がかかります。図書館は静かにしないといけないので、グループワークなど意見を出し合うような勉強が気軽にできる場所ではありません。小中学生が天候を気にせず気軽に使える場所が欲しいです。椅子とテーブルがあるとうれしいです。おしゃべりをしながら勉強ができたり、お茶を飲みながら絵を書いたりゲームができる出入り自由な安全な場所を作ってください。放課後キッズクラブのように親の許可がないといけない場所ではなく、図書館のように気軽に行ける場所にしてください。よろしくお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
237	重点テーマ1	子供達を取り巻く環境が変化している中で、不登校にかんする課題は学校と家庭間において社会的課題になっていると感じます。将来の展望を描ける横浜であるために子供達のウェルビーイングは優先すべき課題と考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業及び地域等と連携したいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
238	重点テーマ1	小児向けの新型コロナウイルスのワクチンを接種しやすい環境を整備してください。具体的には、接種可能な医療機関を一定の範囲内に設置する、あるいは集団接種会場を設けるなどする、接種費用を一部または全額負担することを求めます。また、新型コロナウイルスのワクチン接種に対する偽情報防止対策の構築も願います。新型コロナウイルスは、時に後遺症が出て、認知機能などにも影響が出ることがあります。子供達は、幼稚園や保育園、学校での集団生活を通じ、新型コロナウイルスの感染リスクに晒されています。これからの日本の未来を背負う子供達が、何度も感染することにより、後遺症に苦しんだり、認知機能に影響が出てしまうことは、本人や親御さん方が辛い思いするだけでなく、日本にとっても大きな損失となります。日本小児科学会は、小児への新型コロナワクチンの接種を推奨しています。しかし、市内でも小児向けのコロナワクチンを接種できる医療機関は限られており、車がない家庭は他の病気の感染に怯えながら遠出しないと接種できません。費用は高価です。親御さん達の間では、ワクチンが危険であるというデマが流れています。ご対応をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
239	重点テーマ1	<p>子育て支援の教育、福祉分野には沢山の所得制限や応能負担があります。それなのに全ての子供のウェルビーイングを支えると書いてしまうのはおかしいと思います。所得制限や応能負担をもっと明確に記して下さった方が、利用できるのかどうかや、利用できるとして応能負担が発生するのかもしれないと思います。所得制限や応能負担を無くして全ての子供に平等な支援の提供をして頂ける事が一番の願いですが、できないのであれば、もっと明確に所得制限の記載をお願いします。全ての子供にと言う文字や、子供みんなが主役などと書かれると、うちの子供たちにも同じサービスが提供されるのかと期待してしまいます。ダメなものダメとハッキリパンフレットに記載して下さい。宜しくお願いします。</p>	参考	<p>本計画では、「計画推進のための基本的な視点」の一つとして、「疾病や障害の有無にかかわらずこどもの健やかな育ちを等しく保障するため、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援と、必要となる支援を誰もが受けられる環境を整え、全てのこどもを支援する視点」を掲げています。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
240	重点テーマ1	<p>資料拝見しました。小中学生の不登校が過去最高とニュースにもなっています。自分の家族含め周囲にも身近に困っている方々が沢山います。不登校児の居場所づくりや事業も大切ですが、まず不登校になった時に相談窓口で困りました。先生やスクールカウンセラーには相談していましたが、児童自身が学校に行く事が出来ない場合、学校以外の相談窓口を探すのがとても大変。スクールカウンセラーは毎日居る訳では無く児童精神科は予約が取れても最低数ヶ月待ったり、児童自身が困っているだけでなく親自身がどう対応すべきか困り、有償事業者以外の地域(横浜市の対応)で気軽に相談して話を聞いてくれる窓口をすぐに見つける事が出来ずようやく検索に検索を重ねて、青い鳥から紹介して貰った新横浜リハビリテーションセンターに繋がりソーシャルワーカーさんに相談出来ました。ソーシャルワーカーさんには大変お世話になり感謝しております。リハセンターには全く不登校の相談の案内がホームページに無かったのと、そこに辿りつくまでかなり時間を要しましたので、学校側でも外部相談窓口をご案内頂けるような体制づくりと、親の相談窓口の案内をわかりやすくして欲しいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育相談事業をやこども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
241	重点テーマ1	<p>発達に特性がある子供の特性は、それぞれで、現在の小学校で、支援級在籍の児童の授業数半分以上は交流級で学ばない、というシステムはおかしい。支援は必要だが、概ね交流級で過ごせる又は過ごすことによって成長するタイプの児童の、成長を著しく止めている。特性にもそれぞれあり、支援級で多く過ごす事がある、希望している児童、支援級で基本過ごす、単元によって交流をする方が良い児童、支援級在籍だが、ほぼ交流級で過ごし、いざという時の為に安心できる場として、支援級をおいておくのがよいタイプ、一般級だが、授業によっては、支援級で学習する方が学べるのでその科目だけ支援級で学ぶタイプ、、、生徒の性格にもよるが、学友が多い方が学べたり楽しく過ごせるタイプと、少ない学友の方が安心するタイプ、ひとりが良いタイプなどあるので、交流級で学べるのは授業数半分まで!というのは、全くもって児童それぞれにあった支援でもなく、逆に形にはめているようにしかみられない。成長の妨げ。国連でNGとしているやり方をなぜ国はあえて採用しているのか不思議でならない。授業数の枠、一般級、個別級の配慮の仕方をもう一度検討して頂きたい。</p>	参考	<p>個別支援学級は、「障害による困難を改善・克服するための指導である自立活動や困難さに応じた教科等の指導を十分に行う学級」であることから、原則として週の授業時数の半分以上を目安として、個別支援学級において児童生徒一人ひとりの障害の状態や特性および心身の発達の段階等に応じた授業を行う必要があると考えています。</p> <p>さらに、個別支援学級での学びによって、苦手なことができるようになったり、交流及び共同学習の回数が増えてきたりしている等、児童生徒の教育的ニーズが変化している場合には、一般学級への学びの場の変更を検討していく必要もあると考えています。</p> <p>頂いたご意見につきましては、文部科学省の動向も見定めつつ、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
242	重点テーマ1	小学校の教員に対する指導内容を改めて見直してください。現在ではその学校の校長や担任に各学校及び各クラスの運営が一任されており、学校やクラスによって運営方法が大きく異なります。特に登校班や旗振り当番など保護者や児童の負担が大きい運営については一定の運営ルールを定めてほしいと思います。またクラス運営についても担任によってクラス内での風通しの良し悪しが大きく異なり、前年度と異なる指導を受けた子供の納得感が少なく心理的な負担もあります。いまだにクラスの生徒みんなの前で人格否定のような言葉を発する担任も何人も見られます。数年で異動があるため各教員は子供の人格形成に関わる重要な立場にいるという責任を持って指導に当たっていないように感じます。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
243	重点テーマ1	小学校の校舎に車椅子でも登校できるように、スロープやエレベーターの設置があるととても良いと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
244	重点テーマ1	学校でいじめをなくしてほしい。インクルーシブ教育を推進してほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、地域等と連携しいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
245	重点テーマ1	国際ファミリー(片方または両方の保護者が外国人の家庭とその子供達)は日本社会ではまだまだ外国人扱いされていると感じる。行政手続きの煩雑さに始まり、子供達もハーフ(ほぼ外国人)であることで特別扱いや差別的扱いを受ける、物珍しく見られることも多い。又、日本の教育には禁止事項が無駄に多くてこのまま日本で教育を受けさせることに疑問を感じる。(例:公園での遊び方の禁止事項、学校でのランドセル指定、持ち物の禁止ルール、時代に沿っていない理不尽な校則等)	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策などを進める上で今後の参考にさせていただきます。
246	重点テーマ1	不登校の子どもが増えています。子どもの居場所やフリースクールを増やすことも大事だとは思いますが、もっと根本的に、不登校が生まれにくい学校や教育システムへの転換をはかることが、今最も重要であると考えます。現在の学校・教育システムは、一斉指導、競争主義、同調圧力などが問題視されています。ひとり一人違う能力や得意分野をもった子どもたち、その子の持てる力を発揮できる、個人に依拠した教育に転換されることを希望します。国への働きかけも併せてお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
247	重点テーマ1	子どもたちが安心して過ごせる居場所や、遊び場、体験活動の充実は、とても重要なことだと思います。さまざまな団体が立ち上がり、居場所などを提供していることは、とても良いことだと思いますが、運営する人の善意やボランティアに頼りすぎているため、運営する人が疲弊していることが懸念されます。営利事業としてではなく、非営利事業としてでも運営していくことができるような財政面などの手厚いサポート、子どもたちが誰でも等しく(無料や低額で)その場にアクセスできるような場の創出、体制作りが急務だと思います。今、運営している居場所などの運営は、無償のボランティア、有償のボランティアの善意、持ちだしによって成り立っていることを課題と認識して、持続可能な運営に向けて、公的なサポートを充実させ、担う人が事業として仕事として運営できる体制をつくっていく必要があると感じます。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
248	重点テーマ1	外国籍の方が、母国より3歳のこどもを呼び寄せました。日本語は話せません。春からの幼稚園への入園を希望しましたが、とある園では「日本語が話せないお子さんは、安全性が担保できないため、受け入れられません」と、電話ではっきりと断られました。地域には日本語教育の場はきわめて少なく、就学前の子どもの日本語教育の場はありません。外国人人口は増えています。すべてのこどものウェルビーイングを支えるためには、妊娠期～就園、学齢期、青少年まで、外国籍の子どもへの切れ目のない支援が必要です。すべての分野において多文化共生の視点を取り入れてください。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
249	重点テーマ1	息子が2歳半の時に、自閉スペクトラムと診断されました。毎日不安との戦いなのですが、3歳になり●●療育センター「●●」の療育を受け始めました。最初は親子通園で不安が大きかったのですが、先生方が本当に素晴らしく、不安なことは相談ができ、勉強会も充実しているため、親の知識も増え大変安心して通っています。一年療育とは聞いていたものの、来年度からも利用出来るのでは？と期待していたのですが、利用審査に落ちてしまいました。「●●」入所前は、療育センターが運営している「●●」に2歳から通っていて、その情報が「●●」にも伝わっていたと聞いています。「●●」で過ごした1年間、先生方との信頼関係と、2年間子供のことをよく理解してくださっている状況が途絶えてしまうことに、とても不安を感じています。受け入れ人数の上限があることは充分理解していますが、今後相談できる窓口として何か設けていただきたいと思っています。また、来年以降、やっと療育センターで療育が受けられた方が、同じように支援打ち切りとならないよう、4歳からの受け入れ窓口を拡大していただきたいと思います。よろしく願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、地域療育センター運営事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
250	重点テーマ1	横浜市立のサイエンスフロンティア中学、高等学校は、5教科すべてよくできるお子さんしか入学できません。学習障害があっても、苦手な教科があっても、得意なことが科学や数学である子供達にも、門戸を開いてもらいたいです。エヂソンもアインシュタインも学習障害がありましたが、人とは違う視点から新たな発見をすることができました。なかなか一般の中学校の理科室では置いていないような装置も所有しているとのことですので、市立なのですから、そういう凸凹のある子供達にもチャンスを与えてください。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
251	重点テーマ1	発達障害ですが、合理的配慮が不足していると感じています。国語の取り出し授業をお願いしていますが回数が少なく、改善の兆しが見られません。授業にますますついていけなくなっている気持ちが強くなっているようで、分からないと言って席を立ってしまうことも増えているようです。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
252	重点テーマ1	自治体の補助が基本的にはない会社や団体が運営する、例えば学習塾やスポーツのチーム等子供向けの様々なコンテンツの利用に補助を出す等促進する制度があると助かる。各家庭で親、子供の欲するものは異なるため子供の教育、成長に寄与する商品やサービスを提供している一定の水準に達している会社、団体のサービスの利用を選んで比べて幅広く利用出来るようになるとやってみたいこと、やりたいことが出来る子供が増え、ウェルビーイングに繋がる。親、子供がやりたいことを選べる自由さが欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
253	重点テーマ1	人間の培ってきた英知から、世界の進む未来までを、学際的に体験学習できるような機会が身近にあるとよいと思います。具体的には、群馬県のTUMOセンターや、日本財団の鑑古今日曜学校をイメージしています。子どもたちにとって、勉強とは「面倒なもの・辛いもの・塾で身に付けるノウハウ」というような、否定的な感情の対象になってしまっていると感じます。「考えること・学ぶこと・学習すること・分かることにワクワクする」という原体験を持つことが出来れば、それは大人になっても人生を生き抜く武器となり、幸せな人生を送ることが出来るのではないのでしょうか。子どもにとって、「学ぶ喜び」を知ることはウェルビーイングを支えることになると強く信じます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
254	重点テーマ1	不登校の児童の数が増えています。この話題を扱う時に暗いテーマになることがまず違うと感じます。優しく苦しくて助けてほしいとサインが出ているということを知ってほしいです。その子どもたちにとって学習の機会を継続して受けることは難しく、安心して過ごせる場所が必要です。学校の現場でその子どもたちを受けとめるキャバがありません。手を差し伸べる人、場所を増やしてほしいです。保健室登校といっても先生がいない時間は困るなど、ただでさえ学校に行くことが難しい時に今日はいい、だめということにはハードルが上がだけです。いつまでもここは安心なんだよ、というメッセージが必要です。また、その子達に健康診断を受ける機会を失っているケースもあります。経済的に負担がかかることもあります。その家族を支える明るくて温かい人や場所の支援が必要です。	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
255	重点テーマ1	小学校帰り（小学校近く）に宿題や勉強ができる場所が欲しい。キッズは予約制で親の管理が入り今日行こうよ！というふうに出ない上、遊びたい子と混在してしまう。コミュニティーハウスは長時間席を専有できない、地区センターの勉強スペースは中高校生向き、図書館は遠い。事前申請のいらないランドセルのまま行ける寺子屋のような場所があるといいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
256	重点テーマ1	防犯面ですが、通学路とそれに面した公園には 犯罪抑制のために防犯カメラの設置を希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの安全確保を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
257	重点テーマ1	文化体験事業について、例えば学校公演などに予算をつけるとか、格差無く文化体験の場を増やしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
258	重点テーマ1	うちの子も支援級在籍です。今の中学校は教室も先生も足りていますが学区の小学校は生徒数に対して教室が足りません。先生も男は臨時任用が多く正規の先生が配置されずクラスが荒れている時は女性教師では手に負えない時があります。狭い教室で不登校になる子も多いです。全ての子に教育を与える為に、横浜市の予算を使って教室施設を充実させて頂きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
259	重点テーマ1	<p>せっかく生まれた命なのに、産み落とされた瞬間から、追われている。比べられている。焦らされている。自分の意志以外の言動、経緯、結果を求められている。使命がある。望まれている。休まらない。より良い方へ、より高い場所へ、家の子が一番。間違いじゃないけど。いきせきぎって、それが当たり前な子は、いつ大きく息を吸えるのだろうか。いつ、めいっぱい脱力できるだろう。いつ、ぼんやりできるだろう。いつ、私の中の本当の私に気付けるんだろう。本当に人を傷付けたいんだろうか。傷付けた事がわからないのか、ごめんなさいを知らないのか、ちょっとした思いやりを経験していないのか。むかしはいた、理不尽で無責任な大人。でも、いつもそこにて、日が暮れるまでそこに居られて、いつまでもいつまでも話を聞いてくれた。しょうもない相づちをうって、笑い飛ばしてくれて、そうかそうかと深く頷いてくれた。答えはないけど、私の中の私が少しリセットされたような場所と人。そういう人と場所、10代のためにたくさんつくりませんか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
260	重点テーマ1	<p>第4章 1 目指すべき姿 すべてのこのこのウェルビーイングを社会全体で支えることに関して 重点テーマ1 ウェルビーイング と重点テーマ2 子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す この2つのテーマは乖離している印象をもちます。 すべての子どものウェルビーイングを社会全体で支えるためには、家庭における子育て、社会的養護の子育て、学校・幼稚園・保育園の子育て、地域の居場所などでの子育てのすべてが必要です。率直に考えて社会の子育て力を高めることが先決で、それが子育て家庭の「ゆとり」につながるのではないのでしょうか。その方向性で施策を組み立てていただきたいです。</p>	参考	<p>「このこのウェルビーイング」と「親のゆとり」はそれぞれが大事なテーマであると考えています。頂いたご意見につきましては、施策分野3「社会全体でのこのこの・子育て支援」をはじめ、このこの・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
261	重点テーマ1	<p>重点テーマ1 「このこのウェルビーイング」と「親のゆとり」をどう両輪で支えるのか知りたい。子どものウェルビーイングを支えるためにできることを市域で考えるのであれば、親も多少の我慢が必要と思うが、市の施策がサービス化していることにも違和感を感じている。地域社会で支えるには親自身も支える側であることの自覚もしてほしいと思う。</p>	参考	<p>「このこのウェルビーイング」と「親のゆとり」はそれぞれが大事なテーマであると考えています。保護者が時間的、精神的、経済的なゆとりを持って日々の生活を送ることは、保護者がこのこのに向き合う時間を充実させることにつながります。また、保護者が、子育てをする上で、不安や負担感、孤立感を抱えることなく、このこのの成長の喜びや生きがいを感じることは、このこのの健やかな成長につながるものと考えています。頂いたご意見につきましては、このこの・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
262	重点テーマ1	<p>重点テーマ1「このこのウェルビーイング」 不登校児の支援については基本施策5・6が連携して行っていかなければいけないと感じている。学校しか相談する場がないと子どもにはツライし、民間や市民団体が行っている居場所の情報もどこに行けばわかるのが不明瞭。子育て支援拠点の利用者支援事業では学齢期の親の相談も対応している。これからもっと不登校児が増えていくのではと思うと、今の取り組みだけでは足りなくなってくると感じている。子どものウェルビーイングを掲げるのであれば、学校に行かない選択も認めていかなければならないし、プレイパークやフリースクールの重要性が出てくると思う。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
263	重点テーマ1	<p>基本施策1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実 基本施策8 児童虐待防止対策と社会的養育の推進</p> <p>「生まれる前から」との表現は胎児についても権利の主体ととらえているように思われます。人工妊娠中絶についてはどのようにとらえているのでしょうか。親や社会の都合で産んでもらえないのは胎児の側からすれば著しい人権侵害、児童虐待だと思われます。民法には「私権の享有は、出生に始まる」との規定があります。子が「生まれる前から」ではなく、親が「生む前から」なのではないでしょうか。</p>	参考	<p>権利擁護課：母子健康手帳が未発行で、妊婦健康診査も受診せず、医師・助産師の立ち合いなく自宅等で出産する事例については、重大な虐待ととらえています。予期しない妊娠による痛ましい事例が発生しないよう、本市ととしても広報啓発に力を入れています。</p>
264	重点テーマ1	<p>背景にあるように、こども主体の自由な居場所が、こどもによってつくられていくことが求められていると実感します。こどもたちの不登校や、ひきこもりの中には、自由な意見表明ができない息苦しさから、立ちすくんでいる状況を垣間見ます。こどもたちが自分の言葉で語り始めるには、時間と心理的安全性が必要です。既存のこどもの居場所は学童保育、キッズクラブとも、指導員の不足や資金の不足により、普通のこどもも含め、ケアが必要なこども、ハイセンシティブなこどもには「居場所」となりません。「すべてのこどもが」というテーマが示されたことで、多様で包括的な居場所「ごちゃまぜ」が可能となる重層的な仕組みが整備されることを希望します。ボランティアな活動には限界がありますが、重層的な仕組みであれば受け皿となる支援団体が横浜にはたくさんあります。横浜では特に児童館がないことから、青少年の居場所の不足が課題であると思います。アートや、音楽、演劇といった創造的で文化的な活動をこどもたちに担保できる、より豊かな環境を整備していただきたい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
265	重点テーマ1	<p>小学校給食のことがニュースになっていますね。たまたま先日給食試食会に参加していました。確かに地味な印象は受けましたが、味付けや衛生管理、予算内での献立などよく頑張ってくれていると感じました。ただ、彩りのなさ、品数はもう一品欲しいところ、ひと月の中で大豆や大豆製品の割合が多すぎて飽きる フライ小魚3匹とか悲しい、パンとやきそばのような炭水化物同士の組み合わせでなく、具沢山のスープにするとかにして欲しいです。フルーツのカットも小さくなっているようなのでもう少しお楽しみを心おきなく感じて欲しいと思います。教室ではお休みの子の分をジャンケンして獲得できるか、もっと食べたいのに食べれないとかやっているようです。個人的には給食費を上げて良いと思いますが、市の予算を割り振ってもらおうとか、農家さんの廃棄野菜を受け入れ、代わりに寄付金を出すとか、なにかうまく循環する仕組みがあればいいなと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、学校給食の充実を進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
266	重点テーマ1	<p>すべての子どものウェルビーイングを支えるという方針には賛成です。</p> <p><教育について> そのためにも、高校の無償化、大学などの高等教育に進学する際の奨学金を充実してほしいです。親の所得に関わらず（所得による制限も含めて）、全ての子どもの学ぶ権利を保障してほしいです。</p> <p><手当について> また、東京都では、独自の児童手当が普及しています。これにより子どもたちの生活環境が安定します。高い市税を取るならば、子育て世帯に還元してください。横浜市の子育て支援は、隣の川崎市や東京都などに比べて乏しく、子どもの幸せを考えると、横浜市に住む優位性はなく、引っ越しを検討しています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
267	重点テーマ1	方向性の(3)年齢や発達の程度に応じてこどもが意見を表明でき、その意見が尊重され、「こどもまんなか社会」に生かされる仕組みで、誰がどのように聴き取っていくのが気になっています。また、第三者が子どもから聴き取りをする他にも、身近な大人が「子どもの意見を聴く」ということがどういふことか、どのような聴き方をするのかを知ることで、子どもたちが日頃から自分の気持ちを表していける相手が増えるのでは、と思いました。「この人なら言える」と子どもが思える相手が、一人ひとりの子どもの心に一人(または数人)いるといいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの意見を聴く取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
268	重点テーマ1	シュタイナー教育やモンテッソーリ教育などのオルタナティブスクールや、フリースクールなどの多様な学びができる学校に対しても公的な補助、助成が行われるシステムを構築してほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
269	重点テーマ1	中学生と小学生の子供がいる主婦です。子育てをしながら日々、悶々と考えていることがあります。それは携帯電話の所持年齢の低下です。ここ1、2年で一気に中学生でスマホデビューが当たり前になっているように感じます。現に、我が家も上の子が中学生になる時に悩みに悩んで携帯を渡しました。当然フィルタリングや家庭内でのルールを決めて渡しましたが、現実はそのような生易しいものではありませんでした。フィルタリングをかけても裏技で突破してきますし、家庭内のルールは各家庭ごとに違う為、言い争いのもとになることがしばしばです。ネットリテラシー教育をしながら携帯、PCを使いこなすのが理想ですが、それが身につくかは別問題です。実際、子供たちのコミュニケーションを見ていて心配になることが多々あります。保護者が携帯などを子供に持たせるときに慎重に判断できるよう、昨今の中学生の実態を分析し、それが判断材料となるようにスマホ購入を考え始める小学生の保護者に伝えるような取り組みが欲しいです。スマホの宇宙のような空間に早くから子供を漂わせることに強く懸念を抱きます。時代の流れと片づけず、子供の成長に合った文明の享受を求めたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
270	重点テーマ1	小学生の過ごす場所がありません。区民センターやモッキーがありますが、都内や川崎市にある児童館がないのでふらっとリラックスして過ごす場所が欲しいです。アートや特別な体験など様々な機会が子どもの豊かな未来には必要ですが、自然に近くにある事が望ましいのではないかと考えます。横浜以外の場所との経験格差が広がっている気がします。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
271	重点テーマ1	子どもの権利条約にのっとった子ども時代の保障。子ども自身が十分に自分の時間を過ごせること。大人にあれこれ指図されず、先回りされずに、子ども自身のやりたい気持ちを大切に、試行錯誤して、時には失敗もして、得ていくことを守ってあげたい。子どもと本気で真剣に向き合うべき、命を守り育てる保育者、教員などに、働き方改革で制限をするのではなく、その働きに見合う給与を支払えるようにする。プレイパークなど、子どもが自主的にのびのびと心と頭と体を使い、成長していける場に補助金を増やしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
272	重点テーマ1	ウェルビーイングという言葉自体に馴染みがありません。この言葉は今後、大切な言葉であり、広がる言葉だと感じます。この言葉自体が広がる活動(キャンペーンなど)の展開を望みます。子供自身もこの言葉を知ること、自分を大切にしたり、大切にしたいのだ、と思えるきっかけになったらいいなと思います。	参考	計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい広報・周知を検討してまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
273	重点テーマ1	子どもたちがのびのび遊べる場所を確保して欲しいです。今公園ではたくさんの禁止事項があったり、なかったとしても公園の近隣にお住まいの方からすぐに苦情が学校へ行ってしまったり、のびのび遊べる場所がありません。ボール遊び含め、子どもたちがのびのびと安全に遊べる場所を確保して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
274	重点テーマ1	赤ちゃんの時（特に第一子のみ）は地域と交流する場が確保されていますが、子どもが赤ちゃんの時にそういう場と繋がれなかった家庭でも、いつでも親子共に地域や学校以外の誰かと繋がれる場を作って欲しいです。小さい時からしっかり繋がれている家庭は、大変なことは大変でも抛り所があるでしょう。そういう場を持たない思春期以降の子を持つ家庭が、安心して相談したり、抛り所にできる場を作って欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
275	重点テーマ1	P31 重点テーマ1の指標について。「すべてのこどものウェルビーイングを支える」というテーマだが、「ウェルビーイング」というのは、WHOでは身体的・心理的・社会的に良好（満たされた）状態にあることとされている。しかし、その指標がいずれも心理面ばかりで、身体面、社会面に関する指標が設定されていないのは片手落ちではないか。身体面であれば、病気の有無などで測るのはさまざまな状況の子どもがいる中で難しさがあると思うが、例えば、現代の子どもたちはとても忙しく過ごしているが、ちゃんと休息がとれているか（子どもの権利条約では休息する権利が保障されている）などは測れるのではないか。社会面であれば、同年代や地域の多世代との関係性なども評価指標に入れるべきではないか。	参考	ご指摘のとおり、重点テーマ1の指標は、アンケート・調査の結果として設定しており、ウェルビーイングの状況を把握するための1つの要素にはなりますが、これをもってこどものウェルビーイング全体を測るものではありません。こども大綱では、こども施策に関するデータの整備として、「こどもに着目したウェルビーイング指標の在り方について検討を進める」こととされており、本市としても国の動向を踏まえながら、より適切な指標について、引き続き研究していく旨を、計画に記載しています。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
276	重点テーマ1	こどものウェルビーイングの向上において「遊び」は非常に重要な要素だと考える。しかし子どもに関わる専門家も含めて、大人や社会の子どもの「遊び」に対する理解が低く、こどものウェルビーイングの向上につながる状況が生まれていることを、いくつかの子どもの居場所を体験して感じている。国連では「子どもの遊びとは、子どもたち自身が主導し、統制しかつ組み立てる振る舞い、活動またはプロセスである。それは、機会があればいつでも、そしてどこでも行なわれる。養育者は、遊びが行なわれる環境づくりに寄与することはできるものの、遊びそのものは、非義務的なものであり、内発的動機に基づくものであり、目的のための手段としてではなくそれ自体を目的として行なわれるものである。」としている。こういった共通の認識を市内に広げ、それを元に施策の検討や、遂行をお願いしたい。参考： https://w.atwiki.jp/childrights/pages/233.html	参考	頂いたご意見につきましては、重点テーマ1「全てのこどものウェルビーイングを支える」をはじめ、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
277	重点テーマ1	横浜市小学校の給食について、品目と分量が少なすぎることに食事時間を増やしてほしいです。 ・最低限一品追加して彩りのあるおかずの量を1.5倍に ・原材料高騰と職員手当の不足なら適正な範囲で値上げして一定の品質を確保してほしい ・食事時間が短く、時間内に食べきれない時もあり、食事量と共に時間を増やしてほしい ・子供達は今食べて成長しているので、来年度予算をしっかりと確保して早急に改善してほしい	参考	頂いたご意見につきましては、学校給食の充実を進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
278	重点テーマ1	子どものウェルビーイングを支える最前線にいるのは保育士や学童指導員、放課後児童支援員、プレイリーダーなどの専門職だが、彼らの待遇が低い状態が続いている。特に昇級幅が小さく結婚・出産を意識すると、長く続けることが難しく、経験を積んだ人間ほど辞めざるを得ないし、またそのような職業と認識されていくことで、新たに志望する人も減っていくという悪循環に陥っているように感じる。「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を掲げる横浜市であるならば、子どもを支える専門職を支えること（特に待遇面）についても、もっと検討してほしい（それらしい施策は「保育士の採用、定着に課題を抱える園への支援」しか見つけられなかった）	参考	ご意見の趣旨については第6章「計画の点検・評価等」「こども・子育て支援に関わる人材の確保・育成の推進」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
279	重点テーマ1	小4の8人から、意見が出たので、まとめて送ります。 学校編 遊具をもっと増やしてください。一人分の文房具を支給してください。学力に沿って、それぞれの学び方で対応してください。一人ひとりの学びをたくさん増やしてほしいです。今の子どもの時間は、一瞬なので宿題を減らして、自由に使える時間を増やしてほしいです。休みをもっと増やしてほしいです。宿白体験で海外に行きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にしたいと思います。
280	重点テーマ1	小4の8人から、意見が出たので、まとめて送ります。 給食編 デザートを食べたいです。他の国のメニューを食べたいです。メニュー自体をもっと増やしてほしいです。横浜市は、SDGsの達成をもっと本腰入れてください。私たちが将来暮らす横浜です。暴走族など取り締まり、治安が悪くならないようにしてください。もっと、学校や地域にお金を還元してください。私たちが意見が言いたいので、市議会に意見を言えるようにしてください。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策などを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
281	重点テーマ1	家族単位で子育てを完結しなくてはいけないような状況を作らない。親が子育てしていて、「わからない、難しい、手助けがほしい」と気兼ねなく言えるように、地域のコミュニティ、ネットワーク、教育機関などが整備されて、公的な場でもプライベートな場でも、もっと人的交流が図れたらよいと思う。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもを大切に作る地域づくりを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
282	重点テーマ1	「すべてのこどものウェルビーイングを支える」 計画において； ウェルビーイングを行政だけで促進するのは片手落ちです。 専業主婦とフルタイム女性の数値は逆転しました。 横浜地域の企業団体等全てがこちらの計画を理解することを目標とし、"働き方の前提理解をする"ポリシーでないと達成できないと感じております。 まずは、企業や経済団体が、子育てへの社会構造理解する施策などの素案を望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
283	重点テーマ1	様々な経験を詰めるのが資金のある家庭の子供のみになってしまう→公立学校でのプロによる出張授業を増やして欲しい→それぞれの子がその中からひとつでも心に残る事があればその後の勉強への意欲などに繋がるのでは。 例 政治(選挙)、お金、おもしろ実験、性教育、ネットリテラシー、映像作成、サバイバル、アスリート、音楽家、アーティストなど	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
284	重点テーマ1	子どもが子どもらしくいられる場がほしい	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
285	重点テーマ1	(「すべてのこどものウェルビーイングを支える」について) 子どもが何気ないことも、困っていることも、なんでも話せるような環境が欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては重点テーマ1「全てのこどものウェルビーイングを支える」を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
286	重点テーマ1	少なくとも中学校区に一つ、誰でも登録無料で行きたい時に行ける児童館(小学生～中学生程度のイメージ)を設置してください。 現在横浜市にある施設では、空間としては誰でも使えることになっているが、こども対応専門の職員がおらず、こどもも大人同様施設利用者として管理の対象とされ、こども同士安心しておしゃべりしたり遊んだりできません。(すぐ「うるさい」と注意される) 困ったら行く場所として用意されているのではなく、普段から親しんでいる場だからこそ、いざ困ったときに相談できたり、悩みが吐露できます。こどもの成長を見守れるよう、きちんと生活の保障(給与)がされたこども対応専門のスタッフがいることが重要です。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
287	重点テーマ1	(提案) P4 重要テーマ1 すべての子どものウェルビーイングを支える →子どもの人権を尊重しウェルビーイングを支える には	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
288	重点テーマ1	重点テーマ1・背景 ○また、「こどもまんなか社会」とは、20代、30代を中心とする若い世代が、それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを生み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができる社会でもあるとされています。 とまとめられていますが、こども大綱では、との前置きがあります。男女共同参画推進計画と照らし合わせ意味でも、「多様な価値観・考え方を大前提として」という文言の追記を望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で参考にさせていただきます。
289	重点テーマ1	重点テーマ1 すべてのこどものウェルビーイングを支える 背景 ・こども基本法・こども大綱では「こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る」とこども・若者の権利が随所に明記・明文化されています。 令和7年4月に施行される「横浜市こども・子育て基本条例」では、こどもの権利というキーワード、理念の記載がないので、素案の中にも表記できず、守られる立場、大切にされる立場、人権を保障される立場のこども・若者像になってしまっています。 せめて、こども基本法・こども大綱・こどもまんなか社会の説明には、こども・若者を権利の主体として謳っている旨を正しく記述していただきたい。以下のように追記いただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
290	重点テーマ1	(よくなってほしいこと) 興味のある教室や小児クリニックを増やす	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
291	重点テーマ2	長男12歳次男6歳、夫企業勤め、妻週3次男保育時間内でのパート勤め。日々時間に追われ、子育てを楽しむ余裕がないと感じる。2015年から2020年までイギリスで生活していた時はこの様な負担は全く感じず、家族の時間を有意義に楽しめていた。子育て世帯への負担が大変大きく感じる。所得税の徴収も重く感じるのは自分たちへの還元がなされてないせいではないだろうか。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
292	重点テーマ2	必要な情報が簡単にアクセス出来るとは「パマトコ」なのでしょうか。9万円の助成金の申請には、パマトコとのことで、10月に入り多くの方がアカウントをお持ちだと感じている。ただ、拠点利用時には母親でアカウント作ったが、申請には父親でアカウントづくり、二重アカウントを持つ方も多く。アプリはいつ?アプリでまた二重になったりしないのかどうか。混乱の元。また、4月から拠点でスタートし、7月に、パマトコがリリース。バック画面は変わらないが、なんだかややこしく。一斉に整ってからリリースしてほしい。画面がみづらく、拠点毎のコメントも入れづらいし。利用者さんも登録で手間どる方も多いです。特に子サポの利用者。愚痴ばかりすみません。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
293	重点テーマ2	マンション住まいです。建物内に子どもが集えるスペースがあると良いなと思います。マンションにはいろんな年代、生活リズムの方が住んでいます。猫のひたいほどですが、昔つくられたのか、子ども用の椅子とジャングルジムがありますが、子が遊んでいると、窓を閉められたり、クレームというか相談が入ったり、気を遣います。幸い公園が近くにあるので、親に余裕がある時は公園へ連れて行って遊んでいます。近所との関係も良好に保ちながら、子を気兼ねなくのびのび遊ばせたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
294	重点テーマ2	幼稚園児と小学生の親です。土地柄、まわりに教育熱心なご家庭が多いです。教育の方針は家庭によりさまざまですが、受験勉強で親御さんもストレスを抱え、お子さんも疲れているように見えます。みんながゆとりを持って生活できると良いなと思いますが、仕方ないものなのかもしれません。子の精神的な負担、親のストレス、親子の関係は大丈夫かなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
295	重点テーマ2	心にゆとりが持てることにおいて、子どもに向き合う余裕や充実につながると思うが、方向性でもある、「預けやすさの実感」や「子育て家庭が欲しい情報に簡単にアクセスでき、子育ての見通しが持っている」というものには繋がるかは疑問である。預けやすくなるは、預け先の有無の問題ばかりではない。また、子育ての見通しが持てる喜びや実感というものは、情報からではなく、少し先に行く先輩親子との繋がり、人と人との出会い、地域の中での関わり合いなどが通い合う中で、「我が子（我が家も）こうなっていくのかな」と先を見据えられることで、子育ては安心したり、親子で学び合うことで、少しずつ心も育ち、余裕やゆとりにつながると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
296	重点テーマ2	共働きですが、子供が小1になった途端に時短がなくなりました。子供はまだまだわたしにべったりで、少しでも長くわたしと一緒にいたいのに。小1になったからと言ってすぐに親離れするわけない。子供が高学年になるまでは、親が時短勤務できるようにしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
297	重点テーマ2	子育て応援アプリ「パマトコ」の登録項目が多く、地域子育て支援拠点を利用するには更に同じような内容を登録しなくてはならないので、非常に手間がかかり分かりづらさを感じる。連携がうまくいかないことも多く、登録に必要な時間が長くなり難しいので、初めての利用者は拠点に遊びに行くことを諦めてしまう人が出るのではと懸念してしまう。子育て世帯にゆとりが必要と記載にもあるので、もっと簡単に利用出来るような工夫が必要だと感じる。	参考	横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
298	重点テーマ2	一時金だけでなく、継続した粉ミルクやオムツ、おしりふきなど消耗品の購入支援をよろしくお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
299	重点テーマ2	障害のある子どものいる家庭への支援拡充を望んでいます。具体的には3点あります。①送迎支援②(通級利用時)保護者の同伴必須をなくして欲しい③利用者負担額の傾斜をなだらかにして欲しい現在、自分の子どもを民間の児童発達支援に通わせていますが、近所の施設はほぼ車で電車通いの距離しか空きがありません。現在私は下の子の育休中なので送り迎えができますが、職場復帰すると難しいため通えなくなってしまうかもしれないと不安に思っています。子育てサポートシステムも頼んでみえますが、サポーターさんの空き次第で確実に送迎して頂けるわけではありません。また、小学校に上がったあとも通級は保護者の同伴が必要で、共働きが続けられない不安があります。障害がある子を育てるには金銭的な負担も大きいため、上記の共働きが難しい現状を支援していただきたいです。また、療育の利用者負担も上限額が月4600円の次がいきなり37200円になります。応能負担の考え方はあると思うのですが、4600円→12000円→21000円→37200円くらいに収入に応じてなだらかに変更して頂きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
300	重点テーマ2	もっとゆとりをもって子育て出来ればと思いますが、金銭的にも時間的にも余裕がありません。0から2歳児の保育料を無償化してもらえたら、生活に使えるお金も増えるのと思います。また、横浜は放課後の時間はキッズが整備されていてありがたいのですが、朝の登校時間が遅いため親の方が仕事で先に家を出ることになり、子どもの送り出しが出来ないことに悩んでいます。携帯電話等は学校に持って行けないことになっているので、本人に何かあったら怖いと思いつつも、子どもに鍵をかけさせ登校させている現状があります。キッズで朝の預かりもするなど、子どもにとって安心・安全な朝の居場所づくりを進めて欲しいです。いくら「相談できる場」を増やしても、毎日の子育てに「実際に手を貸してくれる人やサービス」がないと、生活は何も楽にならないと感じています。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
301	重点テーマ2	子ども(第二子)が生まれて、サポートが少なく、産後ケアでショートステイやデイケアを利用したかったのですが、4ヶ月までの制限があり、夫の仕事の都合や第一子を預けられない状況があり、せっかくの補助を受けることができませんでした。期間の制限がなければ、夫の仕事を調整する期間がとれて、もう少し身体と心を休める期間がくれたかと思えます。また、産後2ヶ月間は預かり保育の上限が9000円で、保育時間を延長できたことでとても日中救われたのですが、それを過ぎてからは金銭的に余裕がなく、短時間の預かりしかしてもらえず、身体がこれから回復するという時期に、赤ちゃん返りをする第一子との関わりのなかで精神的にも疲労が大きかったです。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、また、私立幼稚園等預かり保育事業の制度検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
302	重点テーマ2	子育て家庭にとっての「ゆとり」とは、ストレスなく過ごせる環境の提供です。しかし、現状の行政システムや手続きは、逆にストレスを生む仕組みを無意識に作り出しています。これは、行政担当者が一般企業レベルのサービス基準に追いついていないためです。具体的には、住民向けシステムのユーザー体験(UX)が非常に低く、申請手続き一つとっても親世代にとって負担が大きいのが現状です。一般企業が提供するシステムとは比べ物ならず、行政のプロジェクト担当者が自らの作ったシステムを体験していないように感じます。市民にとって使いやすい仕組みを作るため、一度リリースしたものをしっかりと見直し、改善を重ねていくべきです。	参考	横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
303	重点テーマ2	「小1の壁」とあるが、これは、両親が就業するのに発生する「壁」である。一方で、子どもたちにも、小学校に入ってしばらくの時間は、大変な緊張を強いられる時間である。そのため、小学校でも、最初は授業を短くし、親や家庭のサポートを多く入れるよう配慮しているものと思う。この期間、「親の壁」の打破が大事なのか、こどもの心的な「壁」の溶解が大事なのか。こどもをまんなかにするというなら、慎重に検討すべき事項に思う。1年生から学級崩壊を迎えているケースも増えたと感じている。不登校児の増加も嘆かれており、一度子どもが不登校になると、親の負担は「小1の壁」どころではない。なんらかのデータや研究結果の提示が欲しい。「子どもが預けられたら」、それが、「ゆとり」なのか。こどもは、まんなかにいるか？	参考	頂いたご意見につきましては、保育所、幼稚園、認定こども園から学校への円滑な接続を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
304	重点テーマ2	現在の産後母子ケアのショートステイでは母子同室メインであり母親が休めるようになっていない。他の自治体で母親が夜間寝て体を休められるように夜間預けられるところがありとても羨ましかった。夜眠れるだけで本当に元気になるため、どうにか夜間睡眠をサポートできるような助成がほしい。例えば一回限定、生後三か月までで夜間預け可能な産後ケアショートステイを可能とするなど。産後寝不足が辛く産後うつになり区役所に相談したが、提案されたものはどれも休める時間が2時間程度のみで絶望した。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
305	重点テーマ2	夏場に外遊びができないため、室内遊び場を増やしてほしい。また、オムツ着用で入れるプールがほとんどないため、オムツ着用エリアのあるプールがほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
306	重点テーマ2	パマトコに子供の情報を入力しているのに、ファミサポのページで再度子供情報を登録する手間を省略してほしい。	参考	横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。
307	重点テーマ2	無償化等言うが実際にはお金がかかる現実。オムツや給食費など絶対的にかかるお金も全てとは言わないけれど、補って欲しい。オムツ月に1パック分だけでも、夜ご飯を楽しんだり余裕が出来るので心の余裕ができる。子ども食堂などは外に出るきっかけにもなり、とても助かっています。また、ホームに出たい改札にエレベーターがなく出れなかったりなど、ベビーカーの不便さを感じます。(戸塚下り地下改札)	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
308	重点テーマ2	東京のように妊娠出産したら合計15万円のクーポン券が欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
309	重点テーマ2	東京では妊娠した際にタクシー券をくれました、横浜市でも欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
310	重点テーマ2	東京018を横浜市にも導入して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
311	重点テーマ2	横浜市は一時保育事業をしておりますが、希望日が他の家庭と被ってしまい、実際には希望した日程で預けることが出来ません。また、一時保育施設を利用しましたが、日程申請が1日と15日に可能になると言われ2週間先の申請からしか出来ません。とても使いづらい。預けるにしても、我が家では水分補給はコップでしており、ストローやマグ、水筒は練習させてないので使えません。その旨をお伝えするとコップを使った水分補給は対応出来ないと言われる。必要な時に預けることも出来ず、融通も効かない。ゆとりも何もありません。持ち物も多く移動が大変です。また事業所によって規約もルールも違う。分かりにくいです。論点がズレてしまいましたが一時保育事業拡大及び各施設の統一化をして欲しいです。	参考	ご意見の趣旨については重点テーマIIの「7つの方向性（2）こどもの『預けやすさが実感』できている」、基本施策3の「施策の目標・方向性（6）多様なニーズへの対応と充実」などに盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
312	重点テーマ2	保育料が高額すぎます。保育料負担のために、収入の減る時短勤務を諦めざるをえず、結果的に長時間保育になってしまう悪循環です。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
313	重点テーマ2	ひとり親はもちろん、一般的（平均的）家庭に対する支援策もお願いしたいです。例えば、何かの手当を出すなど。横浜市民ばかりではないですが、職場の子育て世代を見ていると普通の収入があると思われる家庭でも子育てに余裕がなさそうなので、ひとり親以外にも支援策を考える必要があるのではないかと感じた。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
314	重点テーマ2	一時保育の受け入れが少ないです。週1から3日勤務のような働き方だと一時保育の利用となりますが、空きが少なく、また保育園ごとの受付の為、探すのが大変です。子どもが小さいうちは仕事をセーブしつつ働きたいという多様な働き方を選ぶように、一時保育の受け入れを増やしてほしいです。認可外幼稚園は幼保無償化の対象外となるため、補助がありません。金銭的な格差なく、子どもに受けさせたい教育が受けられるように、格差をなくす補助の仕方を希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、幼児教育・保育の無償化については、横浜市ウェブサイトにてご確認ください。
315	重点テーマ2	ひと口に『ゆとり』と言っても、様々なゆとりがあるかと思います。例えば、金銭的ゆとりや時間的ゆとり、精神的ゆとりなどです。中でも、子どもを2人育てている立場として、最も実現したい『ゆとり』は、金銭的ゆとりです。まずは、子ども関連用品への課税を軽く・免除していただきたいと思えます。おむつや離乳食、ベビーカー等、安価で手に入ることで、広くそれらを活用し時間的ゆとりを生み出すことが可能になります。また、0歳児から保育利用料を無料にし、職場復帰が可能な環境を整えていただきたいです。金銭的ゆとりは、時間も気持ちも豊かにしてくれます。どうかご検討のほどよろしくお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
316	重点テーマ2	高校無償化を進めてください。都内との差をこれ以上上げないでください。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
317	重点テーマ2	東京に負けなようにゆとりある横浜を目指して頑張してほしい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
318	重点テーマ2	多子家庭にはお金の面はとて死活問題です。学費、給食費などの費用をもっと重点的に支援して欲しいです。子どもを産みたくてもいまの支援だとフルで共働きで働いてもダブルワークをしないと生活ができません。経済も関係してきますが、いまの日本では1人の子どものも育てられないし、苦勞するなら1人で結婚もせずに暮らした方がいいと言う若者の気持ちもすぐわかります。手厚い支援をお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
319	重点テーマ2	アプリ制作とあるが、正直使いにくいコンテンツになる未来しかみえない（横浜防災のアプリが使いにくいので同じようなものになりそう）。外部業者委託になると思うが、アプリに予算をあまりかけないでほしい。アプリでやるなら子育て世代全員に周知させてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
320	重点テーマ2	小学校の放課後キッズクラブが今年から夏季に「熱中症アラートが出た場合、区分1の受け入れ禁止（預ける場合は有料）」となったため、夏休みの間は子どもが遊べる場所が減ってしまった。猛暑日は来年以降も起きる問題なので、何か対策をしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
321	重点テーマ2	母子手帳のサイズが大きいので、妊娠中の持ち歩きが大変。他県ではさらに小さなサイズもあるので（以前住んでいた静岡県長泉町は子育て推進がすすんでおり、母子手帳もかなりちいさかった）、スリム化をはかってほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、母性相談事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
322	重点テーマ2	東京都との格差をなくしてほしいです。10歳、8歳、0歳の育児をしています。自営業で在宅にて仕事をしており、自営は産休育休がないため生後1ヶ月で復帰をしました。0歳の子を保育園に入れたいのですが、第一子扱いとなり保育料がとても高額です。わたしの所得では保育料で3分の2は消えてしまいます。保育園にいれないで仕事をするというのは、子供にも我慢させることがたくさんありますし、私自身も仕事に向き合えず所得は増えない。本当は保育園に預けてしっかり働きたい。東京都では2人目から保育料無償化ということや、独自の給付支援、給食費無償化などを行っているので転出も検討しています。足並みを揃えていただきたいというのが切実な声です。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
323	重点テーマ2	"ゆとり" お金の面でゆとりが欲しい。習い事無償化。→やりたい事があっても金銭面が理由でやらせてあげられない。大学まで無償化。→親に気を遣って、大学は行かない、という理由をなくしたい。親が頑張っても限界がある。子供にも親にも金銭面のゆとりが欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
324	重点テーマ2	学童世代からの保護者が関われる組織としてPTAがあります。保護者会ではなく、保護者が学校と一緒にこどものことを考える場としてPTAはとても貴重な組織だと思います。活動内容を見直すことで、こういった横浜市の活動の支援ができる組織になるのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、PTAとの円滑な連携を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
325	重点テーマ2	様々な取り組みや施設があるとは思いますが、利用する側への周知が弱いと感じます。赤ちゃん教室や障害児でも利用できる施設、利用者側が必要な時期を過ぎた頃に知る事も多くそれぞれの年代に必要な情報提供、HPや窓口からアプリの利用、施設利用者を通して情報発信するなど今後は是非ご検討いただきたい。	参考	横浜市子育て応援アプリ「バマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。
326	重点テーマ2	核家族化が進む中で行政や地域との繋がりを大切に出来る取り組みをしていただきたいです。緑区では区役所で物々交換のパイプ役を担ってくれています。また中学校では制服をお下がりで譲る取り組みもしています。些細なことですが、体操服や帽子など細かなものがお下がりで継承されることはとてもありがたいしとりくみやすいかなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
327	重点テーマ2	特性のある子の家庭に対する作業療法士の介入を希望します。各種発達検査を受け凹凸差の数値が20以上あったり、境界性知能であったりしても、医師から障害認定を受けられず、結果、療育や支援級に繋がることができない児童がいます。フランスやアメリカでは、親が困った段階で支援に直接繋がることができず、現状においては子ども自身が困ってから障害認定をだしますが、これでは二次障害を起こした後からようやく療育が始まるようなことで、回復にも時間がかかりますし人生がそのままの状態が終わってしまうほど支援につながるタイミングが遅いと強く感じます。アメリカやフランスの事例のように、親が困ったタイミングで作業療法士からDCD対策、LD対策、言語聴覚士から吃音への訓練、など各種療育の専門家に繋がり家庭療育ができる体制があると、安心して産み育てられる横浜市になります。財政豊かな品川区や世田谷区の物質的支援やベビーシッターの派遣などには及びませんが、親自身が助けを求めたときに専門家と繋がり療育を得られる横浜市になれたら誇りに思いますし、子どもと親の人権を尊重する横浜市にならずと住み続けたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
328	重点テーマ2	インフルエンザ、コロナウィルスワクチンの助成をして欲しい。多子世帯では感染症予防は働き続けられるゆとりをもつこととして重要です。感染症を罹患するとたちまち勤務の調整や病児保育の利用などゆとりある生活とは真逆の生活になります。防ぐことのできる感染症については予防に力を入れたいですが、複数の子どもが自己負担のあるワクチンを受けると経済的なゆとりは持てなくなります。現在は全額自己負担で受けていますが、インフルエンザ1人2回7000円前後コロナワクチン1人8000円をかけて家族分打っていますが数万円の負担となり、医療費控除も対象となりません。ぜひ高齢者だけでなく小児も助成をおねがいします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
329	重点テーマ2	私立高校助成について神奈川県で実施されている私立高校に通学する家庭への助成がありますが、世帯収入の制限にかかってしまい一切補助を受けることができません。そのような世帯を横浜市として援助して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
330	重点テーマ2	正社員で働くと、9-18時の拘束時間+通勤で帰ってきて、それから料理+洗濯をすると子供のことまで手が回らないし、子供の睡眠時間もどんどん遅くなる。ほとんどの企業はさらに残業があるため、正社員で働くことが難しすぎる。横浜市には、残業が少ない企業を奨励してほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
331	重点テーマ2	現在子供が横浜市内から都内の中学に通っています。都内在住のお友達と同じように課外活動をするのが出来ず、補助金の差を埋める対策が少しでもあるとありがたいです。現在年収により補助制度があるかと思いますが、家庭の子供の数にもよって一概に一括には出来ません。隣県との補助金の差が懸念となり、横浜市内からの受験を諦めるか引越しを考えざるを得ない状況は、非常にもったいないことだと感じます。ぜひ、横浜市内でも、高校授業無償化をすすめていただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
332	重点テーマ2	現在子供は小3と幼稚園年長です。自営業にて働いていた為、保育園に預けられず0歳から幼稚園入園まではずっと自宅のみで1人時間も取れず大変でした。働いていない母、自営業の母でも0歳から気軽に預けられる保育のシステムが欲しいです。一時保育は利用していましたが、結局なかなか予約が取れずに使えませんでした。(横浜市青葉区の●●保育園)子供を産んだことにより、孤独になる母に寄り添ってくれるシステムをもっと増やしてもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
333	重点テーマ2	常勤正社員で働いているシングルマザーです。経済的余裕ありませんが、所得制限からひとり親の公的支援は得られません。そのため仕事量を減らすこともできず、結果毎日残業で子供には寂しい思いをさせてしまっており、病気の時やトラブルの時にも頼れる人がほとんどいなく、子供にも申し訳なく葛藤する日々です。それでも世間からは、ひとり親だから、色々控除されたり給付があつていいよねなど間違つた情報で嫌味を言われることもあります。本当の余裕というのは、もっと子育て世代が子供と笑顔で過ごす時間を増やせる事だと思います。どこかに連れて行ってあげる時間や夕食を一緒に食べる時間など。経済支援が難しいのであれば、例えばひとり親世帯に収入関係なく、買い物代行や家事代行サービスをしてもらえるだけでも心の余裕が増えると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策7におけるひとり親家庭の自立支援及び日常生活支援事業（ヘルパー派遣）等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
334	重点テーマ2	小学校のキッズで夏休みにお弁当を出してもらえるようになったが、子どもは美味しくないと行って、結局お弁当を持って通っていた。キッズが楽しくないようで、子どもが行かなくなってしまった。楽しめる工夫があると、ありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
335	重点テーマ2	発達障がい（自閉、ADHD、学習障害黒よりグレー、知的障がい）がある子どもを3人育てています。それぞれタイプが違うため、対応も違い、働きながら複数の事業所の面談の時間を抽出することも大変で、スケジュールバズルも毎度大変です。幼稚園の場合は発達障がい児の受け入れは厳しく、入れても通園日数制限に預かり保育は利用不可。一時保育と併用しても、園に預かり保育が制度としてあるからと補助は出ない。保育園はフルタイムじゃないと入れない。複数発達障がい児がいてフルタイムで働けない状況なのに？通院先が遠い、放デイ児発は激戦、児発の送迎ありは少ない、お金はめちゃくちゃかかるのに特児扶養手当の却下率は全国上位。特児にはきょうだいにも発達障がいがあることが考慮されず、国の問題も当然ありますが、横浜市として改善できることもやる気になれば少しはあるのでは？税金のために節約して過ごし、受けられる税金の支援はごく僅か。働かなければ保育園に入れない、保育園に入れないからフルタイムは無理、保育園に入れたら療育を諦めなければならない。矛盾だらけです。親にも子にもゆとりなんてありません。少数派は特に。	参考	頂いたご意見につきましては、障害のあるこどもの受け入れや、児童発達支援や放課後等デイサービス事業等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
336	重点テーマ2	子どもの各進学節目に、お祝い金を市からもらう。そうすると、1.支出の多い時期の家計の負担を軽減できる、2.子育ては親の自己責任ではなく、社会全体な責任だと実現する。3.子どもの社会へ貢献する精神が育つ。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
337	重点テーマ2	金銭的ゆとりが大事。共働きが増加しているのは、そうじゃないと生きていけない・養えないからです。根本に立ち返ってください。子どもにかかる投資が少なすぎる。出生率の減少は底が見えません。今すぐ第一子の0才児から保育園利用料無料とし、高校まで所得制限なしで授業料無料、横浜国大・市大等も市民は無料としてください。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
338	重点テーマ2	東京都では私立高校の授業料を全ての世帯の所得制限がなく無償化、補助をしていますが、横浜市は所得制限が依然としてあります。その点を考えても、横浜市は恩恵が少ない割に高所得者への対応が冷たい印象です。東京都とともに足並みを揃えて、所得制限なく無償化にして欲しい。恩恵が少ないから、別で恩恵を求めて、ふるさと納税をしてしまうのではないのかと思ってしまいます。市民全員に優しい市になってもらいたいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
339	重点テーマ2	乳幼児、学童期の支援に重点がおかれており、私立中学助成、高校無償化の所得制限撤廃対応など隣接する東京都に比べて支援が著しく乏しい点を課題として捉えてすらいけないのは問題であると考えます。所得制限により子どもを差別し、稼げる家庭を冷遇することで高額納税家庭の都内への引越しを助長することは税収面でもマイナスの影響が大きいのではないのでしょうか？	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
340	重点テーマ2	教育格差は絶対にあってははいけない。1人目から親の年収に関係なく、公立、私立高校無償化の対応を早急に強く要望します。最低でも年収1000万以下は、無償化の対象にすべき。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
341	重点テーマ2	食事の準備を子供に任せることを習慣にして、時間がかかる事を体験させる。その間、あえて親は待つ習慣を守る。又、食器や冷蔵庫の副菜等を食卓に並べる事は食事を食べる楽しみにも繋がる。親が子供の行為を急かすとお互いに心の余裕が無くなるので、イライラすることも。ゆとりは気持ちや行動に伴うので、任せた事には口出ししないでおく忍耐も必要になる。家庭のお手伝いを増やしていくと、家事の分担化にも繋がる。子供の達成感を増やして笑顔が増えるとお互い相乗効果が得られると思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
342	重点テーマ2	子供が未就園児だったころ、自分自身が体調が悪くても利用したいときに一時保育が全く利用できませんでした。しかし、私と同じように定職がない主婦の方で定期利用で一時保育の枠を確保して利用できているということがありました。補助金が利用されている施設ならば、一部の方が子育ての資源を独占するのではなく公平に利用できたらと思います。埼玉から横浜市に引越して来られた方に話をきくと、埼玉ではみんなが一時保育を利用できるように回数の上限があると以前聞きました。横浜市の子育てのしにくさに驚いているようでした。手助けしてくれる親族が身近にいない場合、ゆとりがある育児が出来ない場合があります。結果的に夫婦共に初めての子育てがあまりにも過酷だったため、子供は一人が限界という事になりました。	参考	頂いたご意見につきましては、一時保育事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
343	重点テーマ2	専業主婦、今のところは義務教育のおかげでボーナスなしでもやりくりしています。我が家のゆとりは私が穏やかであることです。息子は帰ってから30分位ずっと学校の話が止まりません。時間割を揃えながら授業の話もしてくれます。息子が俺みたいなのが集まれば学力向上して先生の働き方改革がスムーズになるのと言っていました。働いていたらじっと聞いてあげることが出来ないなと思います。うちの子はこんなに話すのに会話のない家庭はたくさんようです。どこで子どもは発散するのでしょうか？新婚の頃、隣の駄菓子屋のおばあちゃんが男は外で戦ってるからサポートしなさいと言っていました。女も外で戦っていたら？お母さんがバタバタしていたらゆとりはないのかなと思います。以前学校の係決めの時に生活のために働いてるから係りなんて出来ない、そんな声が聞こえてきました。子供の希望で共働き家庭を選択しているとは思えません。自分がどんな生活をしているのか振り返るアプリや身の丈に合った生活水準を知るアプリや今あるものでやりくりする工夫はどこかで提供をしていますか？	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
344	重点テーマ2	子どもの教育費無償化が書かれていないようですが、どのように考えられていますか。東京が高等教育を所得制限なく無償化する中、現状では子育て世帯は東京へ流出し、今後の市政は崩れていくと危惧しています。花博や建物などの整備にはかなりの予算を割いている横浜市ですから、高校から大学の無償化は難しいことではないと感じます。(大学は学びたい方に限るための小論文などを要件に加えても良いと思います)少子化対策にもなりますし、絶対に進めるべきだと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
345	重点テーマ2	横浜市は東京に比べ、子育て政策が遅いと思います。①医療費無料の年齢が中学生になるまでがおそい②高校無償化になってない→高校生に子供がなる家庭はみんな都内に引っ越すと思います。③住民税が高い→みどり税って生かされてるんでしょうか？緑が増えてる感じもまったくありません。何に使われてますか？④坂道ばかり、道路が狭い上に交通量がおおい、坂道の住宅街にバスが通ってない⑤公立の部活動が活発でない。運動会も競技が縮小している。公立の小学校は、こんなに共働き家庭が増えているのに、PTAの活動は平日、授業参観も平日、宿題の採点もしない、旗当番に加えて見送り当番(←六年生が把握できているのに親が出ていく必要があるのでしょうか？時間にきてない子は、その家庭の責任でいいのではないのでしょうか？)まであり、出勤時間の調整が必要で家庭と仕事の両立が大変。親は老老介護で子供を頼める状況ではない。※高校無償化は東京都がしているのだから、すべきだと思います	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
346	重点テーマ2	私立高校。それがたとえ神奈川県の子校だとしても、東京都の子は所得の制限なく全員授業料無料。一方、神奈川(横浜)の子は、料金の極一部、少ない額の補助はあるものの、所得制限有りで実質使えません。繰り返しますが、神奈川の学校でもです。高校だけでなく、私立中学も同じ感じ。公立中学校は、未だに「普通の」給食は用意出来ず、公立小学校は、体育館にエアコン無し。幼稚園に至っては、公立が無く私立しか選択出来ないのに、仕方なく高額な料金を支払い続けるしかなかった。医療費も0歳から払っていた。他の地域との不公平感が大き過ぎて、横浜での子育ては誰にもオススメ出来ません。『ゆとり』だなんて程遠いと思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
347	重点テーマ2	私立高校の授業料減免について。東京都は私立高校授業料が無償化されていますが、神奈川県は補助はあるものの所得制限があったり、県外の私立高校に通う生徒は対象外のようなのです。授業料減免について所得制限を撤廃したり、県外の高校に通う生徒も補助の対象としてほしいです。中学高校でかかる費用への負担感と不安感が取り除かれれば、経済的ゆとりが生まれ、進路選択の幅も広がると思います。横浜市というより、神奈川県の問題かもしれませんが、ご検討いただけたらありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
348	重点テーマ2	子供（9歳、6歳、0歳）共働きフルタイムの保護者です。上の子がキッズクラブ、下の子が保育園の時、保育園では19時30分まで預けられていましたがキッズクラブは19時まで預かりとなり非常に困りました。小1の壁です。キッズクラブお迎えのために大幅に勤務時間を減らせば下の子は保育園へ行けなくなる問題があり、両方が入所できるギリギリのラインの勤務時間にしてもらうため、会社に頼み込んで時短勤務にしてもらいました。時短勤務にすれば給料が減ります。キッズクラブの預かり時間を20時までにして欲しいと都筑区役所の方にキッズクラブ開所時間延長にならないか聞きましたが「民間の学童保育をご利用下さい」との事でした。民間の学童保育は莫大な費用がかかり毎日の利用は現実的ではありません。周りの保護者も会社を辞めたり転職せざるを得ない方がたくさんいます。保育園とキッズクラブ、同等の預かり時間にして下さい。キッズクラブ利用料金上がってもかまいません。早急に改善してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
349	重点テーマ2	中学の給食対応や、医療費の所得制限撤廃や、高校授業料無償化、など他の県とくらべて遅れているな、と感じます。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討や、中学校給食事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
350	重点テーマ2	高校生まで、支援金が延長になりました。非常にありがたい事です。子供が3人居ますので、様々な支援が有ると助かります。高校実質の無料？実感有りません。年収で無く、実手取り額で対応をお願いしたい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
351	重点テーマ2	横浜市の子育て支援はすべてにおいて遅れを取っていると感じる。ゆとりを生み出すよりも先に子育てしたいと思わせる、ここで育てたいと思わせる様な魅力的な政策がない。ただ、立地や環境面的に子育て世帯が多く住んでいるだけで政策や支援の理由はほぼないはず。支援なんてない様なもの。こどもにとって、緑や公園が多く学校の場所が安全で通いやすいなどの利点はあるのに、子育て世代の為になるような支援が思いつかないのはなぜなのか、知りたい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
352	重点テーマ2	放課後キッズクラブでもタブレットが使用出来る環境を整えて欲しい。紙の宿題はキッズで出来るが、タブレットの宿題はキッズで出来ないのだから家に帰ってからだと遅くなるし、キッズでは只遊ぶだけになってしまっているから。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
353	重点テーマ2	勉強をがんばっていても、よほど家庭が裕福でないと、私立高校や大学を目指せないのがもったいない。現在は所得制限があり、助成金額もわずか一部。所得制限無しで、実力がある子にはもっと助成をしても学校の選択肢を広げてほしい。医療費も高校まで無償化だと安心して病院に行けると思う。子ども人数、世帯の所得にかかわらず、皆が同じように恩恵を受けられると、気持ちよくこの街に住み続け、税金も気持ちよく払えると思う。現在は都内との差がありすぎ、転居を考える話をよく聴く。※匿名希望	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
354	重点テーマ2	●●町在住です。小児科がいつも予約いっぱいではなかなか受診できません。気楽に受診できる小児科やオンライン診療が増えたら助かります。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
355	重点テーマ2	●●町在住です。綱島公園のモッキーのような子どもが遊べる施設が増えるとありがたいです。屋外も制限が多いので、もう少しボール遊びやスケボーなどが自由にできる場所があればありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
356	重点テーマ2	両親の時間的な余裕のなさが、大事な子育て期間にゆとりを持っていない原因と考えます。週4勤務の実現、働き方の選択の充実度をあげる。遠方の親が手伝いに来てもらうことへの金銭的な支援を希望します。外注を嫌がる夫、外注をしてまで働きたいのかと感じる妻。自分のキャリアも大切にしたいという気持ちもあり、日々葛藤しています。もっと選択肢が増えて、受け入れられる社会になって欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
357	重点テーマ2	神奈川県・横浜市の私学助成など、神奈川県内の私学じゃないと対象にならない、また夫婦共働きで必死に稼いでいても私学や大学費用を捻出するには厳しい中流家庭には対象になっていない現実。働かなければ子供の塾や習い事がさせられないなかで、働いているがために助成は対象にならない。離婚をした方が子供に選択肢を増やせるのではないかとさえ思ってしまいます。物価や光熱費の高騰が続く中で給与所得があっても税金やローン、支払いで手元に残るのはわずか。子供を持つ家庭の親が、平等に選択肢を持つ世の中になるのであれば、また高齢になった時に社会保障が充実されていれば、消費税や所得税がいくらか上がっても良いと思っています。(デンマークのように)	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
358	重点テーマ2	学校の成績2期制に疑問を感じています。学期途中の面談で改善点を聞いて後期に努力し改めても、後期の成績表は1年間の総合評価という理由で前期にできていなかった事を理由に成績は上がらない。子供達にとっては努力しても結果に繋がらずやり直す機会がもらえない状況で勉強を強いられ、これはいかがなものかと疑問に感じています。意欲低下しか招かない教育システムだと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
359	重点テーマ2	児童手当について 児童手当は未だ家計の主たる収入がある保護者の名義の口座でないと受け取れないのでしょうか？そうすると大概妻の方が収入が少ない世帯が多く、夫から児童手当が受け取れない問題のある家庭もあるのだから、夫婦どちらの名義でも申請できるようにするべきだと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、児童手当支給事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、児童手当は児童手当法等に基づき全国一律で定められている制度であるため、原則として、児童を養育している人が複数いる場合は、「生計を維持する程度が高い人」（一般的には、父母のうち所得が高い人）に支給します。しかしながら、別居中の両親が生計を同じくしていないような場合（離婚協議中の場合（離婚している場合を含む。））については、同居している人が児童を養育していると考えられることから、児童と同居している人に支給されます。
360	重点テーマ2	交通機関について 市営バス、地下鉄は高齢者ばかり優遇され、子育て世帯への支援がないので何かしらの支援が欲しいです。小さい子供がいても自家用車を所持していない世帯の移動は大変です。横浜市は山坂も多くベビーカーを押して坂を上るのは本当に大変でした。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
361	重点テーマ2	子供の遊び場について 未就学児は地区センターや各区の地域子育て支援拠点で遊ばせられますが、小学生は公園しか行き場がなく、炎天下の夏場や雨の日は遊ばせる場所がありません。地区センターは図書コーナーくらいしかいる場所がないので静かにしているしかなく、体育室で卓球などはできるものの、交代制で30分程度の短時間しか遊べないそうです。町内会館は有料の予約制でいつも高齢者で埋まっています。悪天候でも小学生がゲームしたりお菓子食べたりできる場所があると助かります。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
362	重点テーマ2	子育て支援というと、乳幼児や学童ばかり話が出るが、義務教育が終わってからのホントに学費や塾代、予備校代がかかる。3人子がいる世帯やひとり親世帯ばかり支援されて、2人育てている家庭が1番苦しい状態になる。予備校代に100万以上、高校受験のための塾に80万くらい飛んでいく。私立ともなればさらにお金がかかる。その現実をしっかりと見てほしい。働けど働けど、全てが学費塾代に流れて行く。高校、大学の私立の学費、せめて半分補助してほしい。理系大学の学費は、バカ高い。裕福な家庭じゃないと行かない。格差をなくし、お金の悩むことなく進学先を決めさせたい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
363	重点テーマ2	現在3度目の育休中です。こどもが小さい内は仕事へ行かなければいいのに、と親～祖父母世代の意見とはぴったり一緒ではないですが、上の子が何歳だとしても、複数人いると物理的な手が足りなく感じ3歳位までは自宅育児が出来たらと強く感じている今日この頃です。誤解を恐れず言うと、保育園に預け職場復帰するのが小さい程苦労が大きいはずなのに、0~2歳児迄は保育料が発生するままのもの、就労者を増やしたい目標と相反するとも見え、復帰のモチベーションが保てません。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
364	重点テーマ2	子育て世代に幅広く給付金を配布して欲しい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
365	重点テーマ2	子供の遊び場を増やしてほしい。バレーボール（ソフトバレーではない）ができるところを増やしてほしい。バレーボールのクラブチームを増やして欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、バレーボールができる場所等の居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
366	重点テーマ2	塾の無償化希望	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
367	重点テーマ2	障害児を抱える3児の母です。中学支援学級在籍中は、登下校見守りが、必要で、家族でサポートしてきました。きょうだい児が小学生と年少児のため、せめて障害児の子どもだけでも移動支援サービスやボランティアさんなど地域で助けてくださる方がいらっしやると助かりました。（放課後デイサービスをもっと柔軟な形で登下校見守りサービスや福祉が利用しやすく考えて欲しいです）高校からも親が通学を見守らなければならないので、交通費や時間の負担を考えると、不登校ではないですが、通信高校で自宅で親が高校卒業資格のサポートをしてあげたほうが支援学校へいくより有意義ではないかと進路も迷うほどです。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援や、放課後等デイサービス事業の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
368	重点テーマ2	求めていることが何一つ計画になかった。出産や未就学児、小学生の育児よりも、お金がかかるのは高校、大学です。またいくら時給を上げて年収の壁を引き上げないと、子育てしながらパートタイムで働く主婦の生活は楽になりません。 ・年収の壁を170万位に引き上げる ・公立と私立の高校授業料無償化 ・教員になる場合は短大、大学でも奨学金支払い免除などを早急に検討していただきたいです。 出産費用や幼稚園保育料の補助金を引き上げても、料金を病院や幼稚園が引き上げるので、支払いが大幅に減ることはないですよ。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
369	重点テーマ2	<p>デリバリー方式のハマ弁ではなく、中学生にも小学生同様の学校給食の提供を実現して欲しい。現代は共働き世帯がスタンダードになっているので、平日の朝、育ち盛りの子供の食べる量のお弁当作りは時間的にどの家庭もネックになっている。共働き家庭は時間に追われて家事をすることが日常化されており、食事は時短調理や作り置きに向けた食材が多くなる。学校給食は、管理栄養士が作成した地産地消を始め、地元食材や旬の食材を使った栄養バランスの取れた食事提供になるため、未来に活躍する子供たちには大変重要な役割である。義務教育中の中学生に学校給食すら実現できないなんて、政令指定都市として恥でしかない。食育の観点からも最重要案件として、迅速に取り組み、実現して頂きたい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
370	重点テーマ2	<p>子どもの教育費の負担が大きすぎる。公立学校での教育でみんなが満足できるようになることが理想。時には塾も含め子供向け教育に関わる一般企業と連携し、公立での教育内容を充実させて欲しい。それが横浜市の子育て家庭のゆとりに大きくつながると思う。経済的にだけではなく、親も子どもにとって時間のゆとりも生まれ、心のゆとりにつながると思う。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
371	重点テーマ2	<p>そもそも【ゆとり】とは具体的にどんな定義でお考えでしょうか。子育てにゆとりが必要なのはわかりますが、具体的に何をするのか提示されていないので、実現は難しいかと思います。個人の価値観、生活環境、母親の気質、赤ちゃんの気質など感じ方は人それぞれです。笑顔、幸せとありますが、それは今でもあるものです。赤ちゃんが生まれた瞬間から、生活が目まぐるしく変化する中で、【身近な情報を得る】ということに関しては命綱のようなものだと思います。その第一歩が赤ちゃん訪問であり、その質を聞きたいです。ママが地域とつながる第一歩。雑に扱われたら残念に思うし、もちろん期待もしないでしょう。訪問員さんの世代の引き下げ、もしくはママ世代の方(地域資源)の協力を得るべきです。今では意識の高いママが多い印象です。オンラインで学び資格を持っている方もたくさんいます。困っているなら助けたい。そういうママがたくさんいます。その力を借りて、旬な身近な情報をアプリでは届かない情報を届けて欲しいと願っています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
372	重点テーマ2	<p>遊具がたくさんある公園がもっとほしい。家族みんなでゆっくり過ごせるご飯屋さんがもっとほしい。</p>	参考	<p>安全・安心な公園づくりを進める上で、また、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
373	重点テーマ2	<p>素案全体を読んだが、みんなが主役とは思えなかった。全ての子供が保護者の所得や特性の有無に関わらず、漏れなく恩恵を受けられるような支援を望む。(給食費無料、義務教育期間の学童用品の支援、インフラ面での学校設備の充実など) 子育てアプリはあまり必要性を感じなかった。既存の情報を集約しているだけにみえたため、横浜市のHPでリンクをわかりやすくするなど対応できるのではないか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
374	重点テーマ2	経済的ゆとりをもてるためには、保育料を無償化してほしいです。1人目から無償化が難しいのであれば、せめて第三子は上の兄妹が小学生であっても無償化してほしい。そもそも兄妹が未就学児に限定される理由はなぜなのでしょう？3歳以降は無償化となった現在、小学生だって給食費は払ってます。むしろ放課後キッズを利用する利用料や教材費などかかる経費は増えてます。家族が増えれば食費も増えます。衣服代も増えます。経済的負担は増える一方です。歳の差があるだけで、区別されるのは矛盾していると思います。東京都や川崎市のように、早急にご検討をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
375	重点テーマ2	高等教育や幼児教育にかかる教育費、学費の無償化を急ぎ進めることが優先度、影響度、効果の観点からとにかく重要だと考えます。東京都と横浜市では上記の格差が大変大きく、周囲でも学費、教育費を理由に都内に引っ越す子育てファミリーが散見しており、横浜市は教育負担が大変大きい認識です。各補助の所得制限も東京都より厳しく、ベビーシッター補助等もあまりなく働きながら育児できる環境が東京都よりも大きく遅れており厳しい状況です。財源の優先順位を見直して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
376	重点テーマ2	子育てするのに、教育資金がいくらかかるか不安ではないかな。だから子どもを産みたいと思う方が増えない。産んでも1人と思いき、手厚く教育や愛情をそそいであげられる、と思う。子どもが多い事は楽しいし、幸せ。しかし、皆と同じような習い事や体験をさせてあげられない事がとても悔しい。異次元の子育て政策と言うのであれば、給食費無償化、学校費無償化、塾代補助金有、等とかの政策が欲しかった。横浜市も全中学校給食が始まるが、給食費不安。公立の中学校の修学旅行も、奈良、京都、と統一して欲しい。遠方の旅費は家計に負担。旅行に行かせてあげられないので、せめて歴史を学んで帰ってきて欲しい。とにかく、子どもを預ける場所や出産費補助も大切だが、産まれてきてからの補助も手厚くしてくれる事を望む。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
377	重点テーマ2	ゆとり、、、何を定義としているのか？ 経済的？ 精神的？ 高2と小2を育てる社会的底辺の母子家庭。望むは高校まで学費無償化、また、習い事など教育格差のない社会。親兄弟なく単身での子育てで全て子ども時間、物価高でただでさえ切り詰めてる食費を更に切り詰め、生きる指針が見えない。ゆとり、、、自分の好きな事をする時間があれば心にゆとりが出来るかな？	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
378	重点テーマ2	私学助成金に関する東京都との格差をなくしてほしい。ターゲットが未就学児から小学校低学年の子供を持つ家庭ばかりフォーカスされているように感じる。低所得家庭は私学や学習塾に通う資格なし、と言われてしまうかもしれないが、通わせる選択をとった家庭は小学校高学年からの方が圧倒的に経済的なゆとりがなくなる。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
379	重点テーマ2	<p>中学生をもつフルタイムワーママです。広い意味でゆとりを生み出すことの1つに中学校の完全給食化があるかと思っています。市長の選挙公約であったようにも記憶しています。2026年度から実施になるようで前倒しでハマ弁が取り入れられていますが、子ども曰くマズくてとても完食できないと言っています。ごはんは水滴でベタつき、おかずは冷たいと、、、クラスの様子を聞くとふりかけを持参していたり、ハマ弁を注文しておきながら校内の自販機でパンを買っていたりする生徒もいるようです。また、私は管理栄養士なのですが献立を見ると栄養バランスばかりに気を取られ生徒が食べたくなくなるようなメニューが少なく感じます。もちろん、給食なので栄養関連の法規に則り作成しているのは重々承知していますが本当に成長期の生徒たちのことを考えるのならば食べたくなくなる工夫はもっと必要なのではないでしょうか。小学校での自校給食のおいしさを知っているので弁当配食形式は抵抗があるとはおもいますが、温冷蔵車で温めて提供するなどもう一歩考えてほしいです。生徒も減少傾向なので校内に温冷蔵車を配置するスペースはあると思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
380	重点テーマ2	<p>給食を実施する幼稚園をもっと増やしてほしいです。毎日のお弁当作りは保護者の負担になり、給食があれば朝の忙しい時間にゆとりが生まれます。他県から引っ越してきて、人口の多い横浜でありながら給食のある園が少ないことに驚きました。宅配型の給食を取り入れている園もありますが、おいしくない子どもたちに不評です。栄養バランスのとれた給食はありがたく、皆と同じメニューを食べることは食育にもつながります。子どもの数が減り、施設内に余裕のある園は多いようで、そこを調理室につくりかえて給食を導入してほしいです。また、2歳児の預かり事業に取り組む幼稚園も増やしてほしいです。保育園も含めて2歳児の預け先は本当に少なく、働こうと思っても踏み出せない状況です。</p>	参考	<p>いただいたご意見につきましては、こども・子育て支援施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、私立幼稚園2歳児受入れ推進事業は、基本施策3の「目標・方向性(4) 保育・幼児教育の場の確保」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
381	重点テーマ2	<p>児童給付金の増額</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
382	重点テーマ2	<p>所得制限による高校無償化等の対象世帯です。3人子供がいますが、私自身、抑うつからの睡眠障害と指定難病、その他にも様々な病院に要観察で通院しています。指定難病に関しては子供の頃からの持病の為、過去の入院時に医療保険も入れず、病院で分割払いをしたほどです。体調的にフルタイムでの勤務も難しい状態です。下2人は療育手帳を持つ障害児です。長子は家計の余裕のなさもあり、自分のバイトから定期代を捻出しています。ゆとり、全然ないです。過去がマイナスからのスタートだったので、税金ばかり引かれて、現状は世帯収入はそれなりにあっても、私自身が本当に死ぬのを覚悟でもっと働けないです。現段階での世帯収入が高いとはいえ高校無償化対象外は本当に厳しいです。学資保険等も子供が赤ちゃんの頃に解約せざるを得なかった為、進学の際にお金の工面が大変です。Chromebookなど。医療も未成年のうち、無料は出来ないのでしょうか？同じ県内の他の市町村では実施されている所もあります。子育てや福祉、もう少し充実させてほしいです。世帯収入だけでは計れないものはたくさんあるかと思っています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
383	重点テーマ2	放課後学童クラブなどの開所日や時間設定が普通勤務者を対象とした時間設定になっていることから、公共交通機関など24時間勤務、土日、祝日、年末年始も公休日とならない共働き世帯は、企業の子育て支援期間（普通勤務の選択可、所定労働時間の短縮）が終了した際に、退職を選択せざるを得ない状況になってしまう。また、民営の学童保育の利用料金も高く、年収400万世代と言われる若年層が子を産み育てられるという意識の醸成に繋がっていないのではないか。ゆとりを生み出す為にも、交代制勤務家庭の視点での支援や子育てに加えて、子どもを授かりたいと思えるよう若年層に対する取り組みの策定をお願いしたい。近隣都道府県も大差ない取り組みとなっていることから、横浜がNo1を目指し頑張ってもらいたい。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
384	重点テーマ2	横浜市の財政が不透明で日々不満を感じています。共働き夫婦で世帯で沢山の税金を支払っていますが、子育て支援への還元が全くなく不満を感じます。教育費に年間どのくらいかかるか公務員の皆さんはご存知ですか？我が家は子どもひとりあたり年間500万かかっています。公立小学校に通っているのです。1、東京都のように私立の中高も無償化 2、18才まで医療費無償化 以上2点、早期実現してください。横浜市は全ての施策において遅れています。危機感を持ってください。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
385	重点テーマ2	就労世帯が増えている一方で、PTAや教育支援ボランティアなど保護者の協力を前提とした活動がなくては成り立たないという現状も感じています。働く親=学校活動に参加しづらい今、PTAがスリム化しても問題がないように、ボランティアに頼っている部分（カーテンクリーニングや白衣の修繕といった、学校備品の維持など）をきちんと市の予算として計上いただけないでしょうか。保護者活動はあくまでプラスアルファの任意のものとしてできるように市にも考えていただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
386	重点テーマ2	子育て家庭がゆとりを生み出すためには、 ●時間（長期連休のキッズの給食、小学校開門前のキッズなど） ●金銭面（私立高校、大学など収入制限無しの学費無料化） が必要	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
387	重点テーマ2	横浜市に在住しております。娘が東京都の私立中学に通っており、高校へ進学する予定です。現行の学費支援制度では、東京都の学費支援も、神奈川県学費支援も受けられません。どうか支援が受けられるように、制度の改正をお願いしたいです。どうぞよろしくお願い致します。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
388	重点テーマ2	子供に医療費や教育費がかかるのはどこの家庭も一緒なので納税額によって補助なしなどの差別はしないでほしいです。最近やっと横浜市も医療費がかからなくなって本当に助かっています。心のゆとりがかなり生まれました。児童手当も今までもらえなくて、やっと10月から支給されます。親の給料によっては、支給対象外になってしまうなどの差別はやめてください。どの親も、子供達や社会のために皆一生懸命働いています！	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
389	重点テーマ2	<p>現在、小学校2年生と年長児の子育てを共働きで行っています。私達のように、共働きで子育てをする家庭が、ゆとりを生み出すためには、安定的な収入を得ながら、労働時間の削減ができる社会の実現です。共働き家庭の多くは、自分の時間を削り、寝る時間を削り、子どもとの時間をなんとかつくりと努力しています。それでも、仕事と家事に追われて、一番大切な子どもを急かし追い立ててしまう毎日です。正直苦しいです。何のために働いているのか、わからない苦しさがあります。私は横浜市の公務員ですが、子どもにまだまだ手のかかる小学校1年生に子どもがあがると、時短勤務ができなくなります。あと1年でも時短が延長できたら、環境が変わり不安定になる子どもと、しっかり向きあう時間が取れます。子どもの睡眠時間を確保できます。今、私は今年度いっぱい正規職員を辞めようかと悩んでいます。あと1、2年時短勤務ができたなら、このように悩む事もなかったらと思うと、残念な気持ちでいっぱいです。子どもも大人も安心して生活ができ、ゆとりをもって子育てができる社会になる事を強く願います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
390	重点テーマ2	<p>方向性(2)子どもの「預けやすさが実感」できる、について 私立幼稚園の横浜市型預かり保育において聞いた話です。3歳になったので、週5日朝から夕方までの利用を幼稚園にお願いしたら、まだ幼いから週5日の長時間利用はこどもの負担だと利用を渋られたそうです。私立幼稚園なので、幼稚園としての方針を持っているのかもしれませんが、しかし、長時間の預かり保育を渋る位なら、その制度が使えない幼稚園とはっきり宣言して入園募集をしていればその幼稚園を選びません。預かり保育をしてくださる幼稚園が増えることは大変喜ばしく、ありがたいと感じています。ですが、現場では預かり保育が定員オーバーなので年度内は利用ができない、利用方法について幼稚園側から苦言をていされるなどの話があとを絶えません。保育園では、規定を守っていれば朝から夜までの預かりを渋られることはないと思います。良い制度は中身が伴ってこそだと思います。ぜひ、現場で正しく使われているか、委託できる幼稚園かの検査の強化もお願いいたします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
391	重点テーマ2	<p>下の子の出産時に、子育て支援を活用してパパが対応できない場合の上の子の急なお迎えやこどもの一時預かりを利用しようと思ったのですが、利用までの道のりが長すぎる（説明会への参加必須、利用者登録、預かり申し込み、相手方との事前擦り合わせ、など）のと、急な対応が出来ないことで利用を断念しました。大切な子どもを預ける＆預かるので事前準備をしっかりするのは大切なことだと思うのですが、もう少し柔軟性がないと実際の利用には繋がらないのでは、と思いました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステム事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
392	重点テーマ2	<p>子育て世帯が一番ゆとりを実感できるのは経済的余裕があることだと感じます。現在でも手厚く支援いただいていると思いますが、例えば、バスや地下鉄で子育て世代割みたいなものを設ければ良いのではないのでしょうか。少子化対策のため、子どもがいるということがメリットになるような施策が必要だと感じます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
393	重点テーマ2	放課後キッズクラブについてです。運営体制が古く、共働き家庭に寄り添っているとはいえません。 ・電話か対面しか、連絡手段がなく、メール対応もして欲しい。 ・毎月決められた期間に利用料を直接キッズクラブに支払いに行かなければならず、とても負担になっています。銀行振り込みもできるようにして欲しい。 ・長期休暇中のお弁当注文ができるようになり、とても助かっていますが、注文期日が1週間前まで、キャンセルは3日前までしかできません。急に体調崩したり、予定が変わる事もあり、無駄なお金をたくさん払う事になってしまいました。他の学童では、当日朝9時までに注文です。もっと融通がきく業者にして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
394	重点テーマ2	非常に重要なテーマだと認識していますが、取組内容を見て非常にかかりました。目標も不明瞭、従来からある具体性に欠ける取組で、一体何が変るといえるのでしょうか。横浜という恵まれた立地にも関わらず、出生率が低いのはなぜなのでしょう。都がスピーディに子育て施策を打ち出した時も、他自治区の様子見しかせず、スピード感も真摯に取り組む姿勢も見えず、残念に感じることはありません。少子化という大事なテーマに対して、どなたか熱意を持った担当の方は1人でもいないものなのですか？	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
395	重点テーマ2	子供達には優しい環境が大切です	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
396	重点テーマ2	私立学校に通学する子供を持つ家庭への負担を軽くして欲しいです。現在、お隣の東京都ではほぼ所得制限なしで学費の無償化が実現していると思います。横浜市をはじめとした神奈川県でも年収によって無償にはなりますが、かなり範囲は狭いです。全国的にも生活するためにかかる金額が高い方だと思われる横浜市では、生活するのも大変なレベルにならないと無償化の対象になりません。進学の実績が広くなれば、子供達のより良い成長につながるのではないのでしょうか？ぜひ、ご検討ください。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
397	重点テーマ2	共働きでフルタイム勤務をしています。次男は不妊治療の末に授かり、小学生の長男と保育園に通う次男は9歳離れています。次男の認可保育料は最高額の月7万円以上ですし、長男の保育料も最高額でした。私が次男をもっと早く授かれば、保育料も減額されたのと思うと納得がいきません。子供2人を生涯育てるのにかかる教育費は変わらないはずなのに、年が離れているだけで何の優遇も無くなります。また、次男の保育園入園申請の際にも、小学生の兄はカウントされない、すなわち一人っ子と同じ扱いで入園が決まる仕組みにも納得がいきません。また、長男の小学校のPTAの役割も、同時に小学校に在籍していないと、役割免除がされません。今は不妊治療をされる方も増えており、年が離れた兄弟であっても、年の近い兄弟をもつご家庭と同じように金銭面や待遇面での優遇が受けられるようにしていただきたいです。また、共働き家庭は、多くの税金を納めています。同じ保育を受けるのに、納税額が低いばかり保育料を優遇し、納税額が多い家庭の保育料負担を増やすのは、不公平です。納税額の違いは仕方ないとしても、保育料だけでも公平にすべきです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
398	重点テーマ2	共働き世代だけでなく、専業主婦・主夫家庭であっても、多子家庭である、夫婦のうち働いている人の勤務時間が業務上長時間になり得る、不規則である、転勤や長期出張・単身赴任が多い家庭に対する支援も必要だと思えます。特に後者について、横浜市には、大手企業の役員や自衛隊員など、この条件に当てはまる家庭が多いと思えます。例えば、家事代行サービスを優先的に利用できる、割引を使えるといった支援が考えられると思えます。また、共働き家庭の増加で、そうした家庭への支援が手厚くなる一方、配偶者が専業主婦・主夫である家庭により支えられてきた職業の人とその配偶者が割をくろうことになったり、「なぜ共働きをしないのか」「もう令和なのに」というような偏見にさらされるようなことにならないことを願います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
399	重点テーマ2	ゆとりを生み出す取組内容に「中学校給食」がありますが、今のハマ弁形式のお弁当を全員給食にするのは絶対やめてください。冷たすぎて美味しくないので子ども達は食べません。親のゆとりも大事ですが、子どもがきちんと成長することももっと大事で、残さず食べられる温かく美味しい給食を計画してください。フードロス削減の観点からもお願いします。今のお弁当は一人当たり年間1kg程度残飯が出ているそうです。全員給食になると7.5t以上も年間残飯が出てしまいます。	参考	頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。
400	重点テーマ2	我が家には大学生の長女、高校生の次女、特別支援学校へ通う長男の3人の子どもがおりますが、金銭的にも精神的にも体力的にも「ゆとり」を感じたことは一切ございません。まず、子育てにお金がかかり過ぎますし、育児、家事に対する母親への負担が重すぎると思えます。 どうしてこんなに頑張って育児して働いているのに、辛くなるばかりなのでしょう。もっと楽しく育児がしたかったです。これから育児を頑張る方々にはこんな苦しい思いをしてほしくないです。金銭的な支援、家事、育児へのサポートが気軽に受けられる仕組みを作ってほしいと思えます。今や子育て世帯はマイノリティなので「子持ち様」などと揶揄されたり世間からの風当たりも強く感じます。もっと子育て世帯を大事にしてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
401	重点テーマ2	発達障害の子どもの為の支援学級数や教員数の充実。フリースクールや子どもの居場所への補助金の充実。当事者に聞き取り、具体的な支援制度の充実が必要。	参考	頂いたご意見につきましては、学齢期の障害児支援や教育相談、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
402	重点テーマ2	ぜひ、東京都の子育て支援を見本に進めて欲しいです。東京都のやっている赤ちゃんファーストなどのカタログギフトや、1歳のお祝いなど、そういうサポートが欲しいです。どうぞ、東京都民が羨ましくなるような、子育て支援をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
403	重点テーマ2	子育てというのは、本当にお金がかかります。お金がかかり、働く時間がなくなるため、(同年代の)子を産み育てない方との生活レベルの差は一層広がります。給食費の無償化、習い事費用の補助、地域で使える振興券や米券等の補助、税金の優遇など子育て世帯への優遇がわかりやすい形で欲しいです。子を産み育てることが肯定される機会がもっと欲しいです。そうでないと、今後ますます子を産み育てる若い夫婦は減ると思えます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
404	重点テーマ2	子育て世代の経済的なゆとりについても配慮いただきたいです。具体的には教育費。東京のように所得制限なしで私立中、高校授業料への助成をして欲しいです。子どもによりよい教育を受けさせたい高所得世帯が横浜ではなく都内を選択する例を実際に見てきました。生活困窮者への支援は必要ですが子育て支援は別の問題だと思います。言葉を選ばずに申しますとこのままでは低所得低学歴低生産が世代間連鎖し、社会全体の不利益にも繋がると考えられます。国への要望も出してはいるそうですが、ポーズで終わることなく是非実現して欲しいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
405	重点テーマ2	●●区の月々の学童利用料金が低い。夏休みなどの学童、キッズ利用時は今年のように、お弁当を注文できると良い。学童を増やして欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
406	重点テーマ2	子供が学校以外でやりたいことがある場合は認める、勉強は課題を与えるなど、勉強以外を優先できるようにしてほしい。その子のタイミングでやりたいことを本気でできることが一番成長できるはず。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
407	重点テーマ2	塾帰りの小学生、中学生が21時、22時に帰宅している姿を毎日のように見えています。まだ9時間睡眠が必要と言われている世代なのに、そんな時間に子どもが散歩している国は他にないと思います。日本は狂っているとすら思います。学校教育だけでは希望の進路に進めない構造を見直してください。受験主義から脱却して、GPAのような日頃の成績の蓄積や面接、論文。または、TOEFLやTOEICのようにベストパフォーマンスが申告できる制度に見直してはいかがでしょうか？ 幼児も親の帰宅の遅さから就寝時間がおそくなります。子育て世代だけでなく全ての働く世代の労働時間、ジョブタスク、人員配置の見直しが子どものウェルビーイングにつながると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
408	重点テーマ2	そもそも読みやすい資料になっていない。小1の壁は小学校の運営に問題がある。保育園のように、働く家庭が多い時代に寄り添った運営を横浜市が主導して欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、重点テーマII「子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
409	重点テーマ2	未就園児(0から2歳児)の保育料負担を無しにしてください。所得に応じて保育料を負担している現在では保育料の金額負担が大きく、家庭によっては復帰を諦めざるを得ない場合があります。一度途絶えたキャリアを再度手に入れることはとても困難です。また、復帰していたとしても時短勤務を選択しており所得が下がっている状況下で保育料の負担が大きいことは生活費を逼迫させています。仕事復帰へのハードルを下げるのが女性の社会での活躍(キャリア構築を含む)を支援することにつながります。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
410	重点テーマ2	まず、2011年に廃止された「年少扶養控除」を復活させてほしいです。子供だけ生活費全てに税金がかけているのは子育て家庭にとって生活が苦しくなるのは当たり前です。そしてさらに進学にお金のかかる高校生の扶養控除に関しても、減らさないでください。これだけ物価や学費や光熱費や税金の上昇した時代に、なぜ子育て家庭を狙って結果増税になることをするのでしょうか？ 貧困にさせて共働きさせて余裕を無くし、むしろ子供を減らそうとしているとしか思えません。	参考	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご意見として参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
411	重点テーマ2	家庭の中はブラックボックスで、この計画では踏み込みません、という印象です。『子育て家庭が実感できる『ゆとり』を生み出す』のであれば、もう少し家庭の中に踏み込んでほしいと思います。具体的には、「ひとり親世帯ではないけど実質ほぼワンオペ家事育児」になってしまっている保護者に救いの手が欲しいです。例えば、利用しやすい家事代行サービスや、助け合いシステムなど。それから、家事育児に対して優先度が低かったり、責任感が希薄だったりする保護者（←この人のせいでワンオペ家事育児になっている）を何とかする取り組みがあるとうれしいです。それを家庭内、つまり夫婦内で何とかできればいいのですが、現実厳しいという人の救いとなる何かが。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
412	重点テーマ2	所得制限なしで高校生までの医療証の発行と所得制限なしで私立高校授業料補助をしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
413	重点テーマ2	両親共にフルタイムで共働きしており、時間に余裕がありません。子どもを病院に連れていきたくても病院が開いている時間帯に連れて行くことができません。子どもたちは眼科や耳鼻科、皮膚科など1人でも行ける年齢になりました。高校生まで医療費が無料であれば簡単に行くことができるのでありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
414	重点テーマ2	パートナーのモラハラやDV、価値観の相違などで離婚や別居をしても、男女の収入格差から、特に母子家庭になった途端に経済不安に陥り、その上に子育ての負担がのしかかる。核家族や育児期の年齢の高齢化により両親に頼ることもできないどころか、介護問題も生じる場合がある。児童扶養手当支給をはじめ、ひとり親家庭に向けた支援の支給基準はどう考えても現在の物価や生活費の水準に見合わず、離婚や別居を決断した人の方が苦しむ結果になっている。子どもの教育費や生活水準を落とさなくてはならない。子どもの幸せのために決断した結果、満足いく教育や生活が用意できない、これはとてもおかしなことだ。金銭面が足かせになり子どもにとって安心できる環境に身を置けない家庭、踏み出せない母親が多くいる。ここを改善しなければ、苦しむひとり親とその子どもたちの連鎖を断ち切ることはできない。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策7におけるひとり親家庭の自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、児童扶養手当については、児童扶養手当法等に基づき、全国一律で定められている制度です。今後も、国の動きを注視していきます。
415	重点テーマ2	ゆとりの定義が人によりだいぶ違うこと（金銭のゆとりか、心のゆとりか、時間、幸福度か）で明確な指標がないので、現状値をなで表すかが非常にわかりにくい。どうしてこれを非常に大事な重点テーマの一つにしたのかすら感じた。地域防犯や防災、地縁組織や自治会加入促進などもこどもをとりまく関連施策とし非常に大事だと思うが、ゆとりの推奨は、地域活動への参加、社会全体で繋がり子育てを温かく見守るという基本施策に気持ちが向きにくい。個人のゆとりの為には、とにかく早期にこどもを預けたい、地域活動は無駄であり、タイムパフォーマンスを重視する親子を生み出すような気がしてしまう。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
416	重点テーマ2	具体的な例の提示無しで短い募集期間、とても不誠実。市税を下げ、経済的な余裕を持たせて欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
417	重点テーマ2	子どもたちのことを第一に検討くださり、ありがとうございます。一方でタイトルの「わくわく」にはほど遠い現状と実施有効性を強く感じました。p6ゆとり 保護者のゆとり＝子育てのゆとりです。中には就労希望の母（父）もいるかもしれませんが、就労せずとも幸せな体制を選択できる日本を希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
418	重点テーマ2	収入に関係なく学費や医療費無料を希望。また、全ての人が働く職場で、子育てに関わる親が勤務形態や勤務時間を選択出来、子育てを他人任せにしない環境作りを希望	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組をはじめ、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
419	重点テーマ2	子供の居場所は本来は家庭にあると思います。横浜市の政策としては、子供の居場所作りに保育園や放課後の居場所を作るとなっていますが、家庭での居場所づくりの方が大切かと思っています。共働きせざるを得ない家庭が多いのは収入の大幅な減少だと思うので、その辺りを補助していただきたいと考えています。子供に関わる諸費用(学費、給食費、学校までの交通費、PTA会費、自治会費など)を賄っていただけると共働き世帯も減ると思います。大人が働きやすい改革ではなく、子供に負担をかけず、のびのびと家で休める環境を作ってもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
420	重点テーマ2	多子軽減制度について改善を求めます。例えば現状の制度では、第一子が小学生に入学すると第二子は第一子としてカウントされ、保育料の軽減措置を受けることができません。子供が二人以上いる家庭については一人目の年齢に関わらず、制度の対象にしていただきたい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
421	重点テーマ2	横浜子育てサポートシステムの仕事(コーディネーター)に関わっています。依頼は多いが、預かり先(提供会員)が見つかりにくくお断りをせざるをえなくて困っている事例はフルタイムで共働き家庭の土日数時間の子どもの預かり(日頃できない家事をしたり、1人で済ませたい用事がある時にワンオペになる時に)、夕方から夜にかけての時間帯に子どものお風呂や食事のサポートや塾・お稽古事の送迎、小学校一年生の朝の登校前の預かり、産前産後の上の子の保育園・幼稚園への送迎など。朝夕は両方・提供会員も自分の家の都合があり、なかなか引き受け手がない状況。短期アルバイトやパートの場合は保育園へ入れず、一時預かりも予約が殺到して取れない状況で、子サポへ依頼してこられるが、預かり時間が長く、預かる場所と提供会員が見つかりにくい事が多い。上記のような共働き世帯が多く、十分にサポートするには子サポだけでは担いきれないと日々感じている。『ゆとり』とは何か。保護者が子どもと向き合い、親子が笑顔で充実した幸せな生活を送れるようにするには、社会がどうあって、どんなサポートが必要なのか、改めてみんなで考えていければと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムや一時預かり事業、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
422	重点テーマ2	子供たちの保護者を支援することはもちろん重要なのですが、その家庭自体が機能していない、子供が放置されていたり、貧困の連鎖や非行へのつながりなどの問題解決から目を背けないことが重要だと思います。こどもが「まんなか」という提言でしたら、高齢の方々や私達親世代、保育や教育現場の方々、政治や役所に携わるの方々、地域の民間の方々も全てにおいて「こどもをまんなか」で見守るような社会全体の認識が必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で今後の参考にさせていただきます。
423	重点テーマ2	近年低年齢で保育園に預ける親が増えている。経済的な問題もあると思うが、1歳児で預けないと、保育園に入る枠がなくなってしまうからと、多くの母親から話を聞いた。母親としてはもっと長く家庭で育てたいと思っている人も多くいるので、2歳や3歳からでも保育園に入りやすい体制を整えて欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保育児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
424	重点テーマ2	東京都では、私立高校への助成金について所得制限を撤廃しています。神奈川県や横浜市でも所得制限の撤廃をお願いしたいです。所得制限ギリギリにかかり、港北区は家賃や物価も東京並みに高く、私立高校に行かせてあげたくても中々厳しいです。所得上限を1500万円程度にするか、上限を撤廃して頂きたいです。よろしくお願い致します。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
425	重点テーマ2	小1の壁打破は、重要なポイントだと考えます。放課後の子供の快適な居場所を確保出来なければ、安心して働きながら子育てが難しくなる→退職→経済的ゆとりがなくなるという悪循環になってしまいます。保育園児は、小学校入学し初めて、保育園での両親が働いていることが当たり前の環境から、親が家で待っているいわゆる専業主婦世帯もあることを知ります。放課後を家で過ごす家庭を羨ましく思うこともあるでしょう。そのため、キッズクラブが子供、親にとって安心できる環境であることを望みます。具体的には、①勉強する時間の確保 ② イベントの充実 ③ 外部の習い事や学校との連携 ④ 父母のサポートがあると良いのではと考えます。例えば、習い事に通わせたいが送迎が出来ない、家に帰ってから宿題をすると寝るのが遅くなってしまふ等のよくある悩みについて、キッズクラブや横浜市等が包括的なサービスの紹介、柔軟な対応があると嬉しいです。子供専用送迎サービス(例: Hab)を利用できるようにする等、官民一体となって選択肢が増えるとうれしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
426	重点テーマ2	就職氷河期、失われた世代です。20代の頃は、やっと入社できた不遇な就職先で男女雇用機会均等法などによってハラスメント社会の中で四六時中働き、婚期を逃し、30代でやっと結婚し、助成金などがなかった頃に不妊治療をし、高齢出産を経て、40代で仕事と子育てに追われる中、親の介護、PTA役員、自治会役員などさまざまな仕事を従来通り担わされています。経済的、時間的な余裕は全くございません。逆に余裕のある高齢者は増加しているのに高齢を理由に担い手になってくれません。自治会やPTAなどの地域仕事の抜本的な改革をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
427	重点テーマ2	子供の医療費を高校生まで無償化して欲しい。小学校中学校の給食の無償化をして欲しい。高校の助成金を東京都と同じ水準にして欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
428	重点テーマ2	身近な遊び場、楽しく親子で遊ぶ場として、地区センターでの施設の安全に利用しやすい環境整備を希望します。室内で子どもが思い切り声を出したり、体を動かせる場として、私の住む地域の南センターは、とても有効的です。しかし、利用する子どものマナーの悪さが目立ちます。ジャングルジムの部品をはずしたり、乳幼児が近くで遊んでいるのにジャングルジムの頂上からジャンプしてみたり、高い棚の上に登ってみたりする幼児が見られます。あまりにも危ないのでこちらで注意をし、センターの方にも伝えました。そもそも、小学生以下の子どもが、保護者なしでプレイルームを利用していること自体、私は不審に思います。そして、なにより危険な遊び方をしていることは、センターの方々も定期的に室内を巡回したりはしていないので、こちらから伝えないと把握できない状態です。1時間以上遊んでいても、施設の方が室内を巡回しているのを見たことがありません。残念ながら保護者がついていても、危ない遊び方をしている子も見られます。みんなが楽しく遊べ安心安全に過ごすためにも、施設の安全管理上定期的に巡回して、声かけ等を実施していただく改善点を強く望んでいます。	参考	頂いたご意見につきましては、市民利用施設を運営する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
429	重点テーマ2	上の子が幼稚園に通ってますが下の子を連れての送迎が大変です。交通量も多いし、その中で上の子、下の子に走ったらダメと言っても友達といたら走ったりして危ないときもあります。いつか事故しそうです。市型のお預かりで朝から夜まで幼稚園に預けることが出来れば家庭にもよると思いますが朝も夜もお父さんが送迎出来たり、朝はお父さんで帰りはお母さんと分担することも可能なのでお母さんも楽になると思います。第2子以降の子がいる家庭は上の子の市型のお預かりを検討してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、私立幼稚園等預かり保育事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
430	重点テーマ2	子供を教育するのは大変で楽しい過程で、親は子供と一緒に成長して、独立と思考を磨き続けます！学習成績が良い以外にも、きちんとした品行が必要です。まず、学校では、先生、クラスメートとコミュニケーションを維持し、問題があれば勇敢に先生に相談し、先生は助けを与えて返事をしなければなりません！また、独立して先生が配置した相応の宿題を完成して、最後に学校で先生と学生たちに協力しなければなりません！毎日前向きで元気いっぱい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
431	重点テーマ2	未就学児だけでなく、小学生まではなるべく早く帰って子どもとの時間をつくりたいので早く帰っても給与保証が少しでもあるなら、働き方を見直したいです。もしくは保育料無償化だけでなく、学童費用などにも補助がもらえるとありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
432	重点テーマ2	ひとり親の支援はとてありがたいのですがりぶいんは6年間しか使えず、その後また引っ越さないといけないし、部屋を探すのも学区内となると探すのが困難。中途半端な支援じゃなくて子供が18歳になるまでなどにしてほしい。また、ひとり親家庭で元夫からは一切養育費が支払われず、公正証書もあるが自営業のため取り立てることができない。全く意味がない。公正証書作成時に連帯保証人をつけたかったが公正証書からは養育費で連帯保証人をつけることは通常しないとされ連帯保証人をつけることができなかった。そのせいで元夫の実家は裕福であるにもかかわらず、援助してもらえない。結局法律なんて何の役にも立たない。子どもの養育について両親ともに責任があるのだから支援もとてもありがたいが相手側に責任を取らせる強制力をつけてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、ひとり親家庭の自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、養育費等の見直しを含む民法改正に関する国の動向も注視してまいります。
433	重点テーマ2	休日の一時保育に関して 現在横浜市に於いて、休日保育、休日一時保育は認可園のみで行われており、両方を行なっている園は6ヶ所、休日保育のみが3か所、休日一時保育のみは1か所となっています。一方で、休日に働きたい、もしくはリフレッシュの時間を持ちたい保護者はとても多いと感じます。特に、母子世帯の方から、時給の高い休日に働きたいとの声を聞きます。また、休日に行われる兄弟児の受験や学校見学に下の子を連れて行けない、冠婚葬祭などにこどもを連れて行けないなどの声も聞かれます。認可園の規定は平日と土曜日の開園ですが、認可園しか休日保育、休日一時保育を認められないとなると、1週間フル稼働となり、実質休日一時預かりができる園は、上記のように7園のみとなります。そこで、【休日一時保育】に関しては認可外園にも補助を出して、安価でこどもを預けることができるようにならないでしょうか。横浜市は巨大都市で、特に中心地は横浜、みなとみらい、関内など多くの商業施設がありません。一時保育は鶴見周辺に多く、この地域にはありません。どうぞご検討をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、休日一時保育事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
434	重点テーマ2	上記テーマに限らず、横浜市の子育て支援について思うことを意見させていただきます。横浜市での子育てですが、衣食住ともにかかりお金がかかると思います。その中でシングルのご家庭、収入のないご家庭などへ支援等は最低限できていると思います。がしかし、よりよい教育を受けたい、たくさんの経験をさせたいと子育てに積極的な中、高収入家庭への支援はおざなりであると感じます。余裕のないご家庭に子供をたくさん産んでいただくより、余裕のあるご家庭にたくさん産んでいただく方が社会貢献度が高いと感じます。今や世帯収入1000万は高収入ですらありません。にもかかわらず、市や国の子育て支援では相手にされることはありません。この層へのアプローチが絶対的に必要だと思います、私も子育てしている中で、ゆとりのあるご家庭(進学について私立などよりよい教育を求めているご家庭)は、進学にお金がかかるから子供はひとりと決めている(もしくは仕事の事情など)と仰っているのを聞きます。実際にはこのくらいのレベルのご家庭が2人ないし3人子育てをされる方が、よっぽど良いと思うのです。母子家庭、貧困家庭の子供達が不幸とは言いません	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
435	重点テーマ2	教育費の負担が大きい為、高校及び大学進学の支援金を一律どの家庭にも実施して頂きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、重点テーマII「子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
436	重点テーマ2	年収の差がなく全ての給付を受けられるようにしてほしいです。(世帯年収ではないのも不平等です) やっと医療は平等に受けられるようになったのは感謝しています。頑張って2人の子供を育てているけど今までほとんど恩恵を受けられず日本に期待していない状況です。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
437	重点テーマ2	「『ゆとり』を生み出さないといけない」という荷がまた1つ、親に増えるかんじがあります。言葉にするなら、「安心して子育てができる」、「子どもは育つ、育てられるという自信がもてる」というのが一番です。そのための具体的な施策として「方向性」に書かれた(2)～(7)をお願いしたいです。((1) は、時間での負担と考えている意味でやはり違和感があります) 時間をつくるのが目的ではないと思います。初めての出産、子育て、ワンオペ、仕事との両立…やるしかない状況で一人で葛藤し、情報に振り回されてしまうことがしんどいのです。周りの苦勞している人たちとつながれて、一緒に励まし合えて、アドバイスをもらえて、頼れる家族や地域や行政があって、時には社会や行政に対して意見を言える状況であれば、時には楽しさや幸せを感じられるし、子育て世代も「自分たちは頑張っているし、こどもも育っていく」と自信をもって思えると思います。ゆとりをねらいにしないことをお願いしたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
438	重点テーマ2	(1) コホートの結果の添付や参照先を紹介した方がよいと思います。(2) 取り組み内容の(事業)について、主語がありますが、どうしたいかが書いていません。具体性があるといいと思います。	参考	計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。
439	重点テーマ2	子どもたちの遊び場が減っていて近場で過ごすことが難しくなっている。休日や放課後に友人たちと室内で過ごせる場所はほぼなく、屋外でも近場の公園はサッカーや野球などの球技を禁止されたり、思うような遊びが出来ない環境になっている。もっと子どもたち同士でまた親子で遊べる場所が身近にあることが大事だと思う。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
440	重点テーマ2	保育園の送り迎えの負担を軽減してほしい。雨の日も自転車で事故のリスクを抱えながら送迎していました。幼稚園のような送迎バスのシステムを整備してほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
441	重点テーマ2	中学校給食の実現を本気で取り組んで欲しいです。お弁当方式の全員給食実現までやっとたどり着きましたが、保護者も子供も、他の地域で当たり前のように実施している小学校と同じ給食を望んでいます。我が家の子供は既に中学校を卒業してしまいましたが、何年かかっても将来の子供達のためにぜひ取り組んで下さい。中学校の給食室を建てる場所が確保できないと聞きますが、昨今は小学校のプールはあまり使用されておらず、プールを廃止して跡地に中学校用の給食室を建てる等できないのでしょうか。小学校のプール授業は、スポーツクラブ等に外注でいいと思います。学校授業で泳げるようにならないからスイミングスクールに通わせているのであって、学校で十分に泳げるようになるのであれば、月謝を学校に支払うかスイミングスクールに支払うかの違いです。	参考	頂いたご意見につきましては、中学校給食事業や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
442	重点テーマ2	3児の父です。PTA活動についてです。参加は任意といいながら、子供1人いる場合は、原則一回は委員をしてほしいとPTAからいらわれています。立候補が足りない場合は、抽選でえられることになっていて、選ばれた場合は拒否できません。選ばれた場合、3回はしなければならぬこととなりますが、共働き多人世帯には負担が大きいです。仕事と育児の両立ができません。なんとかならないでしょうか？PTA活動自体はあってもいいとは思いますが、立候補では足りない場合は、抽選ではなく、外部委託などにしてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
443	重点テーマ2	小学校で不登校の状態になったときに、子どもと行ける場所が欲しい。未就学児には色々な場所があるが、小学生となると入れる場所がなくなつた。	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
444	重点テーマ2	上記テーマにおける＜方向性と主な取組内容＞の中の＜7つの方向性＞ですが、（2）こどもの「預けやすさが実感」できているには疑問を感じます。すでに保育園は雨後のたけのこ状態で、預けたいのに預けにくいという声は、現場からは減っています。むしろ保育園では保育士が足りず、労働環境の悪化から保育の質の低下が起きています。重点テーマ1である「すべてのこどものウェルビーイングを支える」に逆行している状況です。長時間預けられるこどものウェルビーイングを考えてほしい。むしろ、＜方向性と主な取組内容＞の中の＜7つの方向性＞では、特に「（4）子育て家庭の「経済的負担感が軽減」されている」の推進こそ、本テーマにおける「ゆとり」を生み出すという点で抜本的解決に寄与する方向性と考えます。子育て世代・特に時間的負担感が大きい乳幼児期世帯への給付が圧倒的に足りていません。企業・経済界への働きかけを横浜市として強めてほしい。「（1）子育て家庭の「時間的負担感が軽減」されている」も同様です。家事の軽減もいいですが、労働時間の短縮等もっと大多数が恩恵を受けられる抜本的な施策をうちだす横浜市であってほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
445	重点テーマ2	<p>小学校の登校時に登校班があります。その見守り当番が約7週間に1度、1週間（5日間）あります。また、旗当番も約5週間に1度1日あります。子どもより早く出勤する仕事に就いていて本当に困っています。学校に相談しても、校則で集団で登校しなさいとしているのに地域の事だから学校の管轄外だと言われ、登校班担当の保護者からは当番が困難だと伝えてから嫌がらせをされています。転校をするしかないかと思いつめています。法務局などにも相談しましたが、責任の所在が曖昧で時間を要しています。共働きが増えていると、このコメントに対する資料にもありましたが、親のゆとり、子育ての充実としながら、制度が昭和のまま。もっと理解が難しいのが近隣の小学校はうちよりも交通量が多いのに、個別登校です。ちなみに、本校児童数が多く、通学路の半分近くは正門まで児童が数珠繋ぎになり、登校班を強いられる意味もわかりません。葛飾区は区を挙げて登校班の廃止をこの4月から施行しています。横浜市はどう考えていますか？登校の見守りを地域の方が行政の主導でせめて、有償で行うなど、対策をお願いしたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こどもの交通安全対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
446	重点テーマ2	<p>長期休業期間中の給食提供 この度、長期休業期間中の給食提供の取り組みを利用いたしました。注文や支払いなどは（まだまだユーザーフレンドリーには程遠く、使いにくいですが）システム化されており、親の手間がかからないような工夫をしてくださっていると感じました。ハサップに準拠しているとのことで、衛生面も安心して注文することができました。しかし、親として何よりも希望するのは、子どもの幸せな食生活です。この夏に提供されたような、ゼリーのように固まった冷たいカレーを喜んで食べる子どもがいるのでしょうか？人が「食べる」ということはどういうことか、一緒に食べる子どもや先生たちと温かくて幸せな気持ちで食卓を囲めるような幼少期の昼食提供を再考していただきたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休業期間中の昼食提供事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
447	重点テーマ2	<p>家事支援 共働き世帯で、親が家庭で過ごすことのできる時間がとても限られています。その限られた時間の多くを家事に取られてしまい、子どもに向き合うことのできる時間がさらに限定的になってしまっています。家事支援サービスをもっと手軽に受けることができれば、家庭で過ごす時間の多くを子どもに向き合って過ごすことができると考えます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
448	重点テーマ2	<p>共働き世帯に向けた支援を充実させてくださるとうことはとてもありがたいです。私自身、現在働いていませんが近い将来働きたいと思っています。ですが、専業主婦の家庭＝手が足りていると思われがちな気がします。私が現在働いていないのは余裕があるからではありません。幼い頃の成長を見逃したくない思いと、育児で手一杯で働く元気と余裕まで生まれませんからです。少子化の現代では子どもがいる全ての世帯が育てやすい、育児が楽しいと思えることが後々の少子化を防いでいくことにも繋がるのではないかなと思います。大変なことは多いですが三人の子どもたちと過ごす毎日はとても幸せで充実しています。今の若者にも子どもを持つ＝大変ではなく、この楽しさを知ってもらいたいと思います。そうすれば自然と結婚、出産への希望も生まれるのではないのでしょうか。暗いニュースばかりで嫌になりますが、子どもも大人も笑ってすごせる活気のある国であって欲しいと心から願っています。一主婦には発言力も影響力ありませんが、今回こちらが私の思いを伝えられる場なのかな？と思い発言させていただきました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
449	重点テーマ2	所得制限のない高校と大学の無償化を希望します。一定の収入があっても、子供の生活費や税金で教育費を捻出するのが難しいです。日本の将来のためにも、子供の教育は重要です。生活困難世帯だけでなく、全ての子どもたちに支援が必要と考えます。無償化以外にも、補助金や奨学金制度を全住民の権利にしていきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
450	重点テーマ2	仕事をしていると、子どもを預けることになります。預けやすさは、仕事をする方にとってはとてもいい環境にあると言えるでしょう。一方で、子どもにとってはどうでしょうか？子どもが特に0～2才までは、両親と共に過ごす温かい時間、声掛けなど、自己肯定感を育てる一番の土台の時期です。子ども視点に立つのであれば、子どもの成長・発達に合わせた働き方ができるような環境を整えてほしいです。仕事も家庭の両立では、たとえサービスが充実をしたとしても、ゆとりはなかなか生まれませんと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
451	重点テーマ2	重点テーマII「親のゆとり」 主な取り組みの学齢期の支援がパマトコでの情報発信に偏っていることが気になる。学齢期になると親も仕事が忙しくなり、帰りが遅くなることも多くなる。子サポを使う方も多いが子サポでは家事支援ができない。働く親にとって帰宅後の食事の支度が大変だし、夕飯が遅いと子どもの生活リズムも大人に合わせざるを得ない。家事支援をしている会社は多いが高額で、しかも子どもの見守りはついていない。給付金を出すのではなくこういうサービスに使えるクーポンを入学祝に出すなどがあるとすごく助かるし、安心できると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
452	重点テーマ2	核家族化が進み、共働き世帯が増えている現状をふまえると保育所や子育て支援事業のみで子育て家庭に「ゆとり」を生み出すのは難しいように感じる。保育者として子育て家庭の支援を重点的に取り組んでいくのはもちろんだが、子育て支援に限定せず、社会全体の労働環境や経済環境などを同時に改善していくように足並みを揃えて行っていく必要があるのではないか。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
453	重点テーマ2	近年出産後復職する方が多く共働き世代が増えている中、妊娠期から保育園探し、出産後は育休取得する父も増え家庭だけで過ごすことも多く就園前に地域を知らずにそのまま復職する家庭が増えているように感じる。就学以降も学校と学童や放課後等デイなどで過ごす子どもが多く、国が掲げているこども真ん中の施策が本当に子どものウェルビーイングに繋がっていくのか。支援拠点では妊娠期支援にも力を入れておりできるだけ産前から地域に顔が見える関係づくりが大切さを伝えている。また就学後の母たちが困った際に気軽に相談できるよう専用ダイヤルもあり仕組みはある。子ども本人が気軽に立ち寄れる、話ができる場としても何かできないかと感じている。みんながゆとりを感じるように国全体で働き方を変えていくことができる世の中を願うばかりです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
454	重点テーマ2	子供達の経験や成長のための学校であってほしいし、そうあるべき。先生達が働きやすい学校を目指して、子供を早く返す、授業数を少なくしすぎている。子供に様々な経験をさせるため、教師増員など対応をしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
455	重点テーマ2	<p>書いてあることは理想ですが現実保育園でも小学校でも ゆとりが生み出せていないと感じています。一番問題に感じているのは保育園です。保育園の理念自体はすごくいいものなのですが、保育士の労働環境が悪いのか待遇の問題なのか、負担が大きいためと保育士がコロコロかわる、信頼関係が築けない優秀な保育士がいてもその人に仕事が集中して結果ミスが生じるといった状況です。（保護者側からみた状況なので改善してもらいたいことから、第三者委員会にも伝えました）保護者側が気を使って、子供も我慢している状態で子育てさらに、支援の一環である保育園の親子行事がどんどんなくなっており、保護者のゆとりどころではありません。こどものためにもなっておりません。また一部の保育士が負担することにより大事な連絡が滞っております。理想と現実の現状を把握してもらい、理想だけにしないでほしいです。そのためにも保育士の労働環境を改善したほうがいいのではと感じています。</p>	参考	<p>重点テーマIIに掲げる「子育て家庭が実感できる『ゆとり』の創出」を実現する上での課題であると認識しており、頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>
456	重点テーマ2	<p>現在3人の子どもを育てていますが、横浜市は子育て支援が充実していないので全くゆとりは実感できません。昨今の物価高騰で、保育園の給食費もあがっているので補助をだしていただき、保育園給食費無料にしてください。また、0-2才の保育園費用が高いので、所得に関わらず全体的に安くしてください。東京都のように第二子から保育園費用無料にしてください。東京都のように子育て世帯に金銭サポートをしていただくか、大阪府のように子育て家庭にお米券をください。厚木市のように赤ちゃん世帯にオムツお届け制度を導入してください。経済的な補助をしていただけると、ゆとりが産まれて、親が子どもと向き合える時間が増えます。子どもが遊ぶ場所は、公共の施設は少なく混んでいることが多いです。民間の室内遊具施設も多くありますが有料のところが多く値段も高いので市と連携して、市内の子どもは無料で使用できるチケットを配るなどしてほしいです。市内の農業体験など参加したことがあります、回数が少ないので増やしてほしいですし、無料にしてほしいです。せっかく農地やコンサート会場など多いので農業やアート音楽体験のワークショップを増やしてください。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組や、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
457	重点テーマ2	<p>子育て家庭の経済的負担感軽減に触れていただきありがとうございます。子どもみんなが主役！とあるように取りこぼしのない支援をしていただきたくご意見送らせていただきます。医療費無償化の所得制限撤廃に感謝しておりますが、多くの支援にまだ所得制限がかかっており、親の所得によって子どもへの支援に差が出ている現状に疑問を感じます。累進課税で義務を果たしているにもかかわらず、所得制限により支援が不公平になるのは問題です。また、所得制限のある高校無償化の影響で可処分所得が逆転し、若い世帯ではSNSでも議論され、産み控えや制限のない東京都への移住を考える声も聞こえます。本来、所得制限撤廃は国が取り組むべきですが、東京都が既に撤廃を実現しているため、横浜市にも続けていただきたいです。障害児福祉においても制限があるため、サービスを控えざるを得ないケースがあり、子どもが福祉を受ける権利が制限されています。特に多子世帯の負担が大きいため、子どもの数に応じた支援や負担軽減もご検討いただければ幸いです。管轄が異なるのかもしれませんが、声を聞いていただけたらとお便りしました。よろしく申し上げます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
458	重点テーマ2	子育て家庭にとって「ゆとり」を感じる事が、イコール子どものウェルビーイングに繋がるのか、すごく疑問に感じました。もちろんゆとりは必要ですが、横浜市が方向性として挙げている内容は、全て保護者目線で、それが達成されると子どもがハッピーになるというよりも、保護者が働きやすくなる、子育てするのに都合が良くなるという側面しか目指していないように感じられます。確かに必要なものであるけれど、子どものウェルビーイングを考えるならば、その取組みの中身についてももう少し踏み込んだ取組みが必要なのではないかと感じました。	参考	「こどものウェルビーイング」と「親のゆとり」はそれぞれが大事なテーマであると考えており、計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。また、頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
459	重点テーマ2	・出産費用を助成しても、医療機関が値上げするようないちごっこ状態で意味がない。助成金を個人に出すよりも出産費用を無償にしたほうが良いと思う。 ・妊婦健診も補助券を使っても2万円近くになる時がある。里帰りをした時に、健診の手出しがほぼないのに驚いた。妊娠して5万円もらうより、健診費用をもう少し助成できませんか。	参考	頂いたご意見につきましては、出産費用助成事業、妊婦・産婦健康診査事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
460	重点テーマ2	私にとってゆとりとは、お金の心配をせずに暮らしていけるということです。お金では解決出来ないことばかり、、、と学んだのも子供が生まれてからですが、同時に、お金のことで常に将来を不安を感じるようになったのもやはり自分が親になってから。お金に余裕がなくても子供は育てられる！だから心配ばかりしないで！なんとかなる！と、心の中で自分に言い聞かせますが、やはり本心は常に不安です。横浜市には、「お金がなくても大丈夫だよ！サポートするからー！」とはっきりとたくさん言ってもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
461	重点テーマ2	P50・プレイパークも親子の身近な居場所になっている。プレイパークにおいても「(5)子育ての困りごとがいつでも相談でき、「精神的負担感が軽減」されている」「(7)親子が「身近な遊び場・居場所です楽しむ」ことができている」かを調査し、その効果検証を行ってみたいかどうか。	参考	頂いたご意見につきましては、プレイパーク支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
462	重点テーマ2	ゆとりのために働き方の見直しが必要だと考えます。働き方を考える上でキャリアコンサルタントに相談することが有効と考えますが、キャリアコンサルタントとの接点が少なく感じます。毎週土曜に親と子供の集いの広場などにキャリアコンサルタントの相談窓口があるとよいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
463	重点テーマ2	忙しい子育て家庭が実感できるゆとりを生み出すというテーマについて、取り組み内容の中に子育てサポートシステムがあるが、本当に親が望んでいることと、子育てサポートシステムの理念とに乖離があることについて違和感を感じます。おためし券などを開始し、いかにもサービスであるかのように親に誤解させ、安いシッターサービスが受けられるという意識で利用する人が増えてきて、その受け皿を地域のボランティアさんに負わせるというのはおかしいと感じています。今の忙しい親に必要なのは、資格を持ったプロのシッターサービスを安く安全に受けられるということなのではないでしょうか。人生100年時代、定年延長、生涯現役を一方で謳いながら、子サポのボランティア制度で子どもの預け先を担保しようとするのは大きな矛盾があります。ご一考いただきたく思います。子サポは地域ぐるみで子育てを応援するという本来の役割として存続させるべきではないでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
464	重点テーマ2	まず、時間がほしいです。育てるのにお金がかかるため、仕事をすると、時間が無くなり、気持ちに余裕がないです。学費無料、時短勤務でも生活が苦しくならないなど、子どもにしわ寄せがいかないようにしたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
465	重点テーマ2	(「地域における子育て支援の充実」について、どうなってほしいか) 子供用品を安く提供	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
466	重点テーマ2	(「子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す」について、どうなってほしいか) 学校、地域、家庭がより一体となって、全体で子供の教育を考えていると実感できる。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
467	重点テーマ2	横浜に限らないが、育休を全額で3年取れるようになって欲しい。国が出来ないなら市で補助して頂けたら嬉しい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
468	重点テーマ2	時間的、精神的、経済的ゆとりは大切なことだが、人はみんな価値観が違うので、万人にとってそれを達成するのは究極的には不可能。目標として「ゆとり」を掲げつつも、たとえ「今日もあつという間に終わってしまったな…」となっても、1日の終わりのご飯に美味しいものを食べられたり(行政が特定のお店に補助する形でお惣菜割引クーポンとか)したら、ウェルビーイングを感じられるかもしれない。子どもを預けて働くか、預けなくて働かないかだけではない、ちょっと預けてちょっと働く、ということ、産前フルタイム常勤だった人でも、選択肢として選びやすくなれば(脱落ではなく人生のステージとして捉える)、それを考える場があれば、ウェルビーイングを感じられるかもしれない。そして、1日の中で少しでもそういう時間があつたら、少しずつ、少しずつ視野が広がるかもしれない。そうしてだんだん視野が広がつたら、これまでの自分について、これからの自分の人生について、自分はどう生きたいのかについて、自分とは何者なのかについて、考えようとするゆとりがうまれるかもしれない。こうして、自分を振り返ることができれば、子育てを含む人生の見通しがだんだん持てるようになり、ウェルビーイングな状態に近づいていくと思う。さまざまなサービスを選べるのはありがたいが、「満足度」につながるゆとりとは、即席に生み出せるものだけではないと思った。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
469	重点テーマ2	未就学児の子育て中は、荷物が重い、抱っこが重いなど体力的な問題や、道路を歩くだけでも車に轢かれなかなど気を使うことが多すぎて精神的に疲れるなどで、でかけられないと孤独感でもやもやるけど、でもでかけられない、というジレンマが何度もありました。チャレンジする元気があれば。。公園に行つたけどずっと泣いてたとか、広場に行つたけど寝てたとか、その場にいた人と話がうまくできなかったとかあつても、どうなつても失敗じゃないよ、と、そう思えるような雰囲気があるといいなと思つた。自分に合つた子連れの居場所って、必死に探していると思つからないもので、ふと「ゆとり」をもてると見つかることもあるのだなと思つた。家事で一番手伝ってほしくて、やってもらえると「ゆとり」を感じたのは「ごはん作り」でした。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
470	重点テーマ2	制度や地域を活用しやすく、ゆとりのある子育てがしたい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
471	重点テーマ2	どうしても子育て分野は年齢で切り分けられてしまうけれど、保育園から小学校へ上がる時期の環境変化への親子へのケアが実はとても大切ではないかと思つます。就学前健診などの機会に、小学校生活について先輩保護者から仕事とのバランスの取り方などの情報が共有されるとよいのではないかと思つます。	参考	頂いたご意見につきましては、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指す上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
472	重点テーマ2	長時間労働の改善、長時間労働しなくても子どもが育てられる	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
473	重点テーマ2	「こども真ん中」という言葉に違和感があります。真ん中が存在するなら端っこも存在するからです。私は子育てをする親として、親のことも大事にしてくれないと子育てが辛い。子育て世代の時間のゆとりや経済の余裕などの、「ゆとり」を大切にすることを本気で進めてほしいです	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
474	重点テーマ2	親も思いを吐き出したい。批判されるかもなどと思うと、思ったことを素直に吐き出せない。辛い時に辛いと言えて、幸せな時に幸せと言ってもいい社会になるとよい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
475	重点テーマ2	(地域子育て支援拠点利用者や職員との意見交換での気づいた点) こどもの居場所づくりの拡充が盛り込まれている一方、その必要性はありながらもやはり本計画が示す「ゆとり」の概念、居場所がこどもの主体性や探究的な遊びや学びを体得する場というよりサービスとして時間が延長され利便性ばかりが先行することへの違和感を持つ当事者が多かったことは否めませんでした。めざすべき姿は同じだと思うのでその表現化については配慮をなされたいと感じました。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
476	重点テーマ2	子育て家庭が実感できる「ゆとり」を生み出す 1. 「ゆとり」とはどういった状態を指すのでしょうか。時間的・精神的・経済的ゆとりは主な取り組みにあるサービスの充実で得られるものなのでしょうか。取り組み内容も親子と行政や地域だけで語られている支援であり、保護者の勤務先の企業や社会全体での理解が先になれば本当の「ゆとり」には程遠いのではないのでしょうか。社会全体を巻き込む取り組みが必要です。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
477	重点テーマ2	全体に親から子どもを離してゆとりを作ろうという傾向が感じられます。一時預かりの必要性を感じて2000年から一時預かりだけを行う保育室を行ってきました。「やっと美容院に行けた」「子どもを病院に連れて来てはいけないと言われて困っていた」「手を挙げてしまいそうになったが、ここがあって救われた」という声を聞いてきました。しかし昨今「おむつをはずしてくれる」「離乳もすすめてもらえる」という理由で保育園入所を決める人の声も目立つようになっています。子どもと関わる時間を増やすために、育児以外の負担軽減も考える必要があると思います。乳児の声は聞けないが、一生続く親子関係の基礎作りの時期を親子で過ごすことの大切さを伝え、それを支える制度が必要と考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
478	重点テーマ2	妊娠期からの切れ目のない支援、未就学から小学生になる時、18歳という年齢で切れる児童扶養手当、特別児童扶養手当制度など切れ目に抱える負担の軽減の検討を進めて欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
479	重点テーマ2	<p>団体内の意見集約には、素案に盛り込まれている「子育て家庭が実感できる『ゆとり』』とは何か？という本質的な定義についてもかなりの議論がなされました。こどもの育ちの保障が求められている中で、ゆとりの定義として示されている方向性7つの柱においては、すべてが親の時間的、精神的、経済的にゆとりが優先されてはいないか、こどもの居場所が増えていく意味を受け止めながら、我が身に引き付けて考えさせられました。</p> <p>本当のゆとりとは「寄り添ってくれる人の存在が身近にあること」、こどもと共に過ごせる、戻ってこない「かけがえのない時間が乳幼児期にこそ確保されていること」をまず大切にすべきではないか？という意見が多かったのは事実です。さらに学童期が地域と分断されないような社会資源のあり方も考慮しながらの計画推進であることが望ましいと感じています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
480	重点テーマ2	<p>子育て家庭が実感する「ゆとり」を生み出す</p> <p>横浜市立大学と連携した調査の結果からは、夫婦の家事・育児の分担のバランスの悪さ等がゆとりを感じられない原因にもなっている可能性があります。企業等での働き方や家庭役割に関するジェンダーバランスについて、当事者の学びの機会、企業や社会全体への啓発が求められます。行政においても後押しができる施策が必要です。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
481	重点テーマ2	<p>(意見やコメント)</p> <p>教育費が高いから、子育てが難しいと思いますので、横浜市でその問題を解決したら、すぐ子育てしやすいところになると思います</p> <p>例えば、1部の教育費を補助するとかなどです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
482	重点テーマ2	<p>(困っていること)</p> <p>インターナショナルスクールは非常に高く、家族の片親が働いているだけでは通わせる余裕がない。日本の学校は言葉のスキルがないと通わせるのが難しい。母親として、子供に十分な教育サポートができない。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
483	基本施策1	<p>出産後に困る母乳ケアについて、事前に知識が欲しかったです。 たぶん全員困ることになると思うので事前登録をしておくのと困ったときにすぐに助けを求められると思った。 訪問型のケアがあるので、登録をするように両親学級などで積極的に呼びかけてほしい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
484	基本施策1	<p>産後ケア施設で子どもの預かりをしてほしい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
485	基本施策1	<p>出産時の無痛分娩の無償化や、オムツ・ミルクなどの定期支給などがあると、より出産後の金銭的な負担が少なくなると思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
486	基本施策1	<p>医療費の無償化は進んできたが、ワクチン接種時には使えない。 共働き世帯が多く、仕事がなかなか休めない中、インフルエンザのワクチンは子供たちの健康を守るためにも非常に重要である。 特に子供は2回の接種が必要となり、多子世帯には金銭的にかなりの負担となっている。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
487	基本施策1	基本施策1の指標の変更提案。健診時に相談先を認識しているか、ではなく、産後ケア関連の実施率の方が現実的に有効だと思う。また、父親育児のフォロー施策を盛り込むべきでは。(例、〇〇助産院のパパ外来など)	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、父親の育児支援については、基本施策9の「社会全体でこども・若者を大切に作る地域づくりの推進」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
488	基本施策1	0歳児を育てる母です。基本施策1について産後ケアサービスなど横浜市がやっているサービスの認知度が低いと感じたため、もう少しアピールした方が良いと思いました(母子手帳をもらうときに説明はあったと思いますが、関係ないと思ってあまり記憶に残っていませんでした)。また、市内に産後ケアホテルがあったらいいなと思いました。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
489	基本施策1	妊娠中、出産後に手伝いに来てくれる人はいるか?里帰りをする予定はあるか?しないならなぜ?と病院でも役所でも細かく聞き取りされ、里帰りなしで手伝いもなしだとキツイと思うので産後ケア・ヘルパーの利用をおすすめする、と言われたので利用を検討していたのですが、そのわりには事業者とのやりとりや確保は自分でしなければならず、申請できるようになるのは妊娠37週?以降くらいで、妊娠中は体調不良、出産後は赤ちゃんのお世話で精一杯で、結局今まで利用できていません。妊娠中、初期や中期ごろから実際利用するかは置いといて出産後すぐに利用できるように仮登録できればいいのになと思います。言葉では気遣うようなことを言うけれど結局みんな何も手伝ってくれないじゃん、とずっと思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
490	基本施策1	本当はできれば子ども二人ほしいと思っていましたが、妊娠中から産後のお金のかかり方を実感して、現実的に考えて無理かも…と考えるようになってしまいました。横浜市もなかなか子育て支援頑張ってるなと思うのですが、やはり東京と比べてしまいますし、東京の施策でも足りないなと思ってしまいます。妊婦健診無料、出産費用無料(むしろ無痛や個室費用をちょっとプラスくらいが望ましい)、産後はおむつやミルクなど支給、ベビーカーやチャイルドシート購入費用の補助くらいしてもらえればまた産みたいな…と思います。まだ子どもが小さい(2ヶ月)ので、今後のお金のかかり方がまだ分かっていませんが、母親が働けない期間はお金の不安がより大きくなると思いますので、厳しいとは思いますがご検討ください。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
491	基本施策1	高校生までの医療費無料を実現して欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
492	基本施策1	基本項目1生まれる前からの支援で、つわりが酷くほぼ3ヶ月寝たきりだった時、入院するほどでもないが自宅療養かつ点滴で通院していたので、現在ある医師の診断書がないとヘルパーが呼べないところに疑問を感じました。費用負担は自費でもいので、自己判断でヘルパーさんと呼べる仕組みが地域にあるといいなと思いました。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。 なお、家事支援ヘルパーの事業者は市内に複数あり、自費で利用できる事業者もあるので、引き続き情報発信を行ってまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
493	基本施策1	<p>基本施策1 一貫した支援の充実 について</p> <p>医療機関との連携と包括的な支援がありますが具体的な個人の情報共有ということでしょうか。育児に不安を抱えるママが、まず頼りにするのは【助産師】です。知識も経験も豊富で産前産後のスペシャリスト。現状、足りているのでしょうか。そして頼りすぎという側面はありませんか。病院で開催しているような抱っこの仕方をはじめとする育児講座はどれも満席なのはご存知ですか？ママ達は相談のみならず教室、知識を望んでいます。産院も減る中で、出生数は減る一方。育児の不安に寄り添う場所が、産院だけでまかなえるのでしょうか。子育て支援拠点や施設の方々の知識の底上げが必要と感じます。抱っこの仕方、赤ちゃんが安心する姿勢などやり方を伝えずとも、施設に来たママに寄り添えるスタッフがいることが助産師以外でも必要かと思います。妊娠期は地域に触れる機会が少ないですが、病院には健診に行くはず。そこに手に取ってもらえる資料なり動画を流してもらったり、何を施設でしているのかを発信するのはどうでしょうか。病院で行われる講座や教室に施設員が足を運ぶのもいいですね。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、乳幼児の健やかな育ちのための支援や保健対策の充実を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
494	基本施策1	<p>医療費助成を高校卒業まで引き上げてほしいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
495	基本施策1	<p>とても素敵な目標を掲げていますが、是非、実現に向けて、人員確保や予算取りを頑張ってくださいと思います。生まれる前からの支援をされるなら、是非、市営の赤ちゃんポストを設置して欲しいです。出産直後に亡くなる命を減らすべきです。子ども達の命がなければ、こんな目標、意味が無いのです。消える命を救うことも考えていただきたいです。</p>	参考	<p>乳幼児の健やかな育ちのための保健対策の充実について取組を進めておりますが、赤ちゃんの生命を守る観点の貴重なご意見をいただきありがとうございます。頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。なお、本市では、子どもを産むためのサポートとして使えるサービスや、産まれた子どもを育てるのが難しい場合に赤ちゃんを望んでいる方に育ててもらう制度の充実にも取り組んでいます。</p>
496	基本施策1	<p>小児医療の助成を高校生まで拡大していただきたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
497	基本施策1	<p>小児医療費の補助を近隣地区のように高校生までにしてほしい。支援制度全般が他の市に遅れをとっている。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
498	基本施策 1	<p>概要版P7,8の基本施策1,2に関連して、産前産後ヘルパー事業について 多胎家庭では、産後の体の回復途上にあるママと、祖母や、最近では育休を取得したパパと一緒に、普段からお世話や家事をしていることは珍しくありません。大人一人で赤ちゃん二人の育児をしながら家事をすることの負担が大きく、そのため大人複数人で育児・家事を行うことが多いです。ヘルパーの派遣対象の項目を見ると、「日中家事又は育児を行う者が他にいないため」とあります。多胎家庭のように赤ちゃん二人以上を大人二人以上でお世話している場合は、大人が複数人いるとみなされ、利用ができません。また、ママが赤ちゃん二人のお世話をしている場合でも、パパが在宅で仕事をしているときは利用できないと聞いたことがあります。多胎育児の産前産後の実態と負担をしっかりと把握したうえで、利用条件（「日中家事又は育児を行う者が他にいないため」）の再検討をお願いしたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
499	基本施策 1	<p>概要版P7,8の基本施策1,2に関連して 令和2年よりスタートした「産前・産後サポート事業」には、多胎妊産婦への支援（多胎ピアサポート、多胎妊産婦サポーター等による支援）がありますが、横浜市の取り組みは未だありません。全出生数に占める双子以上の比率は2%と言われ、横浜市でも赤ちゃん22,954人（2023年の出生数）のうち459人が双子以上となる計算です。このため周囲に多胎家庭がおらず、同じ境遇の人と出会うことも少なく、また外出しにくいなど困難も多いことから、孤立感を感じるがあります。多胎家庭同士が悩みを共有する場や、多胎妊産婦の外出や育児を手助けする「サポーター」「ピアサポーター」が必要になってきます。横浜市の各区の子育て支援拠点には、定期的に多胎家庭が交流をする機会を設けているところがありますが、自宅が遠方であったり、外出が難しいために交流の場に参加できないという家庭も多いです。こども家庭庁によると、23年度時点でサポーター派遣、交流会を実施するのはそれぞれ約110市町村ということです。横浜市でもぜひ取り組んでいただきたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
500	基本施策 1	<p>概要版P7,8の基本施策1,2に関連して、多胎家庭向け両親教室（お世話体験会）開催を要望します。横浜市の各区ではプレバママ向けに両親教室やお世話体験会が開催されていますが、初産のみ、単体児向けのため、多胎の妊娠、出産、育児について学んだり、多胎家庭との交流をする機会がありません。戸塚区では、年に2回、多胎児を妊娠した家庭向けにお世話体験会が開催されています。初産、経産婦に関わらず、家族でも参加でき、多胎育児経験者（先輩ママ）がサポートを行っているため、多胎ならではの妊娠期の過ごし方や、産後のお世話のコツなどを知ることができます。多胎家庭がひろばを利用できる日と同時時間帯に開催されるため、実際の双子の様子を見られたり、多胎家庭と自然に交流することができます。出産前から子育て拠点や他の多胎家庭とつながりを持つことで、実際に産後の利用へつながっているケースもあります。切迫早産による入院が多いこと、パママの参加がしやすいように開催数の増加を希望します。そして、横浜市のどの区にいても、安心して多胎児を出産し育児できるように、多胎家庭向けの両親教室（お世話体験会）の開催を要望します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
501	基本施策 1	産後ケア事業の改善 今回里帰り出産で産後ケア事業を京都市で受けましたがそれに対する償還払や助成などは何もなく母親がいない家庭や両親が高齢の為に里帰りはするがお手伝いは必要といったケースの手立てが完全に抜け落ちていたようです。私は里帰り先が全員コロナ感染し退院できない状態で主人は長期出張の為横浜に帰るも出来ず実家にも帰れない状況になってしまいました。泉区役所の方も京都市と掛け合ってくださいましたが難しいようで高額なケア料金を払う事になってしまいました。産後の母子がまず安全を確保出来るようになって欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
502	基本施策 1	P53 (2) について 切れ目のない支援、包括的な支援という聞こえは良いが、懸念点もある。また、どうやって切れ目のない支援を実現させるのか具体案に乏しい。現在地域では様々な団体や組織が、支援を必要とする個々人のケースに寄り添い個人情報も大切にしながら支援を行っているが、切れ目なく支援するために組織・機関・行政間で連携するとすると、発達状況や家族構成や思想信条などの慎重に扱うべき個人情報が一元管理されてしまい、支援の開始前に情報が共有され、支援者の偏見や思い込みを助長してしまったり、子どもや家庭を取り囲んで逃げられなくするような、やり直す権利すら奪ってしまうような事態になりかねない。懸念点をふまえ具体的な取り組み案を市民に開示してほしい。情報共有は、常に本人の了解を得る、特に内面についての評価はできるだけ共有しないようにする、共有する必要がある場合は支援機関同士が文書だけでなく対面でコミュニケーションをとりながら支援を移行する、支援は常に複数の目線が入るように留意する、被支援者が自分たちに合った支援先を選べるように選択肢を多く用意しそれを周知させる、といった方法を取り入れるべき。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
503	基本施策 1	父親の意識改革→妊娠から出産子育ての知識が父親は乏しく、学ぼうともしないため、妊娠から出産子育ての知識の講座を義務づけた方が母親の負担を減らせる	参考	頂いたご意見につきましては、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
504	基本施策 1	1. 妊娠・出産・不妊に関する正しい知識では、もっと小学校・中学校での授業などでやってもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
505	基本施策 1	横浜市産後母子ケア事業（ショートステイ・デイケア）の多胎家庭の利用について。以前は多胎家庭であっても利用が難しかった印象の事業ですが、ここ数年で利用したという多胎家庭の声を聞くようになってきました。以前は、出産した病院で、産後の体の負担が大きい中、数日間の入院中にできる限りの赤ちゃんたちのお世話を学び、自宅に帰った後に手探りで育児をしていました。申請のやりとりが大変だったという声も聞きますが、この事業を利用することで体も無理をせずに赤ちゃん二人の育児について学ぶことができたという話も聞きます。多胎家庭は、ママ、パパだけでなく祖父母の助けを借りながら生活することも多いですが、それでも赤ちゃん二人以上の育児・家事は本当に大変で、大人が共倒れしてしまうという話もあり、外部の助けが必要です。この事業を利用することで、母親だけでなく、父親や祖母なども体調を整えられ、共倒れになりやすい多胎育児の助けになっているようです。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
506	基本施策 1	基本施策 1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実 →現在産後の母子デイケア、ショートステイがそれぞれ7日間となっているが、短く思います。パートナーの長時間労働、両親の高齢化に伴い里帰りもできず、第一子で孤独な産後・産後うつを経験しました。産後ケアを拡充してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
507	基本施策1	基本施策1 について・・・ 若い世代の男女に向け・・・妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及啓発等の取組はその通りですが、ぜひ小学校教育の中からきちんと取り入れて欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
508	基本施策1	産前から、様々な媒体で産後について色々なサポートを紹介してもらえて、区役所や子育て支援拠点に行けばサポートの情報は得られるかなと思いました。 (産後は行くのすら難しいのですが。)ただ、産後、助産師さんや保健師さんなどの専門職さんと気軽に話せたらと思いました。産後はどうしても、あとから考えると小さなことで不安になってしまって、専門職の意見を聞きたいと思ったことが多かったです。ですが、専門職と会えるイベントは、年齢制限や人数制限があり予約制、ハードルが高かったです。民間サービスは高価なので、それもまたハードルが高く。産後ケア事業での補助がでるところも増え、感謝ですが、もっと日常で、気軽に会えるといいなと思いました。産後母子ケアも、我が家はワンオペ時間が長いので、第二子のときは利用したいなと思いましたが、どこでやっているのか、申請はどうするのかといったところは、パマトコなどで簡単にアクセスできたら嬉しいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
509	基本施策1	妊婦健診の無料可、もしくは保険適用。 出産までのお金がとにかくかかりすぎる。特別な病院を選ばなくても検査などで母子手帳のクーポンをはるかに超える金額を払うことになる。 (出産時の費用は入れず、検診のみで10万は自分での支払いがあった) クーポンの金額を上げてそれもに伴い医院も費用を値上げしているのであまり意味が感じられない。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
510	基本施策1	生まれる前は、母体などに気をかけられるが、生まれたら赤ちゃんに集中して、親のケアがない。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
511	基本施策1	(地域子育て支援拠点利用者や職員との意見交換での気づいた点) 法人が事業として実施していることが影響しているかと思いますが「産前産後ヘルパー派遣事業」への要望が多かったこと。横浜市が取り組んできた本事業の価値や活用度について大きな期待感があると捉えられたこと	参考	頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
512	基本施策1	基本施策1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実 2.産前産後ヘルパー派遣事業 ・派遣期間が短すぎます。また、妊娠期においては利用できないケースの方が多く誰でも利用できる制度にはなっていません。祖父母や父が同居でも利用できる、復職後も利用できるようにするなどの制度の見直しが必要です。 ・申請を郵送や電子申請にしてほしい。第二子妊娠中に入院した時、夫がワンオペ育児&仕事で申請しに区役所へ行く時間が取れず、利用できなかった。 ・申請期間を早めに申し込めるようにしてほしい。後期近いと役所に行くのも大変。	参考	頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
513	基本施策 1	産後うつへの早期支援に向けたネットワーク構築 ・産後母子ケア事業と訪問型ケア事業の間にある予防型の産後サポート事業の必要性を感じている。 産前の両親教室と全戸訪問事業の間にある出産すぐに地域の中でサポートできる体制は既存の資源を活用して地域との接続をこの時期にこそ強固にしていける具体的方策が求められていると感じる。 次期5年には具体的見込み数までではないが、本ネットワークの中で具体策として検討されていくことを期待したい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
514	基本施策 1	産前産後ヘルパー派遣事業 ・横浜市独自に実施されていることを評価しています。その一方で夫が育休中は該当しない、産前利用には医師の診断書が必要など回数制限についても緩和されていくことを期待しています。 ・一方で子サポ事業との相乗りのような形で子サポも家事支援一部可能なるなどの検討が必要だと思われます。	参考	頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
515	基本施策 1	産前産後ヘルパー派遣事業 ・申請を郵送や電子申請にしてほしい。第2子妊娠中に入院中、夫がワンオペ育児+就労で区役所に出向く時間が取れず結果利用できなかった ・申請期間を早めて欲しい ・5ヶ月頃から離乳食が始まりまた新たな負担が増えるためその時期からも利用したい制度である。	参考	頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
516	基本施策 1	基本施策 1 ・思春期保健指導事業 性といのちの教育は、家庭で親から正しい知識を子の年齢に合わせて伝えられるように、0歳～未就学児の保護者対象の指導の必要性があると思います。思春期を迎える以前に性と性を考える素地ができており、思春期には専門家からの指導が入るとより効果的であると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、思春期保健指導事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
517	基本施策 1	基本施策 1 ・妊娠・出産相談支援事業 現在「にんしんSOSヨコハマ」での相談後の支援は具体的にどのように行われているのでしょうか。出産費用助成金が増額されたことは喜ばしいことですが、若年層の「予期せぬ妊娠」等で妊娠しているかどうかの初回の健診を受けるお金がなく、母子ともに危険な状態になることもあると聞いています。初回の検査が無料で受けられる仕組みと、より気軽に相談しやすくなるよう望みます。	参考	継続的な相談が必要で同意がある場合は、相談者が居住する区こども家庭支援が継続的な支援を実施しています。 また、頂いたご意見につきましては、低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
518	基本施策 1	基本施策 1 ・こんにちは赤ちゃん訪問事業 地域の人とつながる良い仕組みだと思いますが、地域の訪問員が電話をしても出してもらえないことがほとんどで、訪問員の負担が心身共に増大しています。又個人の電話を使用するため、訪問員の個人情報保護が守られていません。 そこで「出生届を出す際に希望日を複数登録してもらおう」「母子訪問の電話の際に赤ちゃん訪問の希望日も合わせて聞く」「母子訪問の際にこんにちは赤ちゃん訪問希望日を聞く」など、訪問の仕組みの検討を望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、こんにちは赤ちゃん訪問事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
519	基本施策 1	<p>基本施策 1</p> <p>・産前産後ヘルパー派遣事業</p> <p>全ての妊産婦にとって必要な制度です。誰でも利用できるよう事業所を増やし、情報提供もしてほしいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
520	基本施策 1	<p>基本施策 1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実</p> <p>妊娠中からの切れ目ない支援の相談機能、支援機能が不十分です。産後ケア事業に加えて、地域の子育て支援に関わる方が実施できる産前産後サポート事業を実施してください。また、専門職と、地域子育て支援拠点、利用者支援事業の連携による切れ目ない支援を具体的に示してください。横浜市の人口規模を考えた場合、専門職だけで伴走型支援を整えるのは非常に困難です。</p> <p>例) 生後5か月以降11か月まで毎月研修を受けた訪問員が訪問し地域子育て支援拠点や利用者支援事業につないでいる自治体、伴走型相談支援の2回目を必須としている自治体、妊娠期から地域子育て支援拠点につながった場合、マグカップや一時預かり、家事援助を何時間が無料で利用できる体制をとっている自治体等があります。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
521	基本施策 1	<p>基本施策 1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実</p> <p>産前産後ヘルパー派遣事業</p> <p>誰でも利用できる事業となっておりません。また生後5か月までという条件の中で、情報がいきわたっていない家庭が多くみられます。利用促進のための情報提供、利用対象者の条件の見直し（夫婦二人が育休取得期間には利用できない等）が必要です。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産前産後ヘルパー派遣事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
522	基本施策 1	<p>基本施策 1 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実</p> <p>産後ケア事業（産後母子ケア事業）</p> <p>産後ケア施設が実施されていない区があります。訪問だけでなく、産後ケア施設が身近な場所で利用できるよう、取り組み事業者を増やしてください。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、産後母子ケア事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
523	基本施策 1	<p>基本施策 1 妊娠・出産・新生児・乳幼児期を通じて母子の健康を確保し、切れ目のない保健対策を充実させると共に、地域の子育て支援に関わる人や医療機関等とのネットワークを築き、包括的な支援の環境づくりを進めることが重要●支援では、家族の問題やこどもの発達状況、こどもや保護者の言動や価値観といった要配慮個人情報扱われる。切れ目ない支援・包括的な支援を実現させるために、関係機関や団体間の情報共有や一元管理が必要になってくるのかもしれないが、情報共有や管理がもたらしうるリスクについて常に意識し、こどもやその家族（以降「被支援者」という）の不利益にならないように最善を尽くすべき●リスクは、システムの不具合による個人情報の流出等だけでなく、現在地域で行われている、被支援者に対する丁寧な対応や、被支援者の選択肢の多様性等の良さが一元管理によって失われ、被支援者の生きづらさにつながってしまう可能性があるということ●支援は、行うのも受けるのも人なので、支援者の見方や、被支援者との関係性によって、被支援者への評価が多様になることが考えられる。常に被支援者にとって最善の支援が提供できるとも限らない。一つの支援機関で対応している分には被支援者の判断で支援先を変更することができるが、支援機関同士が連携するととなると、次の支援機関が被支援者と実際に接する前に情報共有がされるので、支援機関にそのつもりがなくても「レッテル貼り」「きめつけ」がある状態で支援が開始されるおそれがあり、被支援者にとって最善の支援につながらない可能性を懸念する。●実際例として、学校教育における指導要録がある。必要性について理解できる一方、こどもの長い人生においては、「まっさらな目で見る」「まっさらな目で見られる」「やり直せる」ということが必要な場面もある。●被支援者についての情報共有は、常に本人の了解を得たり、特に内面についての評価はできるだけ共有しないようにしたり、共有する必要がある場合は、支援機関同士が文書だけでなく対面でコミュニケーションをとりながら支援を移行するようにしたり、支援は常に複数の目線が入るように留意したり、被支援者が自分たちに合った支援先を選べるように選択肢を多く用意しそれを周知させたり、といったリスク回避のためにできることを実践し、包括的で切れ目のない支援のつもりが、こどもとその家族を窮屈にさせない取組みを望む。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、全てのこども・子育て家庭への切れ目のない支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
524	基本施策 1	<p>基本施策 1 妊産婦・乳幼児にかかる災害対策事業</p> <p>・先日区の防災イベントで、子連れの参加者に聞き取りアンケートを行った。自治会に入会していない人も多いが、入会していても地域の防災拠点や防災訓練の場所や開催日を知らないと答えた人が多く、このような情報過多な時代であっても、地域情報が伝わっていないことに驚いたし、地域とのつながりがあまりないのだと実感した。防災に限らず、情報の伝達が世代で分断されていると感じた。先日、子育て世代向けに自治会加入促進のパンフレット（市民局発行？）が配布されたが、大事なこうした事業の浸透については主催が町会自治会である以上、まずは加入してもらうことからでなく、自治会町会自体の組織の在り方を見直す時ではないかと思った。このテーマでの切り口は子育て家庭を地域に繋ぐための方策として大変に期待度が部分であり、町会自治会への関心を高める入口でもあるので、今後は地域福祉保健計画との連動など、他課との課題解決を求めたい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、妊産婦・乳幼児にかかる災害対策事業や、自治会町内会活動の支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
525	基本施策2	地域子育て相談機関を整備することについて相談機関が増えることは必要なことだと思う。しかし、今ある相談機関の市民や関係機関への周知を行政がしっかり行って欲しい。妊娠期から18歳までを対象とした「子育てパートナー」という人を置きながら十分に周知できていないのではないかな。あれもこれもと増やす前に「子育てパートナー」など今ある相談機関の価値を評価して、役割を確認し、より一層身近な、敷居の低い相談機関として活躍していただけるようにしていただきたい。	参考	頂いたご意見につきましては、地域子育て支援拠点における利用者支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
526	基本施策2	子育て応援認証施設を掲げていてもただ場所をもうけているだけで衛生的に使えない施設が多い。推進しているのであれば市民が満足して利用できる場所をきちんともうけて欲しい。例えば、赤ちゃん休憩室があっても臭いが強くて授乳できなかったり。そもそも掃除しているか疑問に思う場所が多いので定期的に市の職員が視察してほしい	参考	頂いたご意見は、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で参考にしたいと思います。
527	基本施策2	子育てサポートの提供会員をしています。報告書のデジタル化をして頂き助かっています。しかし、特に料金の請求の仕方がわかりにくく、ホームページ上で迷子になります。説明チラシもわかりにくく読み解くのに、相当な時間を要しました。簡単でわかりやすい画面に工事してリニューアルしてほしいです。提供会員は高齢者が多いからあまり利用を見込んでいないかもしれませんが、利用会員はデジタル世代、提供会員もこれからデジタル世代に移ります。ペーパーレスで経費節減し、浮いた費用をさらに子育てに回せるでしょう。地球温暖化防止の一助にもなります。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステム事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
528	基本施策2	瀬谷区役所に個室の授乳室と調乳用のお湯の設置を希望します	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
529	基本施策2	乳幼児世帯向けイベントを駅近の施設かオンラインでより多く実施してほしい(ベビーマッサージ、手形アート、産後ヨガ、ハーフバースデーフォトスポット等)。	参考	ご意見の趣旨については基本施策2の「施策の目標・方向性(2) 幼児期の豊かな『遊びと体験』の提供」などに盛り込まれている部分もありますが、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
530	基本施策2	子育て支援施設についても意見があります。私が在住している地域は磯子区と言ってもほぼ南区側で、磯子区のいそピヨは気軽に通える距離ではありません。徒歩圏内だと夢たまがあるのですが、夢たまは有料と聞き驚きました。いそピヨは無料で夢たまは有料なのは何故なのでしょう…？運営母体が違うのでしょうか。住んでいる地域によって利用しやすい施設の値段が違うのは不公平感があるので、ぜひ解消していただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、親と子のつどいの広場事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
531	基本施策2	基本施策2をはじめ、何度か出てくる子育てサポートシステムについてです。(現在私は提供会員として活動しています。) 利用会員になるためのハードルが高いと思います。決められた日時に乳幼児を連れて登録会に行くのは大変です。1ヶ月検診の時や民生委員さんが居宅訪問してくれる際に登録できる・子育て支援拠点でいつでも登録できるなど、登録へのハードルが下がる事を期待します。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステム事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
532	基本施策2	基本施策1・2 妊婦と乳幼児の母親の居場所、がそもそも少なく、面積が小さく手狭で、コミュニケーションを得意とする特定の母親しか通えない空気がある。例) ●●は300円払ってとても狭い数量しかない部屋で過ごす、●●は無料で走り回れる広さとお庭と砂場がある。●●には他に支援センターがないため、1人で幼児を見る辛さから逃れるためわざわざ遠い●●まで行く。コミュニケーションを苦手とする母親は取り残される。場所の面積と選択肢の多さも重要である。	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
533	基本施策2	基本項目2 港北区内にはあるものの、新羽駅付近には子育て支援センター的なものが少ないのでもう少し増えるといいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
534	基本施策2	<p>■基本施策2 地域における子育て支援の充実</p> <p>子育て支援拠点やつどいの広場について、乳児でも利用しやすくともありがたい存在です。しかし実際にこれらが開設されている場所は非常に限られており、そこまで行くことが子連れ（特に乳児連れ）にとっては一苦勞になっております。同様の施設を、どなたの家からも徒歩圏内で行けるよう整備していただけたら、幸いです。また、支援拠点やつどいの広場までの充実度が無くとも、外出時に使用できる授乳室・子供が食事できる場所（子供イスが誰でも使える場所）を増やしていただきたいです。これらの数や場所は現状非常に少なく、ショッピングモールの中に集中している状況です。それ以外の場所でもふらっと寄り道して授乳や子供の食事をできるような施設整備をぜひお願い致します。子供は3-4時間毎に空腹になるため頻繁な食事・授乳が必要なため、外出時は授乳室や食事場所の有無によって、出かけ先やスケジュールに制限がかかってしまいます。心身共に健康に子育てするためにも、ぜひご検討お願い致します。</p>	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
535	基本施策2	全体的に読んで言いたいことはすぐわかりましたが、実際に子育て支援センターなどを増やすのはなかなか大変かと思ったので、今ある既存園に市から補助金をだして、保育園に併設する形で行うのもひとつの手かなと思いました。実際私は市内で保育士として勤務していて、そういう施設が職場にあったらいいなと思っているので、今回意見の一つとして送らせていただきました。本当にその取り組みが始まったら私もそういう併設園で勤務してみたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
536	基本施策2	基本施策2 地域における子育て支援の充実について 現状に満足しているのか、ママ達に今一度聞きたい所です。ただ集まれる場所は、子供を遊ばせるために。テーマや目的がある企画は、ママが学びたい、楽しみたい。講座は、知識を得たい。相談は、困っている。1人で気軽に飛び込めるママはどれくらいいるのでしょうか。産後のメンタル、体調、生活環境、様々な要因で外に出ようという気持ちになれず、人と会う事も気が引けてしまうママは多いのではないのでしょうか。 場所と機会と質を上げると書いてありますが、具体的にはどんな案があるのでしょうか。産後ケアの教室、メンタルケアの教室、赤ちゃんの発達の教室、様々なところでたくさん先生方が活躍されているのはご存知ですか？対面、オンラインなど場も様々。私も講師として活動する1人ですが、「探しまくりました」「やっと出会えました」という声を多数いただきます。ママ達の生活スタイルにフィットした講師、講座、悩みにマッチした先生との出会いはママと赤ちゃんの生活を変えます。すでにいる方に、ではなく期限をつけてよりフレッシュな人に出会える機会を増やして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
537	基本施策2	概要版P8の地域における子育て支援の質の向上について今後の計画として、施策や支援の場所の新設など網羅されていますが、一方で、現状の横浜市の子育て支援の質がなぜ低いのかを、今一度真摯に振り返り具体的に改善していただきたいです。特に、こども家庭支援課の相談対応を担う職員さんの対応力にばらつきが大きく、電話口で怒鳴りつけてくる方、希望しない関係機関への連絡を強引に進める職員さん、こちらのお願いを「分かりました」と言って無視する職員さん、日本語会話が噛み合わない職員さん等々、連絡したことを後悔することが多いです。本来こども家庭支援課で対応すべき相談に保育園や学校の先生方が追われているのも日頃よく見かけます。	参考	頂いたご意見につきましては、全てのこども・子育て家庭への切れ目のない支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
538	基本施策2	基本施策2「地域における子育て支援の充実」項目に関して 育児と仕事に追われる日々の中で、どこの時点で困ったと声を上げていいのか自分が分からなくなります。このくらいは頑張れる、このくらいは頑張らないと自分をどんどん追い込んでしまい、気づいた時には疲れ切って声を上げることすらもしんどくなっています。子育てへの理解を職場、地域に求めます。そして助けてほしいし、協力してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
539	基本施策2	基本施策2 地域における子育て支援の充実 屋内で遊べる施設の拡充を希望します。現在、緑区のいっぽサテライトを使用しています。更に大きな施設があると子どもたちが混み合わず、のびのびと遊べると思います。まだ歩くことのできない0-1歳児の居場所が増えると助かります。温暖化で外で遊べる日が少なくなっているので、2歳児-未就学児の遊び場の確保の観点からも必要です。また、いっぽ（十日市場、長津田）共に日祝月曜日が休みで、日祝は父親と共にお出かけできるのですが、月曜日は休みの為、子供の遊び場に困っている母親をよく見かけます。施設で休みの日をずらす等できると、助かります。	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や居場所・遊び場、機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
540	基本施策2	基本施策2 地域における子育て支援の充実 子育てサポート制度を利用しています。提供会員さんのボランティア料を市から支払う際、その料金ももらいますか？といった最終確認が市からあると聞きました。既にボランティアして下さったのに、何を確認する必要があるのか、また市の業務の煩雑化に繋がるのではと感じます。提供会員の方がお支払いに関して不慣れだった場合、申告漏れ等で本来もらえる料金を頂くことができないような制度は変えてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステム事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
541	基本施策2	基本施策2はあまり意味がないように感じます。今どきはSNSが発達しており、こどもの居場所も体験もすぐに見つかります。乳幼児期の体験は家庭と公園、ログハウスや図書館等で事足りますし、それ以降は検索すればすぐに見つかります。子育て関連アプリも他にいくつでもあります。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
542	基本施策 2	<p>基本施策 2 地域における子育て支援の充実</p> <p>課題： 近くにある公園は、喫煙する方が多く、そのタバコのポイ捨てが散見されております。</p> <p>方向性： (5) 地域ぐるみでこども・子育てを温かく見守る環境づくり →公園の環境整備についても視野に入れてもらいたいです。</p> <p>具体的な内容： 現在、幼児を子育てしている母親です。公園は子どもにとって、身近にある外で遊べる場所ですが、タバコを吸う方がいると、受動喫煙が気になり遊びにくく、また、こどもがその吸い殻を拾って口に入れてしまうことが恐ろしいです。もちろん子どもが危なくないようによく見ておりますが、子どもを2人以上同時に見守らなければならない母親は、公園に足を運びにくくなると思います。平日の夕方には、放課後の小学生もたくさん遊んでいます。掲示物などで禁煙であることを周知徹底していくなど、本計画においても含めて取り組んでいただけると助かります。 よろしく願いいたします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
543	基本施策 2	<p>横浜市の場合、地域ごとに路線や道路などで分断されている傾向が強く、地域ごとに抱える課題が大きく異なる上、アクセス上の観点からも、区役所や地域包括支援センター以外にも拠点があるとよい。具体的には小学校区ごとに地域の子ども・子育て拠点があると、極めて有益と思われる。具体的には、小学校の空き教室の活用は考えられないだろうか（全国的には実例はあるはず）。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
544	基本施策 2	<p>子ども同士、地域の大人がアナログで繋がる場所（縦横斜め）があったら、より豊かな子どもの育ちに繋がるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイパーク事業の充実（プレイパークが行いやすい環境、人材確保、地域への子どもの発達や、成長理解の為の啓発活動） ・子ども達が集いやすい公園、広場(居場所)づくり ・大人も子どもも信頼関係で繋がれる地域づくり。 →地域の活動に大人も子どもも関心を持ち、関わることの大切さ。地域の大切さについて、心あたたまる様な啓発活動があれば、出来れば。 ・地域の大人が、子どもたちとも穏やかに、ゆるやかに繋がれること。その事で未然に防げる事故もある。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
545	基本施策 2	<p>P.73基本施策2について パマトコはとても使いにくく、時間的負担の軽減になってない。「ハマハグ」の概要説明が、以前のハマハグ単独のページの方がわかりやすかった。</p>	参考	<p>横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。</p>
546	基本施策 2	<p>P.71基本施策2地域における子育て支援の充実 地域の公園で、小さい子も小中学生も、危険なく楽しく自由に遊べるようにしてほしい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
547	基本施策2	<p>横浜子育てサポートシステムについて。双子の4か月健診で区役所へ行く際に、私（母親）一人で双子と3才の子を、つまり乳幼児3人を連れて行かなければならず、横浜子育てサポートシステムに提供会員さんをお願いしようと問い合わせました。親と一緒にいたとしても1時間当たり3人分の料金がかかる（きょうだい児割が適用され、1人分+半額×2人分）とのことでした。仮に、提供会員さんに4か月の赤ちゃんのみを担当してもらうように依頼したら、1人分の料金のみで大丈夫かもしれないそうです。ただし、提供会員さんは3才の子の面倒は一切見られないし、私が赤ちゃんの授乳中に依頼外の赤ちゃんを見てもらうこともできません。（すなわちこの提案は現実的ではないので、子供3人分の料金を支払うことになるでしょう。）そして、そもそも、双子を見てもよいという提供会員さんが見つかるのは難しいだろうというお話で、利用しませんでした。他の多胎家庭の話でも、双子を預けるということは難しく、子供1人だけお願いして、もう1人を自分で連れて用事を済ませたというような利用のみで、多胎家庭にとっては現実的に利用しやすい制度とはいいたいと感じています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
548	基本施策2	<p>基本施策2について ・地域における子育て支援を充実させることも大事ですが、結局サービスを受ける側になっています。それでは、地域の方と出会う機会にもならないし、繋がる機会にもなりません。地域の方々とお互いに出会おう、知ろうと向き合う方向性がなければ、地域社会から見守られている、支えられているという考えや思いにはなりにくいと考えます。もっと地域の方々と一緒に何かをする取り組みもないと、結局孤独な子育てに繋がる人もいると思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
549	基本施策2	<p>基本施策2について ・未就学児に向けた「遊びと体験」の環境・機会の提供はどのようにさせるのでしょうか？川崎のように自由に遊べるプレイパークのような公園を増やしてもらいたいです。きれいな花壇は大人がキレイだなと思いますが、結局花は取ってはダメ、入ってはダメ。それよりも雑草の中の虫や花に触れる体験も大切な機会だと思います。また、工事の資材置き場などに突然公園が使えなくなることもあります。</p>	参考	<p>図書館等の公共施設、プレイパーク、民間企業等と連携した取組を今後検討していきます。頂いたご意見につきましては、未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
550	基本施策2	<p>基本施策2「研修によるスタッフの育成・子サポ提供会員研修」 横浜市研修プログラムがほとんど同じ会社が入札で決定されているが、本当に質の向上につながる内容かをしっかり評価してほしい。せっかく素晴らしい計画を立てても実施する現場の質が向上していなければ意味がない。スタッフ研修に関しては、グループワークが肝なのにまったくファシリテーターが機能していない様子を聞いた。入札で決まる前の法人が開催していた研修に戻してほしい。受けさせて良かったと思える研修をお願いしたい（結局持ち出しで研修を受けなおすことになっている）</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て支援スタッフの育成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
551	基本施策2	<p>基本施策2「地域子育て支援事業」 施設外での居場所の実施個所について、国が定める基準で探す開催できる場所を探すことがかなり難しい。保育園や幼稚園と連携するなど、市のほうも担当課を超えた取り組みでサポートしてほしい。またすでに行っているアウトリーチ事業についても評価に入れてほしい</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て支援拠点事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
552	基本施策2	<p>基本施策2「地域子育て支援事業」</p> <p>子育てサポートシステムに関しては、クーポン配布等で気軽に利用できるようになり利用数はかなり増加したが、フルタイムで仕事をする人が多く、高齢雇用等で地域に担い手がない中どうやってこの仕組みを支えていくのか。取組を検討する際には地域の現状課題も含め議論してほしい。また子サポの目的は仕事だけではなく介護等も目的に入っていると思う。</p> <p>※女性労働協会HPより</p> <p>この事業は働く人々の仕事と子育てまたは介護の両立を支援する目的から、労働省（当時）が構想し、設立が始まりました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
553	基本施策2	<p>概要版P8の基本施策2について、横浜子育てサポートシステムが挙げられていますが、私の学区では提供会員が1名しかおらず、その方も本業があるためなかなかお願いすることができません。例えば町内会と連携して子サポとは何かの説明会の案内や、提供会員の登録や研修のお願いをしたりすることで、地域全体で子供を育てていくことはできないでしょうか？</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
554	基本施策2	<p>基本施策2「地域における子育て支援の充実」に関して、父親視点での観点にも留意する必要があると考えます。これまでは育児主体を母親のみと想定した育児支援サービスが多かったため、いまだに父親1人ではそれらのサービスを楽しむことへの遠慮がみられるケースがあります。しかし、男性の育児休暇取得率の高まりとともに、育児に積極的に取り組む男性も増加しているため、子育て支援の充実に向けて具体的なサービス・イベントの企画時には、女性だけではなく男性の意見も積極的に取り入れながら議論や実践が進められることを期待します。本計画に向けたグループトークに参加しましたが、参加した回においては参加者の9割が女性でした。男性の子育て当事者の参加が増えるとより多様な議論ができると感じました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
555	基本施策2	<p>横浜子育てサポートシステムでは、利用会員のニーズは高まる一方で、提供会員の獲得に苦慮しています。子育てサポートシステムの周知、特に提供会員を増員する取組を横浜市として率先してやっていくことが必要だと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
556	基本施策2	<p>基本施策2 地域における子育て支援の充実 パマトコでも市の地域子育て支援拠点のサイトでも、常に区別での表示になっている。区境に住んでいる利用者の立場からすると、自分の家から近い場所を検索する場合、複数区を選ばないといけなくて情報量過多になって見づらいという問題点がある。せめて最初に市全体の地図があり、自分の住所等を入れると、区を越えて自分の家から近い居場所はどこかが検索できる機能をつけるなどしていただけるとより利便性があがると思う。</p>	参考	<p>横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた改修にしっかりと取り組んでいきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
557	基本施策 2	子育てサポートシステムの提供会員とサポーターにかかわり13年経ちます。資料を読むと利用者視点ばかりに重点が置かれているように感じる。確かに 子育て世代の方々の応援は大事です。でもサポートをする側の実情は結構厳しいことも多々あります。ととの芽が関わって貰えてからは大分改善されましたが給付金が支給されてやっと時給が千円になりましたがボランティア精神がなければ提供会員は出来ません。やっと事前打合せにも給付がされることになったことも遅過ぎです。打合せをただで必要ないと言われたことも何度もありあの1時間半はなんだったのかと思いました。民間のベビーシッターと同じだと勘違いされる親御さんもいますし、サポートしている子供に色々なことを要求され それはできないと言うとお金払ってんじゃないと言われ辛い思いもしました。市長さん始め上層部の方々には現場の色々な事情を分かった上でシステムの構築をして頂きたいです。そして利用される方も規則をきちんと守りや思いやりを持って子育てサポートシステムを大いに活用して貰いたいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
558	基本施策 2	基本施策2について、子育て支援に関する地域ぐるみでのサポートの種類は多くありますが、需要と供給のバランスが良いとは言えないと感じています。特に子育てのサポートが必要な側への周知はできても、サポートする(できる)側への周知が届きづらく、足りていないように思います。市をあげて子育てに関わる活動への参加や継続的なサポートの意義を様々な年齢層に広げて、専門的な知識や資格がなくても、地域の方々が活躍できる機会や場所があること知らせ、子育てを支える側の人数を横浜市全体で増やして、サポート体制をより充実していけるようにすることが必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
559	基本施策 2	親子サークル支援のために子育て支援者の派遣依頼書が紙媒体で、しかもFAXなどでの提出などパマトコのアプリアもあるのに時代錯誤も甚だしい。サークルに興味、関心がある養育者が気軽に立ち上げ、自主的な互助の活動を支援していくことにもっと力を注ぐべきではなからうか。検討を期待する。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て支援者事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
560	基本施策 2	基本施策 2 地域における子育て支援の充実について 親と子のつどいの広場を運営していますが、わかりやすい子育て支援情報のホームページを作って欲しいです。最近のお母さん達は紙の情報はあまり見なくなっています。パマトコは、市の直接事業ではないからか、つどいの広場などは載っていません。市全域の子育て応援サイトも重要ですが、港北区の子育て応援サイト「ココマップ」のように、可愛くてイラストや写真が多いホームページが各区にあり、パマトコにリンクしていると、地域の子育て支援の利用者が増えるのではないかと思います。育児不安を抱えていたお母さんが、「もっと早くつどいの広場のことを知っていればよかった」という声を聞く事があります。子育て支援情報の発信(ホームページ)の充実について、ぜひ施策にご検討をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。
561	基本施策 2	横浜市は子育て支援に力を入れていると、パマトコの登録、利用推進を図りたいのかもしれないが肝心の行政職員が内容も登録の仕方も熟知していないのではないかと 内容の不備、二重登録など結果的には行政側も手間が増えるので、きちんと把握してほしい。市民にも迷惑	参考	横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまへわかりやすいご案内ができるようしっかりと取り組んでいきます。
562	基本施策 2	基本施策 2 について・・・ 「親と子のつどいの広場」をぜひ無料で利用できる予算措置をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、親と子のつどいの広場事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
563	基本施策 2	地域に根差した決め細やかで柔軟な支援をしてもらえたら子育てしやすくなると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
564	基本施策2	<p>地域子育て支援について； 拠点へ行かれるのはわずかですし、拠点や地域機能を理解するのも支援者側ですら難しい時代になりました。</p> <p>地域支援の側も、相談できるフラットな窓口の設置は求められます。 ポータルサイトなどの設置も期待されますが、そこを"使いこなす"のはむしろ保護者側になり、支援者側が使いこなせない懸念があるなど感じます。 支援者の支援などを含めるかたちの踏み込みが必要になってきたのかなとも感じます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て支援施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
565	基本施策2	<p>子育ては家庭のみならず地域の連携も必須なので、例えば老人会、幼保の連携など世代横断型の地域活性が行われて、小さい子からお年寄りまでみんなが地域と豊かに接することができる良い横浜になると、とても良いと思う</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
566	基本施策2	<p>もっと子育て中の親をエンパワーメントできるといい</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
567	基本施策2	<p>【基本施策2】（5）地域ぐるみでこども・子育てを温かく見守る環境づくり →（意見）とても大切な取り組みだと思います。しかし、最近「見守る」といった場合、＜事故や危険から＞守るといった風潮が強く「知らない人には関わらない」「余計なことには手を出さない」といった“不干涉”が行きすぎ、他人の子どもや地域全体に“無関心”になるといった負の側面も生み出していると思います。</p> <p>「地域ぐるみで」という以上、困っていきそうな子どもがいたら、その子のSOSに気が付ける感度のアップ、声をかける雰囲気醸成、児童虐待以外への対応の姿勢、そして「関わりすぎはしないが無視もしない」「見て見ぬふりをするのではなく、見ていないようで見ている」という“さりげなく丁度良い距離のとり方”について地域と行政が一緒になって議論を行い、相互理解ができるといいと思います。</p> <p>「よこはま子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会」では、大倉山ミエルでの取り組みを参考に、“ちょうど良い距離のとり方”について考察を進めており、令和7年3月1日に開港記念会館にて港北区役所（子ども家庭支援センター）他と一緒に「地域ぐるみで見守る」ことについてのシンポジウムの開催を計画しています。大倉山ミエルの活動、港北区との協働についてもぜひご注目、支援をお願い致します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
568	基本施策2	<p>（地域子育て支援拠点利用者や職員との意見交換での気づいた点） 子育て情報アプリ「パマトコ」が導入されたばかりでその利用度や活用度がまだ浸透していないことから使い勝手に課題を大きく感じていること</p>	参考	<p>横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」につきましては、子育て世代の皆さまのご負担の軽減につながるよう、ご意見を踏まえた機能の拡充や改修にしっかりと取り組んでいきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
569	基本施策 2	<p>基本施策 2 地域における子育て支援の充実</p> <p>1. 指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「利用ニーズ把握のための調査」において、子育てをしていて地域社会から見守られている、支えられていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した割合が現状 32.4%と非常に低いと感じる。支援の場に足を運ばなくても全ての家庭に手の届きやすい、敷居の低い相談支援体制の仕組みが必要。 ・出かけられるひろばや居場所は増えてもこの時期の子どもにはやはり街区公園への活用度や期待度は高く、公園が多世代多様な用途で利用しても共存していけるような世代間のギャップを補完できる取組み、年齢に関係なく交流して遊べるようにするしくみができないか。 ・はじめの 100 ヶ月の育ちビジョンの普及や子育て応援が缶バッジの普及などを通じて、子連れで散歩中でも声をかけてくれる人が少ない。ちょっとのおせっかいができる風土が広まれば良い。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
570	基本施策 2	<p>基本施策 2 地域における子育て支援の充実</p> <p>2. 主な事業・取組み</p> <p>■子育て家庭応援事業（愛称「ハマハグ」）</p> <p>「パマトコ」内に組み込まれたことで、事業者側が非常に見づらくなった。事業者に依頼をしていく拠点としてもハマハグの事業を紹介しづらい。以前のように一覧検索ができる、事業者からみてもハマハグがどんな事業なのかわかるように改善をお願いします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
571	基本施策 2	<p>施策の目標・方向性（1）</p> <p>68 ページ（1）（3つめの○）「乳幼児とのふれあい体験授業」は現在、複数地域において、地域子育て支援拠点と地域・学校が協力し合い実施していますが、学生の主体的な学びに自己肯定感が育まれていく過程があり、親になるイメージに加え、子育てを肯定的に捉えられる機会になっています。これから産み育てる世代だからこそ、この体験を全生徒が受けられることがポピュレーションアプローチにも繋がってくると思います。乳幼児家庭にとっても地域の中で子どもの育つイメージが持てる安心感があり相乗効果があります。この取組は地域ぐるみで応援できる大事な活動でもあるため、予算化と共に仕組みにしていることを望みます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て支援拠点事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
572	基本施策 2	<p>地域子育て支援拠点事業</p> <p>70 ページ「施設外での居場所の実施箇所数 18 か所」とされていますが、現行の出張ひろば事業のイメージだとすると、社会資源が不足している地域で実施できることで、拠点に来づらい層にとっては有効であると思います。ただ、現行の出張ひろば事業では、週 1 回、1 日 5 時間の実施が規定されていますが、午前と午後の時間帯を押さえなければならず、場所探しが難しい状況です。子育て支援拠点でも出張ひろば事業と類似な事業やアウトリーチを行っている区も多く、わずか週 1 回の開催でも利用者の人材育成にも繋がっている事業でもあるので、実情に即した枠組みで実施できるよう、検討をお願いしたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て支援拠点事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
573	基本施策 2	地域子育て相談機関の設置 71 ページ 新たに既存施設に設置するならば、既に地域において身近な相談を実践している「保育所子育て支援センター園」「親と子のつどいの広場」への設置が望ましいと考えます。国の利用者支援事業「基本Ⅲ型」が活用できるのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
574	基本施策 2	地域子育て相談機関の設置 71 ページ 横浜市として利用者支援が導入されてから9年目となりますが、相談職種として目指しとしてしっかりと立っていることへの価値は大きいと思います。中学校区に個所数を増やすとなると、親と子のつどいの広場でもⅢ型を導入するなどして、設置してほしいと思います。その場合、親と子のつどいの広場を回遊、フォローしながら連絡会を持つなど、行政との連携を含めて図っていったら良いのではないかと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
575	基本施策 2	未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供 72 ページ こどもの声や権利を尊重していくことで、育ちを保障していく風土づくりはとても大切だと考えます。こども家庭庁が提唱している「はじめの100か月の育ちビジョン」にも関わってくる内容でもあるので、「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高めていけるよう、乳幼児期から安心して人との出会いや物にふれる機会を創っていくとともに、地域の子育てサークルや公園遊びの団体に加え、プレイパークやログハウス等とも連携しながら、こどもの主体的な遊びが体感できる環境や場づくりが大事だと考えています。プレイパークがない区に関しては、立上げに子育て支援拠点が関われることも大事だと考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
576	基本施策 2	未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供 72 ページ 図書館がより乳幼児親子や子どもが利用しやすい環境となることを目指すと「横浜市図書館ビジョン」でも示されています。図書館での取り組みは、多世代交流の場となり、いろんな人のゆるい繋がりが生まれる場となる等の効果が期待され、予算化が望まれます。	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
577	基本施策 2	子育てサポートシステム 73 ページ 令和11年度の数値目標の延べ利用者数87,730人について。利用しやすくなる仕組みは大切で、子サポdeあずかりおためし券（無料クーポン）も利用につながる効果を生んでいます。一方で、預かる提供会員が不足している地域もあります。会員のバランスは地域での支え合いとして大切で、個々の提供会員の負担が増えてしまうと、支え合い活動の範疇とは言えず、本来の「地域ぐるみでこども・子育てを温かく見守る環境づくり」68ページ（5）事業として、認識のし直しと、活動サポートを手厚くする具体策が、今後、特に重要になるのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
578	基本施策2	<p>子育てサポートシステム</p> <p>73 ページ 共働き世帯の増加により、夕方や朝の時間帯、遠方の依頼なども増えており、提供会員が担う役割も幅広になっていると感じていますが、送迎の割合も多い為、子育てタクシーとの連携など、他資源との協働についても検討いただきたいです。また、子サポにおける市としての現状課題を子育て支援の現場とも共有し、現場の声を聴いたうえで施策や取組につなげていただきたいと思います。また、昨年度の制度改変により、利用促進に繋がっている点は良い点だと思いますが、受け皿の必要性も急務だと捉えています。提供会員の登録数増加に向けても、横浜市の事業としての発信力と市民に向けての事業理解を高めていくことも必要だと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
579	基本施策2	<p>基本施策2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業 <p>施設外での居場所の実施か所の直近の現状値が3か所となっているが、恒常的、長時間の居場所ではないが、各拠点区内の様々な地区に出かけて居場所をすでに開催しています。そこで地域の支援者や子育て支援施設の職員に参加してもらうことで、親子と地域をつなげています。拠点の子育て支援センターとしての機能としてこれらのアウトリーチも事業の一つとして組み込んで欲しいと思います。</p> <p>乳幼児とのふれあい体験授業は、未来の子育てする人、子育てを応援する人に親、子の生の声を届けるとても有意義な授業となっています。参加する親子にとっても地域とつながる良い機会となっています。教師個人の裁量で開催の有無が決まるのではなくカリキュラム化を検討し、予算化をはかってほしい。</p> <p>拠点にはすでに利用者支援事業が入っており、子育てパートナーが各施設に1名配置されていますが、2名体制にすることで、さらにアウトリーチに出かけやすくなるのが期待できます。また、今まで母親や祖父母からの相談が主でしたが、昨今父親からの相談や小学生の親からの継続相談など多岐にわたっています。情報が日々更新され、情報収集にも時間がかかっているのが現状です。2名体制とすることで、地域子育て相談機関充実の一翼が担えると考えます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て支援拠点事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
580	基本施策2	<p>基本施策2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区センターにおける親子が集う身近な場の創出 <p>地区センターを親子が集う身近な場にするには賛成だが、全ての地区センターに子育てに関する支援者がいるわけではありません。子育て支援者事業を増やす、又は地域子育て支援拠点事業のスタッフが出向くなど、工夫が必要と考えます。また、コロナ禍、玩具の消毒・管理が難しく、本や玩具がほぼ片付けられ、5類になった後も、管理する職員配置が難しいと訪問で声を聞きます。施設の声を聞いて、衛生管理を含めて居場所作りが検討されることを希望します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図る上で、また、市民利用施設を運営する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
581	基本施策2	<p>基本施策2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て相談機関の設置 <p>利用者にとって、敷居が低く、物理的にも近距離に地域子育て相談機関を整備するために、まず地域ですでに親子の居場所になっている場への設置が望ましいと考えます。親と子のつどいの広場、保育園、幼稚園、一時預かり保育施設、子育て広場を活用して欲しいと思います。そしてそこで相談を受ける人、質の確保についての記載が必要だと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
582	基本施策2	<p>基本施策2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜子育てサポートシステム <p>年間利用者数を量の指標にする前に、周知・会員登録の為の予算付けを明示していただけますか。子育てを応援する施策が施設頼みでは、地域で共に暮らす人同士のつながりが見えて来ません。人はひとたび親になったら、そこからずっと親であり続けるので親が親として力を付けることが必要です。在宅育児の時期にこそ地域の人と繋がることの価値に気付いてもらえたらと思います。横浜子育てサポートシステムは、地域の人の子育てを共に行う良い制度なので、預かる会員には無理なく参加し、続けてもらえることが重要です。ともすると施設でできないことを補完する役割を子育てサポートシステムに求めようとしているのではないかと疑わしく思うところもあります。一朝一夕に地域の人との関わり方が変わるものだとは思いません。小学生・中学生・高校生・大学生と長いスパンで子どもと関わる体験を持ち、地域で世代が縦に繋がる、助け助けられる子育てを実感して親となる日が迎えられるように拠点から地域へ出張企画を行って行けるとよいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
583	基本施策2	<p>基本施策2 未就学児の親子の居場所拠点、ひろば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談の場、保護者同士の交流だけではなく、就園までの間、子どもが子ども同士のふれあいを経験ができる場、親がその様子を見られる貴重な場であるということ、妊娠期、父親、祖父母世代にももっとPRをしてほしい。ひとり親家庭や外国ルーツの親子も利用しやすくなるといい。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、親子が集える場や機会の充実を図るを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
584	基本施策2	<p>基本施策2 親と子のつどいの広場事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後5年にかけて開所箇所数目標が上がっていることから、地域の大事なプラットフォームとしてこれからも居場所の価値は高まることからその周知広報については今だ委嘱委員の人たちなどには知られてないと感じていることから、活用の仕方にも自由性があることも含め、各区の担当を通じての支援を期待したい。 ・補助事業の利点に着目し、国からの補助も上がることから、加算事業のメニューの多様性を積極的に検討して欲しい。そのことがコミュニティの活性化に繋がると思う 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、親と子のつどいの広場事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
585	基本施策2	<p>基本施策2 地区センターにおける親子が集う身近な場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日の遊び場、見守る大人がいるところが欲しいというニーズについて、拠点やひろばの閉所時間など他事業の活用を検討するなど、検討の余地はあると思われる。「切れ目のない」という意味でもメリットが多いのでは。 ・地区センターなどは、現状として、小中学生の居場所になっているところもあるようなので、見守りスタッフを配置するなどにはできないだろうか？ ・運営事業者のよって地域との繋がり度に濃淡がありすぎるとも聞き、こどもの居場所として大事な機能としての職員の研修や気づきなども大事にして欲しい。 ・地域の公園は「ボール遊び禁止」など、自由に遊べないところも多い。地域住民を巻き込んで、こどもの居場所について話し合える場があるといい。 ・小学校は「子供だけで学区の外に行かない」というルールがあるよう。図書館、ログハウス、地区センターなど、せめて学区に1つくらいは安心していられる「子どもの居場所」が設置されていてほしい。 ・青少年の地域活動拠点7か所（やさしい概要版p7より）。少なくとも区にひとつくらいはあってほしいし、区で分断せず横の連携でのサポートができるといい。 ・不登校の子は、地域の居場所では居づらいうちも聞かれている。学区内、区内に限らず、自分に合った場所が探せるといい。 ・有料での貸出の分、場所によっては抽選利用なので活動が継続的になりにくいなどのマイナス点も指摘されている。市民活動支援の視点からするとこのあたりの調整もいずれ期待したい。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
586	基本施策2	<p>基本施策2 地域子育て相談機関の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国では、利用者支援事業の基本型を中学校区に1カ所の設置を想定しています。市内28カ所という設置数は各区に1・2カ所のみとなり、何らかの方策が期待されます。現在の利用者支援事業（地域子育て支援拠点における横浜子育てパートナー）の配置を強化し（現在1名→2名）区内の施設や公園での出張相談を増やしていく想定はないのでしょうか。また、「親と子のつどいの広場」において「基本Ⅲ型」を活用し、利用者支援事業を配置することで、相談体制の整備につながるのではないのでしょうか。地域ケアプラザと同様、中学校区の配置が実現するのではないのでしょうか。 ・身近な相談機関としての機能強化が求められている中で利用者支援含めて、機会を増やすという一方で拠点数も含め増えていないのは疑問です。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
587	基本施策2	<p>基本施策2 未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭庁「はじめの100か月の育ちビジョン」では「安心と挑戦の循環」のために豊かな遊びと体験を保障すると謳っています。コロナ禍で生まれ育ってきた子どもや親が、地域全体で一緒に育っていくために、既存事業であるプレイパークや公共施設、多くの子どもが利用する保育所等が連携するなど、具体化していくよう本腰を入れてほしいです。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
588	基本施策 2	<p>横浜子育てサポートシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での支え合いとして大切な活動ですが、子どもを預けたい「利用会員」が急増する一方で、預かる「提供会員」を希望する人は少なくなっています。個々の提供会員の負担が増えてしまうと、支え合い活動の範疇とは言えず、本来の「地域ぐるみでこども・子育てを温かく見守る環境づくり」事業として、認識のし直しと、活動サポートを手厚くする具体策が、第3期では特に重要と思われる。 ・事業量の見込みだけでなく、量的にも支援内容的にも重層的になっていることと連動した研修事業の充実化を求めます。研修内容の質の担保にも様々な意見が区ごとにあるようです。この見込み数の期待に比例しての提供会員の質を本格的に検討していく時期かと思われます。 ・預かるニーズの内容の精査など本事業の趣旨にのっとり例えば送迎ニーズは既存の民間事業者と連携するなど支え合いの事業とする次のステージを描くことが求められていると感じます。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、横浜子育てサポートシステムを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
589	基本施策 2	<p>基本施策 2 親と子のつどいの広場事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所箇所数目標が上がり、開催日数時間を満たせば(拠点が35時間であるのにつどいは40時間を35時間に修正いただきたい)常勤職員が配置できる、地域のネットワーク構築を図る常設の居場所機能を担う事業へと変遷しました。放課後時間帯のこどもを対象とした居場所への対応等、運営基準の柔軟性を検討することで、市民力を活かせる事業に発展していくと感じています。また、人材育成支援が必須ですが、親子にとって身近な場において、地域子育て相談機関として機能できるのではないのでしょうか 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、親と子のつどいの広場事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
590	基本施策 2	<p>基本施策 2 地域子育て相談機関の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国では、利用者支援事業の基本型を中学校区に1カ所の設置を想定しています。市内28カ所という設置数は各区に1・2カ所のみとなり、何らかの方策が期待されます。現在の利用者支援事業（地域子育て支援拠点における横浜子育てパートナー）の配置を強化し（現在1名→2名）区内の施設や公園での出張相談を増やしていく想定はないのでしょうか。また、「親と子のつどいの広場」において「基本Ⅲ型」を活用し、利用者支援事業を配置することで、相談体制の整備につながるのではないのでしょうか。地域ケアプラザと同様、中学校区の配置が実現するのではないのでしょうか。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域子育て相談機関の設置を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
591	基本施策 2	<p>未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭庁「はじめの100か月の育ちビジョン」では「安心と挑戦の循環」のために豊かな遊びと体験を保障すると謳っています。コロナ禍で生まれ育ってきた子どもや親が、地域全体で一緒に育っていくために、地域子育て支援拠点のネットワーク機能、既存事業であるプレイパークや公共施設、本来、中間支援機能を果たすべき区民活動支援センター等が連携し、この目的に向かって多様な場づくりを市民協働で進めていただきたい 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、未就学児に向けた「遊びと体験」ができる環境・機会の提供を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
592	基本施策 2	<p>(日本での子育てで困っていること) 子供のアクティビティーやデイケア・幼稚園入園についての検索</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
593	基本施策 2	<p>(よくなってほしいこと) 教育の情報をたくさんいただきたい 教育に関する補助金等の情報もいただきたい</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
594	基本施策2	(困っていること) ママ友ができるまでの孤独、憂鬱。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
595	基本施策2	(よくなってほしいこと) プレイエリアの改善；プレイエリアに、もっとクリエイティブなプレイ設備を設置してくれば、外遊びが家族にとってもっと楽しくなると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
596	基本施策3	保育園を入りやすくしてほしい。保育園の増設、保育士の確保をしてほしい。保育料の引き下げをしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育の場と人材の確保を進める上で、また、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
597	基本施策3	保育園全年齢無償化希望。一生懸命働いても収入世帯によって支出差別化をせず全市民平等にしてほしい	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
598	基本施策3	東京都に続き、早急に第二子の保育園料無償化 また第一子の保育園料無償化を検討していただきたいです。東京と地方の差が広がるばかりで、東京への引越しを検討するほどです。よろしくお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
599	基本施策3	基本施策3についてまだ本格的に保活をはじめている訳ではありませんが、保育園見学や周りのママの話を聞いていると、保育園に入りづらそうな印象があります。保育所や幼稚園がより良い場所であるのは当たり前で、それ以前に待機児童（特に0.1歳児）が多すぎると思います。●●団地の跡地に大型マンションができますが、保育所が増えないと聞いてとても不安です。市内の若者や出生率が低下しているのであれば、子育てしやすい街になるように改革が必要だと思います。今のままだと復職も予定通りにできるのかという不安もあります。最近では都内の方が子育て世代には向いているのかなと思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
600	基本施策3	保育士の「将来の担い手の確保と潜在保育士の復職支援」については、保育士に給付金をあげてほしい。本当によく頑張っているから今後も続けてほしいため。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
601	基本施策3	保育園について ①●●駅から徒歩10分北口寄りの園の増加希望 ②子供の自主性を大事にし、活動内容を園児が話し合っ決めて先生が実現をサポートするような園の増加希望 ③コーナー保育を実施する園の増加希望	参考	①頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 ②、③頂いたご意見につきましては、子どもの人権を守り、子どもの主体性や思いを尊重した保育・教育の推進する上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
602	基本施策3	一時預かり事業の受け入れ数が少ない。今はどうかかわからないが私が未就園児を育てていた頃(7年ほど前)は一時預かり(NPO)の予約開始日に電話を何十回もかけても予約が取れない状況が何度もあった。横浜市は待機児童数は少ないかもしれないが、保育園に預けられない未就労の母親も相当数いる。孤立した子育てを防ぐためにも「保育園に入れていないが、一時的に預けられる良質な保育場の確保」が必要だと思う。	参考	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
603	基本施策3	基本施策3について、保育園や幼稚園での学びと、小学校での学びが、より上手に繋がるようにすべきだと思います。待機児童対策の為に多くの保育施設が開所され、現在、様々な方針を持った保育施設がありますが、園によって目指すレベルが違い、それ故に子供達が小学校に上がった時に、同じクラス内で一人ひとり出来る事に差があり過ぎているように感じます。どこの保育施設でも同じ様な発育・発達が望めるようにすると共に、幼保小の連携が定期的にきちんと取れるようにすべきと考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を目指す上で、今後の参考にさせていただきます。
604	基本施策3	基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実 保育士の社宅借り上げ制度の補助をいつ終わるか不明瞭にせず、永く働きたいと思えるように勤務開始から10年として欲しい。もしくは保育士の賃金をベースアップして欲しい。こども誰でも通園制度や地域の子育て支援をする為に保育士の配置を増やし、保育士が働きやすい環境を作って欲しい。質の高い保育をするには安定した人員が必要で。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
605	基本施策3	保育園の件に関しても、家庭が低収入で働きに出たくても保育園に決まらなないと働きにも行けません。待機児童0宣言していても、入ることすら出来ない現状です。	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
606	基本施策3	一時保育を充実させてほしいです。せめて区内一カ所の認可保育所では生後6ヶ月から、リフレッシュ利用可能、常時受付中、一時保育専用の部屋や職員の設置があってほしいです。もしくは市で一時保育専用の施設を作ってほしいです。出産後に一時保育のできる認可保育所のリストが送られてきましたが、ほとんどが1歳からの上に、問合せすると「人が足りない」「リフレッシュ利用は不可」などで受付(登録)すらできませんでした。利用実績も公表してもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
607	基本施策3	保育園で働く方(主に保育士)の処遇を引き上げてください。現在、保育士の不足や一人当たりの業務量の多さにより適切な保育利用がなされていない状況です。具体的には、園の利用規則では夕飯の提供があるとなっていないが、誰も利用できないような働きかけ(皆さん早くお迎えに来ていますとの声かけがあり、利用者がいない状況など)や、延長保育を遠回しに断る(歓迎しない)雰囲気があります。利用施設だけでなく見学時に質問した園で複数同じ状況でした。離職者も多く、担当者の入れ替わりが多いと利用する側としても不安があります。保育士の方々の処遇が改善され、利用者が必要とする保育が適切になされるような待遇改善及び保育園への指導をお願いします。	参考	保育・幼児教育を担う人材の確保や、多様なニーズへの対応と充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
608	基本施策 3	<p>基本施策3 目標・方向性(1):質の確保・向上 質の確保・向上の評価は？という話し合いになると思うが「〇〇認定を持っている方います」という表記はしないで欲しい。保育は「人」と「人」なので人柄で評価して下さい。テストの点数が良く、〇〇認定持っても会話力や直感が無ければ意味ないです。第三者委員会のアンケートでの評価が良いです。</p> <p>目標・方向性(4):教育の場の確保 育休制度の見直し必要かと思う。なぜ1歳になるまでに入園申請しないと手当が出ないのか。昔作られた政策で理由があると思うが今の時代にあっていない。自分で保育できる人が応募する→保育園確定→本当に保育が必要な人が入園できない。だから保育士不足でも保育園を作って待機児童を減らす。保育士不足で保育が雑になる。負のループ。自分で保育できる人はしてもらって本当に必要な方が利用する。が、入園申請して待機児童が多くなると指標の目標値が増える。(自分で保育できる人:会社側が長く育休取っても良い・育児も仕事・など理由は人それぞれだが育休手当が出なくなるから1歳までに入園申請すると思う)やはり育休制度の見直しが必要かと思う。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、研修や研究の実施など、保育・幼児教育の質の確保・向上事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
609	基本施策 3	<p>保育士さんたちの待遇をもっとよくしてあげてほしい。保育士さんたちがいて安全に預けられる場があるから安心して仕事もできるし、もう一人産んでもいいかな？という気にもなる。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育の質の確保・向上や保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
610	基本施策 3	<p>基本施策3 乳幼児期の保育 ・教育の充実について ・保育士などの待遇面のアップをまずは公立の保育園から始めてください。保育士の待遇を改善することによって、将来の担い手不足の解消や潜在保育士の復職につながると考えます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
611	基本施策 3	<p>【該当箇所】 素案P.22 4 第2期計画の振り返り 施策分野1 基本施策1 ・幼児教育・保育の質の向上を目的とした園内研修リーダー育成研修の受講園の割合は、2023（令和5）年度時点で累計37%となりました。</p> <p>【意見】 37%は少ないと思うが理由も提示いただきたい。すでに各園で研修の仕組みがあり、園内研修リーダー育成研修の需要がないのか、日々の業務が多忙すぎて手が回らないのか。横浜市幼稚園協会主催の「横浜市幼稚園大会・教育研究大会」などの研修会では、多くの幼稚園教諭が参加すると思うので、そういった機会を活用するのはどうか。</p>	参考	<p>園内研修リーダー育成研修は、5回で1コースの往還型研修※として、56名の定員制で実施しており、毎年定員を上回る申込みをいただいているものです。市内の施設数に対して、受講できる園数が限られているため、割合は少なくなっています。</p> <p>(※往還型研修 研修で学んだことを園に持ち帰り実践し、その保育実践を持ち寄り次の研修を受講する中で新たな課題に気づき、園に持ち寄り実践するというサイクルを繰り返すことで、学びを深めるもの。) 頂いたご意見につきましては、研修や研究の実施など、保育・幼児教育の質の確保・向上事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
612	基本施策3	<p>基本施策3「こども・若者の居場所づくり」 想定事業量のR11利用見込み数がありますが、そもそも全区に設置されていない。活動拠点のない区の居場所はどのようにするのでしょうか。乳幼児期の居場所はかなり整備されてきているが、青少年の居場所について横浜市としては検討していかないのでしょうか。 お金の問題、学力面、感情の問題について課題となってくるのは学齢期から青少年期だと考えます。（実際に今私自身が直面している）乳幼児期は保育園・幼稚園・拠点が整備されているので、学齢期以上の支援が切れ目ない支援となってくるのではないかと（学校だけでは不十分）</p>	参考	<p>こどもたちが安心して気軽に集い、同世代・異世代との交流や様々な体験活動を行うことができる「青少年の地域活動拠点」を充実するとともに、こども・若者が身近な地域に多くの居場所を持てるよう、様々な地域資源と連携した取組を進めていきます。</p>
613	基本施策3	<p><基本施策3> ・保育園への待機児童解消の為、「保育ステーション」の設置。 ・幼稚園入園までの、自宅保育児童と保護者が見て学ぶ機会の充実 ・保育園、幼稚園の園庭開放が、開放だけになっており、見て学ぶ場になるよう、園が対応が出来る為の保育士増員の支援 ・保育士の質の向上や働きやすさの為、賃金の値上げや福利厚生者の充実、セルフキャリアドック等のカウンセリングの実施。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、研修や研究の実施など、保育・幼児教育の質の確保・向上事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。 また、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保や保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
614	基本施策3	<p>基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続 →0歳4月でない確実に保育園に入れない現状を、いつでも保育園に通えるように変えてほしいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
615	基本施策3	<p>概要版P9の基本施策3について、現在の病児保育は数も限られるうえに、通常の保育園に比べて準備物が多く、共働き夫婦が病院受診の上病児保育の予約をとり預けるのはとても負担が大きいです。当日の朝まで預けられるかどうかかわからないのも、仕事の調整が難しい・安心して仕事を続けることが難しいと感じる一因です。病児保育室側で用意・レンタルできるものを増やしたり、そのために予算を増やしていただくようご検討いただけないでしょうか。また、通常の保育園では園で使用済みおむつを処理する所がほとんどかと思いますが、まだおむつ持ち帰りの病児保育室があります。特に感染性胃腸炎などの病児の使用済みおむつを持ったまま、お迎え後にドラッグストアやスーパーに寄ったり、電車やバスに乗ったりしなくてはいけないのは、他の市民としても衛生的に問題があると思います。全ての病児保育室でも園で使用済みおむつを廃棄していただけるよう、必要であれば予算をつけてご対応いただけないでしょうか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、病児保育事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
616	基本施策3	<p>概要版P9の基本施策3について、病児保育園の数と受け入れ人数にも限りがあるため、受け入れられなかった場合民間の病児シッターを検討しますが、そちらも高額であったり、前日や当日では依頼できないことも多く現実的ではありません。子供が元気な時はともかく、病気の時に、病院受診・病児保育室の予約・看病・仕事の調整・病児保育室が取れなかった場合の病児シッターの検討などの対応に疲弊して共働きを継続していくことが困難に感じています。どうか病児・病後児保育の施策手当てをお願いいたします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、病児保育事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
617	基本施策3	そもそも子育て以前に、婚姻数を上げる施策をまずすべきではと思います。保育士の質も低下しているような印象もあります。例えばスタッフ数はいるのに面倒な担任を持ちたくないや、土曜日出勤したくない等ある一部の人間に負担を押し付けているような節も見られるように感じています。御大層な計画を立てて現場を見ていないであろうなという印象しかない横浜市職員の方々は一か月ほど現場に研修なりで出てきた方がいいですよ？現場を見て体験してから計画、提案、実行してください。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
618	基本施策3	P.74基本施策3(1) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続と双方の教育の充実について 文科省が全国の小学校を通じて1年生に入学時に配布している「教科書給与用紙袋」には、『保護者の皆様へ お子様の御入学おめでとうございます。この教科書は、義務教育の児童・生徒に対し、国が無償で配布しているものです。この教科書の無償給与制度は、憲法に掲げる義務教育無償の精神をより広く実現するものとして、次代を担う子供たちに対し、わが国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いを込めて、その負担によって実施されております。一年生として初めて教科書を手にする機会に、この制度に込められた意義と願いをお子様にお伝えになり、教科書を大切に使うようご指導いただければ幸いです。文部科学省』と書かれている。こどものウェルビーイングの土台としての教育という視点に欠けるので、横浜市として今後も各学校で配布するなら、文部科学省に文言の見直しを求めてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
619	基本施策3	P85「保育士の採用、定着に課題を抱える園への支援」に関して、指標として見るべきはアウトカムとして見るべきは実際の定着率ではないか。コンサルタントの派遣件数はKPIというのであれば理解できるが。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
620	基本施策3	基本施策3 について・・・ 「乳幼児期は最重要な時期」はその通りだと思います。保育の質の向上のためにぜひ各園に保育士をふやして子どもたちがあたたかく見守られるようにしてください。保育園のおへやも空気のきれいなところで園庭もあってすぐ外遊びができるような保育園をつくってください。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育施設の質の確保・向上や新規整備事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
621	基本施策3	保育園の待機児童ゼロ、児童1人あたりの保育士人数改善、区単位での裁量拡充	参考	頂いたご意見につきましては、待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
622	基本施策3	保育園に通う条件の緩和、収入による保育料の傾斜を緩く修正する。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
623	基本施策3	保育園のさらなる充実、待機児童が減ることを期待します。第二子以降保育料が減額されますが、第一子が卒園してしまうと減額の対象外になるので、兄弟児が在園していなくても第二子以降の保育料は減額してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
624	基本施策3	<p>基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続</p> <p>1. 主な事業・取組</p> <p>■保育、幼児教育の場の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育料の定め方で、上の子が小学生に上がると下の子が第一子扱いになるのはなぜか。年の差のある子どもはいらぬと言われてるように感じる。区役所で理由を尋ねても「そういうもの」的な回答しか得られない。 ・他地区と比べ保育料含め利用料が高い。東京都の比較をしがちだが自治体間格差について要望のみならず給付と負担のバランスを理解してもらえぬ仕組みが大切。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
625	基本施策3	<p>基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続</p> <p>1. 主な事業・取組</p> <p>■保育所等の利用におけるオンライン申請の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状ではオンライン申請が可能になったからといって申請が簡便になったわけではなく、従来紙で提出していた内容をオンライン上に入力することには変わらない。紙で用意した書類を画像添付する箇所もあり、それならば従来通りの申請でとなる。極力入力箇所を減らすように、マイナンバーカードと連携させて希望施設のみでの入力ができるようにならないか。申請書類や申請条件も膨大かつ複雑で、1歳未満の子を抱えながら全ての資料に目を通すことは難しいと感じる。 	参考	<p>保育所等の利用申請におけるオンライン申請では、申請に必要な項目を保護者様に入力いただく必要がありますが、一部項目は自動入力とする等の入力を簡略化できるよう改善を図っているところです。いただいたご意見につきましては、今後の改善や子育て世帯の時間的なゆとりの創出にむけた検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
626	基本施策3	<p>基本施策3 乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続</p> <p>1. 主な事業・取組</p> <p>■一時預かり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かりニーズが低年齢児を中心に増加しているが、つどいのひろば事業の預かりはひろば事業の付帯事業の為、横浜市の規定により6か月以上の預かりとなる。4月のタイミングで復職していく親が多いが、ニーズがあるにもかかわらず年度の後期に生まれた子は使用できない。規程の見直しが必要です。 ・一時預かり専門の保育所が出来てほしい。保育園だとなかなか予約が取れないのと、直前のキャンセルがある。 ・通院やリフレッシュなどで使える一時預かりなどがもっと気軽に見つかるとうれしい。 ・親のみ病気の時に気軽に子どもを預けられる場所がほしい。 ・保育園に通っている子は土曜に仕事以外での子の預け先が実質ない。(園からは仕事以外では預かれぬと言われる) 幼児も小学生もリフレッシュや私用でいつでも預けられるようにしてほしい。 ・保育園に預けている子どもを急遽引き取らなければいけない時、親族など頼れる人がいない父母に代わって対応してくれる制度、例えば病児病後児にも対応できる枠組みがあると有難い。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、一時預かり事業や、親と子のつどいの広場事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
627	基本施策3	基本施策3 ・こども誰でも通園制度の実施 低年齢のこどもの一時預かりのニーズは年々増加しています。横浜市の乳幼児一時預かり事業は画期的な事業ですが、近年特に低年齢のニーズが増え、全ての希望に応えることができていません。「こども誰でも通園制度」は良い取り組みと考えます。但し、こどもを預けたいと思う時期（年齢）や預けたい頻度は人によって異なります。（今は子育てにいっぱいいっぱい預けたいが、その時期が過ぎれば又育児に向き合うことができる人もいます） そこで、月10時間と限定せず、他の事業とも連携しながらそれぞれの家庭に合った預かりができるよう、より柔軟に対応できる仕組みを望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども誰でも通園制度の本格実施に向け、今後の参考にさせていただきます。
628	基本施策3	基本施策3 こども誰でも通園制度の実施 「幼児期の保育・教育の充実と学齢期への円滑な接続」に重点をあてれば、親子で日常的に通える1区に1か所整備されている地域子育て支援拠点で、こどもがまず慣れ親しんだ場所で少しずつ親子分離を試みながら、こどもの発育発達の成長と親自身の気づき双方を大事にしながら確実に学童期に繋げていける環境として活用してもらいたい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども誰でも通園制度の本格実施に向け、今後の参考にさせていただきます。
629	基本施策3	（困っていること） 文化を違うから、家族と保育園の教育が違います 子供は色々な事を聞いてくれないです （よくなってほしいこと） 子供の日本クラスがあれば良いなあ。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
630	基本施策3	（困っていること） デイケアセンター；娘を通わせる保育園を探すのがまずとても大変だった、保育園を探すのが難しく、さらに私は働いていなかったから。保育園に子供を通わせるには、両親が働いていることが条件となっているのは、一人で子供を育てる母親にとって精神的につらいものであった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。保育所に預けるルールについては、乳幼児期の保育・教育の充実についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
631	基本施策3	（よくなってほしいこと） デイケアの待機リストをなくす；デイケア・幼稚園施設を拡大し、待機児童の問題に取り組むべき。	参考	待機児童や保育の必要性が高い保留児童の解消に向けて、保育・教育の場の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
632	基本施策3	（よくなってほしいこと） 両親就労ルール；保育所に預けるには両親が働いていなければならないというルールを改善し、子育て中の母親をサポートしてほしい。一人で子育てしている親が抱えるメンタルヘルスも同時にケアしてほしい。	参考	保育所に預けるルールについては、乳幼児期の保育・教育の充実についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
633	基本施策3	（よくなってほしいこと） 親支援システム：週末や祝日に一時保育サービスを促進し、親に休息やリフレッシュの機会を提供すること。	参考	頂いたご意見につきましては、一時預かり事業を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
634	基本施策4	瀬谷のログハウスについて 初秋でも蚊が多く安らいで過ごすことができないので改善を希望します	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
635	基本施策4	子ども子育て支援というと、未就学児向けのもが多く見受けられるが、ここ10年位の間に、未就学児向けの施策はかなり充実してきていると感じる。翻って、就学以降の子どもに対する支援策が手薄に感じる。子育てとは、子供が成人もしくは学校を卒業して社会に出るまで続くものであり、就学以降特に中学校以降はかなり出費も増えていくが、ここ最近の物価高でどの家庭も家計への負担が増えていると思う。再来年度からようやく中学校の給食が実施されるが、都内では40年以上前から公立中学校で給食実施が行われており、遅きに失した感はある。制服代も払えない家庭もあると聞き、制服の在り方なども見直す時期なのではないか（市販品を着用するなど）。また、夏休みなどの長期休みや、普段の放課後など、子供達が遊べる場が少ないと感じる。もちろん公園もあるが、ここ最近の猛暑でほとんども外で遊ばせられない。屋内の遊び場はほとんどが未就学児向けのもので、就学以降の子供達が屋内で遊べる場所を作る必要があると思う。地域のコミュニティセンターなどはさながら高齢者施設になっており、子供達が遊べる雰囲気ではない。もっと気軽に使用できる場所があるとよい。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育てが家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、また、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
636	基本施策4	子どもたちが安心して過ごせるはずの場所として、他のエリアでは児童館など整備しているところもあるかと思います。地区センターやケアプラザを活用した子ども居場所づくり（メニューや人員配置含め）も検討していただくと、健全な心身の育成や、非行や貧困を早期発見に資すると感じています。記載された意見の中でも子供の居場所のニーズは高いと思いますので、検討していただくと幸いです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
637	基本施策4	小中学校給食の無償化を実現して欲しい。物価高でかなり教育に関わる費用負担が重い	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
638	基本施策4	子供の遊び場であるモッキーみたいな施設も増やして欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
639	基本施策4	ぜひ公立中学でのイベントや校内を見学できる機会を設けていただきたいです！ 第一子が小学3年生の母親です。中学受験を視野に文化祭等のタイミングで色々な学校を見ているのですが、地域の子どもたちが多く通う公立中学では一般公開のイベント等はなく、どんな場所なのかを知る術がほとんどないように感じているためです。ご検討のほどよろしくお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
640	基本施策4	基本項目4小学校のキッズの先生方が怖くて評判です。地域からの需要はあるのに登録者数が圧倒的に少ない小学校のキッズは、子供達から見てもそれなりの理由があると思いますので改善してもらえたらいいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
641	基本施策4	子育ては乳幼児期が終われば終わりではなく、むしろ年齢が上がるほどお金がかかる現実に直面しています。横浜市はやっと市立中学校が全員給食になるとのことで安心しました。ただ、周りの市は市立小中学校給食が無償化されている。横浜市はなぜできないのでしょうか？人口が多い分税金もありますよね。使うところ、見直してほしいです。給食費無償化他、市内で学用品に使えるクーポンでもいいです、市立中学校制服代援助でもいいです。所得制限なく市には中学校までは手厚い援助をしてほしいものです。(全体的に物価が上がり所得も上がっているにも関わらず、就学援助の所得制限ラインが低すぎるので)	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
642	基本施策4	小学生の放課後の居場所の充実を希望します。近隣に小学生以上が集まれる屋内の居場所がありません。外遊びが好きな子供達は公園へ行けばよいのですが、インドア派の子供達は友達の家を集まって遊んでいるようです。公共の小学生以上が集まれる場所を増やしてもらうことはできませんでしょうか(例えば、町内会館の一時的な開放や、空き家を使ったサロンなど)	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、町内会館の一時的な開放については、自治会町内会館の管理については、自治会町内会が行っておりますので、ご希望の自治会町内会にご相談ください。
643	基本施策4	小学生がのびのびと遊べる施設の充実を、自治体として考えていただきたいです。わが町には地区センターはあるものの、プレイルームは未就学児までに限定されており、体育館やゲームの貸出はあるものの、子ども中心の遊び場とは程遠く、大人に気を遣いながら過ごしています。児童館の建設が理想ですが、せめて1フロア全てを子ども専用できると、遊び方の幅も広がり楽しめる場になると思います。未来を担う子どものために、宜しくお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
644	基本施策4	施策がズレてる。みんなとにかくお金がない。大学も私立高校も平均年収に対して学費が高すぎます。親ガチャという言葉が子どもたちで流行るくらい。とにかく学費を無償化して下さい。年収の制限撤廃して下さい。隣の東京都の子どもは横浜市の高校に学費無料で通っている現実があります。おかしいですよ。もっと税金を還元して下さい。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
645	基本施策4	プレイパークやログハウスなど、子育てをみんなでする場が横浜市にはたくさんあると思ったが、坂が多いため少し離れていると子どもたちだけで行くことが困難なことが残念です。子連れで通える、小学生になったら自分たちでいける憩いの場が、最寄りにあるといいと思います。学校の下校時間が早まり、家庭の負担が増える。キッズは有り難い取り組みだが、早い時間にはたくさん子どもたちがいて忙しいので、預けにくく悩ましいです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
646	基本施策4	基本施策4 主な事業取り組みについて、小中学校給食のオーガニック推進、メニュー改革(小麦、牛乳の使用を減らし和食中心へ)	参考	頂いたご意見につきましては、学校給食の充実を進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。
647	基本施策4	基本施策4 主な事業取り組みについて、小学校体育館の空調設備設置	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
648	基本施策4	基本施策4 主な事業取り組みについて、高校授業料無償化(都内同等以上の対応)を追加してください。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
649	基本施策 4	こども食堂を各学区に1つ作り、貧困にある子どもに十分な食事を与えて欲しい。またそこが子ども達の安心する場であってほしい。食堂があっても行きづらい、と行かない子どもも多いので行きやすい環境や条件が課題。	参考	頂いたご意見につきましては、こども食堂等支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
650	基本施策 4	各地域にもっと小さくても良いから公園、空き地を増やして欲しい。子ども達が放課後外にとても少ない。子どもらしく遊べる場所を増やして欲しい。	参考	いただいたご意見は、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実に向けて取り組む上で参考にしたいと思います。
651	基本施策 4	小学生に関する教育サポートについて 個別級などでサポートされない境界層の児童へのサポートを強化する仕組みが必要であると感じる。昨今の闇バイト問題に見られる様に、認知力の低い子どもが適切なサポートを受けないまま、社会に出るまでの間に非行に繋がる人間関係に陥るケースは非常に多い。コグトレーニング等を小学校授業にも取り入れて底上げのサポートを全体で行うべきだと思う。コグトレーニングを受けた子どもの認知力向上に一定程度の効果が見られることはすでに確認されているので、取り入れてみる価値はあると思う。当該の子ども達だけでなく、そういったサポートの必要な人が一定数いるという事を子ども同士でも知った上で適材適所に役割分担することは、いじめ行為を減らすことにも繋がるはずである。いじめ行為の多くは集団の中での居場所の有る無しに起因することは明白である。現状では教師単位、学校単位で部分的にサポートされているところもあると思うが、行政が率先して取り入れるべきだと思う。そもそも、全体の学力向上にも認知力の強化は不可欠であり、認知力の高い児童への指導は教師の負担も減らすことにも繋がるはずである。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策やこども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
652	基本施策 4	共働き夫婦が多いので、働きながら子育てできる環境を整えて頂きたいです。PTAのありかたや、授業参観など、平日の昼間のみを設定だと、保護者が会社を休むか、見に行けないなどの調整が難しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
653	基本施策 4	公立学校で、質の高い教育を受けられるために、教諭の働き方改革を進めて頂きたいです。質の高い教諭に続けて頂く改革が必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
654	基本施策 4	中学では、給食を進めていると思いますが、公立高校でも給食の提供をして頂きたいです。栄養のある食事は、共働き子育て夫婦の悩ましい課題となっています。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
655	基本施策 4	コロナ以降、保護者が学校に行く事が激減しました。地域の保護者の顔は上の子の同級生や同じ園の方以外、同級生の保護者かどうかわかりません。学校の教員も担任と学年主任くらいしかわかりません。共働きが増えて、行事に参加しにくいのはわかりますが、まずは子供が生活する場所での以前のように繋がりが持てる事が必要な気がします。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
656	基本施策 4	成績表の廃止をする事で、評価という概念がなくなり 一人一人の個性がもっと輝くと思う	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
657	基本施策 4	学童保育の支援を充実させてほしいです。子供が通っている学童は、指導員の数も少なく経営も厳しい状況です。学童は安心して預けることができますが、キッズに比べて料金も高いので経済的に厳しいです。横浜市からの支援を充実させてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
658	基本施策4	4について 就学支援や給食補助ありがたいですが、先に自分で資金を用意して全て支払わないといけないのがとても大変です。それが難しいので就学支援等頂いている状態なのに、入学金や、修学旅行等が5月にあった場合も翌年の3月にまとめて支払われのでは生活がきつい状態です。先に支払いをして頂きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的に困難を抱える世帯への就学支援等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
659	基本施策4	小中学校をはじめ教員の皆さんの労働環境・ワークライフバランスを改善すると共に、教員一人が受け持つ子どもの数を少なくして、よりきめ細かな指導が行き届くようにする事で、近隣の市町村と比べて「横浜の学校は良い」「子どもを横浜で育てたい」という評判を高めていく事が必要では無いでしょうか？	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
660	基本施策4	子供達がボール遊びが出来る場所を確保してほしい。 バスケットボール、緑、緑って言うのならのびのび遊べる所を作って欲しいです。 野毛のオリンピック公園にある様な所を 子供達が行ける場所で作って欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、バスケットボールができる場所等の居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
661	基本施策4	乳幼児への支援ばかりで本当にお金がかかるのは中高生以降。そこへの支援が蔑ろにされている。乳幼児を支援すれば出生率が上がると思ってるのだろうか、これから出産を考える人達は目先の利益ばかり追うほど馬鹿ではない。誰もが怖いのが中高大にかかる費用だ。そこへの支援を所得制限なしで取り組まない限り、出生率は増えないだろう。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
662	基本施策4	基本施策4について、目標方向性に小学生のより豊かな放課後等の居場所づくりとあるが、それに対しての指標は何なのか、もし、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブを利用する児童へのアンケートのうち、「クラブは楽しいですか」の項目で「楽しい」「どちらかという楽しい」と回答した児童の割合がそうなのであれば、指標として誤っていると思います。また、キッズクラブ、児童クラブは、友達やおもちゃがあり楽しい、どちらかという楽しいは、普通では？とおもいます。指標にするのであれば、豊かな放課後等の居場所作りが何なのかを示し指標にするべきではないでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
663	基本施策4	学校行事等、コロナ前の形式に戻してほしい。綱引き、玉入れ、騎馬戦、今しかできないことをやらせてあげたい。ダンスをやらせたいならダンス発表会を別でやれば良い。給食当番以外の帽子を自由化してほしい。遠足について、保育園と小学校で同じ場所(近場の公園)へ行くのはやめてほしい。新しい経験をさせてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
664	基本施策4	子供が放課後時間帯に、安全に安心して遊びに行かせてあげられる場所が少ない。公園はトラブルが起きた時すぐに対応できないこともあるし、最近では不審者や交通事故の不安も露呈しているため、心配。放課後キッズクラブは頻繁に利用していて、子供は概ね満足して通ってますが、人数が多く、先生の負担が大きく感じる。この状況でキッズクラブに質の高いプログラムが提供できていたとは感じにくい。せっかくたくさん児童が集まっている場所なのであればもっと曜日ごとの習い事感覚なプログラムを取り入れるべき。自由に遊ぶ時間も大切だけど、それだけではもったいない気がする。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実や、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
665	基本施策4	自分や人が尊い存在であることを本人たちが認識できるような教育の機会をつくってくださることを望みます。爪が伸びていないかといった身だしなみから、自分が自分を大事にできるようになるということ、海外で行われているような、人形の赤ちゃんのお世話を通じてお世話は大変だけど可愛いと思えるような体験の機会、苦手だったり本人にとって不本意なことがあれば人前でなく、個別で指導いただけること、命は自分だけのものではなく、一人一人かえがえのない存在であるということ、頼っていい存在は世の中にたくさんあるということ、強盗など恐ろしい事件が増えている中、未来のある子どもたちが自分も他人も大切に、すこやかに成長してくれることを望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
666	基本施策4	小学生の遊び場を増やしてほしいです。児童館がある市が多いですが、横浜市にはありません。ログハウスも区内に一カ所なので徒歩圏内ないと子供達だけでは行けません。スポーツプラザやコミュニティハウスは開放しているわけではないので、子供達だけで行って遊ぶことはできません。公園の遊具も少ないと思います。東京都ではほぼ見なかった、夏にはカンカンに熱くなるステンレスの滑り台が現役です。小学生が遊べる場所を増やしてほしいです。キッズクラブでは不十分に感じます。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
667	基本施策4	公園を子供が遊びやすいように見直してほしいです。 ・遊具自体が少なく、古い遊具が多いように思います。ステンレス製の遊具は夏は熱くて火傷しそうなほどです。小さい子でも遊べるような低い滑り台を増やしてほしいです。砂場の周りに柵がありますが、特に出入口などはないので犬や猫が入れてトイレになっている場合があります。 ・ボール遊びをできる場所とできない場所を分けてほしいです。譲り合って利用するとアナウンスするだけでは限界があり、中学生と幼児がぶつかって幼児が頭を怪我をし救急車を呼んでいるのを見たことがあります。また、犬の散歩、自転車の乗り入れ禁止の公園も作ってほしいです。 ・カラスが巣を作ったら貼り紙だけではなくて駆除等を検討してほしいです。襲われそうになりました。 ・トイレのある公園を増やしてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、カラスについて被害がある場合は対処も可能となっていますので、お問い合わせください。なお、公園内への自転車をはじめ車両の乗り入れは基本的に禁止しています。
668	基本施策4	塾ありきではなく、公教育で子どもに必要な、十分な学力がつく教育をして欲しい。塾に行かなきゃ、高校、大学に進学できない、公立中学の進路指導で塾に聞いてくださいというような教育体制では、教育格差を生み、安心して公立中学への進学でよいと思えない。公教育の立て直しをお願い致します。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
669	基本施策4	学校に関しては教職員の数が圧倒的に不足していることからもっと地域の力を借りていいと思う。先生や保護者がやりきれない部分を、地域の時間と経験に余裕のある高齢の方などを積極的に活用していく施策があってもいいのではないかな。子供のためだけでなく、高齢者や地域住民の生きがいにも繋がっていくので基本計画の中で他部門との連携などに言及してみたいかでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
670	基本施策4	学齢期の子ども支援について、緊急でお願いしたいのが「横浜市内小中学校の全校の体育館にエアコンを設置」です。真夏の体育授業や部活動の様子を、市の職員の方に見に来てほしいです。快適な市役所からは想像できないほど過酷な暑さの中、子どもたちは育つために必要な義務教育を受けています。子どもが体調不良になれば、就労中の保護者が呼び出されます。それにより欠席となれば、共働きしながら子どもを診ることの困難さが増します。体育館だけでなく、古いエアコンがついた教室も、設定温度18度にしても室温30度の状態で授業を受けています。夏季休暇中に業者点検がありますが、児童生徒のいない教室のエアコンチェックでは、エアコンのパワー不足は再現できず、調査になっていません。学校や教員からも毎年声が上がっていると思いますが、無視せずに、ここへ予算を投じてください。教員の働き方改革と子ども支援の両面から、緊急に対応をお願いしたいです。真夏に学校現場へ一日見学にきてください。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
671	基本施策4	横浜市の学力調査で測定しようとする学力が、公立学校のドリルやテストから読み取れず、必要な学力がついていないと危惧しています。例えば、学校のテストでは100点だが、横浜市学力調査では平均点であるなど。学習指導要領から求められる学力を、学力調査で測っていると思いますが、学校で採用している教材が合っていないように感じます。市立小中学校の教材を見直していただけないでしょうか。各教科のカラーテストが適切かや、デジタルドリルの質の見直しなどです。教員の方の教える力は素晴らしいので、教材側だと思います。これが残念なために塾に行くのは、子どものゆとりも失い、教育費のために保護者が労働し疲労し子どもに向き合えなくなる可能性があります。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
672	基本施策4	小1の壁とありますが、私の知り合いに学童やキッズに入れなかった人がいません。どのエリアが特に混んでいるとか把握されているのでしょうか、画一的に施策を講じるというより、重点的にするのがいいのでは。また、キッズの職員さん、学校によりレベルがかなりバラバラで、正直、不適合者だな、と思われる方の話も聞きます。もう少し質の向上を目標にしてはどうでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
673	基本施策4	小学校の早朝預かり事業を全ての学校で実施してください。登校班の出発時間が遅く、共働き世帯は始業時間に間に合いません。	参考	頂いたご意見につきましては、小学生の朝の居場所づくり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
674	基本施策4	子どもが学童に通っています。放課後キッズが充実してきたためか、学童に通う子どもが減っており、存続が危うい状況です。放課後キッズの充実は小1の壁対策には有効だと思いますが、やがて小4の壁にあたり、子どもの預け先として塾に、という家庭が増えているように思います。今の横浜市の施策は学童をなくそうとしているようにしか感じられません。学童がなくなることで困る家庭もあると思います。スポット的なものではなく子どもの育ちを考えた施策展開を期待します。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
675	基本施策4	わくわくプランを実行するためにも小中学校の体育館への冷房設置を現在の計画よりもスピードあげていただきたい。夏休みの部活で子供達は倒れそうになってます。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
676	基本施策4	幼少期や学童期に比べて青少年期(高校生時代)の支援が少なく感じます。就学や生活のための金銭的負担や思春期の子どもを支える精神的負担、職場での地位向上による時間的負担などは、子どもの年齢が上がるに連れて大きくなります。具体的には私学支援の東京都との格差(所得制限)、高校生の昼食提供(学校への補助など)、将来の職業として進学以外の選択肢につながる授業や課外活動(技能職の進路に関する情報提供)の検討を進めていただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
677	基本施策4	公立小学校の給食についてです、この物価高で各学校の栄養士さんは苦慮して献立を考えてくれていると思いますが、餃子が1人二つまでのおかずなど量が足りないことが多いと考えてます。学校から帰ってくると子どもたちは必ずお腹が減った！と言います。補助を出したり、なにか行政としての改善をしていただけたらと思いいこのコメントを提出させていただきます。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
678	基本施策4	学齢期における子どもの放課後の居場所で仕事をしています。子ども達は、朝早くから、夜遅くまで、家の外に居場所があり、大変疲弊しています。また、子どもの放課後の居場所であるキッズクラブにおいても、慢性的な人手不足、役所の決めた枠組みの中での活動に疲弊しています。休日は日、祝と年末年始のみ。学校休業日は、朝から、夜まで子どもを預かり、今年はお弁当の提供もありました。親の負担を減らすことも必要ですが、そこまでして働かなくてはいけない親御さん達の経済的な支えも必要なのではないでしょうか。早朝の子どもの預かり事業も試験的に始まっていますが、これ以上、子どもに負担をかけること、また、預かり側の負担を増やすことには賛成できません。何か別の対策を望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
679	基本施策4	全体的に、小学生から高校生までのこどもに対する施策の量と具体性が足りないのではないかと思います。就学前は厚労省や総務省の管轄部分が大きく具体化しやすいのだろうと推測しますが、文科省が関わる年齢のこどもたちをどう包括的にケアしていくのかが見えません。小学校までは地域との関わりも大きく、地域地域で独自にケアしていく方法を持っている場合もあると思うのですが、中学以降は、中学受験率の上昇や高校の学区撤廃などで、こどもたちの行動半径が数十年前とは比べ物にならないほど広く、地域がうまく機能しない例が増えているのではないのでしょうか。隣接する自治体との連携など広域をカバーする施策とともに、地域に家庭以外の「中高生の帰る居場所」が必要だと思えます。横浜市はスポーツセンターや図書館が充実しているので、そうした施設にティーンズ向けの施設を併設するなど、具体的な施策を希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、また、市民利用施設を運営する上で、今後の参考にさせていただきます。
680	基本施策4	要望1 基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進について 指標に「放課後児童クラブを前年度から現状の2倍の数に増やす」など具体的な数値を入れてください。小一の壁では保育園のように長時間子供を預けられる場所がなくなり、退職せざるをえない家庭が存在します。そのため放課後児童クラブを早急に増やす必要があります。指標ではその点に記載がなかったため言及いたしました。具体的な数値目標を設定することで、それが達成できたのかどうか誰が見てもわかりやすい指標になると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
681	基本施策4	グローバルに学ぶのも大切だとは思いますが、もっと地元の歴史や良さについて学ぶ時間がほしいです。いつもお疲れ様です！	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
682	基本施策4	基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進について ・子どもが通っている小学校で1年生の後期より宿題が廃止となりました。自主的に家庭学習をすることが目的のようですが、低学年の学習習慣の無い児童にとっては、自主的に家庭学習をするのは、とても難しいことです。学習量が減っていることが気になります。 ・周囲の保護者に聞くと、子どもと家庭学習のことで言い合いになるのが負担で、塾に通わせるようにしたという話を聞きます。宿題が無くなったことで、塾通いになってしまう現実。放課後、習い事ばかりで自由に遊ぶ機会も減ってしまうのは残念でなりません。また、誰もが塾に通える家庭環境ではありません。家庭学習ができない子どもたちへのフォローも必要だと感じます。学校で持ち帰り自由の学習プリントを用意するなど、誰もが平等に家庭学習できるような配慮が必要だと思います。小学校によって、学習格差ができてしまうのは、残念なことです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
683	基本施策4	公立小学校のキッズクラブに、女の子学習できる有料教室を追加したいです。例えば、ピアノ教室、体操教室、テニス教室、絵描く教室。今キッズクラブで毎日遊ぶだけできる、特に夏休み長い。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
684	基本施策4	概要版10ページ 基本施策4について 児童クラブを利用する子供へのアンケートで、楽しいと感じる割合を指標にしている。しかし、つまらないから、居心地が悪いから、家で留守番していたほうがマシと、児童クラブに行くのをやめた子供達のニーズは捉えていないのではないかと。児童クラブは学校の敷地を利用しており、教室からの移動も安心、安全ではあるが、放課後まで学校の中で過ごす息苦しさはあると思う。夏休みだけでも、ある程度の広さがある空調が効いた部屋（町内会館など）を子供に開放すれば、友達とおしゃべりしたり、持ち寄ったゲームをしたり、小物を作ったり、本を読んだり、子供にとって心地のよい居場所を創出できると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
685	基本施策4	学童クラブや子育て広場などのサポート施設を民間でつくろうとする時、騒音問題や、発達障害児童のサポート（本来は個室があるとやりやすい）などの観点からは、古民家の活用ができると有益だし、全国的に事例も多い。しかし横浜市の場合、市の助成事業には耐震基準のクリアが要求されるため、補強工事の費用がネックとなり、古民家の活用は難しいのが現状である。用途により耐震基準を緩和するか、あるいは耐震補強工事に助成金（できれば全額）が出せないものであろうか。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、また、地域での空家活用を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
686	基本施策4	横浜市でも、コミュニティソーシャルワーカーの導入を検討出来ないものであろうか。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、また、社会福祉職等の育成を進める上で、今後の参考とさせていただきます。
687	基本施策4	こども食堂の助成金についての意見です。現在横浜市でもこども食堂に対する助成金制度がありますが、東京都のように、さらに充実した内容に見直していただきたいことと、貧困家庭の子ども（親も含む）へのお弁当配布も助成の対象にしてほしいと思います。もっと日常的な支援方法への転換を図る必要があると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども食堂等支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
688	基本施策4	就学すると一転して一気に手薄に感じたので、外注できるものは信頼できる外注先へ依頼して教員の負担をどんどん軽減し、児童と向き合う時間を増やしてほしい。あまりにも様々なことに追われすぎているのか、まだ1年生なのにあまりにも高圧的に指導されたりするので信用に値しない教員も存在していて心配です。もっとシステムチックにできるところは活用すべき。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
689	基本施策4	<p>基本施策4 学齢期から青年期までの子ども若者の育成施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生が学校以外で集まり、勉強したり団らんしたりする場所が不足していると考えます。図書館などもありますが、朝から並ばないと使えない状態であったり、自習室を使いたいから、塾に通ったりする生徒もおおぜいいます。金銭的に負担ができない生徒との差が生まれ、貧困の連鎖にもつながります。中高生が勉強をしたり、おしゃべりをする、安全な場所が必要だと思えます。そのような場所の創出と、運営する団体の支援をお願いしたい。 ・学習支援や、自習室の確保によって、貧困の連鎖をなくすことにもつながるのではないかと思います。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
690	基本施策4	<p>中学生の給食の充実を望みます。小学校は自校炊飯で、出来立ての美味しい給食が提供できている。しかし中学校は、デリバリー方式。 中学校も暖かい、冷たいなど、メリハリのついた美味しい給食を全員に提供してほしい。共働き、ひとり親が増えており、家庭の事情で食生活が左右されるのは育ち盛りの子供の成長にマイナスだと思う。横浜市という、交通の便がよくて、観光地で、華やかなイメージだが、子育てには優しくない市だと、子育て中から今も感じている。子育てに優しい横浜市を願う。アンケート結果でも出ていると思う。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
691	基本施策4	<p>基本施策4学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進 について 社会全体でこども・若者の支援をしていくこと、居場所をつくっていくことに対し行政が主導できるのは素晴らしいと思います。①「こども・若者の視点を尊重して意見が反映される」環境づくりについて、意見を聞くだけでなく速やかに実行するという方針も盛り込んで欲しいです。絵空事ではなく、大人と一緒にやる姿勢をみせればその後のこどもたちの社会への姿勢がかわっていくと思います。②指標 キッズクラブについて 保護者に仕方なく行かされている児童もいると思うので、95%の指標は高すぎるように思いました。現状維持でよいかと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・若者の意見を反映した事業の実施や、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
692	基本施策4	<p>市内の中学校に通っている中学一年生です。私は毎日、「横浜型配達弁当 ハマ弁」を食べています。ごはんとスープは温かいのですが、おかずが冷たいと思っています。特に、魚や肉の料理は温かいほうが食べやすく、おいしいです。できたら、おかずも温めてほしいです。いつもおいしいハマ弁をありがとうございます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
693	基本施策4	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が公園で遊ぶと「公園は子どもだけの場所じゃない」と注意する大人が多い。遊ぶ優先ゾーン、くつろぎゾーンの区分けなど、トラブルを避けるような取り組みを検討してほしい。つまらない遊具が多く、もっと知恵を絞ってほしい。 ・まずは居場所を作ることに異存はないが、「居場所」だけで満足してはいけないはず。十分な人員を割けば、学習や様々な体験ができる可能性があるところであり、もっと工夫できるはず。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
694	基本施策4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の給食の牛乳をなくしてほしい。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
695	基本施策4	10ページ、基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進 小学生を子育て中の身として、日々不安を感じています。地方都市と比較して、老若男女多くいる地域にもかかわらず、様々な年齢の方と接触する機会と場所が少ないと強く感じています。公園はありますが、規模は小さく、幼児期ならそれでも満足できる場所ですが、小学生以上の若者たちが体を思い切り使って遊ぶには狭く、大人も人目を気にせず読書や談話をするには向いてないです。また、図書館などの自由に学習をする場所も、人口に対して明らかに少ないのではないのでしょうか。調べ物や若者同士の共同作業、意見交換、刺激のし合える機会が自然と生まれる場所であり、若者だけでなく、様々な世代の居場所となる貴重な公共な場です。なにか特別な講座やイベントが必要なのではなく、子供が自学したい、行きたい時、自分の足で行ける距離の場所に（近さと手軽さが重要）あれば、若者の居場所の充実になると思います。放課後の「居場所」として目標設定するのではなく、キッズのように具体的に「自学スペース」「図書館」等具体的策を主な取り組みに記載して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
696	基本施策4	子どもの遊び場と預かり施設の拡充→子どもの遊び場と預かり施設が少ないため、子どもが10歳くらいまでは親か祖母が常に付き添う事になり、子持ちの行動の幅が狭まりストレスが生じやすい	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
697	基本施策4	基本施策4 この時期の心の成長は生きていく上で大事な過程だと思います。「家族団欒で食事」「家族団欒でテレビを見る」など家族で過ごす時間が、ものすごく少ないと思います。この時期に「家族っていいな」と思ってもらえると心も安定し、将来大人になった時に家族を大切にしたいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
698	基本施策4	子供がとにかく安心して学校に通えるようにして欲しい。定年後の教員などを再雇用し大人の目を増やして欲しい。乱暴な子供だったり、いじめをする子供が教室からいなくなればいい。親子でしっかり講習を受けるべき。いじめられている子供が居場所を失うのはおかしいと思う。大人が毅然とした態度で対応して欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
699	基本施策4	テーマ4. 小学校給食の質について。写真で拝見しましたが、美味しそう！と思えるようなものではありませんでした。彩り悪く、貧相なものに思えました。食育の観点からも、小中給食の充実をお願いしたいです。良くするために給食費を上げるという安易なことではなく、県内市内の農産物活性化、食品メーカーとの連携など互いにwin-winとなる仕組みなど、子どもたちが給食の良さと地産地消の考え方を実感、実行してゆけるような仕組みを検討して欲しいです	参考	頂いたご意見につきましては、学校給食の充実を進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。
700	基本施策4	テーマ4. 先生の働き方改革により小学校の運動会が縮小、夏休みの宿題が減るなどが見られますが、子どもたちにとって本当に良いことでしょうか。先生不足の状況を変えていかないと、その皺寄せが子どもたちに、その子どもが大人になった時に先生になりたいと思うようにすべきだと思います。子どものサポートではなく先生をサポートする仕組み、先生の給料UPなど、先生にゆとりが必要であり、その結果子どもたちとの関わりも細やかとなり子どもの成長に大きく寄与するのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
701	基本施策4	基本施策4：市が積極的に取り組んでいる「物理的な場を整える」ということがまず大前提なのは分かりますが、それだけでは子どもの「育成」に不十分と感じます。子どもが深く自己や社会を見つめる場として、充実した図書施設を各区に整備して欲しいです。現状、地域活動センターなどの小規模かつ趣味の範囲の図書コーナーは各所にあります。青年期を通して成長を促すには不足だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
702	基本施策4	基本施策4 中学校給食事業について デリバリー方式に反対し、小学校のような給食を希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、より満足される中学校給食の実現に取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。
703	基本施策4	学齢期のこどもは学校で過ごす時間がとても長く、学校で過ごす時間に起こっている問題も多いのに、基本施策4で学校でのこどものことがほとんど記載されていないのは不自然だと思いました。私は学校で過ごすこどものウェルビーイングを考えることがとても大切だと思います。私が横浜市立中学校在学中、学校の複数の先生からこどもの人権やウェルビーイングなどを全く考えていないような発言や対応をたくさんされました。中学校で起きている問題は子ども同士だけではなく、大人である先生が原因となっているケースもたくさんあります。学校の先生には高い人権感覚を持って生徒と接していただきたいです。私は中学校を卒業した現在もまだ先生にされた事を思い出して解決もせず苦しいです。たぶん一生忘れることはできません。何年間も苦しんでいるこどもがここにあります。中学校で毎年渡されるたくさんの相談窓口も、責任を持って解決まで導いてくれるところは一つありませんでした。横浜市の大人が本当にこどもの幸せを願ってくれるのであればぜひ、形だけではなく、こどもが安心して相談でき最後まで責任を持って解決に導いてくれる窓口を作ってください。	参考	頂いたご意見につきましては、重点テーマ「全てのこどものウェルビーイングを支える」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
704	基本施策4	基本施策4について 多様な体験ができることが重要とありますが、その通りだと思います。本当は支援されない中で、子どもたちが自分たち同士で自由に関わり合えるような環境を作ることが一番いいと思います。 ・安全安心な公園→これでは、自分たちで考えて遊ぶ機会を奪っています。ボール遊びができたり、木登りができるような公園も作ってほしいです。 ・学校での芸術鑑賞体験→ 闇バイトなど事件が増えています。子どもたちの共感・想像力を育てる文化芸術にみんなで触れる体験がとても大事だと考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
705	基本施策4	私は●●に住んでいて、現在3歳の子どもを育てています。●●には、公園がほとんどなくて、いつも子どもを遊ばせる場所がなくて困っています。小さい公園はいくつかありますが、公園横が交通量の多い大きめの道路だったり、思い切りボール遊びなどが出来る広さがなかったりするので、活動的になってきた3歳を思いっきり遊ばせるには、バスで●●の方までわざわざ行かなくてはなりません。わくわくプランの89ページに「身近な遊び場である公園等の環境整備を進める」とありますが、ぜひ、●●地域に公園を作ってほしいです。何卒よろしくお願い致します。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
706	基本施策4	小学生の遊び場を増やしてほしいです。特にボール遊びができるとありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
707	基本施策4	<基本施策4> ・「小1の壁」の打破の為、就労保護者対象での小学校での預かり事業の実施(7時半～) ・就学前児童のみが、利用可能施設の、小学校低学年までの利用拡大。	参考	頂いたご意見につきましては、小学生の朝の居場所づくり事業や、居場所・遊び場の充実を進める上で、を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
708	基本施策4	先日、学校給食の試食会に参加してきました。高学年用の量を食べましたが、育ち盛りの子どもたちには、ハッキリ言って量も、特に内容が質素な給食でした。これでご飯進まないよなあって感じました。議員の方がネットに投稿していましたが、まさにそのレベルです。現場で働く調理員さん、栄養士さんの責任ではないです。横浜市としてもっと、子ども支援をする気があるならもっと現状を知ってください。お隣、川崎市の給食はもっと美味しそうです。給食費少し高くなってもいいので1日の中での楽しみをもっと充実させてください。	参考	頂いたご意見につきましては、学校給食の充実を進めていく上で、今後の参考にさせていただきます。
709	基本施策4	概要版P10の基本施策4について、こどもログハウスのリノベーションが挙げられていてとても嬉しく思います。特に雨の日にこのような施設内で体をしっかり動かして遊べる施設が無いため、お天気の悪い日や外が暑い・寒い時期に重宝しております。ただ、最寄りのログハウスは駐車場が無いため、駐車場のある周辺施設に車を停めさせていただき、そちらと合わせてしか利用できないのが実情です。どうかリノベーションと合わせて、正式に駐車場整備、あるいは提携駐車場の整備もご検討いただけないでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
710	基本施策4	概要版P10の基本施策4について、こどもそれぞれのレベルに応じた教育やケアができるようICTを活用するといった項目や指標は設定されないのでしょうか？特に学校の授業についていけない子や、逆に学校の授業では物足りない子、言語の壁がある子のケアにもなるのではと思います。ICTをうまく活用していけることで先生の負担が減り、待遇改善にも繋がればと思います。ぜひ現市長の強みを生かして、横浜の公立学校でのICT活用教育を推進し、全国的なモデル事例となっていきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
711	基本施策4	子どもたちの放課後の過ごし方について、小学生はキッズクラブや民間学童があるため、まだ選択肢はあるが、中高生の子どもの居場所があまりないと感じる。思春期を迎え、家以外の場所で過ごせること、家族以外の大人と交流できることは本人にとっても救いになる場面も多いのではないかと。中高生の居場所、ハコモノを作るだけでなく、キッズクラブや民間学童にいるときから、交流をして、なじみの場所にしていく必要はあると思う。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
712	基本施策4	自分の意見としてはもっと教育に自由が欲しい。オルタナティブ教育に力を入れるべき	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
713	基本施策4	放課後デイサービスの利用料が高すぎる。区分が0円、4600円、37200円と3段階に分かれているが、4600円と37200円の開きが大きすぎる。本当は子供にもっとデイサービスを利用して、世界を広げたり様々な経験をさせてあげたいが、利用料が上がるだけののでできない。福岡市ではデイサービス利用料金は所得制限なく一律だそう。横浜市もそのようになって欲しい！	参考	頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
714	基本施策4	<p>出産時から未就学児にかけてのサポートは、「横浜わくわくプラン」に盛り込まれているだけでなく、ここ数年で大幅に充実していると実感しています。ありがとうございます。しかし、小学生から中高生を対象としたサポートももう少しあればと感じます。例えば、教員の不足や子どもの学力低下、中学校では学校ごとに内申の付け方に差があることや、公立中学校の学習だけでは志望校に進学するのが難しいために塾通いが必須という話も聞きます。経済的に厳しい家庭にとっては大きな負担であり、公教育の充実が求められます。子どもたちが公平に学びの機会を得られるよう、中高生へ学業面でのサポートも強化をお願いしたいです。管轄が異なるのかもしれませんが、子どもたちが公平に主役として支えられる社会を目指し、声を聞いていただけたらとお便りしました。よろしくお願いします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
715	基本施策4	<p>(タブレットの使用について)小学3年生の娘がいます。算数、国語(主に漢字)の宿題はほとんどタブレットで出されています。宿題をやる時間以上に、ユーチューブや検索、ゲームなどを延々とやる時間が圧倒的に増えてしまいました。デジタルに強くなることは、将来役に立つことも多いと思います。その反面、依存的になってしまい、子ども時代に大事な遊びの時間をゲームや動画で費やしてしまうのは、今後の人間的な成長に支障があるように思えます。必要以上に使わないよう、規制をかける必要があると思います。視力の急激な低下も、周りの保護者の方から複数聞きます。使用方法を学校でしっかりと検討したうえで利用していただきたいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
716	基本施策4	<p>小学生以降の子どもの放課後の過ごし方についてキッズクラブなど学童の預かりは3、4年生くらいまでで、通っていない子や一度自宅に帰って鞆を置いた子は習い事などがなければ近所の公園に遊びに行くようです。時計がない公園が多く、私も何時ですか?と聞かれたり、子供は上級生で携帯や時計を持っている子に聞いて時間を確かめることもあると聞きました。夕方暗い時間になっても家に帰らず遊んでいる子がみられます。すべての公園に時計の設置をするか、防災無線など音が出るもので帰宅を促す音楽を掛けてほしいです。他県出身のため横浜市に防災無線があるのか分かりませんが、災害時にも役立つと思いますし、帰宅の目安として季節の音楽などがあると子どもも帰宅時間の意識ができると思います。安心して子どもが過ごせる環境作りを進めていただけたら嬉しいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
717	基本施策4	<p>小1の子供も朝の居場所作りは急務と感じます。放課後の居場所は充実しつつありますが、朝の居場所がないことは明白です。予算を投じ、低学年児童が安心して朝を過ごせる環境作りを望みます。特に、朝ごはんを食べられない児童に対し、居場所とともにご飯を食べられる環境作りをお願いしたいです。学校施設を地域に開くことで、地域を巻き込んだ活動が可能なのではないかと考えます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、小学生の朝の居場所づくり事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
718	基本施策4	<p>プレイパーク支援事業は、子どもと呼ばれる時期に必要な、自由な発想と遊びを補償してくれる場所なのに、横浜市の今回の施策の中にあっさりとしか触れられておらず、これでは勿体ないです。基本施策2の地域における子育て支援の充実の中に、プレイパーク事業がないのは何故でしょう?地域にあれば密着していて、しかも屋外でのダイナミックな活動が出来るのはプレイパークだけのようになります。プレイパークは他にも、保育園・幼稚園児の遊び場であり、不登校児から青年までの居場所にもなっていたり、保護者のコミュニティの場でもあります。いろんな世代の人たちが緩やかに集まる場は、プレイパーク以外にはなかなかないと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、プレイパーク支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
719	基本施策 4	<p>数年前、LGBTQ法案が可決された後、子どもが通う横浜市立小学校に、『誰でも入れるトイレ』が設置されたとの連絡をいただきました。車いす等の目的ではないが、誰でも入れる、と不明瞭な文章で説明されていましたが、LGBTQ法案の後だったため、私としては性的マイノリティの方向けのトイレなのだと理解しました。欧米諸国では、このLGBTQに関する政策の為に、犯罪が増え、カリフォルニア在住の友人の子どもが通う学校でも、暴行事件があったと聞きました。今回の様な計画を検討される前に、まずはこのLGBTQ法案可決における子ども達への影響について、もっと真剣に議論すべきだと思いますが、いかがでしょうか。ごく少数の性的マイノリティの方々への権利を守る為に、大多数の女性が子ども達が危険に晒される事について、どうお考えでしょうか。また、それについての学校教育についても、深くご検討いただけます様、お願い申し上げます。欧米の後を追って、日本の子ども達を危険に晒すのは止めてください。西側諸国の主流メディアは偏っておりますので、ロシアやインド、また欧米の独立系メディアから情報を得てください。事態は非常に深刻です。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
720	基本施策 4	<p>●●区でプレイパークの世話人をしています。遊び道具や救急箱などを保管するためにお借りしている公園愛護会の倉庫が、現場から150m以上離れた位置にあります。しかも、道のりの大半がスロープで、開園準備は上り坂です。重い台車を男性プレイリーダーが毎回運搬してくれていますが、なかなかの重労働で、特に夏場は昨今の猛暑のせいで、さらに過酷です。遊び場は公共の公園ですが、10年以上定期開催しているので、現場に倉庫を持ちたいと思っています。倉庫が近いと世話人の負担の軽減にもなりますが、子どもたちが直接倉庫から使いたいものを出し入れできるというメリットも大きいです。ただ、与えられたもので遊ぶのではなく、自分でやりたいことを選択して、準備して、終わったら片付けるという環境を使っておいたら、子どもは主体性を持って遊ぶようになります。子どもの心の発達を促すためにも現場にぜひ倉庫を置きたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、プレイパーク支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
721	基本施策 4	<p>私はプレイパークの運営をしていますが、以下のことを要望します。</p> <p>●わくわくプランの素案P99：プレイパーク数値目標について数値目標が10万人と具体的に挙がっていますが、今後共働きが更に増え預かりの場にいかなくてはならない子どもが増えることや少子化の影響、夏場の猛暑などの影響で、今後の利用人数の維持もなかなか難しいのではないかと思います。プレイパークは、乳幼児から青年まで幅広い年代の子どもたちの遊び場であり、行き場のない子どもたちや不登校の子どもたちの貴重な居場所にもなっています。子どもたちが抱えている様々な課題に寄り添うこともしばしばあります。また、外遊びの大切さを知ってもらおう発信基地のような役割も担っています。プレイパークの価値は利用者数等の数値では評価できないのではないかと思います。その点を再考していただきたいです。</p> <p>●開催会場である公園の環境について</p> <p>夏の猛暑日が多くなっていますが、利用者は「水遊びをしたり日陰で過ごせば猛暑の日も快適」という声が上がっています。もっと日陰を作ってあげられたらいいと思うのですが、公園の木の伐採などで日陰が少なくなっています。日陰ネットを張るための設備などがあると、夏場もっとみなさんにご利用いただけると思いますので、検討していただきたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、プレイパーク支援事業や、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
722	基本施策4	・中学校の内申のつけ方や高校受験への取り組み方など、わかりやすくスムーズに受験できるようにしてほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
723	基本施策4	地域に1つは、ボールあそびができる公園が欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
724	基本施策4	地域にひとつ（港北区には2つぐらい）、ボール遊びができる公園をつくってください。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
725	基本施策4	地域にひとつ（港北区には2つぐらい）、ボール遊びができる公園をつくってください。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
726	基本施策4	文化やスポーツを楽しむことは、子どもたちの権利です。 人と共感したり、想像力を働かせる体験が少ない子どもたちが増え青少年の犯罪が増えているように感じます。 子どもたちが共感力や想像力を育めるよう舞台鑑賞活動への助成をお願いしたいです。 ・学校公演の実施 ・舞台鑑賞活動への助成など（場所の提供も含め） よろしく願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
727	基本施策4	保育園・幼稚園・学校の先生の待遇改善を計画に入れてください。 保育園、幼稚園、学校の先生はこの計画のなかでは支援する側になりますが… 彼らの子どもたちは長い時間預けられ、育休に入った先生からは「もう少し休みたい」という声を聞きます。 人が足りないので、職場復帰を急がされますがなぜ人が足りないのでしょうか。 割に合わない仕事だと思っている人が多いからだと思います。 働きに見合った給料に一刻も早くすること、アウトソーシングできること（ホームルームティーチャーなどの導入など）をどんどんアウトソーシングすること。 地域のチカラを借りてもいいと思います。 子どもたちにいちばん接する先生が、精神的にも物理的にもゆとりを持てること。 それは、めぐりめぐって、多くの子どもたちにかえってくることでしょう。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保や、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
728	基本施策4	<p>プレイパーク運営委員で、長期に渡り活動に携わっています。プレイパークが横浜市の放課後育成事業になっていることを日々大変嬉しく思い、感謝しています。</p> <p>プレイパークは子ども達（乳幼児～小中学生）の遊び場です。が平日は幼稚園、保育園のお散歩、小学校の遠足や課外授業にも利用されています。近年は、小学校から授業の要請もありプレイリーダーが学校に話しに行ったりすることも多くなりました。</p> <p>子ども達ばかりでなく、乳幼児の親、高校生、大学生、大人、年配者等、地域、年齢を越えた、出会いや交流の場になっています。</p> <p>また、プレイリーダーや世話人がいるので、悩みを話したり相談しに来る大人、不登校の子どももいて、居場所の役割も持っていると感じます。時には、子どもの貧困や虐待に気づき、関係所管と連携を取ったりすることもあります。</p> <p>プレイパークが野外の遊びの場だけでなく、広く地域の居場所となっていること、地域で子どもを育てる場になっていること、自然を通して学校とも共に学ぶ機会を持っていることを留意した施策として頂けるようお願い致します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、プレイパーク支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
729	基本施策4	<p>◎こども・若者の育成政策の推進について</p> <p>・安全・安心な公園づくりとありますが、ボール遊びのできる公園はほとんどありません。大人は子どもたちに外であそぶことを推奨していながら、禁止事項が多く、公園に集まっても、結局は電子ゲームをしている子どもが多く見られます。</p> <p>子どもたちが遊びたくなるような、もっと自由に遊べる公園を整備してほしいです。学校の校庭開放をもっと自由に使える仕組みを地域と一緒に考えるなども検討してほしいです。また他の地域にあるような児童館が横浜にもほしいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
730	基本施策4	<p>◎こども・若者の育成政策の推進について</p> <p>・家庭環境に関わらず、文化・芸術・スポーツに触れ合い、親しむ環境の整備を望みます。学校での文化体験授業や、芸術鑑賞などに触れあう機会など、勉強以外の体験の場を学校内に作ることで、学校をもっと楽しい場にしてほしいです。またそうした取り組みをしている団体への支援も求めます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、教育施策、スポーツ施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
731	基本施策4	<p>基本施策4・・・</p> <p>放課後キッズクラブについて、狭い部屋の中で人数も多くのびのびと放課後をすごせる環境にはみえません。スタッフももっとふやして安全確保だけでなく、子どもたちとあそびりお話できるようにしてほしいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
732	基本施策4	<p>大人が管理している場でなくこども主体の場所がふえてくるといい。プレイパークのような場。親のために行かなくてはならないキッズクラブこそ質が問われる。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
733	基本施策4	<p>学習指導要領にある、「主体的対話的で深い学び」をするために、学齢期は放課後に、習い事、学童、学校での部活動以外の場で、その子がやってみたいことを安心して取り組める環境があるといいなと思いました。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
734	基本施策4	●●区では、大規模開発された地域は公園が充実していますが、他の地域はのびのびと遊べる公園が少ないです。特に●●地域には公園がほとんどなく、狭い道に車の往来も多くて、子どもたちが遊ぶ場所がなくて困っているという声を多く耳にします。わくわくプランでは、公園の新設再整備を進めるとありますが、ぜひ、●●地域に公園をつくっていただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
735	基本施策4	(「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」について) 子どもが商品ではなく、保育がサービスではなく、子どもの生活の場が安心・安全であり、子どもが自発的に何かを発想して、自由に過ごせること。大人があたたかくそれを見守ること。	参考	頂いたご意見につきましては、重点テーマ1「(2)子どもが安心して過ごせる居場所や遊び場・体験活動の充実」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
736	基本施策4	基本施策4 子ども・若者の視点を尊重し、その意見が十分反映される環境づくりに努めると共に、子ども・若者の社会参画を促進していくことが求められています。 とありますが、子ども・若者の「視点」ではなく「権利」をにかえることはできないか。 全体に「子どもの権利」という言葉がないです。 また「子どもの権利」とは何か、どう関わるというのか、等を学び、意識して子どもと関わっていくことが重要と思われます。 子どもと直接関わっている事業、とくに放課後キッズクラブのスタッフ等、研修が必要と思われます。 キッズクラブは親の都合で行っている子どもが多いので、子どもが安心して遊べる誰もが行きたいと思うような場作りをする必要があると思います。 現状はかなり管理的であり、近隣の施設プレイパークなどにはいっさい出向くことがありません。連携をもっと具体的に示して欲しいと思います。 子ども若者の育成だけでなく、関わるスタッフの育成が必須です。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・若者の意見を反映した事業の実施や、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
737	基本施策4	共働きが当たり前の時代、放課後、特に小学生の学童を卒業する高学年の居場所がありません。 雨の日、猛暑日に子供同士で遊ぶ場所がない。親達は仕事で外にあり、家を遊ぶ場所として提供できず、学童(キッズ)も高学年の居場所にするのは少し難しい。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
738	基本施策4	幼児期までは、地域の支援や幼稚園や保育園との連携はかなり手厚くあるが、就学期になると、急に何もなくなり、取り残された感じがします。 小中学生の保護者の交流の場みたいながあると、いいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
739	基本施策4	小1の壁が大きい。突然、サポートが減り、親も子どもも困惑する。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
740	基本施策4	思春期は、親に見せない色々な感情があるはずで、それを素直に出せる居場所などがたくさんあってほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
741	基本施策4	<p>10年以上前から国産と偽って外国産を納入していた会社社長が逮捕されたとニュースにありました。行政で監査できないのであれば、市民の目で監査をするなど、何らかのチェック機能が必要ではないでしょうか？</p> <p>また、オーガニック給食の流れが全国に起こっています。人数が多いから対応できない。と、逃げる姿勢ではなく、横浜市が先頭に立ち、オーガニック化を推進すれば、農家の意識改革が起きますし、農家の収入の安定につながり、結果的に国内自給率も上がります。みらいを生きる子どもたちのためにも、取り組まれたらいいのではないのでしょうか？</p> <p>それが、子育てしやすい横浜。となることかと思えます。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、質の高い給食提供の推進を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
742	基本施策4	<p>小中高の子どもたちの居場所（拠点）がない。その年代の子を育てている保護者の拠り所（相談先）がない。児童館は作れないなら、7～18才向けの青少年の拠点を今の子育て支援拠点の近くに設置してほしい。子育て支援拠点卒業後の受け皿が必要。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、居場所や遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
743	基本施策4	<p>【基本施策4】（1）小学生のより豊かな放課後等の居場所づくり</p> <p>→（意見）とても大切な取り組みだと思います。ただ現実には、民間有料の塾や習いごとと産業が大幅に躍進し、子どもたちの放課後は、毎日分刻みの過密スケジュールで組まれています。子どもに多くのスキルを身に付けさせたいというのは、自然な親心であり否定するものではありませんが、それが行き過ぎないようにバランスを取り、子どもが子どもらしく、自由に時間を使える「居場所」を確保するという事は公的資源（コモンズ）の役割だと思います。</p> <p>その場合は、現状と課題にもあるように「地域の中で多様な世代と交流することで、社会性や自主性を育むことが重要です。」</p> <p>寄り添い型生活支援事業のような公的な役割を持つ「居場所」の整備においては、地域に根差した団体の積極的活用、地域の多様な世代の運営への参画、地域ボランティアの活用などについての配慮をお願いしたいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
744	基本施策4	<p>（地域子育て支援拠点利用者や職員との意見交換での気づいた点）</p> <p>こどもの居場所として室内でのひろばやセンター、拠点の位置づけも大切だがもっとも身近である（街区）公園への意見や期待度が高かったこと</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりや、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
745	基本施策4	<p>基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施設の推進</p> <p>2. 主な事業・取組</p> <p>■放課後児童育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に遊べる場所が少ない。周りの目を気にしながら遊んでいる。制限が多い現状。人数の多い小学校だからか、校庭での遊びも制限がある。 ・キッズクラブ、学童保育の場所が狭い。子どもにとって一番重要な「あそび」を十分に行えるスペースが確保されていない。 ・夏場の暑さの中でも遊べる室内空間の必要性を感じます。キッズクラブや学童保育の狭い部屋の中に何時間もいて、体を動かす場所がないことは子どもの発達の面においても影響が大きいと考えます。できれば、このような室内遊び場にもプレイリーダーがいてほしい。 ・長期休みを利用して学童期向けの教室、学習支援してくれる場や書道や絵画教室など高校生や大学生ボランティアを区民利用施設などで開催してくれるなどすべてを習いごとやキッズクラブなどに依拠しなくても地域の居場所があるといい。 ・学校のキッズクラブの職員の質の担保や研修事業をもう少し高めて欲しいという声は多く出されている。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業、プレイパーク支援事業を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
746	基本施策4	<p>基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施設の推進</p> <p>2. 主な事業・取組</p> <p>■こども・若者の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生になると、急に預かってもらえる時間が減るので、小1の子をサポートできる場所があると良い。 ・小学生低学年が集まって放課後あそべる、どろっぶのような場所があると良いと思う。登録制など、誰がいるかわかるとありがたい。小学生だと親同士がつながっていないと色々問題もあり難しい。 ・夏休みや冬休みを利用した小学生向けの教室を開催してほしい。他の自治体では高校生、大学生ボランティアが宿題を見てくれたり、書道や絵画教室を（コミハミたいなところで）開いてくれているところもあると聞きます。 ・保護者が就労するために子どもの居場所を作っている感があるが、本当に子どもがいたい場所はどこなのかを子どもの目線で考えて欲しい。それが家であった場合、親がその選択をできるようなしくみづくりができないか。 ・子ども世代がただいられる第三の場所、安心安全のシンボルになるようなスペースがあるといい。 ・放課後児童対策で校庭での遊びにも制限がある。児童数の差もあるかもしれないが、社会資源でもある校庭のあり方を地域巻き込んで議論すべきである。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
747	基本施策4	基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施設の推進 2. 主な事業・取組 ■安心・安全な公園づくり ・1歳児でも飛び出さずに安心して過ごせる、子どもが自由に遊べる公園がほしい。 ・子どもがのびのびと遊べる公園を整えてほしい。ボール禁止、騒音問題と大人に抑えられ、ゲームやお菓子にはしるしかなく、小さな公園は小学生でいっぱいなので、就学前児童が安心して遊べません。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
748	基本施策4	基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施設の推進 2. 主な事業・取組 ■子どものスポーツ活動推進事業 ・スポーツセンターの定期教室を利用したいが、基本平日で共働き家庭は利用できない。残念だし不公平さを感じる。	参考	頂いたご意見につきましては、今後の施設運営の参考にさせていただきます。
749	基本施策4	素案P91 「(4) 放課後の居場所の充実」について 放課後の居場所としてプレイパークも載せていただきたい。放課後キッズクラブや放課後児童クラブが休みの日曜日や祝日に開催している場合もあり、放課後の居場所の充実の一端を担っていると言える。例えば、以下のような文ではどうか。 『すべてのこどもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後のこどもの遊びと生活の場である「放課後キッズクラブ」と、生活の場である「放課後児童クラブ」、こどもの自由な遊びを保障する場である「プレイパーク」の安定的な運営を確保し、放課後児童施策を推進していく必要があります。』	参考	頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
750	基本施策4	(1) こどもの意見を施策・事業に生かす取組の推進 ・10p基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進では、こども・若者の視点を尊重し、その意見が十分反映される環境づくりに努めると共に、こども・若者の社会参画を促進していくことが求められています。とあります。 視点ではなく権利に変更できないでしょうか(視点の尊重ではこども・若者を権利の主体として捉える旨に欠けると思われるため)	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの意見を聴く取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
751	基本施策4	基本施策4学齢期から青年期までのこども・若者の育成施策の推進 アウトカムの指標 担当局の事業所である、(公財)よこはまユースが支援で行った団体数があげられていますが、市民局との連携による、18区、区民活動支援センターの中間支援センターとしての機能を発揮し、各区で支援する団体増を目指していただけないでしょうか	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策4の「施策の目標・方向性」の「(3) こども・若者の成長を支える基盤づくり」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
752	基本施策4	(よくなってほしいこと) 子供達が塾へ行かないと、試験の合格ができない。したがって、教育のレベルが低い。学校で得られる知識だけで、合格できるような教育レベルにしたらいいます。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
753	基本施策 4	(よくなってほしいこと) 学校のPTAは、いつも日本語を話す親にだけ沢山の仕事をしてもらうよう頼るのではなく、日本語を話さない親をサポートする必要があるが、学校PTAはいつも私の日本語が十分でないため、妻にすべてのことをさせようとする。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
754	基本施策 5	基本施策5について 放課後等デイサービスで日々子どもの支援をしていますが、学校との連携は大きな課題です。特に学習は学校と足並みを揃えたいと思いますが、こちらから学校に直接指導法や方針をお聞きすることはできません。「療育と教育との連携強化」とありますが、お題目だけでなく実際にどのような解決策があるのか、取り組み内容を明確にさせていただけたらと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策5の「目標・方向性(2) 将来の自立等に向けた療育と教育の連携等による切れ目のない支援の充実」に盛り込まれており、学齢期の障害児支援の充実を進める上で、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
755	基本施策 5	基本施策5についてです。●●で放デイ・児童発達支援を運営しており、関連する2つの意見です。①障がい児通所事業所での車送迎のための添乗員の加算を創設してください。横浜市では、車送迎において添乗員の配置を努力義務にしていますが、特に港北区などは小さなエリアに多くの小学校があるため、通常の人員配置基準では添乗員を配置することは困難です。車送迎における深刻な事故も起きていますと聞いておりますので、横浜市というエリア特性を踏まえて、添乗員の人件費原資となる横浜市独自加算をお願い致します。②●●などの高地価エリアの施設への物件賃借料の補給制度を創設してください。港北区では、特に放課後等デイは事業所数が不足していますが、港北区の事業用物件の賃借料が年々上がっている中で、報酬改定による報酬減があり、新規での開所がますます難しい状況です。賃借料の3割の補助があるだけで、新規事業所数は一気に増えると思います。どうぞよろしくお願い致します。	参考	頂いたご意見につきましては、児童発達支援や放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
756	基本施策 5	障害児についてです。現在放課後等デイサービスを利用していますが、児童発達支援と比べて療育の質の低下に驚いています。また長期休みでの利用では時間が10:00-16:00前後しかないため学校がある時期とは生活リズムが変わってしまいます。仕事をしているため放課後等デイサービスの時間までの預かり先に小学校のキッズクラブを利用していますが障害児への理解がない対応をされることもあり、安心して通わせられません。就労などで正規利用時間以外にも放課後等デイサービスを利用出来る体制を作って頂きたいです。	参考	放課後等デイサービスの療育の質に関するご意見につきましては、基本施策5の「目標・方向性(2) 将来の自立等に向けた療育と教育の連携等による切れ目のない支援の充実」に盛り込まれており、ご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。 サービスの提供時間に関するご意見につきましては、放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます
757	基本施策 5	障害児を持つ母親です。現在、放課後等児童デイサービスにより、兄弟児や高齢の親への支援する時間がある程度確保出来ており、助かっています。学校を卒業したあと、同様のサービスが無くなることに不安を感じています。障害を持つ子供は健常児と違い、年齢を重ねても自立出来ない部分も多く、保護者の安定した生活時間の確保の為に、成人でも放課後デイのように通所先から降所後に預かってもらえるような支援が欲しいです。	参考	通所後の夕方の時間の過ごし方については、「日中一時支援事業」や障害者地域活動ホームの一時ケアをご利用されていると認識しています。 生活介護事業所においては、9時間を超える利用がある場合に延長支援加算を算定できますが、十分な報酬単価となっていないとのご意見をいただいています。引き続き、報酬単価の引き上げ等について国へ申し入れを行ってまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
758	基本施策5	要望がありメールさせていただきました。障がいのある児童、青年の生活のサポートをする自立支援事業所が不足しており、困っているご家庭が多いのが現状です。同時に、自立支援事業所の補助金が少なく、開所すると赤字になってしまうという事実があり、実質、やりたいという事業所少ないのが現状です。事業所を増やすためには、自立支援事業所が赤字にならないように、助成金を充実させる事が必須かと思われます。ぜひとも、その点の改善を早急をお願いしたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
759	基本施策5	放課後等デイサービスで、利用できる施設を増やしてほしい。地区センターの体育館は利用できないし、スポーツセンターの体育館はエントリーしてから抽選になるので、利用できるかギリギリまで分からないので、前もっての計画ができない状態です。民間の室内プレイパークだと、金額が高く、利用料金が払えない利用者は参加ができなくなります。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、地区センターやスポーツセンターの体育館の利用に関するご意見は、今後の施設運営の参考にさせていただきます。
760	基本施策5	基本施策5 放課後デイサービスが足りず、どこも競争状態となっている。また提供しているサービスがわかりにくいところもありどの程度のどの障害の人を対象にしているのかあらかじめわかると探しやすい。小学生も高学年になると放課後デイに来る子が少なくなり、習い事と違って特性は成長してもずっと持ったままなので、相談する場所がなくなる。療育センターも小学生までであるし、中学生以降より複雑な人間関係や学習面での課題をかかえるのにどこに頼ればいいのかよくわからない。特別支援学校に行くほどではない人はどうすれば良いのでしょうか。また一般級に発達障害の子供がいると、何度も連絡がありそうとは言わないまでも、支援級にいけば良いのではというプレッシャーを感じる。支援級は一般級との間にギャップが存在し、勉強時間も少ないのもう大丈夫だろうと気軽に一般級に帰れない。一般級にいないれば内申点がつかず一般の公立高校に入りにくい。そういった将来を子供に与えたくないです。一般級で誰か隣に補助の先生がいるだけでよいのに。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業や障害児相談支援事業を進める上で、また、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
761	基本施策5	知的障がいなしの自閉スペクトラム、発達障がい児の娘がいます。現在、年中です。療育に無償化のおかげで自己負担なしで現在は通っていますが、小学校からは所得の制限があり、37000円までは負担することになります。金銭的なことを考えると、小学校からの療育は日数を減らして通わないといけません。ですが、学校の勉強に着いていけるわけもなく、療育に通って勉強をサポートしてほしいのが本音です。小学校の療育の所得制限をもう少し区切って、自己負担を低くしてもらえないでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業や、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
762	基本施策5	今、この資料を拝見して、いろいろなものを抱えた子どもへの対策はありますが、事実的に学校へ行けない不登校のこども(家は先天性心臓疾患があり)が朝、酸素飽和度が上がりずだったり、体力が追いつかずなど、学校へ行く事にも不安を抱えています。グレーゾーンのこどもへの幅広い教育が選べる社会であってほしいし、親の送り迎えが必要な時の交通費や費用もネックです。どうぞよろしく願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
763	基本施策5	基本施策5 障害児・医療的ケア児等への支援の充実について。小学校に、療育設備（トランポリン、ボルダリング、ハンモックなど）のある教室と専門員（作業療法士、心理士など）を配置して欲しいです。入学と同時に終わってしまう療育を必要とする子供がいます。支援級、普通級に在籍する、支援を必要とする全ての子供のために、また教員が安心して授業を行える環境を確保するために、療育のための教室が小学校内に、音楽室や家庭科室と並んで当たり前であって欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
764	基本施策 5	小学3年で脳腫瘍になり、慢性特定疾病の受給を受けていますが、入院の際の食事費用や通院の交通費等の支給も充実させていただけるとありがたいです。母子家庭のため経済的に厳しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、療養を必要とするこどもの生活に関する取組を充実する上で、今後の参考にさせていただきます。
765	基本施策 5	障害児支援。我が子はダウン症児。幼児期は地域療育センターや保育園が連携して手厚く支援してくださいました。感謝しています。先生やコーディネーターの方に日々のちょっとした不安、困り事を気軽に相談できました。ですが、小学校へ上がったとたん支援がきれつつあり不安です。計画相談をとりましたが現状人手不足。すごく困っている訳でもないですが、やはり日々のちょっとした困り事はあり、特に学齢期になったとたん親の負担が激増。先生も手が足りないので何かとお手伝いで出向く機会も増えていきます。発達障害も増えていきます。支援級教員や支援員やサポートなど充実して欲しい。学校によって支援の充実さのバラツキを無くして欲しい。	参考	頂いたご意見につきましては、障害児への相談支援や、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
766	基本施策 5	施策5の指標について、障害のある子どもの親から見た満足度を測るような指標が欲しいと思いました。	参考	頂いたご意見につきましては、障害児・医療的ケア児等への支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
767	基本施策 5	目に見える障害者への支援もまだまだかと思いますが、目に見えない障害者への支援も考えていただきたいです。今年、我が子がパニック障害と診断されました。電車での通学が出来ず、親の私が仕事の休みの日は車で送迎、電車と一緒に乗って行く、などサポートしています。パニック障害は障害者手帳がない為、電車での付き添いも全額払っています。病院からの診断があった場合は、運賃の軽減や免除などの支援が必要です。引きこもりのサポートをする保護者の方々も同じ思いだと思います。資金面で少しでもサポートがあれば、私達の精神面での疲労や心労が軽くなると思います。きっとこのように障害者手帳がもらえず、苦労している方がいると思います。すぐにでも支援が欲しいです。助けてください。よろしく願います。	参考	頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
768	基本施策 5	我が家には発達障害を抱えた子供が家庭内にいます。学校は子供の配慮に関してはとても協力的だが、学校のシステム上、柔軟性に限界があるため、取り出し授業などはちょっとした『少人数の中での自主学習』に近く、学力面のサポートはかなり不十分。補填は塾・家庭教師など家庭内でするしかないことに不満を感じる。学校側の理解があっても具体的なサポートがないのではこの発達に合わせた教育はできていないと思う。学力も個々に合わせた授業も必要だと強く感じる。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策やこども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
769	基本施策 5	発達障害児の母です。障害児育児をしていて感じるのは福祉は自ら情報を取りに行かないと損をするという印象です。手帳の申請の際も知り合いのお母さんは取得してもそんなにメリットがないよと区役所で言われたと言っていました。その後私が障害者控除などお金の面でのメリットなどを伝え申請することにしたそうです。自ら問い合わせしたりする行動力のある親ばかりではないと思うのである程度の一般的な福祉制度に関しては情報提供があっても良いのではないかと思います。療育センターも近年の利用者の増加で1人1人へ手厚くサポートが出来ているとは感じにくく自分で調べて一つずつ調べていく感じでした。	参考	頂いたご意見につきましては、事業の広報や制度周知を行う上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
770	基本施策 5	気管切開している幼児がいますが全く保育園に入れません。おかげで仕事も出来ず生活も大変です。障害がある子を受け入れてくれる保育園は素晴らしい保育園ばかりで競争率が高くまづ入れない。待機児童も改善されていない。上の子が小学生ですが保育園が全然なく仕方なく家からかなり遠い保育園に入れました。送迎だけでとても大変でした。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育施設等における医療的ケアが必要なこどもの受入れを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
771	基本施策 5	p11の基本施策5、療育と教育の連携について。子供が二人いて、それぞれ通級と個別支援級にお世話になりました。SSTに関しては通級の方が充実していると思います。通級では、苦手な場面設定を行っていたが、どう気持ちのコントロールをしたらいいか、どう行動したらよいか、どういう発言は控えてどういう発言をしたほうがよいか等、たくさん学べたようです。それにより中学校には行ってからは問題なくすごせています。個別支援級でも通級で行っているSSTをもっと取り入れていただけたら、子供にとっても役に立つのではないかと思います。	参考	現在、個別支援学級においても自立活動の中で状況に応じたコミュニケーションに関する事等に取り組んでいますが、更なる教員の専門性向上の取組が必要であると考えています。 頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
772	基本施策 5	障害児が放課後過ごせる放課後デイサービスを利用していますが、デイサービス内で他害のあるお子様からよく叩かれたり、突き飛ばされたりしています。対応する支援員の方の異動が激しく、そのような状況でも対応出来ない方もいて、支援員の研修や教育をしっかりして欲しいです。身体に障害のある子がいると親も就労出来なかったり、短時間しか働けない状況で放課後デイサービスはありがたいのですが。身体と知的両方に障害があり、学習支援などももっとやりたいのですが、そのような場所が少なくなかなか入れなかったり、学べる環境も作って欲しい。18歳を過ぎた後の将来が不安で仕方ない。	参考	頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
773	基本施策 5	医療的ケアが必要な子供だけでなく、その家族のサポートも強化いただきたい。保育園(入れるところがとても少ない)、看護師が自宅でケアなどを利用しやすくするなど。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育施設等における医療的ケアが必要なこどもの受入れや、医療的ケア児等のレスパイトサービスなどの新たな施策の検討を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
774	基本施策 5	5について 成人期を見据えた支援→肢体の特別支援学校に息子を通わせており、卒業するお子さま、卒業させるお母さまを何年も見てきました。今現在の我が子、横浜市の取り組みがかなり充実し、朝お迎えにきていただき、週5学校に通い、そのまま放課後デイに通い帰りは夕方5時頃です。この生活が卒業した途端に大きく変わってしまうのは、子どもにとっても歳をとっていく親にとっても、想像するだけで恐ろしい生活です。18を過ぎた子どもが15時ころから親と家で過ごす、ましてや週5での施設通いは難しそうですねので丸1日家で生活、送り迎えも呼吸器があるので見込めない、などなど。考えられない生活になりそうで不安で仕方ありません。息子は呼吸器を1日中持ち歩いて生活していますが、離脱もでき歩いて走れて意思のある身体もっています。知的面もあるので行動が激しく、まだ40代の両親ですが、年々体力がついていけなく感じることもしばしばです。まずは子ども、そして医療的ケアの生活を体が衰えても延々に続く親にとっても、心身ともに健全で過ごせる性格が欲しいです。就労後の大人の放課後デイのような居場所ができることを望んでいます。	参考	ご意見の趣旨については医療的ケア児や重症心身障害児等への支援の充実に関する取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
775	基本施策 5	p104基本施策5障害児ケアについて 現状大きな療育センターは鶴見区になく、神奈川区まで通っています。グレーゾーン含めて障害児が増えている昨今、ケアが充分とは言えないと感じます。まず鶴見区や各区に療育センターが設置されるのが希望です。私の息子も現在3歳児の療育「●●」にお世話になっております。来年度も療育センターに申し込みをしましたが申込者多数で落選し4月から通う施設がありません。幼児期の療育は非常に重要なものですが必要な子に行き届いていないと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、地域療育センター運営事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
776	基本施策 5	基本施策5「障害児・医療的ケア児等への支援の充実」に関して意見を述べます。目標に関して（1）地域療育センターを中心とした地域における障害児支援の充実 となっており、指標として「地域療育センターが実施する保育所等への巡回訪問回数」があがっています。私の意見は、この指標を「地域療育センターの医師、心理職、ソーシャルワーカー等による保育所等への巡回訪問回数」にするというものです。以下に理由を説明します。 令和7年度予算概算要求にて「地域におけるこどもの発達相談と家族支援の機能強化事業」が新規事業で盛り込まれています。横浜市の素案による基本施策5はこの地域体制整備の目的に沿うものだと考えます。本事業概要では、地域の要となる医療機関の医師、心理職、ソーシャルワーカー等が連携して、アセスメントやガイダンス、医療受診の必要性の時期を見極めるとなっています。私は地域療育センターの診療所長ですが、本年度は1度も保育所訪問はできておりません。目標に叶うよう多職種による訪問を明記することを提案いたします。	参考	頂いたご意見につきましては、地域療育センター運営事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
777	基本施策 5	基本施策5：就学前のこどもについて、地域療育センターが十分に機能しているように思うが、就学後については手薄になっている現状。発達に問題を抱えるこどもが就学後、学校生活で躓き、いじめ、不登校、ゲーム依存などの問題が発現する。その中で家庭内暴力に発展する場合もあるが、虐待ケースでないため、児相も動きにくい。単に不登校ではなく、家庭で収まりにくいケースが非常に増えているように思う。療育センターの機能拡充が必須だと考える。	参考	頂いたご意見につきましては、地域療育センター運営事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
778	基本施策 5	子供が小学校の支援級に入学し、その後一般級に転級して通級指導教室(情緒)に通っています。通級に通って感じたのは、多くの児童が「自らの居場所」を求めているということです。我が子は乳児期に自閉症の診断を受け、療育センターや地域訓練会や児童発達支援施設、放課後デイサービスに通って、大勢の先生方に支えられて成長してきました。しかし通級に通う家庭には、乳児期にそういったサポートを受けることがなかったため、知識も乏しくこの先どう対応していけばいいのか迷う方も多感と感ずます。横浜市には、療育センターなどの充実した福祉システムがあります。ぜひ、公立小学校との連携をもっと密に構築し、子供達を支えてほしいです。不登校の対策にもなると思います。また、通級指導教室も拡充してほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
779	基本施策 5	軽度知的障害及び境界域の障害児への支援金と障害児専門の母子分離型の療育施設の拡充→横浜市では軽度知的障害から境界域には特別児童手当が通らないため、親の負担が大きい。就学前は母子分離型の療育施設が少なく、短時間しかみてくれないため、親の負担が多い	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
780	基本施策5	基本施策5 保育園に通っていた時に支援の必要な幼児がいました。その子の両親は「保育園探しの時に施設が少ない、前例がないから入れない、などの理由で仕事辞めようと思っていて、園長先生に是非来て下さい。」と言われたと泣きながら話してくれました。施設の確保とケアの支援の充実ができたと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育施設等における障害のあるこどもの受入れを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
781	基本施策5	施策5： 障害児について、いわゆる「グレーゾーン」と言われる診断のついていない子供が多くおり、専門的なサービスを受けにくい状況です。専門機関の充実も重要ですが、彼らの日常が少しでも休まるよう、正副担任制度など学校の教員の増員を希望します。少なくとも倍増されれば、多少の効果はあるのではないのでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
782	基本施策5	基本施策5（2）障害児施設等における支援の充実 について「提供されるサービスの質の維持・向上だけでなく」とありますが、障害児施設のサービスの質のチェックについては特に力を入れていただきたいです。障害のある子を持つ親として児童発達支援事業所を複数見学しましたが、最低限の質が担保されていない事業所もありました。（嫌がっている児童の手を掴んで課題を行わせたり、「脳を鍛えれば発達障害は治る」など科学的根拠に乏しい発言が事業所長から出るなど別々の事業所で経験しました）	参考	頂いたご意見につきましては、障害児通所支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
783	基本施策5	基本施策5について・障害児や療育は、現在、地域や学校、幼稚園などから切り離されて支援されています。その子自身の状況にもよりますが、そうでない子と一緒に関わっていくことが大切だと考えます。市民の障害理解の促進とありますが、小さい頃から関わっていれば、個性として捉え、偏見なども生じにくいのでは？	参考	頂いたご意見につきましては、保育・教育施設等における障害のあるこどもの受入れを進める上で、また、障害への理解を深めるための取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
784	基本施策5	基本施策5について 18歳の壁というのは保護者の目線であって、18歳を壁にしないような育ちが大切だと思います。18歳までをどう過ごすべきなのかが親に伝わっていないと感じています。親子関係の愛着形成にもっと目を向けるべきだと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
785	基本施策5	<基本施策5> ・療育センターと児童施設を併存させ、ケア児への理解を深めてもらい共に助け合う場にする ・障害がある人、ない人が、気軽に交流出来る機会を作る。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
786	基本施策5	基本施策5について 軽度とされる障害児(知的障害のない自閉症スペクトラム、注意欠陥他動症など)や、いわゆるグレーゾーンと呼ばれる子供たちについて。就学後に障害の疑いを持った場合、療育センターの受診が一年待ち、診断を受けられる一般の病院なども初診予約が取りにくい状況です。診断を受けるまでに時間がかかります。また、放課後デイサービスなどの通所施設も、そのような子供に合った施設が限られており、待機期間が数年という施設もあります。年齢が上になるほど、受け入れ可能な機関が減ります。療育を受けたいときになるべく早い段階で受けられる体制を作って頂けると有難いです。また、そのような子供が安心して学校に通える体制、周囲の理解が進むことを望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、障害児相談支援をはじめとする相談支援の充実や、療育と教育との連携強化等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
787	基本施策5	基本施策5について。まず、強度行動障害についてですが、生れつきのものではなく、ストレスを感じる状態が続くことによって起こるので、部屋の個室化が監禁に繋がらないように細心の注意を払って欲しいです。私の息子は重度知的障害と自閉症スペクトラム障害があり現在13歳ですが、毎日機嫌良く暮らしています。1つ我慢させたら1つは好きな事をするという事を大事に育てて来ました。「自分だったら、どうか?」という基本的な想像力を働かせて、気長に、時間をかけて強度行動障害の状態にある人と接して欲しいと思います。時間をかけるには人手が必要です。忍耐もチェック体制も要るので、計画相談をしてチームで取り組むのが良いと思います。また、療育センターについては建物を増やすのではなく人材を増やして、高齢者向けの福祉事業所にケースワーカーさんがいるように、拠点を多く作るのが良いと考えます。親子向けの拠点は学校の空き教室でも可能ではないでしょうか。以上	参考	頂いたご意見につきましては、障害児・医療的ケア児等の支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
788	基本施策5	基本施策5について。(まず、重点テーマのすべてのこどものウェルビーイングを支えるに非常に共感しています) 我が子は興味の有無のギャップが大きく、かつ非同期発達(領域による発達のギャップが大きい)タイプです。今年度は、本人が本人らしくいられる中で様々な経験が出来る環境と人との出会いに恵まれ、昨年度はうまく作れなかった友達も出来、生き生きと過ごせるようになってきています。非常に委縮していた昨年度と比して格段にエネルギーが回復したと感じており、特に担任の先生とクラスの雰囲気の違いは非常に大きいと痛感しているところです。次の課題は、元気が回復した本人が「興味のある事に取り組む」と同時に、本人なりの納得感を持って「興味の薄い事にも取り組む事」。ワクワクしない事や苦手を我慢して無理に向き合わせるだけがその方法ではなく(むしろ本人には合わない)、「好きな事をもっとやる為には興味のない事も必要になってくる、ならがんばってみるか」と思えて取り組める事が望ましいです。それは本人のウェルビーイングに繋がってくると考えます。その為に、好きな事を高め深める為のメンターとの出会いがあればと思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、障害児・医療的ケア児等の支援や、療育と教育との連携強化等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
789	基本施策5	・療育センターでの検査や医師の診察診断の予約に10ヶ月くらい待たないといけないとのことで、人材不足や仕組みなどの運営に問題があるのではないかと思います。 いろいろな面で改善してもらえよう希望します。	参考	頂いたご意見につきましては、地域療育センター運営事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
790	基本施策5	基本施策5・・・ 特別支援教育だけでなく、インクルーシブな教育ができる環境を小学校から目指してほしいと思います	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
791	基本施策5	(「障害児・医療的ケア児等への支援の充実」について) 支援を増やしてほしい	参考	頂いたご意見につきましては、障害児・医療的ケア児等の支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
792	基本施策5	(「障害児・医療的ケア児等への支援の充実」について) 自分から動かないとサービス支援を受けられないことが多いので、専門家が窓口に来てほしい。また総合的に相談ができる場所があってほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、障害児相談支援をはじめとする相談支援の充実を図る上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
793	基本施策5	<p>基本施策5 障害児・医療的ケア児等への支援の充実</p> <p>1. 基本施策5に対する全体意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当にこどもに平等かな？と感じている。支援を受ける上でもまず収入で壁があるのは不思議。税金は等しく負担なのに・・・病院にかかりにくくなる、原因を追究しにくくなる。親がどうでなく子どもだけは平等に扱って欲しい。 ・支援の時間差をなくして欲しい。医療的ケア児にとっては例えば治療薬の認可など、時間差が命取りになることもある。 ・第1期以降、妊娠期支援・子育て支援・ひとり親家庭支援や虐待防止等など、全般的にみると「子子計画の理念や目標・方向性を定める」ことは少しずつでも前進している（結果がそれなりに出ている分野もある）ように見えますが、障害分野に関しては各所で当事者家族が意見を出しても、なかなか受け入れられてこなかった印象を強く感じます。保護者の所得制限が撤廃されないことや、乳幼児保育・教育施設や公立学校における充実した支援と謳っていても、その中に障害児や医療的ケア児にまで届いていない（障害度によっては対象とすらされていない）ものも多く、制度に守られているのが「子ども＝定型発達児」、「保護者＝定型発達児の保護者」のような感触をまだまだ強く感じてしまいます。 ・この計画自体を知らず、意見を述べる機会があることも知らない保護者もとても多いため、今回は公立学校の保護者用連絡アプリ「すぐる」にて一斉配信されたことは時代（コロナ禍）を経た良い変化であると思いますし、第3期ではパブコメを集める前にもっとこの計画自体を周知できるような動きがあると良いとも思いました。 ・軽度知的障害だとほとんどの制度に該当せず、こども自身が頑張らなくてはいけない状況。一方愛の手帳を持ってさえも切れ目ない支援を感じられる実感は少ない。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、保育・教育施設等における障害のあるこども、医療的ケアが必要なこどもの受入れを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
794	基本施策5	<p>基本施策5 障害児通所支援事業等の拡充と質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気がないことが困難 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、放課後等デイサービス事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
795	基本施策6	<p>小学校の同じ登校班に外国籍の親子がいます。登校班の保護者も学校のことを伝えたり、一緒に旗当番をしたりできる範囲でサポートしていますが、日本語がわからず苦労しているようです。夏休み前には朝顔を自宅へいったん持って帰ることや、あゆみの読み方などわからず、苦労したようです。担任の先生もお忙しい中、いろんな親子に対応されていることと思いますので、どなたか他に、外国籍の親子に対してサポートして下さる方がいると、そのお母さんも心強いのかなと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、在住外国人への支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
796	基本施策6	<p>現在寄り添い型生活支援に携わっています。直接の支援対象は小学生・中学生ですが、子ども達の問題は、家庭環境・保護者の資質・学校の支援体制・子ども自身の特性など、複合的な問題だと感じています。各支援機関を充実させることに加え、各機関の横の繋がりを強化する必要があると感じています。ご検討よろしくお願いたします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、基本施策6 困難を抱えやすいこども・若者の支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
797	基本施策 6	基本施策 6 と重点テーマ2について 不登校2人の保護者です。不登校となった場合の居場所についてハートフルも合わず、NPOや民間が運営するフリースクール・フリースペースを検討したくとも、月数万円（我が家は2人分）の負担が重く、利用したくとも利用できない家庭が数多く存在しています。社会が子供達にやるべきことは、全ての子供達に対し、その子その子に合った安心できる学び場・居場所をお金の心配なく与えることだと思います。何度も意見しておりますが、子らの多様な学び・居場所を確保するため、東京等のようにフリースペース・フリースクールへ通う家庭への補助をお願いします。またその際、子育てに関することで所得制限は設けないように何卒お願いいたします。所得制限され続けてきた世帯ですが、重くなる一方の税金や社会保険料、物価高で、余裕など全くありません。また、是非ともフリースペース・フリースクールを利用したいと感じている不登校家庭、そして現在利用している家庭に対して、負担をどのように感じているかアンケートを実施し、生の声を集めてみてください。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
798	基本施策 6	基本施策6 ミックスルーツ/外国にルーツを持つ子供へのマイクロアグレッション、偏見差別、いじめが横浜市でも他の都市に例外なく存在していることを認知してください。そして、そのような子供達と間近で関わる市立学校の教師がこれらの問題の存在を理解していない、研修が不十分のまま多様性という言葉が魔法のように使っていること、それにより寄り添いサポートが得られず取りこぼしていること、疎外感を増幅させていることを認識して施策を考えてください。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で、また教育政策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
799	基本施策 6	不登校支援について、年度の途中であっても、必要があればクラス変えや(該当児のみクラス移動)、近くの公立小学校への転校、フリースクールへの通学等、選択肢が増えるべきだと思う。不登校で義務教育を受けられない状況を作っているのは学校であると感じる。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
800	基本施策 6	施策6について、IQの低い子ども（境界知能）に対する支援が欲しいと思いました。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
801	基本施策 6	ウェルビーイングの考え方、3章の目指す基本的な視点は私も目指したいと感じている内容と重なり、記載してくださっている事に安心感を感じます。是非、この視点を忘れないで頂きたいです。ただ、施策をみても実際の取り組みや現状として出来ることはまだまだ不足していて厳しい状況だなと感じています。予算が限られている事が一番大変だとは思いますが、予算の確保はまず大きな課題だと思います。困っている子、いじめや不登校などはなぜ起こるのでしょうか。本人自身や家庭の問題だけでなく、社会問題の現れ、学校が安心できる場になれていないとも言えます。ウェルビーイングを本気で考えるのであれば、1人の先生が30人以上の子供を見守るには無理があると言えます。一斉授業が当たり前で子供は従うものという意識など様々な固定観念が各々を苦しめている様にも思います。フォロー体制も整っていません。問題が起こる方が当然なくらいです。また、本来は学校が安心して通える場であってほしいですが現状難しくなる事はあるため、不登校になっても徒歩圏内で安心して通えるその子に合う学びの場を必要としています。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業及び地域等と連携したいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
802	基本施策 6	虐め対策を今一度見直してください。手遅れにならぬよう対策改善ください。	参考	頂いたご意見につきましては、地域等と連携したいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
803	基本施策 6	<p>素晴らしいプランだと思いますが、基本施策6 困難を抱えやすい子ども・若者への支援施策の充実において、外部委託の活用等される場合、以下の内容をしっかりとご確認頂き精査した上での採用をお願い致します。(最近目立ち始めたLGBT関連になります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外部委託先のNPO法人が偏った思想でないか。 ●偏った思想の代表者やスタッフがいないか？ ●道徳的観点の教えができるか <p>LGBTQ+団体「金沢レインボープライド」が謝罪。元スタッフが覚せい剤取締法違反の容疑で逮捕・起訴という事件が起きた昨今、非常に国民としては心配しております。また、他にもLGBT関連に限っては、親には言えないからと親の同意もなく、内緒で子供を集める居場所イベントを東京都主催で行いましたが、こちらも今、市民団体及び議員より言及しております。従って、横浜市では、親を排除するような事が無い様、必要な家庭には親子で理解を推進できる様な取り組みをお願いします。行政機関の中で閉鎖された場所ではなく、心理士等と話せる機会を作る等。外部委託が必要な場合、偏った思想の方がいないか十分に調査をしてください。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
804	基本施策 6	<p>基本施策 6 困難を抱えやすい子ども・若者への支援施策の充実の中の不登校についての事業、取り組みに「校内フリースクール」の設置、並びに人員配置に係る予算の計上を希望いたします。親が仕事をしていて子が不登校だと子どもは家で一人になってしまうこともあります。不登校は子どものせいでも親のせいでもありません。学校で授業を受けなくても学べることはたくさんあります。授業は受けられなくても学校に来たい子どもはたくさんいます。校内フリースクールは学校で不安を感じた子どもの安全基地になります。子どもの学ぶ権利、成長を保障してください。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
805	基本施策 6	<p>どの施策が該当するか分からないのですが、きょうだい間のいじめやそれに対して何もしない保護者や、母親をいじめる祖父母やそれに対して何もしない父親（子供からみた立場です）など、そういう状況に悩む子どもがいたら、救うことができる手立てを何か提供してほしいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、基本施策 6 困難を抱えやすい子ども・若者の支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、区役所子ども家庭支援課では子ども本人からの相談や、妊娠期、乳幼児期から思春期までの子育てに関する相談窓口として、「子ども家庭相談」を行っています。親子関係の悩みについても、区役所等で相談を受けています。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
806	基本施策 6	<p>基本施策 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒支援事業について 不登校の児童生徒の割合は、増えています。不登校の子どもが、他の子どもに会うかもしれない学校に行くことの困難を理解した上で、学校外の施設で不登校児童生徒をサポートしている団体への支援の充実をお願いしたいです。今は、団体の善意に頼っているところが大きく、どの団体もその家族からの金銭を受け取らないと、運営自体が厳しい状態となっています。しかしながら、不登校の問題は、金銭的な拠出がこんな家庭にも起こりうることで、子どもたちをサポートし、子どもたちの学びを止めないためには、市のバックアップも必要不可欠だと感じます。 ・また、年齢が上がるにつれて、例えば、義務教育ではありませんが、高校生になると、不登校児の居場所のようなものは、グンと減ります。高校生になり、自分で決めるところが大きくなると、そのような居場所に通うのかどうか？の問題はありますが、そのような居場所がなくなっていくような気がしますので、子どもたちの学びを止めないようなサポートをすることが必要と感じます。小学生の不登校児の居場所については、泉区の「かけはし」さんなどみてください。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
807	基本施策 6	<p>施策分野 2</p> <p>p122・外国につながる児童のサポートについて、日本語支援拠点施設現時点で西部地域には「ひまわり」はなく、地域の日本語支援が必要な児童が通所するにはハードルが高いのが現状です。経済的に厳しい家族も多いので移動の物理的金銭的ハードルは高いと思われます（交通費や、付き添いのため仕事を休まなければならないなど）。ひまわりの西部地区への設置を強く望みます。また、学校だけではなく、保育園や幼稚園へのサポートもこれからもっと必要になると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や教職員だけでサポートするのではなく、国際交流ラウンジ等も含め地域の支援団体や住民等も積極的に巻き込んでいくことが重要ではないでしょうか。 ・外国ルーツのヤングケアラーの問題も深刻です（日本で育った子どもが、親の通訳を担う）。神奈川県ではヤングケアラー通訳支援事業があるようです。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援や、ヤングケアラー支援を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
808	基本施策 6	<p>「施策分野 2 多様な境遇にある子ども・子育て家庭への支援」「基本施策 6 困難を抱えやすい子ども・若者への支援施策の充実」の「主な事業・取組」に関するコメントです。「日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実」（p.122）について、本文中には【令和 5 年度実績】として、「日本語支援拠点施設入級者数（プレクラス参加人数）：374人 研修受講教員数：1,804人」とあります。現在、日本語支援拠点は市内に3カ所整備されていますが、市西部（旭、瀬谷、泉など）には設置されておらず、市西部に住む外国につながる児童は、横浜市西部や北部のプレクラスに通うことが困難な状況にあります。現行の日本語支援拠点におけるプレクラスに通う児童数を増加させることにとどまらず、日本語支援拠点の新たな整備について、市教育委員会との協議を進めていただくことを希望します。子どもにとって、身近に通える範囲に支援機関が存在していることが不可欠だからです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、日本語指導が必要な児童生徒への支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
809	基本施策6	基本施策6について。ヤングケアラーのこども・若者の「世帯全体を支援していく視点を持った支援体制の構築」が課題であるとされ、その充実が目標とされていますが、事業・取組としては子どもの支援が中心で、世帯への支援が乏しい印象を受けます。健康福祉局との政策との重なる部分もありますが、日常生活支援事業など親への支援が必要ではないでしょうか（制度のはざまが生じないような取り組みも必要であると思われる）。	参考	頂いたご意見につきましては、ヤングケアラー支援事業において、関係部局と連携しながら世帯全体の支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
810	基本施策6	平素より、様々な観点からご提案頂きありがとうございます。多くの課題があって大変かと思っておりますので、まずは、経済面や心身面など早急に支援が必要なお子様を優先にし、困難を抱えているお子様が、自分の意見を聞いてくれたり、心配してくれたりする大人が沢山いるという実感を味わうことが必要かと思っております。よろしくお願いたします。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
811	基本施策6	P121基本施策7教育相談の充実についてスクールカウンセラーに話したら学校に伝わってしまう気がして使えない。話さないとと言われても信用できないので、本当に話さないとそのことをきちんと伝えてほしい。スクールカウンセラーとの相性が合わなかったときの選択肢がほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、教育相談事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
812	基本施策6	基本施策6 目標・方向性(2):世帯全体を視野に入れた時に会社の理解も必要だと思えます。家庭の問題でしょと片付けられ会社には関係無いと思われがちのため。	参考	頂いたご意見は、こども・子育て支援や、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。
813	基本施策6	基本施策6 主な事業・取組のところに「寄り添い型生活支援事業」という記載があります。計画期間：令和7（2025）年度～令和11（2029）年度の素案に掲載いただいたのですから、この事業を計画期間中に縮小、削減することなく、計画期間中は必ず実施をお願いいたします。現在、子どもの貧困対策である「寄り添い型生活支援事業」を児童育成支援拠点事業にスライドさせるという、理解が難しい議論が横浜市行政内でされています。子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づき、横浜市の子どもの貧困対策を後進させることがないようにしてください。子どもの貧困対策としての「寄り添い型生活支援事業」、養育支援が必要な子どもたちの居場所として「児童育成支援拠点」この両方が必要です。対象としている、子どもたちの層がぜんぜん違います。目的も違います。本来、「寄り添い型生活支援事業」は各区に2～4カ所。「児童育成支援拠点」は小学校エリアに1カ所は必要です。児童相談所の一時保護所の利用が定員をはるかに超過している状況（11月：220/179）で、保護までに至らないようにするための施策も始めてください。	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
814	基本施策6	困難を抱える方の自尊心を傷つけない支援体制にすることが重要だと思います。私は子どもの時から学校や家族以外の助けを必要としていましたが、行政機関に頼ることは恥ずかしいと思っていました。大人になっていろいろなことに折り合いをつけられたからこそ、サポステ等を利用できるようになったので、もう少しカジュアルな利用が良かったです。	参考	頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
815	基本施策6	基本施策6について 不登校の子どもについては、居場所づくりなどの対策が記載されていますが、教育を受けるためにはあくまで学校に戻ることが前提になっているように感じます。「すべての子どものウェルビーイング」という観点からは、必ずしも学校に通わなくても教育を受ける権利が確保されるべきです。他県で実施されているように、フリースクールに通う子どもやその家庭への公的な補助も検討していただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
816	基本施策 6	基本施策 6 について。不登校が 30 万人を超えました。様々な原因があるとは思いますが、昔からの変わらない教育の根幹に限界がきています。大正デモクラシーで芽生えた学びやオルタナティブ教育への支援を横浜市が先んじて進めていくことによって、国を牽引する都市になります。教育こそ、全ての要です。教育推進都市になって頂きたいです。具体的には鎌倉市や東京都が始めた不登校支援を横浜市でも進めてください。更に、海外で多く取り入れられているオルタナティブ教育が日本国内にもあります。不登校を受け入れている実績もあり、公立校で不登校だった子供がその学校で輝いています。是非お願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
817	基本施策 6	基本施策 4、6 について、困難を抱える若者が増えている状況があり、横浜市の支援策は少ない。教育現場での対応は、限界となっており、もっと積極的な施策展開が、必要となっているのではないか。データや、指標など、もっと記載を充実させてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
818	基本施策 6	基本施策 6 について、様々な理由から困難を抱え不登校となった子どもとその家庭に、多様な選択肢が提供されることを期待します。不登校支援を主な目的とするフリースクールだけでなく、多様な教育の選択肢としてオルタナティブ教育を実践するフリースクールにも支援を強化すべきと考えます。鎌倉市や東京都のように、フリースクールへの支援強化をお願いいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
819	基本施策 6	基本施策 6 について 不登校児に対する居場所の不足を、本当に何とかしてほしいです。またどんな居場所があるのか、情報がなさすぎます。不登校児を抱える保護者が人づてに聞いたり、ネットで調べたり、そうやって発掘していかないと、まとまった情報が得られません。その上、どんな特色のある居場所なのかは、蓋を開けてみなくては分かりません。それ以外にも、不登校児を抱える保護者の負担、特に経済的負担に対して、横浜市は何の施策も打ち出していません。他の市区町村を見習って頂きたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
820	基本施策 6	基本施策 6 困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実について 不登校になっていしまう原因はいろいろだと思いますが、学校が辛い場所になってしまっている子も多く、その解決に向けた検討の内容を補足して欲しいです。不登校になった際の相談援助や居場所づくりも大事ですが、学校の改革的なことは計画に記されていないと思います。娘は中学生生活の半部分が、不登校でした。発達の問題を抱えてはいませんが、得意な事と苦手な事に極端な所があり、学校生活で消耗していました。周囲に合わせて無理を重ね、学校に行こうとすると体調が悪くなり、通えなくなりました。学校は自分の興味のない事や、やりたくない事も、やらなくてははいけないし、やらないと低い評価をつけられます。今の子どもたちは学校以外の居場所が少なく、学校での評価をすごく気にしています。その為、成績やクラスでのポジションが下がると自己肯定感も下がってしまい、自信を失ってしまいます。いろいろな個性の子が楽しく通える学校の環境づくりや、個性のある子を学校の中で受け入れる施策について、ご検討をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
821	基本施策 6	<p>基本施策6について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の息子がハートフルスペースを利用していますが、距離が遠く送迎のために親が仕事を休む必要があります。学区内にあると助かります。 ・学校内で別室登校もしており、支援員のみなさんに大変お世話になっていますが、午前中だけでなく一日中滞在できるようにしてほしいです。 ・教室でみんなと同じように学べない子どもたくさんいます。子どもの個性を尊重して、多様な学び方を選択できるようにしてほしい。 ・フリースクールに通うにも経済的理由で困難です。学費の補助を検討していただきたいです。 ・不登校の子の親は、とてもフルタイムでは働けません。近隣に子どもの居場所として複数の選択肢がほしいです。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
822	基本施策 6	<p>今回の内容は未来を生きる子どもたちのためにとても魅力的な施策だと思います。いま小4男子を育てていますが、2年生後半から1.5年不登校でした。今は元気に復学しています。ハートフルフレンドも活用させていただきました。ご支援と合わせて私もいろいろ学びました。そして、親が変わると子どもも変わりました。子育ては誰からも教わらない無免許運転のようなものです。お世話の仕方を知る学ぶ機会はたくさんありますが、子どもの育ち(発達)や子育て、親の在り方について学ぶ機会はありません。子どもの育ちを知っていれば子どもに起こっていることがわかり、ただただ不安になるようなことは減ると思います。実際、私がそうでした。困り事が起こってどうしていいかわからなくなる親が多いと思います。起こってからの対処や目先ではなく、子どもの未来を見据えた子どもとの関わり方を知る機会があるといいなと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
823	基本施策 6	<p>小学生・中学生の不登校が増えています。横浜市はハートフルスペース・ハートフルルームの設置を行っていて、受け入れをしていると認識しています。</p> <p>ハートフルルーム・ハートフルスペースの事業に対して民間委託の施設もあると聞きました。通いたい児童・生徒数が増える中ハートフルスペース・ハートフルルームの持つ役割も大きくなっていると予想しています。不登校事業の方々が安心して仕事ができるように職員の方に対しての待遇も確保して頂きたいと希望します。</p> <p>民間委託のよさを活かすためには、運営費が安定していることが必須と考えます。運営のために欠かせない人材確保ため運営のための委託料になります。</p> <p>運営団体にとって十分な委託料を予算として計上して頂くことを希望します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
824	基本施策 6	<p>基本施策 6・・・</p> <p>不登校やヤングケアラーの子どもたちの実態は個人情報といわれ地域ではみえません。まずは学校と連携して、行政の施策でしっかりフォローをお願いします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、ヤングケアラー支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
825	基本施策 6	不登校の子の居場所が中区にも欲しい	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
826	基本施策 6	青少年支援について； 引きこもり状態にある青年を自立する行政施策は圧倒的に少ないと思います。 中学生までに回復できなかった子どもたちは社会では放置されている感じです。 「こども家庭支援課」にも抛り所がありません。 青少年自立支援については、もう少し抜本的な寄木をたくさん地域に設定して欲しいと思います。 (小規模の窓口をたくさん)	参考	頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者の支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
827	基本施策 6	(「困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実」について) 生きやすい世の中になってほしい	参考	頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者の支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
828	基本施策 6	子どもの時にしか得られない体験を大いにしてほしい。そのための支援の充実	参考	頂いたご意見につきましては、体験活動の充実をを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
829	基本施策 6	学校の福祉的対応の拡充、地域の不登校・引きこもりの子ども達のための多様な支援サービス(ホームスクール支援含む)・居場所の拡充。	参考	頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業や、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
830	基本施策 6	学習障害の相談窓口の入り口を作って欲しい。 具体的に親がどう動いたらいいのかというアドバイスをどこの誰に話したら教えてもらえるのか、ネットを検索してもよく分からない。 結果、相談、診断が遅れ子供が苦しむ。 そんな事程度で、と言われたいような相談窓口が欲しい。横浜市の粗大ゴミシステムのような感じで質問に答えて行くと問い合わせ先が出てくるようなシステムだと使いやすい。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、療育と教育との連携強化等による学齢期の障害児支援の充実を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
831	基本施策 6	不登校の子どもが平日昼間にいても今日学校は？と聞かれない、学校、家以外の場所を増やして欲しい。 既存の建物の一室などを利用 図書館、ケアプラザ、市役所、区役所など	参考	頂いたご意見につきましては、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
832	基本施策 6	社会に出られない子ども・若者の相談先が、あまりにも少なく、各家庭に任せている状態です。 不登校、引きこもりの人数は増えるばかりで減りません。 そもそも学校に行けないのに、学校にしかいないスクールカウンセラーに相談しに行くのは、とても難儀ですし、仕組みが矛盾しています。 遠くのフリースクールではなく、近所のケアプラにまずは相談できる。など、気軽な相談窓口が必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者の支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、区役所こども家庭支援課ではこども本人からの相談や、妊娠期、乳幼児期から思春期までの子育てに関する相談窓口として、「こども家庭相談」を行っています。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
833	基本施策 6	<p>【基本施策 6】（1）悩みや課題の早期発見・早期支援につながる環境づくり →（意見）とても大切な取り組みだと思います。ただ「つなげる環境づくり」にはいくつかの「仕組み」（流れ・プロセス）が必要だと思います。悩みや課題に苦しんでいる方の多くは、地域や社会・行政に対して、マイナスの感情を持っていることが多く、警戒感を抱いています。そのような方に急いで「支援」をしようとするのと却って引きこもり状態を助長することにつながりかねません。</p> <p>「仕組み」としては、まずは①【理解する】その子や家族の置かれている背景を理解すること②【動く・出会う】その子と出会うチャンスを“さりげなく”“ごちゃまぜ”に作る③【寄り添う・居場所】その子と一緒に何かをして、多様性が尊重される居場所となるように寄り添うこと④【地域ぐるみ】やがてそこが地域から認知されること、が必要だと思います。</p> <p>ただこれらは、マニュアルを作って早急に成果を求めようとするのではなく、住民と行政・学校などが対話を繰り返し、一人一人が無理することなく自然につながりを紡いでいくという丁寧なプロセスが大切だと思います。</p> <p>詳しくは、今年度中に別途研究会から提言を行わせていただこうと考えていますので、よろしく願い致します。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
834	基本施策 6	<p>（提案） P12 基本施策 6 困難をかかえやすい子ども若者の支援施策の充実 性や身体・基本的人権を学ぶ機会として義務教育内での性教育の実施</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
835	基本施策 6	<p>基本施策 6 困難を抱えやすい こども・若者への支援策の充実 1. 主な事業・取組 ■ヤングケアラー支援事業 ・ヤングケアラーの支援も含め、身近な命が亡くなったあとの支援が欲しい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましてはヤングケアラー支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
836	基本施策 6	<p>基本施策 6 困難を抱えやすい こども・若者への支援策の充実 1. 主な事業・取組 ■不登校児童生徒支援事業 ・不登校の居場所づくりについて。学校に別室があるが、学校によって別室の質が違う印象があるようだ。どの学校に行っても同じ居場所がほしい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、不登校児童生徒支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
837	基本施策 6	<p>基本施策 6 ・外国につながるこどもたちへの支援事業 外国籍の子が通う小学校に親子をサポートする制度の必要性を実感しています。外国籍の親子をサポートする人、また同じ国籍同士などコミュニティの仲間づくりができる場で仲間づくりの場を作って欲しいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、日本語指導が必要な児童生徒への支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
838	基本施策 6	<p>基本施策 6 青少年相談センター事業・地域ユースプラザ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒は、全国でも横浜でも増えています。現時点では、不登校対策は主には教育委員会の計画（教育振興基本計画）に組み込まれ、校内ハートフルの広がり等ありますが、学校以外での取り組みも重要と感じています。地域において①不登校への理解を広げること②民間の取組み（居場所、親の会）を支援、周知していくこと、これらは現時点でもできるのではないのでしょうか。教育委員会と連携しながら、青少年相談センターやユースプラザが実施団体として、①②に取り組んでいただきたいです。 ・本年度から「子ども・子育て支援制度」における「地域子ども・子育て支援事業」における13事業から16事業に増えた中に「児童育成支援拠点事業」としての方向性はどのように位置づけられているのでしょうか？ 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、児童育成支援拠点事業の実施については、検討をしていきます。</p>
839	基本施策 6	<p>基本施策 6 教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの人数が足りているのか疑問です。初めての相談予約が取りづらい状況がおきています。継続的な相談も大切で、教職員不足が叫ばれる中、現状まずはその待遇面への配慮が最優先であり難しいとは思いますがカウンセラー人数を増やして対応していただきたいです。相談援助にはやはりカウンセラーとの相性は重要であり選択肢の保障というのがこどものそして保護者に対する相談の心理的ハードルを下げるが最低条件かとも思われます。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
840	基本施策 6	<p>基本施策 6 地域等と連携したいじめ等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜子ども会議」のあり方が、どのようになるのか気になります。発表形式から意見交換へと、対話重視の方向性は大切ですが、基となる「横浜子ども・子育て基本条例」に「子どもの権利」の文言が抜けています。子どもが権利を発揮できる「環境づくり」を、大人と子どもがつながって考えていくことを目指してほしいです。 ・「社会総がかり」という主体はどこが牽引されていくイメージでしょうか？ 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、地域等と連携したいじめ等の防止を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
841	基本施策 6	<p>基本施策 6 外国につながるこどもたちへの支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍であっても、市民として意見を言ってもいいということ、外国ルーツの親、こどもにも伝えていくためにも、やさしい日本語、多言語での情報発信を充実させてほしい。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、在住外国人への支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>
842	基本施策 6	<p>基本施策 6 外国につながるこどもたちへの支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で国際交流ラウンジは全区になく、そもそも一般的な（大人向けの）日本語教室も不足している状況。国際局やYOKE、区ではこども家庭支援課だけではなく地域振興課等多文化共生を管轄する部署との連携をお願いしたい。 ・外国にルーツのあるファミリーには、産前産後から就園、就学、進学などあらゆる場面で支援が必要なおこと多いので、行政窓口のやさしい日本語あるいは多言語対応や、外国ルーツの住民の背景を十分に理解した上での対応をお願いしたい。外国ルーツの親の居場所として、拠点やひろばあるいは保育園など既存の施設が対応できるよう研修や啓発を積極的に行ってほしい。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
843	基本施策6	基本施策6 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実 ・現在、日本語支援拠点は3か所しかない（西部には未設置）ため、集中的な支援が受けたくとも受けられない児童生徒がいる。対象は子どもなので、身近な場所にあってほしいので、少なくとも西部地区への設置は必須ではないか？そのほか、例えば図書館やケアプラザ、地域子育て支援拠点や、地区センターなど地域の既存の施設で開催できないだろうか。あるいは移動支援などがあると、つながりやすいのでは。	参考	頂いたご意見につきましては、日本語指導が必要な児童生徒への支援など、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
844	基本施策6	（日本での子育てで困っていること） スポーツや美術の教室も少ないし、既存の教室は日本語を知らない子どもにはあまり適しておらず、日本語を習い始めたばかりで楽しく参加することもできない。中区に日本語初心者や子ども向けのアクティビティやプログラムを増やしてほしい。さまざまなアクティビティ、書籍、ウェブサイトなど、電子または紙での子育て情報を定期的に発信することはできますか？プログラムを増やしてほしい	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
845	基本施策6	（日本での子育てで困っていること）進路の相談	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
846	基本施策6	（日本での子育てで困っていること）進学試験	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
847	基本施策6	（日本での子育てで困っていること） 多言語化 （よくなってほしいこと） 相談窓口を増やしてほしい	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
848	基本施策6	（よくなってほしいこと） 入学の時の翻訳サービス	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
849	基本施策6	（日本での子育てで困っていること） 子どもたちの学習上の問題 （子育てで心配なこと） 将来子どもたちが大きくなったら、勉強を教えられなくなります。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
850	基本施策6	（日本での子育てで困っていること） 私は日本語でうまくコミュニケーションがとれないし、子供の学校の先生とのコミュニケーションにプレッシャーを感じている。 （よくなってほしいこと） 学校に中国語を話す教師がいることを望む。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
851	基本施策 6	(日本での子育てで困っていること) 文化の違い	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
852	基本施策 6	(日本での子育てで困っていること) 教育及び医療 (よくなってほしいこと) 現在の支援サービスは必要としている人たちに届いていない。多くの人は横浜市のサービスに気づいていない。 (意見やコメント) 日本人と同じように、外国人が教育や医療を受けられるようにしてください！	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
853	基本施策 6	(困っていること) 医療現場において重要な情報を伝えるのに高等レベルの日本語が必要になるので、英語でのサポートが必要。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
854	基本施策 6	(困っていること) 自分の子供の発話が遅かったのだが、私及び子供を英語・ロシア語でサポートしてくれる地域の発話専門医を探すことができなかった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
855	基本施策 6	(困っていること) 私の子供は幼稚園で日本語を話したり理解するのに苦労していますが、住んでいる地域で小さな子供向け無料もしくは支援のある日本語クラスがない。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
856	基本施策 6	(困っていること) 幼稚園や小学校の入学書類の記入が、翻訳がないので、難しい。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
857	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 重要な書類を、異なる言語で、ペーパーでのフォーマット、またはQRコードでアクセスできるオンラインフォーマットで提供する。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
858	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 銀行において、銀行員と外国人顧客のコミュニケーションを通訳する人を呼ぶ/電話できるサービスがあれば助かる。同じようなサービスが、病院やクリニックなどであれば良い。インフルエンザ予防接種や風邪でクリニックに行くのは簡単だが、深刻な医療検査結果や治療法を決める際、基礎的または日常会話レベルの日本語では十分ではない。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
859	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 私は小学校のALTとして働いていたので、日本の学校がどのようなものであるか、重要な行事や一般的な学校文化については知っている。これらの知識があったことで、自分の子供が学校に通い始めた時にどうすべきかがわかったので、自分はとてもラッキーだと思っている。これを知らない外国人ファミリーにとって、全く状況がわからないので、子供が日本の学校に通学することが如何に大変で不安なことか容易に想像がつく。学校のシステム、日々の活動、学校から求められていること、重要な文化的意味合いなどを説明してくれるオンラインの支援があれば非常に役立つだろう。私の子供が幼稚園に通い始めた時、私の疑問に思ったことは、日本の育児ブログを読むことで解決した。基礎的な日本語しか話さない外国人家族にとってはこれらのリソースに辿り着けないだろう。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
860	基本施策 6	(困っていること) 日本語をあまり知らないので学校でのコミュニケーションが難しい。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
861	基本施策 6	(困っていること) 多くの紙の書類を翻訳するのに、グーグル翻訳やDeepLを使用すると非常に時間がかかる。フォームやニュースレターがEmailやWebsiteのフォーマットであれば、ウェブブラウザの翻訳機能を使えるので、ずっと簡単に時間短縮できるだろう。	参考	頂いたご意見につきましては、多文化共生施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
862	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 午後・夕方に、大人・子供向けの無料の日本語レッスン（オンライン・対面）がもっとあれば良い。	参考	頂いたご意見につきましては、多文化共生施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
863	基本施策 6	(困っていること) 学校選び (よくなってほしいこと) 横浜での子育てについて、そして日本語をもっと学びたい	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
864	基本施策 6	(困っていること) 一番の悩みは医療についてです。日本の医療は少し遅れていると感じている。ブラジルでは赤ちゃんが12か月になるまで毎月、4歳になるまで半年に一度診断があるが、日本では6か月と一歳半検診の2回だけ。英語が上手な医師を見つけるのは非常に難しいので、重要な件での診察は東京の聖路可国際病院（St.Luke）に通っている。みなとみらいにある国際病院、けいゆう病院では非常にひどい経験がある。英語を話せるのは医師のみで、規則は非常に複雑で、誰も適切に説明してくれなかった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
865	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 日本に住んで2年になるが、横浜からの支援を一度も受けたことがない。支援があることについては一部知ってはいるが、言葉の壁がある（日本語を勉強したいが赤ちゃんがいて勉強することはほぼ不可能。）のと、プライベートな支援を受けているからである。横浜市からどのように支援を受けられるのか説明を受けたことがない。英語及び他言語でのレターやウェブサイトがあれば良いかも。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
866	基本施策 6	(困っていること) 書類関連が難しい。学校からの連絡が読めない、理解できない。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
867	基本施策 6	(困っていること) 第一の問題は、子供のプレイエリア・医療機関・学校でのコミュニケーション・学校の先生との懇談における、言葉の壁。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
868	基本施策 6	(よくなってほしいこと) 英語での情報提供；デイケアや幼稚園は、外国人の親を教育システムにおいてサポートするために、少なくとも一人は英語を話す先生がいるべきだ。入園時、提出書類は英語で、ペーパーもしくはオンラインでも可能にすべき。日々の学校からの連絡は、多くの紙での手紙ではなくオンラインにすべき。そのほうが外国人の親にとって理解しやすいと思う。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
869	基本施策 6	(意見やコメント) 横浜市は子育てするのに良い場所だと思う。しかしあともう少しの配慮があれば外国人の親が日本で暮らし、子育てをするのがよりやりやすくなるだろう。 横浜市はさらに子供にやさしい街になるポテンシャルがあると信じている	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
870	基本施策 6	(困っていること) ほとんどの保育園・学校・公文書が日本語で、日本の文化的規範のもとにあるので、私の妻（日本人）に負担となった。役所や学校の先生は、世界の他の地域では日本とは違っているということ、彼ら（日本人）にとって自然と思えることは（外国人の親には）説明する必要があることをわかっていない。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
871	基本施策 6	(よくなってほしいこと) もっと多言語でのサポートが必要。Suku-ruアプリは自動翻訳された英語（good!）でメッセージを送ってくれるが、添付ファイルはいつも日本語である。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
872	基本施策 7	父子家庭が生活しやすい、情報を得られるようにしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策 7 におけるひとり親家庭の自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
873	基本施策 7	基本施策 7 DV の定義を未成年の子供による親への暴力も含めてください。家庭内での肉体的暴力、精神的苦痛を伴う逃げ場のない状況に変わりはありません。児童相談所や警察の青少年生活課は子供への虐待しか動けません。被害者が親である場合、彼等はほとんど機能せず、親の保護を目的に子供を物理的に離すことに消極的であるだけでなく、被害者である親への支援も選択肢がないのが現状です。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
874	基本施策 7	やむを得ない状況での別居に関しての支援 パートナーとのやむを得ない状況（親の介護による長期帰省）によって ひとりで3人の育児と仕事に今後なりそうです。そういった際でも地域からのひとり親としての支援を受けられると大変ありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
875	基本施策 7	市としてひとり親交流や相談の事業があり、興味があるものもあるが、小さな子どもがいる中で、会場まで出向くことが困難だと感じたことがある。区単位での開催や、オンラインを利用した取組など、充実させてほしい。また、共同親権が可能となる民法の改正案が成立した。同居親や子どもの心配事解消に向けても取り組んでほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策 7 におけるひとり親家庭の自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
876	基本施策 7	基本施策 7 主にひとり親世帯を対象とした、フードパントリー活動をしています。フードロス解消への位置づけと思われがちですが、貧困対策としての食支援（時には日用品や学用品なども）の必要性について知っていただきたいです。食品の無料提供が貧困の解決になるとは思っていませんが、日々の様子を見守り、つながり続けるツールの一つになっています。時々「行政の職員さんから紹介された」とくる人もいます。ただ支援につなげるだけでなく、必要に応じた連携をお願いします。また、18歳になると様々なサポートがなくなってしまうという不安な声もよく聞きます。青年期への継続的な支援をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、ひとり親家庭の自立支援・食支援（フードサポート事業）や、困難を抱えやすい子ども・若者への支援施策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
877	基本施策 7	基本施策 7 ひとり親家庭の自立支援/DV 被害者や困難な問題を抱える女性への支援 この実績があまりにも少なすぎます。支援内容も少なすぎで、ニーズに合致していません。就労支援も大切なため、現状を拡充させるよう、特に「非正規雇用」→「正規雇用」に推し進める対策をお願いいたします。その他、貧困線は下回っていないものの、ギリギリのところで生活をしているひとり親世帯に対しての支援がありません。物価高、燃料費高騰など生活が苦しくなるばかりです。行政と地元NPO、フードバンクが連携をして、「食料品配達」等の取り組みを作ってください。段ボールに詰めて食料品を配達するのではなく、コストはかかりますが希望する世帯に「配達」をする方式です。この「配達」が、ひとり親世帯との「繋がり」になり、配達の際に様子を聞くことで「安心感」になります。アウトリーチとしての機能も果たします。この「安心」が不安定な状況にあるミドルリスク層をハイリスクにしないための予防支援が可能になります。	参考	頂いたご意見につきましては、基本施策 7 におけるひとり親家庭の自立支援及びひとり親家庭の食支援（フードサポート事業）を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
878	基本施策 7	基本施策 7 ひとり親家庭の自立支援/DV 被害者や困難な問題を抱える女性への支援 就労支援をする中に、ひとり親世帯の不登校の子どもたちの居場所づくりも併せて取り組みを作ってください。全国で30万人を超える子どもたちが不登校の状態にあり、横浜市も例外ではなく多くの子どもたちが不登校の状態にあります。近隣に頼れる親族がいる、夫婦が揃っていれば夫婦が協力することで、子どもが不登校になっても対応をすることができます。しかし、ひとり親の場合は、日々の仕事に追われている方も多く、地域に頼れる人が少ない状況にあります。子どもが不登校になってしまうと、仕事を休むことができないため、子どもを家に置いて仕事に行かなければなりません。児童相談所や区役所でも曖昧な基準がなんとなくあるだけですが、何歳からの家での一人の留守番は虐待（ネグレクト）にあたらないのか？という問題にもなります。ひとり親の方が安心して働けるように、就労支援の一環で不登校の子どもたちの居場所を公助で設置していただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、ひとり親家庭の自立支援と、家や学校以外で、安心して過ごせる居場所の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
879	基本施策 7	基本施策 7 ひとり親世帯が親子で安心して利用できる居場所を増やしてください。地域の有効なセーフティネットになっている民間の子ども食堂や居場所、フードパントリーへの支援を厚くしていただきたい。	参考	頂いたご意見につきましては、ひとり親家庭の自立支援や、子ども食堂等支援事業などを進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
880	基本施策 7	多くの困難を抱える家庭は行政による短期で成果を求める支援についていけず、行政を信頼できなくなっています。改善にはより長期的な支援と継続的の伴走支援が必要と考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、多様な境遇にある子ども・子育て家庭への支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
881	基本施策 7	基本施策 7・・・ ひとり家庭の方が必要としている特に経済的な支援を積極的に進めてください。	参考	頂いたご意見につきましては、ひとり親家庭の自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
882	基本施策 7	日常生活支援事業(ヘルパー事業) ・ひとり親家庭支援は経済的・就労支援と両輪で日常的な支援施策が欠かせません。この事業の利用があまりにも少なく、周知が届かず使いにくいのではないのでしょうか。利用実績の目標値アップを望みます	参考	頂いたご意見につきましては、おけるひとり親家庭の自立支援及び日常生活支援事業(ヘルパー事業)を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
883	基本施策 8	施策8について ①要保護児童に認定されなければ必要な支援が受けにくい現状が全国的にあり、横浜市に限らず、要保護児童予備軍が相当数いる現状であると思う。今回のプランで地域福祉のkey wordはアーリーヘルプであり、その実行のためには、そういった家庭のこどもたちをいち早く救いあげる体制を作ることが不可欠である。地域福祉の要になる要対協の動きが、見えないだけかもしれないが、負託に込んでいるようには思えず、より活性化に向けた見直しをプランに盛り込んでもらいたい。②都道府県推進計画でも検討している、里親支援センター設立に向けたロードマップをこのプランにも載せてもらいたい。	参考	頂いたご意見につきましては、虐待に至る前の予防的観点から、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。また、里親支援センターの具体的な内容についてですが、今年度見直しを行う横浜市社会的養育推進計画において、具体的な取組を記載しております。
884	基本施策 8	基本施策 8 について。里親等の支援体制の充実や、施設等退所者の支援の充実に向けて取り組んでいくとともに、支援の専門家にかぎらず、日頃子どもや若者に関わる人をはじめ、社会全体が虐待を受けた子どもたちの生きづらさや生活の困難を理解することが不可欠であると思います。そのため、子どもや若者に関わる人が、そういったことを知ることができるような取り組み（例えば基本施策 5 の「市民の障害理解の促進」のようなもの）も必要だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、里親等支援体制の充実や社会的養育経験者等に対する自立支援を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
885	基本施策 8	基本施策 8 重点テーマIIの「ゆとり」が関係すると思います。時間・経済にゆとりがないと心が落ち着かないと思います。またSNSの情報などをみて私はダメな親だと落ち込んだり、私だけ何で、などマイナスな部分だけみて弱者にあたる。ネット頼りも問題かと。自分で判断できる能力をつけたいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
886	基本施策 8	基本施策 8 児童虐待防止対策と社会的養育の推進 要保護児童等の支援対象児童等見守り強化事業が子ども家庭庁からメニューとしてだされています。「支援対象児童等見守り強化事業」こちらについては、横浜市は実施していますでしょうか？実施していないようでしたら、実施しない理由を回答願います。昨今の虐待対応件数、通告、通報、相談件数が全国的に増えており、横浜市も例外ではありません。もはや、横浜市の児童相談所、各区子ども家庭支援課だけでは対応ができません。児童家庭支援センターの予算も十分ではないため、上記事業で求められていることまでは手が回らない状況です。これ以上、要保護児童を増やさないため、一時保護の定員超過を常態化しないためには、こういった事業が必要と思いますが、見込み・確保方策にも記載がありません。今の横浜市の現状に必要な取り組みになりますので、令和 7（2025）年度～令和11（2029）年度の計画に盛り込んでください。	参考	本市では、「支援対象児童等見守り強化事業」については現在実施されていませんが、これまでも「養育支援家庭訪問事業」などによるアウトリーチ支援や、「寄り添い型生活支援事業」の実施などの生活支援を行ってきました。また、児童家庭支援センターでは相談支援事業の一環として必要に応じて訪問相談を実施しています。いただいたご意見につきましては、今後の児童虐待防止対策の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
887	基本施策 8	基本施策 8 児童虐待防止対策と社会的養育の推進 こちらに記載されていることは、社会的養育ではなく「社会的養護」を中心とした話です。神奈川県の子育て支援推進計画に記載がある、社会的養育の定義をご確認いただき、本来的な「社会的養育の推進」の記載に修正いただきたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、社会的養育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、社会的養育の推進にあたっては、わくわくプランにも記載し、今年度見直しを行う横浜市社会的養育推進計画において詳細に記述しております。
888	基本施策 8	基本施策8 児童虐待防止対策と社会的養育の推進について 現在養育里親として、長期委託、一時保護を行っており、まずは一時保護養育についての改善、ご提案をさせていただきます。 ・学校送迎の外部委託を可能にしてほしい。児童家庭支援センターなどにその役目を担ってほしい。日によって下校時間が違い、仕事をしている人はそれに対応することが難しく、気持ちはあっても委託を受けられない。また委託できていても、その負担感は大きい。 ・写真撮影の許可をしてほしい。（思い出として貴重） ・県外への外出許可（近隣の東京に出かけられないのはおかしい） ・レスパイトを利用できるようにしてほしい。一時保護でも里親は疲弊する。通院や親の世話に行ける時間、休息時間が欲しい。 ・一時保護所での学習支援が不十分なようで、保護所から里親委託を受けて通学再開しても、授業に全くついていけないとのことで、行き渋りを見せるようになった。学校からは、個別のサポートはできない。との回答だった。 ・委託解除後に、その子どもがどうなったかを知る権利が欲しい。個人情報保護の壁で、それを知らされない。	参考	頂いたご意見につきましては、里親委託の促進や委託後の支援の充実等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
889	基本施策 8	基本施策8 一貫した社会的養護体制の充実について 養育里親をしている者ですが、精神疾患のある実親の不安定な判断に、児童、児相も里親も振り回され、一度委託決定した児童の委託取消しになったことがあります。親権重視、家族の再構築を目指す制度の限界や弊害を感じています。そういった委託取消しになった後の里親の心情はなかなか厳しく、ケアも必要です。	参考	頂いたご意見につきましては、里親委託の促進や委託後の支援の充実等を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
890	基本施策 8	社会的養育は、施設と里親・ファミリーホームに大別されているが、在宅支援を加えて3本柱にするべき。保護される前から社会による養育を始めなくては、虐待を無くせない。具体的には、実親に代わる誰かが、子どもと関係性を築き、親子関係、社会関係に介入し、大人になるまで継続して支えるようにする公的な仕組みがあるべき。いわゆる「相談」ではなく、子ども直接支援の専門性が求められるので、新たに在宅支援職を創設することを検討してはどうか。フランスのエデュケーター実践は参考になる。	参考	頂いたご意見につきましては、社会的養育を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
891	基本施策 8	子どもの権利条例の制定を望みます。保護者だけでなく、子どもにかかわるあらゆる人が子どもの人権を尊重する姿勢を持ち、社会全体で人権意識を高めていく必要があると感じます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
892	基本施策 8	(地域子育て支援拠点利用者や職員との意見交換での気づいた点) 社会的養育に関するとくに里親家庭の利用が法人運営のとくに子育て拠点などに増えてきていることから施策上の柱によるそれぞれへの提示の仕方は理解しつつも、計画上では相互の連携が伺える表現が随所にあると、こども計画自体の一体感、包括的推進が伝わると感じ、そのあたりの創意工夫を求めたいと感じたことです。	参考	頂いたご意見につきましては、里親支援体制の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、里親支援の取組については、今年度見直しを行う横浜市社会的養育推進計画において、詳細を記載しております。
893	基本施策 8	基本施策 8 児童虐待防止対策と社会的養育の推進 1. 里親委託の推進 ・里親センターができて何がどう変わっているのか？社会的養護はどう変わっていくのか？見えづらい。里親さんにも意見を聞き進めて行けると良い。 ・里親をしている人に地域子育て支援拠点の活用の周知が必要 ・妊娠期支援をしている子育て支援拠点での活動から里親活動の周知を伝える必要性も感じている	参考	頂いたご意見につきましては、里親支援体制の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。なお、里親支援の取組については、今年度見直しを行う横浜市社会的養育推進計画において、詳細を記載しております。
894	基本施策 8	基本施策 8 ・こどもの意見を聴く取組の推進 こどもの虐待について、こどもの声を聞くことが最重要ですが、子ども自身が虐待と気づいていなかったり、親や虐待者をかばうことも多いため見極めが難しい所と思いますが、公の声を聴く取り組みに限らず、さまざまなこどもの居場所や遊び場などでの声を大切に取組んでほしいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの意見を聴く取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
895	基本施策 8	(よくなってほしいこと) 価値観や規範を各学校で伝え、その価値観が現代社会でも通用するかどうかを話し合う。規範の多くは、それぞれの家庭でフルタイムで働く親は1人だけで、その1人が父親であるという前提に基づいています！これは2024年には当てはまらない！	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
896	基本施策 9	保育士の採用、定着に課題を抱える園への支援について。私自身保育士、看護師の資格を持っていて仕事をしたいと考えているものの1人です。しかし、子どもが小さく、子どもとの時間が欲しいために仕事はせずにいます。子どもを連れて保育園で仕事をするのが可能だったらしたいと思っています。仕事はしたいけど、子どもとも一緒にいたいと考えている人がどのくらいいるのでしょうか？子ども同伴で保育園で仕事ができればいいなと思って意見しました。	参考	頂いたご意見につきましては、保育・幼児教育を担う人材の確保を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
897	基本施策 9	性犯罪抑止のため、高齢者のボランティア等に公園の見守り等パトロールをお願いしたい。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心なまちに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
898	基本施策 9	瀬谷図書館に乳幼児が過ごしやすい場所の設置希望(授乳室、裸足で過ごせて読み聞かせができる場)	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
899	基本施策 9	第9について、横浜市は図書館が不便な場所にあり通にくい。(子供だけではいけない)学校併設の市民図書館は小さいので、もっと拡大および新刊を増やしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
900	基本施策 9	学童期において子供を預かる設備、制度の充実もそうですが、本当は、親ももっと子供といたいのです。仕事もしたいけど、子供ともいたいのです。私は、子供を預けなくてすむように、正社員における時短制度、育休制度を充実してほしいです。正社員をやめて、アルバイトで短い時間だけ働くお母さんは多いです。毎日早く帰れば、仕事をやめなくてすみます。現状の育休は産後の小さいときに年単位であります。小学生の間は、有給休暇のように、日単位で取得できれば助かります。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
901	基本施策 9	「子育て環境が整っていることを理由に、横浜に住み続けたいと考える子育て世帯等の割合」について。例えば、高校生の学費ですが、東京都から近隣の神奈川(横浜/川崎 含む)にある私立高校へ進学する場合、都内にある高校に進学するケースと補助に差がありません。一方、神奈川県から東京都へ進学する場合は、なぜか補助がありません。他にも東京都と比較すると似たようなケースは多々あります。複数の子育てをしている家庭では、都内に引っ越しをする十分な動機になると思います。市政の範囲ではないということもあるでしょうが、電車で数分の居住でまるで違うというのはやはり考慮、検討する必要がある内容だと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育て家庭の経済的負担感の軽減についての検討を行う上で、今後の参考にさせていただきます。
902	基本施策 9	結婚率の向上、共働き夫婦でも安心して子育てができる環境が整えば、出生率も上がり、働きながらも子育てしやすい横浜市になると思います。 ご検討のほど、よろしくお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、結婚・妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」のための環境づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
903	基本施策 9	基本施策 9「社会全体でこども・若者を大切に作る地域づくりの推進」に関わってくるかと思いますが、できれば高齢者の方々に、赤ちゃんや子どもをもう少し寛大な目で見守っていただけると嬉しいなと思うことがあります。親がいくら気をつけていても、バスなどの公共機関で赤ちゃんが泣いてしまったり、幼児や小学生が公園で少し大きな声を出してしまったりするのは避けられない場合も多いかと思います（というより、子どもの育ちという面では、それも必要不可欠な部分かと思います）。高齢者の方々のなかには、ごく一部ではありますが、幼稚園や保育園の存在を極端に嫌がったり、公園や遊び場の子どもたちの声に過剰にクレームを入れるなど、「社会全体で子育てをする」という視点がない方もいらっしゃる気があります。たとえばですが、「『社会全体で子育てをする』という考え方を高齢者の方々に伝えるような啓蒙活動をする」「高齢者の方々からクレームなどが入っても、すぐにその意見をとりいれるのではなく、子どもたち自身を含め、幅広い年代や立場の人たちの意見を聞くようにする」などもしていただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。	参考	頂いたご意見は、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で参考にさせていただきます。
904	基本施策 9	市内での多くの小中学校における教室不足対応についてですが、児童数の増加予測が困難なことは理解していますが、最近あまりに予測精度が低すぎると思います。多くの学校で校庭を狭めて教室を増築しています。校庭が狭くなることについて、生徒の思いを聴いてあげてください。入学してから、何回も校舎で工事が行われて活動が制限されてしまうことについても、生徒の思いを聴いてあげてください。学校の主役は生徒です。学区を適切に見直して、増築に頼らずに教室数のバランスをとって下さい。学区の変更に異を唱える保護者もいると思いますが、少数派です。是非、関係者に決を取ってでも、学区の柔軟な見直しを行って下さい。工事ばかりで、校庭もどんどん狭くなっていく6年間だった、なんてネガティブな気持ちで卒業していく生徒が何人もいます。生徒の思いを聴いてあげてください。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
905	基本施策 9	学校の通学路が狭いです。歩道が狭くて、すれ違うのもぶつかりそうになります。雨の日は傘をさすので家の壁やマンションの生垣、電柱などにぶつかりながら、傘をたたみながら通ります。もう少し広いといいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こどもの交通安全対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
906	基本施策 9	9について 男性の育児休暇取得率の目標ですが、日本は先進国の中でもかなり低水準です。目標をもっと高く掲げるべきと思いました。80%くらい。	参考	頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
907	基本施策 9	交差点に鏡を付けて欲しい場所が3箇所あります。土木事務所に連絡して欲しいです。	参考	頂いたご要望につきましては、各区の土木事務所にご連絡ください。
908	基本施策 9	20年前に仕事をしていた所では、産休育児時短を取得した常勤がいました。子育てにより休んだり、仕事の時に体調が悪く休んでいることがありました。非常勤は、自分の方が仕事をしているのに常勤の方が給料が良いと憤慨していました。それを長い期間続けて聞いていた私は疲れました。自分が出産する時はその疲れと産休取得するほど仕事ができる能力が無かったので辞めました。仕事をしているみんなが納得するのは難しいけれど、みんなにも目に見えるメリットがなければ憤りを感じるのかなと思いました。来月仕事先に育児時短利用の職員が異動してきます。20年前のようなことにならないといいなと思っています。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
909	基本施策 9	子育てしやすい自治体では「歩道など交通安全に配慮した道路が整備されている」「職住接近が可能である」「病院や診療所が多い」「子ども向けの体育・文化活動が盛ん」などインフラの充実ぶりや「防犯対策が整っている」「治安がよい」ことが特徴としてあがる。横浜市は坂道が多く、歩道も狭い。子どもを歩かせるのに不安なところが多くみられる。子育て世代が住む場所として選ばれる街づくりをすすめてもらいたい。敬老パスのように子育て世代向けの支援があると良い。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
910	基本施策 9	日頃から改善を望むことで計画から漏れていることがあります。それは、子供達が安全に通行できる歩道の整備です。特に古くからの住宅地や住宅地が拡大する準工業地域では、歩道がない又は極端に狭い印象を強く受けます。その道が通学路にも指定されており、毎日の生活で安全が確保できていない状況です。横浜市内では、小学生以下の子供が一人で歩いたり自転車に乗ったりできる道路ではないところが多いのではないのでしょうか。今回の計画では、これまで不足していたソフト面の充実を図っており大変よい方針であると感じましたが、ソフト面は民間でもできることがあるのに対して、ハード面である都市計画は自治体にしかできません。安全確保は生活するうえで最低限必要なものです。ポール遊びができるような公園整備なども含め、子供達が活き活きと安全に過ごせる観点を都市計画に盛り込んでいただきたいです。みなとみらいやセンター北、南のような新しい街だけではなく、古くからの街においても子供達が安全に生活できる歩道整備の推進を強く望みます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、市の都市計画に関する基本的方針である都市計画マスタープランに基づく取組を進める上においても、参考にさせていただきます。
911	基本施策 9	基本施策 9「社会全体でこども・若者を大切にする地域づくりの推進」項目に関して 小学校の旗振り、集団登校を保護者から地域の方へ移管をお願いします。小学校の地区による毎日の集団登校への見守り、ほぼ毎月回ってくる旗振りはとても負担です。お金を払ってでもできる人にやっていただきたいです。ぜひお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、地域防犯活動支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
912	基本施策 9	横浜市全体としてトイレのバリアフリー化が進んでないと実感することが多いです。トイレはベビーカーも一緒に入れるサイズでないと子連れでお出かけが難しいです。多目的トイレも使いますが、障害のある方など他にも必要な方はいると思うので、トイレそもそもの個室の大きさを広げて貰えたら嬉しいです。また、相鉄線の西谷駅は片方面にしかエレベーターがなく、反対の出口に出ることが出来ない、非常に使いにくい駅です。反対側にエレベーターを設置して欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
913	基本施策 9	●●に住んでいますので、他の地域のことはよくわからないのですが、駅前開発に期待していましたが、新しくできたビルには老人ホームや高齢者向けのスーパーなどが入り、子育てに良いような施設、例えば図書館などはできませんでした。●●に住んでいると図書館は移動図書館や隣町まで行かないとないので、図書館ができなかったことにはとてもガッカリしました。地区センター単体などで保管している図書を借りたりもできますが、横浜市や川崎市とも提携している図書館とでは、蔵書数があまりに違い過ぎます。また●●公園内のプールも老朽化で閉鎖されてしまったままです。●●だけかもしれませんが、公共の子育て施設、子供向け施設にはあまり気もお金も使われていないように思えます。おそらく横浜でも横浜駅周辺や市庁舎がある周辺などの大きな施設が多くある場所はそういう施設が充実しているのかもしれませんが、そうだとすると地域格差が大きいのにも思います。●●はそれまでの小さな工場や企業系の建物が住宅地に変わり、子供の数も増えてきています。早急に子供向けの施設なども整備したり作っていただきたいと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
914	基本施策 9	共働き世帯の増加により、子育て家庭と地域社会との希薄化が顕著です。社会で子育て世帯を助け、見守ろうとしても、両親が地域社会と関わりを持たないせいか（むしろ、雑務を負わされることを恐れ関わらないようにしている節も見受けられます）子供は地域の人を認識しているのだろうか、と思われる時があります。日々の仕事で忙しく、休日は自分たちのために時間を使いたい、と共働き世帯が思うのは当たり前だと思います。けれど、それでは施設や仕組みを通してしか社会は子供たちを助ける事が出来ないのでは？と思うのです。私は本当に助けになる社会は地域の人たちとの日常、関わりにある気がしてなりません。地域の方々の中には色々な知恵や考えがあります。癖のある人と触れ合うことで、将来の対人スキルに柔軟性が出るでしょう。自分を取り巻く世界が子供や家族だけではなく視野を広げられると思うのです。旧時代な考え方もかもしれませんが、地域社会との関わりの一助となる活動も是非視野に入れて欲しいと思います（例えば、地域清掃に年何度か参加したことに簡単な感謝状を出せば、ボランティア活動の証明書になり、小～高校までの子どもの内申に使えます）。	参考	頂いたご意見は、こども・子育て支援や、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか社会」に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
915	基本施策 9	<p>基本政策 9「こどもの交通安全対策の推進」について 依然として通学路に危険な箇所が多い。横浜市として子供の命を守ることに本気度が感じられない。PTAが旗振りなどを行っているが、共働きの急増によって人手が足りていない。</p> <p>■対策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児の移動経路に車止め等を設置したように、交差点の車止め設置、スクールゾーンを登下校の時間帯に車両侵入禁止にする ・スクールゾーン対策委員会で声が上がった箇所については直ちに対策をする。予算を優先的に分配する。 ・PTA任せにせず、市から学校に対してシルバー人材センターや学援隊の利用を周知し、保護者だけでなく社会全体で子どもの命を守る仕組みを作る。学校が多忙であれば市が率先して仕組み作りをする。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援や、こどもの交通安全対策を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
916	基本施策 9	<p>教育上重要な公立図書館を充実させてほしい。山内図書館や中央図書館を利用していますが、建物が古すぎて暗いです。また蔵書が少なすぎると感じます。よく読まれる汚損のある蔵書は取り替えてほしい。今は大和市のシリウスまで行くことが多いです。予約本の受け取り、貸し出しや返却業務は自動化することで効率化を進め蔵書の充実に充てていただきたいです。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
917	基本施策 9	<p>歩道幅の拡充→歩道が狭すぎてぶつかったり並んで歩けずストレスが多い</p>	参考	<p>頂いたご意見は、福祉のまちづくりや、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
918	基本施策 9	<p>基本施策9 現状と課題:男性の育休について。必ずまとまって休みを取らないといけないのか?体の回復や役所に届け出などがあるため出産後2・3週間前後はまとめて取って欲しいと思うが、それ以降は無理に育休を取らないでもいいと思います。育休を日曜日の延長と思っている男性もいるのでは。なので定時出勤・定時退勤や時短勤務で働く。それには会社の理解が必要だと思います。会社は理解できてるが直属の上司や同僚からの理解が得られないのが現実だと思います。難しいところだと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
919	基本施策 9	<p>テーマ2. ワンオペの子育てにゆとりはありません。主な取組内容に書かれている内容は大事だと思いますが、もっと父親が自分が子育てを母親の手伝いではなく、自分の仕事であることを認識するような取組、企業へのアプローチが必要だと思います。子育て支援のアプリやサービスが提供されていますが、結局それを使う作業(細かいですが、いつキッズに行くか、昼食の注文やキャンセルといった作業)母親がやることが多いのではないのでしょうか。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
920	基本施策 9	<p>基本施策 9 について (1) 多様で柔軟な働き方、子育て 今は大人の働き方に合わせて、子どもの環境を合わせています。それが反対になる(子どもの成長に合わせて、大人の働き方を変える)ように社会全体を変えていきたいです。(2) 子どもを大切にすると子どもが泣いたり大きな声を出したら、公共交通機関では年配世代でもジロっと見られたり、注意されたりすることも。特に子育てに関わってこなかった方は、なかなか伝わらないのではないのでしょうか。(3) 子供の意見 こどもたちが自分たちのためのプランなのだとかかるように、わかりやすい言葉で一緒に作っていく必要があると思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進や、こどもを大切にする社会的な気運の醸成を進める上で、今後の参考にさせていただきます。また、計画策定時には、多くの方々に計画の内容が伝わるように、よりわかりやすい表現を検討してまいります。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
921	基本施策 9	子どもの数が多い●●にぜひ図書館を！（移動図書館や簡易的なものもありがたいですが…）	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
922	基本施策 9	●●町は子どもも多い街なのに歩道が少なく危険な道が多くヒヤヒヤすることが多々あります。 また、自転車を運転する際にも危険を感じます。 また、ベビーカーを利用する際にも歩道に乗り上げる際に段差が多くて進行しづらかったです。きっと車椅子の方も同じ苦労をされると思います。バリアフリーがもう少し進むとありがたいです。	参考	こどもの交通安全対策や、誰もが移動しやすい福祉のまちづくりを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
923	基本施策 9	基本施策9「社会全体で子ども・若者を大切にできる地域づくりの推進」に関して、官民を問わず多様な地域社会・文化資源の観点から、子育て支援という同じテーマに向けた事業・取り組みを検討されていることが素晴らしいと感じました。特に「読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実」に関しては、「横浜市図書館ビジョン」の策定と中央図書館の改装と具体的な施策が進行しており、とても期待しています。私自身の体験として、図書館をもっと活用したいけれどできないというもどかしさを感じています。仕事をし、家事をし、育児もしながら、さらに図書館に行くということ自体、自分にとってはハードルが高いことのように思われるのです。移動図書館の巡回スポットや図書取次サービスを行える行政サービスコーナー等の見直しや増加、または図書館そのものの設置数の見直しといった抜本的な観点からも、ぜひ広く議論いただき、横浜市に暮らす親子が本や図書館の存在を身近に感じられる環境整備をご検討いただけるとありがたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、読書に親しむ機会の創出と図書館サービスの充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
924	基本施策 9	施策9について 社会で子育てを支える気運を高めるのは、少子化が加速し子育て家庭とそれ以外とで分断が進む日本でとても重要なことだと思います。そのためには、子育て中の保護者以外へのPRもしていく必要があります。子どもは未来の社会を支える大事な存在です。子どもへのまなざしをあたたかいものにしていく取り組みを行政として取り組んでもいいのではないのでしょうか？例えば、東京都世田谷区の泣いてもいいよステッカーを配布する取組もひとつのやり方だと思います。街中で泣いているお子さんや困っているお父さんお母さんに手を差し伸べたくても、なかなか声をかけられなかったりもします。あたたかく見守ってるよ、助けてあげたいと思っているよ、と何か見える形で示せるものがあるといいなと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子育てを温かく見守る地域づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。
925	基本施策 9	基本施策9・・・ 横浜が「子育てしたい街」にぜひなってほしいです。子育て環境として子どもたちが調査で望んでいる「思いきり遊べる場所・おしゃべりできる場所・運動ができる場所」をぜひ実現してほしいです。子どもたちにせっかく意見を聞いたのですから！ また子どもたちの心を育てるためには、文化の力が大切だと思います。一緒に楽しいコンサートを聞いたり人形劇をみたりお芝居をみると優しい気持ちになります。そういう体験の積み重ねでいじめを減らすことができると思います。ぜひ各小学校・中学校で年に1回は生の舞台を企画できてどの子も参加できるような施策をお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
926	基本施策9	私（個人個人）が、尊重される環境。今どんな気持ちか、その時どう思ったか、何を考えているか、ということ素直に伝え合える。話し合いで解決する経験を積める。立ち止まり、対話する場や機会が社会のあちこちにあるような環境。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
927	基本施策9	学校から一人で帰る時に悪い人に会ったことがある。怖いからそういう人がいなくなるといい。	参考	頂いたご意見につきましては、安全・安心を守る取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
928	基本施策9	まず、大人が自分を大切にしないと、子どもや若者が大切にされないと思います。周りがこう言ってるから、そうしてるから、ではなく、本当の自分は何をしたいのか？を見つめるには、衣食住が整い、安心安全な環境に身を置くことで、始めて自分を大事にすることができると思います。 物価高にもなり、働くことだけでいっぱいになる暮らしでは余裕は生まれません。 空き家などを活用し、（高額な家賃やローンに追われず）住宅費を安く抑えるなど、住みやすい暮らしやすいまちづくりをして欲しいです。	参考	頂いたご意見につきましては、経済的負担感の軽減を含め、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
929	基本施策9	小学生の子どもは低学年では子どもだけで留守番をするのは難しく、中学年はキッズクラブなどにも行かなくなり、高学年は自分の考えで行動するようになります。親が共働きで家庭にいられないため、小学校から帰ってくると家にもどこにも居場所がなく、家にこもっているようにいうしかないのが、子供の機会を奪っているようで親としては心苦しいです	参考	頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
930	基本施策9	基本施策9 子育て応援アプリ「バマトコ」家事負担軽減のためのコンテンツ作成 具体的内容が知りたいです。「にもつ軽がる保育園」などのサービスは共働き世帯、きょうだい児家庭には有難いものですが、そのネーミングなどには一考が必要だと感じます。親の力を軽くするという安易なネーミングにならないメッセージも大切にしたいです。	参考	時短や家事の効率化につながるいろいろなサービスや情報を提供するコンテンツです。日々の生活の中で育児、家事、仕事等に追われ、余裕のない状況にある子育て世代が、穏やかな気持ちでこどもと接する時間や一息つける時間、自分と向き合う時間などを創出して、時間的・精神的なゆとりを生み出すきっかけを作ります。 頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
931	基本施策9	基本施策9 ・地域子育て応援マンションの設定 特別なマンションの設定でなく、家族向け住居建物内に子どもが集えるスペースがあると、子どもが身近な場所で遊べ、親子の交流も生まれ、それを同建物内の地域の人が見守る環境が作れると考えます。	参考	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
932	基本施策 9	<p>・基本施策 9 社会全体で子ども・若者を大切に作る地域づくりの推進についての意見 温暖化の影響で猛暑のため学校の運動すら制限され、学校プールにも入れないような事態になっています。</p> <p>生活困窮の家庭とそうでない家庭では例えば水泳の体験機会のように、さまざまな【体験格差】が開いていくと思います。そのような状況を踏まえると、子どものウェルビーイングを謳う全体像のなかで、基本施策 9 の指標が【男性育児休業取得率】と【横浜に住み続けたいと考える子育て世帯の割合】という親側の目線だけであることに違和感を覚えます。</p> <p>・施策 9 においても、子ども・若者が大切にされた、と彼ら自身が思える指標の在り方があってもよいと思います。体験の格差などについては、基本施策 4 を中心に記載されており、その指標の軸足、視点が子どもたちの暮らしのなかにあると解釈しますが、施策 9 地域づくりの推進というさらに大きな概念においても、子どもの声を活かした視点、指標の軸があると、より実効性のある取組として何が必要なのかが見えてくるように感じました。</p> <p>・第 5 次男女共同参画行動計画が出され、かつ男女共同参画センターの在り方にも期待していますが、他課との連携も示されて欲しいと思います。やはりワークライフバランスによりこうした講座の重要性は高まる一方で、まだ家事や子育て、介護などのケア労働は女性に集中している実状があります。講座の具体的内容や 5 年後も父親育児支援講座という枠組みはジェンダー平等の視点からも可変してくる可能性も見えているのではないのでしょうか？</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どものウェルビーイングを支える取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
933	基本施策 9	<p>基本施策 9 祖父母世代に向けた子育て支援</p> <p>・子ども家庭庁から出された「はじめの 100 か月育ちビジョン」の普及啓発については子育て世代ではない世代への地域の中で子どもを育てる気運を高めることをも目的にした活動です。認知症キャラバンのように全国一斉に広めていく活動に連動した動きを視野に当市もスケールメリットを重要視してこの分野の推進を図れたらと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
934	基本施策 9	<p>基本施策 9 地域の総合的な移動サービスの検討</p> <p>・地域の総合的な移動サービス検討という項目の具体策にも注目、期待しています。</p> <p>小 1 の壁や、おけいごとへの送迎は共働き家庭にとっては切実な課題です。</p> <p>子育て家庭にとって安心安全な移動が利用できる環境づくりは、行政だけではなく民間交通事業者（バス、タクシー）との連携なくしては実現できません。</p> <p>子育てサポートシステムの送迎ニーズへの集中を提供会員の熱意だけで解決しようとするならばそれは市民力だけに依拠した不確かな支援で命を預かる支援策として問題があると思います。</p> <p>多様な主体と意見交換をしていただきながら、より実効性のある移動サービスの充実に期待しています。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
935	基本施策 9	<p>基本施策 9 安全・安心な公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはりもっとも身近な存在である公園への愛着は高く、遊具の撤去や新設および利用の仕方についてもかなり突然感がある変更に戸惑う声も多く聞かれます。 <p>公園愛護会や環境創造局などと連携しつつ、子育て家庭の意見を事前に取り込みつつ実施することがより愛着をもって自主管理、公園整備などへの協力度理解度が高まると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ公園（小柴自然公園）への●●としての意見交換会はとても有意義なものでした。街区公園全体に行うのは難しいと思いますがやはり地域ごとにある身近な公園整備ほどこうした意見交換をしながらの改修改善づくりに努めて欲しいと願います。 	参考	<p>頂いたご意見につきましては、安全・安心な公園づくりを進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
936	基本施策 9	<p>基本施策 9</p> <p>横浜トリエンナーレのこども向けのワークショップの回数や横浜美術館での取組が指標にあがっていることはよいことだと思います。</p> <p>ただ、あくまでもこれは一時的なイベントとしての指標であり、連綿とした日々の営みにおいて日常性に欠けると感じます。一方、具体的な取り組みとして、P154福祉のまちづくり推進事業を、基本施策 9 の主な事業・取組として位置づけています。＜ベビーカーでの移動など子育て家庭などにも配慮した環境の整備や、様々な世代で思いやりの気持ちを育む福祉教育などを通じて、福祉のまちづくりを推進＞とされています。その指標は＜鉄道駅舎へのエレベーター等の設置による段差解消駅数＞とされ、ハード面がよくなることはもちろん大切だと思いますのでこの指標は当然推進されるべきです。ですが、加えて従前のありきたりの福祉教育だけではなく、どういう視点をもって、活動が行われるべきかを、予定調和に終わることなく、部局を越えて当事者も含めた検討がされて、【福祉のまちづくり推進事業】をどう推進すれば、指標として何を指せるのかをより明確にして1、こどもが自分たちが大切にされてると思える視点になることを期待します。P152, 153共に子育てをするための家事・育児支援や、企業向けのセミナーなども、施策 9 の取組にあります。当事者向け両立のスキルや、休業制度、経営者向けに補助金などについて経営コンサルタントのような専門家から学ぶ内容だけでなく、ぜひ地域全体の子育て支援環境が現状としてどういうことがあるのか、地域の子育て支援施設の内容や民間の社会資源についても触れられるような内容にしていきたいと願います。例えば産前から切れ目のない子育て支援が受けられる本市の状況、産後の支援制度、育児支援のさまざまな施策について企業側担当者も共に学べるような内容にしてほしいです。そうすることで、スムーズな休業、子育て期間、復帰と、心身ともに健康に安心して他者の力を遠慮なく借りて過ごしてよい環境であることを経営者、当事者にわかってもらえるような内容になるといいと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見は、福祉のまちづくりや、こどもや子育てにやさしい「こどもまんなか」社会に向けて取り組む上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
937	基本施策9	基本施策9 社会全体で子ども・若者を大切に作る地域づくりの推進について 概要版15p (2)子どもを大切に作る社会的な気運の醸成と安全・安心な地域づくり という表記は、国の「子ども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等」と比すると、現行のままでは、あまりにも方向性が弱いと感じます。 ・子どもの人権を守り大切に作る社会的な気運の醸成と安全・安心なちいきづくりという表記に変更できないでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
938	基本施策9	基本施策9 社会全体で子ども・若者を大切に作る地域づくりの推進について ・これからの取組であり、具体的な工夫や仕組み、多様な事業主体と協働した施策に期待しています。子どもの声を聞いた後のフィードバックや広報発信により浸透していくとあり（国）、市も先進事例に学ばれながら推進されるとあるので、今後の事業展開において市民協働で推進されたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの意見を聴く取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
939	基本施策9	基本施策9 社会全体で子ども・若者を大切に作る地域づくりの推進について ・この施策の指標に「子育て環境が整っていることを理由に、横浜に住み続けたいと考える子育て世帯等の割合」とありますが、適していないように思います。5pすべての子どものウェルビーイングを支えるの指標説明にあるように、「子ども大綱では、子ども施策に関するデータの整備として、子どもに着目したウェルビーイング指標の在り方について検討を進める」こととされています。本市としても、国の動向を踏まえながら、より適切な指標について、引き続き研究していきます。」にと同様でいかがでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、子どものウェルビーイングを支える取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
940	基本施策9	(困っていること) サポートしてくれる家族がない。夫はずっと仕事をしていて、1人で子育てをしないといけない。疲れがたまった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
941	基本施策9	(困っていること) ワークライフバランス；コロナ期間に出産し、娘を一人で育てなければならなかったこと。夫は育児休暇を取ることができず、サポートしてもらえなかった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
942	基本施策9	(困っていること) 職探し；職探しにおいて、母であるということは、家で子供の面倒を見たり、子供が病気・風邪になったり、もしくは他の用で、時短や残業を申し出ることがあるという理由で、断られることがあった。	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながる子どもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
943	その他	「子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」このタイトル通り、子供達を主体的に育てられる社会が作られることを心から願うばかりです。実際には公園で遊びたくてもたくさんの制限があり、学校ではアクティブラーニングを取り入れ抽象的なお題に対して発表させられ、静かに座ってられないと支援級に追いやられ、放課後は受験の為に塾通いと大人たちが決めたルールの中で主体性を剥ぎ取られる日々。不登校児が増え続けている学校教育の見直し、待機児童ゼロにするより子育てしている保護者の心のケア、就業時間、負担軽減を推し進めるべきではないでしょうか。大人も子供も国籍、性別も関係なく、1人1人の人権を尊重し、誰一人取り残されることのない社会こそが民主主義国家ではないでしょうか。	参考	頂いたご意見につきましては、子ども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
944	その他	今回の趣旨に合う内容かわかりませんが、子供の性教育をもっと低年齢からはじめることを是非ご検討頂きたいです。小学校低学年で教えることで、恥ずかしいと感じずに素直に、命を宿す素晴らしいこととして受け止め、その後も、忌避トピックではなく、当たり前のこととして、話し合える土壌が育つと思います。中学生から教えるのでは、興味や羞恥心が出てしまい、遅すぎると感じます。受け止め方が変わることで、低年齢での望まない妊娠、出産、性にまつわる事故を防ぐことができると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、教育施策や、思春期保健指導事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
945	その他	(困っていること) 習い事はあまり良くない	参考	頂いたご意見につきましては、外国につながるこどもたちへの支援施策を進める上で今後の参考にさせていただきます。
946	計画全般	少子化が進む中で、支援よりもまず税金を取る事を止めていただきたい。負担率が高く、月30%以上を社会保障として間引かれています。まずは手取りを増やす政策を実施いただきたい。	その他	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご意見として参考にさせていただきます。
947	計画全般	計画推進体制「P192の延べ利用者数」 R11年度の見込み数は、すでにR5年で超えているが、修正はするのでしょうか。(戸塚) この数字を出した元の根拠は？アウトリーチ事業やオンラインなどの別で市に提出していた数字が入っていないと思う	その他	R11年度の量の見込みは、以下の方法で算出しています。 量の見込み(人日又は人回) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向 ※利用意向 = 利用意向率 × 利用意向日数 また、R11年度の量の見込みを算出して、R5年度実績から平均的に量が増加するよう、途中年度の量の見込みを算定しています。 修正の予定はありません。
948	計画全般	HPに名前や住所を公表するのকাশないのか、を意見募集案内に記載した方がいいと思います。	その他	個人情報については公表いたしません。ご意見の概要と、それに対する本市の考え方について公表することを記載しましたが、よりわかりやすい案内となるよう今後の参考にさせていただきます。
949	計画全般(量の見込み・確保方策)	(質問) P17 第5章保育教育及び地域子ども子育て支援事業に関する量の見込み確保方策 子育て短期支援事業 ショートステイについて 国は産後ケアを希望する人全員が受けられるよう令和7年度から市の補助率が1/4に引き下げられます。にもかかわらず、受け入れ見込み人数を増やさないのはなぜか？	その他	子育て短期支援事業ショートステイにつきましては、直近の令和5年度の実績646人/年に対し、令和11年度845人/年と増える見込みとしています。産後母子ケア事業のショートステイについても、今後利用者数が増える見込みとしています。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
950	重点テーマ1	息子が●●学園の●年生でお世話になっております。公園の掃除活動を評価していただき、本当にありがとうございました。地域への貢献を認めてくださったことが子どもたちの心を本当に強くし、そして、より多くの方への幸せに目を向ける良い機会になりました。本人は公園をきれいにするだけで表彰されるなんて、変な感じと言っていました、笑 今同じ中学●年を育てているいろんな保護者の方と話すと、公立中では内申点確保のためにボランティアをさせるという学校が増えたと聞きました。学園はテスト評価が無いので、他校受験のハードルが高く、それでも内部進学以外の進学を選択されている生徒もいます。いじめや不登校を経験し、本学園に編入するご家庭もかなり増えました。国などからの資金的な支援もなく、経済的に大変な学校ですが、この学園に入学させてよかったと思えた出来事でしたので、連絡させていただきました。2025年●●学園は●●周年です。地域の方に感謝し、そして、横浜市に全日制の●●学校があることで、横浜市にこれからも貢献できることがあれば願っています。	その他	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、学園の教育内容に関するお気持ちと、地域活動の大切さに関するコメントとして伺いました。こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
951	重点テーマ1	こどもの人権を守り、こどもの主体性や思いを尊重した保育・教育の推進が求められているとありますが、こどもの声をどのように聞くのか具体案を示して欲しいと思います。	その他	乳幼児期は、日頃から身近な保育者（大人）に自分の思いや意見を聴いてもらえる環境が重要です。「よこはま☆保育・教育宣言」に基づき、保育者は、こどもたちの自分では言い表せない思いや考えに耳を傾け、願いや求めに寄り添いながら、一人ひとりを尊重した保育・教育を日々、実践しています。こどもの意見を聴くには、国の調査からも、乳幼児については配慮や工夫が必要だとされていることから、聴取の場や手法、時期等について、様々な視点から検討をすすめます。
952	重点テーマ2	お金がないと全ての『ゆとり』は出来ません。国と協力して手取りを増やしてください！住民税と固定資産税を減税してください！なくしてとはいいません、せめて半分にしてください！お金の余裕があると子育て世帯はさらにお金を使います。高齢者はため込むだけです。経済を回すのは子育て世帯です。	その他	頂いたご意見につきましては、こども・子育て支援を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
953	基本施策1	子育て包括支援センター 教育との連携	その他	
954	基本施策2	P.27ハマハグについて「こどもを大切に社会的な気運の醸成に取り組みました」とありますが、ハマハグ事業の効果検証はされていますか。ハマハグによって「こどもを大切に社会的な気運の醸成」ができてきているのかを、市として把握すべきだと思います。	その他	「こどもを大切に社会的な気運の醸成」については、子育て家庭応援事業（愛称「ハマハグ」）を含めたこども・子育て支援施策全体で推進していくものと考えます。頂いたご意見につきましては、今後の事業を進める上で、参考にさせていただきます。
955	基本施策2	乳幼児の支援拠点はありますが乳幼児以上から小学校前の子どもの居場所や支援拠点が必要と考えますが、今後の具体的な計画をお教えてください。	その他	地域子育て支援拠点は、未就学児が利用対象ですので、小学校前の子どもの居場所や支援拠点として、ご利用いただくことができます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
956	基本施策4	基本施策課題に将来の妊娠・出産に備えとあるが、その重要事項として女性は30歳前までに結婚出産すべきを義務教育の場で徹底周知させる。	その他	出産や子育てが個人の選択であることを前提としながら、希望する人が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めてまいります。
957	基本施策4	教職員の働き方改革等、承知はしていますが子ども達の教育に関しては最優先であってほしいと思っています。例えば今までであった6年生の修学旅行2泊3日の日光等はその年齢、その時代の仲間と行くからこそ感じ取れる一生の思い出になるものだと思っています。コロナ禍を経て時代や考えも変わり、見直されたものも多くあることもわかってはいますが、せめて小学校生活最後の6年生の修学旅行、日光2泊3日は今後も残していただきたい学校行事として声をあげさせていただきます。ご検討よろしく申し上げます。	その他	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご意見・ご要望として伺いました。
958	基本施策4	横浜市には子どもが自由に遊べる児童館の様な居場所が無いのですが、それに代わる場所を既存の地区センターやコミュニティセンターで運営するとか、民間が場所を無償で利用して運営を行うことは可能ですか？（1回/月程度から）	その他	地区センターやコミュニティハウスは現在もボランティアによる活動で会議室等を御利用いただいています。なお、地区センターは利用料が発生し、コミュニティハウスは無料です。
959	基本施策4	現状の小学生の放課後の居場所である放課後キッズと学童保育が子どもの急増で十分な子どもへの対応ができていない状況に対する緊急の対策が必要と考えますが、どのようにお考えでしょうか？	その他	放課後キッズクラブや放課後児童クラブに従事する職員のスキルアップをはかるための研修を行うとともに、DXの推進等により、こどもの育成支援に注力できる環境づくりを進めることで、質の向上に取り組んでいきます。
960	基本施策4	基本施策4 学齢期から青年期までのこども・若者の育成施設の推進 1. 指標 放課後キッズクラブ・放課後児童クラブを利用する児童へのアンケートのうち、「クラブは楽しいですか」の項目で「楽しい」「どちらかというと楽しい」と回答した児童の割合の項目ですが、利用しない理由のアンケートは取らないのでしょうか。また、行かない子・行けない子が行く場所の確保はどのように考えますか？	その他	令和5年度に実施した「横浜市こども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」で利用していない理由について確認しております。頂いたご意見につきましては、放課後児童育成事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
961	基本施策5	概要版P11の基本施策5について、◎三行目に保護者や関係者の悩みや不安に寄り添いとありますが、子育て支援施設や学童などでも、特性のある子供の対応などに戸惑うこともあるので、スタッフがどう対応したら良いのかなど相談できる場所はあるのですか？ ◎目標方向性のなかに障害への理解促進とありますが、うちの子供がグレーゾーンで小学生の時に一般級の担任の先生の理解がなく、辛い思いをしました。一般級教員は発達障害などを理解する機会はないのでしょうか？	その他	放課後児童育成事業では、障害のある子どもや発達に特性のある子どもへの対応について、スタッフ向けの研修講座を実施しています。また、巡回相談員がクラブを訪問し、クラブからの相談に対応しています。また、一般級の教員に対しては、地域療育センターが実施する巡回訪問等で、発達障害についての研修や教室の環境設定に関する助言を行なっています。また、現在、初任から3年目までの全ての教員は、学びの場の理解と配慮を要する児童生徒の支援や指導内容や手立ての設定等に関わる研修を行っています。引き続き、全ての教員の特別支援教育の専門性の向上に向けて取り組んでまいります。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
962	基本施策 6	寄添い型生活支援事業の地域との連携が不足していると思うのですが、現状での具体的な活動内容と今後の対応計画があればお教えてください。又、追加の予算等の計画についてもお教えてください。	その他	寄り添い型生活支援事業においては、運営法人の要件等の一つに「学校等の関係機関や、地域で活動している団体・NPO法人等と連携協力し、効果的な支援が行えること」と定めています。支援を実施するにあたって、各地域の実情に応じて必要な連携を図っていただいています。次年度以降の予算については、未定ですが、毎年度の予算については、こども青少年局の事業計画書や予算概要に記載しております。
963	基本施策 6	寄添い型生活支援、学習支援事業での、高校進学後の中退等が問題になっていますが、そのフォロー結果や対策等があればお教えてください。	その他	寄り添い型生活支援事業においては、過去に事業を利用し、高校等へ進学した生徒にも継続的な相談支援や学習支援等を実施しています。寄り添い型学習支援事業においては、高校生世代支援として、高校等に行っていない子どもを含めた高校生世代に対し、進学や就職に関する情報や体験機会の提供など、将来の選択肢に幅が広がるような講座を実施しています。
964	基本施策 6	不登校等や孤独・孤立対策での子ども若者の居場所の重要性が語られていますが、特に民間の日常的居場所活動への具体的な支援の内容と予算の現状と今後の計画を、コーディネーター人件費等への考え方も含めて教えてください。	その他	地域が主体的に取り組む、こども食堂など地域のこどもの居場所づくりに対する助成事業を実施しており、この助成金は、不登校のこどもの居場所づくりにもご活用いただけます。頂いたご意見につきましては、不登校のこども等困難を抱えやすいこどもの居場所づくりを推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
965	基本施策 6	生活保護を受けていない困難家庭でも、自死、不登校、ヤングケアラー、体験の貧困等になっているケースが多々あると考えます。対策等のお考えがあればお教えてください。	その他	こどもたち自身が相談・支援につながるができる環境づくりなど、困難を抱えやすいこども・若者への支援施策の充実を推進してまいります。
966	基本施策 7	シングル家庭に対するフードパントリーを行っています。この事業は本来、行政が行う事業であるとも考えますが、いかがお考えでしょうか？	その他	本市では、物価高騰等の影響により困窮に陥りやすいひとり親世帯に対し、フードバンク等から提供された食料品を配布する活動を支援しています。頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。
967	基本施策 9	弥生台駅南口から地域の方がよく使う裏道が夜間街灯が非常に暗く子供達がサッカーや野球や塾なので行き帰り使っている道です。こちらの街灯を早急に増やして頂きたいです。	その他	こどもの安全確保に関するご意見・ご要望として伺いました。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
968	基本施策 9	横浜市営地下鉄の徒歩5分以内にある、●●小学校の周りの交通事情が大変心配です。車の通りが多い場所が通学路となっており、回り道などしてもどこもガードレール等の安全対策がなされていません。大変危険です。●●小学校周りの道路のガードレール等の設置と安全対策を強く希望します。●●町は横浜市として近年再開発がなされており、子供の数がどんどん増えています。指定通学校である●●小学校に皆通うこととなります。多くの保護者から同じ意見を聞きます。何かあってからでは遅いです。早急な対応をお願いします。	その他	頂いたご意見につきましては、安全・安心なまちに向けた取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
969	基本施策 9	クリエイト●●店から小さなバスロータリーの間にある橋のガードレールが錆びだらけで子供の洋服が汚れます。通学路なので一年生は分らず触ってしまい、菌がたくさん手について大変です。ガードレールを新しくしてほしいです。●●小学校は登下校で急な階段を登り降りするのですが、手すりが夏は熱く手で握めません。一年生は思いランドセルや荷物を背負って危険です。手すりの材質を換えてもらえないでしょうか。または、夏だけ何かで覆って日光で熱くならないようにしてもらいたいです。関係ないことですがすみませんが子供のことで、誰かの目にとまってもらえたら嬉しく思います。	その他	通学路の安全対策に関するご意見・ご要望として伺いました。
970	基本施策 9	(質問) P15基本施策 9 社会全体で子ども若者を大切に作る地域づくりの推進 パマトコの家事負担軽減のためのコンテンツとは具体的に何か？	その他	時短や家事の効率化につながるいろいろなサービスや情報を提供するコンテンツです。日々の生活の中で育児、家事、仕事等に追われ、余裕のない状況にある子育て世代が、穏やかな気持ちで子どもと接する時間や一息つける時間、自分と向き合う時間などを創出して、時間的・精神的なゆとりを生み出すきっかけを作ります。 頂いたご意見につきましては、子育て家庭が実感できるゆとりを生み出す取組を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
971	その他	公立高校の文化祭でキャッシュレス支払いを導入すればいいのかなと思います。11/6朝の情報番組ザ・タイム内で紹介されていました。	その他	当該計画の内容に関するご意見ではありませんが、ご意見として参考にさせていただきます。
972	計画全般	法人として今回の横浜市子ども計画だけでなく全体として強調しているのは、「未就園児」という表現について「就園前児童」という表現に変えてほしいということです。「未就学児」という言葉は、最近では「就学前児童」「就学前の子ども」という表現にかわってきており、就園していないこと自体を問題視するような情報発信や対応とならないように留意が必要だと感じています。「0～2歳児の約6割は就園していない状態である」の注として0～2歳児は可能な限り家庭で育てたいと考える保護者がいるなど、就園していない子どもとその家庭の子育て環境は様々です。ぜひ本期からの改訂を切に願います。	参考	「未就園児」という言葉については、いただいたご意見のように感じる方もいれば、よく使用されており分かりやすい言葉として、本計画だけでなく様々なところでこの表記が使用されているのも現状です。 「未就園児」の表記について、様々な意見があることを踏まえ、今後の情報発信等の参考にさせていただきます。

NO.	項目	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
973	計画全般	<p>「未就園児」という表現について 「就園前児童」という表現に変えてほしいと思います。 「未就学児」という言葉は、最近では「就学前児童」「就学前のこども」という表現にかわっていると思います。 「未就園児」と表現することで、就園していないこと自体を問題視するような情報発信とならないよう留意が必要です。こども家庭庁においても、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」において以下のように言及しています。 「0～2歳児の約6割は就園していない状態である」の注として0～2歳児は可能な限り家庭で育てたいと考える保護者がいるなど、就園していないこどもとその家庭の子育て環境は様々であり、就園していないこと自体を問題視するような情報発信や対応とならないように留意が必要。</p>	参考	<p>「未就園児」という言葉については、いただいたご意見のように感じる方もいれば、よく使用されており分かりやすい言葉として、本計画だけでなく様々なところでこの表記が使用されているのも現状です。 「未就園児」の表記について、様々な意見があることを踏まえ、今後の情報発信等の参考とさせていただきます。</p>
974	基本施策4	<p>要望3 これは可能であればですが、昨今、夏が猛暑によって公園で遊ばせん。ですので屋根をつけるとか、植栽するなど工夫が必要だと思います。屋内で運動できる施設も増やすと良いと思います。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、居場所・遊び場、体験活動の充実を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
975	基本施策4	<p>素案P96 「(3) こども・若者の成長を支える基盤づくり」について 「こども・若者の成長を支える基盤づくり」の4つ目の○に、「自然・科学・社会体験など多様な体験ができる環境」としてプレイパークと青少年関連施設とを並列して記載しているが、プレイパークでの「体験」は青少年関連施設での「体験」と内容や性質が異なる。プレイパークの記載は別立てで記載した方が良いと考える。例えば、以下のような文ではどうか。 「こどもたちは自由に遊ぶ中で様々な体験を重ね、自ら育っていきます。外遊びを包括的に推進するプレイパークのネットワークの充実を図ります。」</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、こども・青少年の体験活動の推進や、プレイパーク支援事業を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
976	基本施策9	<p>概要版P15の基本施策9について、「男性の育児休業取得率は令和5年で約4割となりましたが、1か月未満の取得が7割弱となっています。」と課題を認識されているのであれば、指標として男性の育児休業取得率だけではなく平均取得期間などの指標を新設すべきではないでしょうか？</p>	参考	<p>基本施策9の「市内事業所における男性の育児休業取得率」の指標は、関連計画である横浜市男女共同参画行動計画と連動して設定しています。男性の育児休業の取得期間は「男女共同参画に関する事業所調査」で把握しているため、本計画の推進においても経年による変化を確認していきます。 頂いたご意見につきましては、多様で柔軟な働き方の推進など、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>